

「緊急地震速報の利活用状況等に関する調査」 結果

平成 24 年 3 月

気象庁

1. 調査の概要

(1) 調査目的

正式運用開始後4年を迎える緊急地震速報について、東北地方太平洋沖地震発生以降の状況を踏まえ、国民の認知度、特に理解度をできる限り詳細に把握、さらには地域における信頼度、理解度の違いなども把握することにより、その更なる普及および改善に関する対策を検討することを目的とする。

(2) 調査対象

- ① 一般利用者
- ② 高度利用者（一般）
- ③ 東北地方太平洋沖地震で特に揺れの大きかった地域の住民

(3) 調査手法の選定とサンプル数

1) WEB モニター調査

事前登録したモニターを対象に調査協力を依頼し、受託したモニターに対してインターネットを通じて回答して頂く。

2) 郵送質問紙調査

調査対象となるすべての人に郵送で質問票を届け、対象者から返送して頂く。

表-1 調査手法およびサンプル数

対象者	調査手法	サンプル数
①一般利用者	WEB モニター調査	1,600 件
②高度利用者（一般）	WEB モニター調査	400 件
③東北地方太平洋沖地震で特に揺れの大きかった地域の住民	郵送質問紙調査	400 件以上

2. 調査の詳細

(1) 調査手法と対象の選定

緊急地震速報の利活用状況および意見・要望、さらに緊急地震速報を受信した際の行動状況などを把握するため、適当な調査手法および対象者について事前に整理しまとめた。

1) WEBモニター調査

WEBモニター調査を行うにあたって、多くのインターネット調査モニター登録を行い、かつこれまでのインターネット調査から得られた情報などをもとに十分なクオリティコントロールを行っているインターネット調査会社を活用して調査を実施した。

①対象者の選定

過去に緊急地震速報が発表されたことのある22都道府県のモニターを対象に、WEB上で調査依頼を行い、協力の意思を示して頂いた方に対して調査を行った。

②対象地域

緊急地震速報の利活用状況や、利活用によって感じた課題・要望などを把握するため、過去に緊急地震速報が発表されたことのある都道府県を対象に、モニター登録者に調査協力を依頼した。

調査対象地域および調査依頼数、調査協力者数は以下の通り。

表-2 WEBモニター調査の対象地域と対象者数

都道府県	依頼者数	協力者			
		回収率	協力者合計	一般利用者	高度利用者
北海道	693	18.33%	127	109	18
青森県	173	20.23%	35	32	3
岩手県	165	22.42%	37	31	6
宮城県	291	24.40%	71	51	20
秋田県	136	21.32%	29	22	7
山形県	144	21.53%	31	24	7
福島県	248	22.18%	55	46	9
茨城県	370	22.97%	85	69	16
栃木県	250	22.40%	56	47	9
群馬県	248	21.77%	54	45	9
埼玉県	909	21.45%	195	158	37
千葉県	780	22.18%	173	135	38
東京都	1655	21.99%	364	272	92
神奈川県	1136	21.57%	245	194	51
新潟県	292	21.58%	63	53	10
山梨県	106	20.75%	22	18	4
長野県	261	21.07%	55	46	9
静岡県	472	18.43%	87	69	18
大阪府	1110	12.25%	136	112	24
和歌山県	123	16.26%	20	15	5
島根県	86	17.44%	15	13	2
広島県	352	12.78%	45	39	6
合計	10000	20.00%	2000	1600	400

③対信頼性を高めるための工夫

- ア 必要回収数を確保するため、スクリーニング調査の予備調査を行い、一般利用者および高度利用者の内訳を把握した。全 10,000 モニターに対して調査依頼を行い、一般利用者 1,600、高度利用者 400 以上のデータを収集した。
- イ 調査依頼を行ったモニター数は、世論の傾向を把握するため、都道府県別に実際の人口比率に合わせて配分した。
- ウ 一般利用者の設問の中に高度利用者しかわからないダミーの選択肢を含めたり、高度利用者の回答の中で「端末の設定震度がわからない」など、わからないという回答があまりに多い場合などについては、内容を精査した上で、集計データから削除するなどのクオリティコントロールを行い、回答の質の向上を図った。
- エ 一般利用者と高度利用者の振り分け方法については、「高度利用者」という言葉が十分浸透していない現状もあり、過去に緊急地震速報を見聞きした際の受信ツールと受信内容を回答いただく形とした。具体的には、以下の◎の項目を両方とも満たした場合に「高度利用者」、それ以外を「一般利用者」として振り分けを行った。

2) 郵送質問紙調査

緊急地震速報の利活用状況を把握するため、東北地方太平洋沖地震で大きな揺れを観測し、猶予時間が 10 秒から 20 秒程度であったと思われる地域に対する調査を実施した。同地域は震災で被災された人々が多く暮らしていたこともあり、WEB モニター調査などでは回答が得にくく、また、当初の居住地にいない人も多いことから、仮設住宅等にも直接宅配が可能な、日本郵便の『タウンメール』を活用した郵送質問紙調査を実施することとした。

①対象者の選定

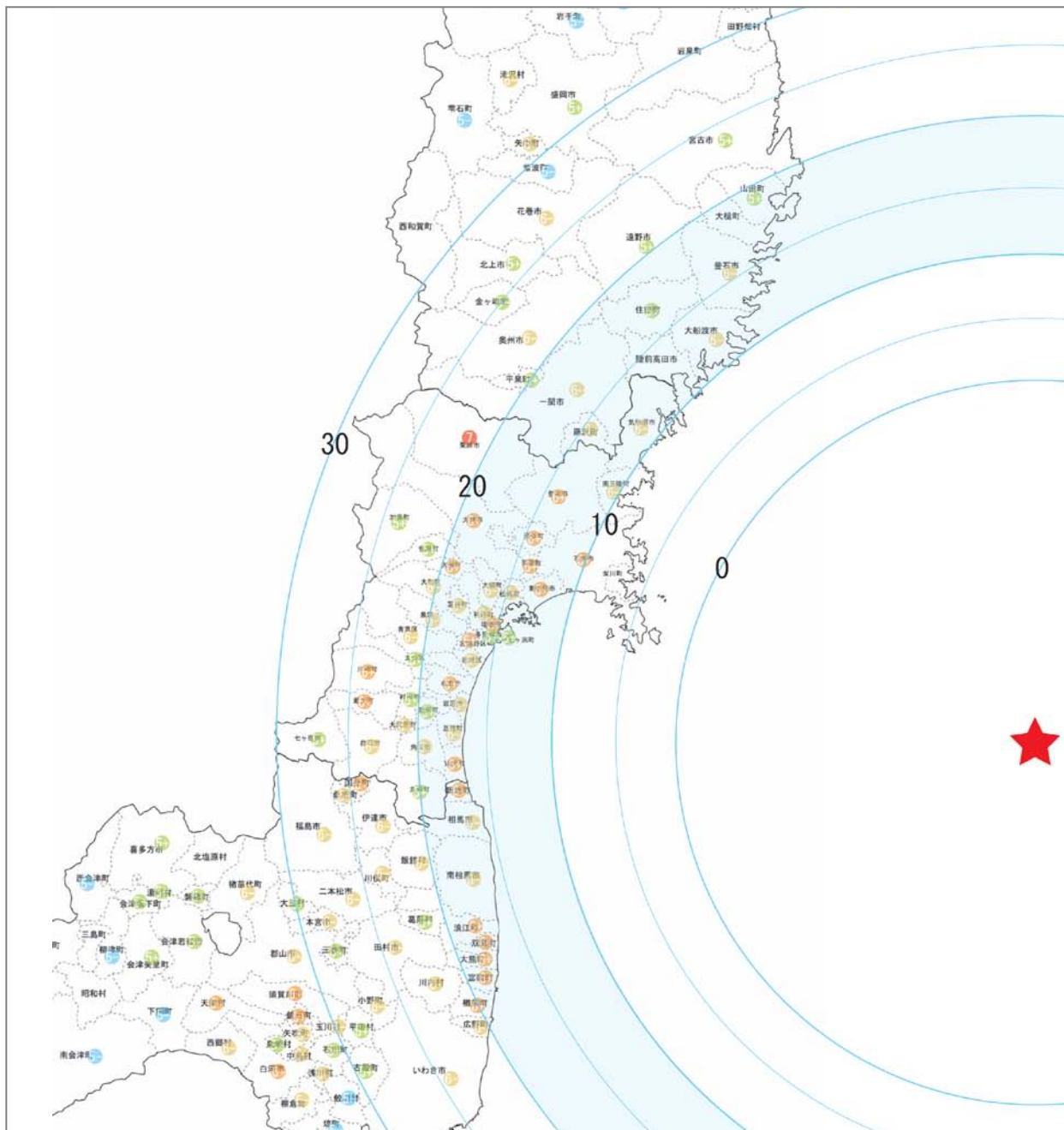
平成 22 年 3 月 11 日に発生した地震災害時に、揺れが大きかった地域（表 3-2 参照で、かつ緊急地震速報の第一報が発表されてから揺れが到達するまでに 10~20 秒の猶予時間があつたと考えられる地域（図 3-1 参照）の世帯に 1 通ずつ質問紙と返送のための後納郵便封筒を同封してポストイングを行った。

これらの地域のうち、気象庁、防災科研、各自治体が設置する震度計の周辺でタウンメールの配布が可能な地域を選定し、5,450 部を配布（表 3-3 参照）した。

表-3 揺れが大きかった(岩手：6弱、宮城・福島：6強以上の)地域

地域	震度	観測地点名
岩手県	震度 6弱	一関市山目* =5.8 一関市千厩町* =5.8 矢巾町南矢幅* =5.7 釜石市中妻町* =5.7 大船渡市猪川町=5.6 大船渡市大船渡町=5.6 一関市花泉町* =5.6 滝沢村鶉飼* =5.6 藤沢町藤沢* =5.6 花巻市大迫町=5.5 奥州市前沢区* =5.5 奥州市衣川区* =5.5 一関市室根町* =5.5
宮城県	震度 7	栗原市築館* =6.6
	震度 6強	栗原市若柳* =6.3 石巻市桃生町* =6.3 登米市米山町* =6.2 大崎市古川三日町=6.2 大崎市田尻* =6.2 宮城川崎町前川* =6.2 仙台宮城野区苦竹* =6.2 名取市増田* =6.1 栗原市高清水* =6.1 大崎市古川北町* =6.1 宮城美里町木間塚* =6.1 東松島市矢本* =6.1 大崎市鹿島台* =6.0 栗原市一迫* =6.0 塩竈市旭町* =6.0 涌谷町新町=6.0 大衡村大衡* =6.0 蔵王町円田* =6.0

		登米市南方町*=6.0 山元町浅生原*=6.0
福島県	震度 6 強	国見町藤田*=6.3 大熊町下野上*=6.3 天栄村下松本*=6.2 双葉町新山*=6.1 浪江町幾世橋=6.1 新地町谷地小屋*=6.1 白河市新白河*=6.1 富岡町本岡*=6.0 須賀川市八幡町*=6.0 鏡石町不時沼*=6.0 楢葉町北田*=6.0



表エラー! 指定したスタイルは使われていません。-4 タウンメール配布地区一覧

県	地 域	宅配部数
岩手県	一関市室根町	954
	釜石市中妻町	340
	大船渡市大船渡町	322
宮城県	栗原市築館高田	80
	栗原市若柳	168
	登米市南方町	230
	大崎市古川三日町	120
	大崎市田尻小塩	259
	大崎市古川北町	203
	東松島市矢本	712
	塩釜市旭町	586
	大衡村大衡	1,033
福島県	新地町谷地小屋	443
		5,450

②信頼性を高める工夫

- ア 調査の依頼は、配布された質問票に添付で行うため、本調査の目的・趣旨を明確にし、調査内容がわかりやすいよう十分配慮した。
- イ 回答内容に不足が多かったり、質問の意図に合わない回答の多い回答票のものは集計から削除するなどの処理を行い、信頼性の確保に努めた。

3) 調査票

①WEB モニター調査

WEB モニター調査は、緊急地震速報の一般利用者と高度利用者を選別するために、全員に対して実施するスクリーニング調査（以下、WEB SC）と、WEB SC で選別された一般利用者に対する調査（以下、WEB 一般）、WEB SC で選別された高度利用者に対する調査（以下、WEB 高度）の3種類の調査を実施した。

②WEB SC 調査

過去に緊急地震速報を受信したことのある人を選定し、その受信方法や受信内容をもとに、一般利用者、高度利用者に振り分けを行った。

以下に調査項目を示す。

【WEB SC 調査】 調査項目	
Q1	<p>あなたは、地震の時に気象庁から発表される「緊急地震速報(きんきゅうじしんそくほう)」がどんな情報か、ご存知ですか。</p> <p>緊急地震速報は、地震が発生した直後、地震による強い揺れが伝わる前に発表される予測情報で、地震の揺れが伝わった後に各地の詳しい震度が伝えられる「地震情報」とは異なります。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知っている 2. 知らない
Q2	<p>あなたは緊急地震速報を見聞きした経験がありますか。見聞きした経験がある方は、その緊急地震速報によってどのような情報を得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。</p> <p>見聞きした経験がない方は、5をお選びください。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. あなたがいた場所などの特定地点で、強い揺れが来るまでの猶予時間 2. あなたがいた場所などの特定地点の予想震度（震度3、震度4などの具体的な震度） 3. 発生した地震の震源地、規模(マグニチュード) 4. 地震が発生したことと、おおよその震源地、および強い揺れが予想される地域 5. 上記の内容は見聞きした経験はない
Q3	<p>あなたが緊急地震速報を見聞きした手段(方法)で、あてはまるものすべてをお答えください。（いくつでも）</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. テレビの字幕スーパーや音声 2. ラジオの音声 3. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 4. スマートフォン(NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 5. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他) 6. パソコンのインターネットの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他) 7. 緊急地震速報の専用受信装置(端末) 8. マンションなどの共同住宅、学校、職場などでの表示や放送など 9. その他、防災無線や一時的に立ち寄った病院、店舗などの表示や放送など 10. 見聞きした経験はない

ア WEB 一般調査

スクリーニング調査で得られた結果を基に、過去に緊急地震速報を受けたことがあるが、高度利用者ではないと思われる利用者 1,600 名に対して、一般利用者向け調査を行った。

以下に調査項目を示す。なお実際の調査で使用された WEB 画面は、巻末資料に添付する。

【WEB 一般調査】 調査項目	
Q1	<p>緊急地震速報は、地震発生直後に地震計で観測したデータを分析して、震源地や震度、強い揺れが到達するまでの時間などの情報を、強い揺れが来る前に知らせる情報です。お知らせする「震度速報」などの地震情報とは異なります。あなたは、「緊急地震速報」が「地震情報」と異なることをご存知でしたか。</p> <p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>
Q2	<p>緊急地震速報は、地震発生直後に地震計で観測したデータを分析して発表します。このため、震源地に近いところでは、緊急地震速報の発表前や発表と同時に強く揺れることがあります。また、緊急地震速報で発表される予想震度の値は、プラスマイナス 1 程度の誤差を伴います。あなたは、このように震源地の場所によっては緊急地震速報より先に強い揺れが来る場合があることや、予想震度に誤差が生じることがあることを知っていましたか。</p> <p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>
Q3	<p>あなたは、緊急地震速報の内容をどのような方法で理解しましたか。(いくつでも)</p> <p>1. テレビやラジオの放送で理解した 2. 新聞や雑誌を読んで理解した 3. 気象庁のホームページを見て理解した 4. 気象庁以外のホームページを見て理解した 5. 人から聞いて理解した 6. 国土交通省や気象庁などの中央省庁の広報やチラシを読んで理解した 7. 件や市町村などの役場の広報やチラシを読んで理解した 8. 学校の広報(掲示板等)や避難訓練などで理解した 9. 職場の広報や避難訓練などで理解した 10. その他 ()</p>
Q4	<p>緊急地震速報には、発表の基準やお知らせの仕方が異なる「一般向けの緊急地震速報(警報)」と「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」の 2 種類があります。「一般向けの緊急地震速報(警報)」は、震度 5 弱以上の強い揺れを予想した場合に発表し、テレビやラジオ、携帯電話等を通じて、地震が発生した時間や震源地、震度 4 以上の揺れとなる地域名などを広く一般の方々にお知らせします。その際、強く揺れるまでの猶予時間は知らされません。一方、「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」は、震度 3 以上の揺れまたは地震の規模を示すマグニチュードが 3.5 以上を予想した場合に発表し、民間の予報事業者や情報配信事業者を通じて専用の受信機や受信ソフトウェアをお持ちの方々に伝えられます。お住まいの地域の震度や揺れが到達するまでの時間など詳細な情報を随時お知らせするため、「警報」が発表されない揺れの小さな地震を知りたい方や、地震の発生や揺れの到達を詳しく知りたい方が利用されています。ただし、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、「予報」の発表回数は「警報」に比べて 10 倍以上(通常は 1 日に数回程度)になります。あなたは、このように緊急地震速報に「警報」と「予報」の 2 種類あり、発表の基準やお知らせの仕方が異なることをご存知でしたか。</p> <p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>

Q5	<p>あなたは、「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」を利用したいと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用したい 2. 利用したくない 3. わからない
Q5-1	<p>■前問で「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」を「1. 利用したい」とお答えの方にお伺いします。■なぜ利用したいと思われたのですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報は多いほど良いと思うから 2. 一般向け緊急地震速報(警報)だけでは安心できないから 3. 仕事上で必要だから 4. 弱い揺れでも倒れたり壊れたりするものがあるから 5. 避難などの準備時間が長くとれるから 6. 余震の情報も知りたいから 7. 小さな地震の情報も知ること、日頃からの心構えができるから 8. その他(具体的に:)
Q5-2	<p>■前問で「高度利用者向け緊急地震速報(予報)」を「2. 利用したくない」「3. わからない」とお答えの方にお伺いします。■その理由は何ですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報が多過ぎると混乱するから 2. テレビやラジオの警報だけで十分だと思う 3. 自宅や職場では必要のないサービスだと思う 4. 揺れが来ることを直前に知っても役に立たないと思う 5. 複雑すぎて理解できそうもないから(使いこなせそうにないから) 6. 費用がかかりそうだから 7. その他(具体的に:)
Q6	<p>あなたは、2011年3月11日以降の地震で、緊急地震速報によって強い揺れが来ることを知り、自分や家族の身を守ったり、火を消すような行動をとったことがありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 何らかの行動をとったことがある 2. 何らかの行動をとろうとしたができなかった 3. 何の行動もとったことはない
Q6-1	<p>■前問で「3. 何の行動もとったことはない」とお答えの方にお伺いします。■なぜ、何の行動もとらなかったのですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どのような行動をとるべきかわからなかった 2. 驚いて何をしてよいかわからなかった 3. 行動する時間の余裕がなかった 4. これまでの大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った 5. 自分のいる場所は安全だと思った 6. 何をしても無駄だと思った 7. 周囲の人が何も行動していなかったから 8. 行動するのがはずかしかったから 9. その他(具体的に:)
Q7	<p>以降の設問分は、3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震についてお伺いします。</p> <p>3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震について、いつ、どこで発生した地震か、記憶にある範囲でお答えください。</p> <p>平成□年□月□日□時□分頃に、□□□を震源として起こった地震で受信。</p>

Q8	<p>その地震では、どこで緊急地震速報を見聞きしましたか。その場所の郵便番号が分かれば郵便番号を、わからなければ市町村名をお答えください。また、どのような場所で見聞きしたのか、あてはまるものに○を付けてください。</p> <p>郵便番号 □□□-□□□□</p> <p>緊急地震速報を受けた市町村名()</p>
Q8-3	<p>その緊急地震速報を見聞きした場所はどこですか。</p> <p>1. 自宅 2. 職場 3. 自宅・職場以外の屋内 4. 屋外 5. その他() 6. 覚えていない</p>
Q9	<p>その地震では、どのような方法で緊急地震速報を見聞きしましたか。(いくつでも)</p> <p>1. テレビ(地上波アナログテレビ、地上波デジタルテレビ) 2. ケーブルテレビ放送(CATV) 3. NHKのBS(衛星放送) 4. 民間放送のBS(衛星放送) 5. テレビだったが、どういった放送か覚えていない 6. NHKのラジオ放送(AM) 7. NHKのラジオ放送(FM) 8. 民間放送のラジオ(AM) 9. 民間放送のラジオ(FM) 10. コミュニティFM局 11. その他のラジオ放送(短波放送など) 12. ラジオだったが、どういった放送か覚えていない 13. 固定電話やファックス 14. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 15. スマートフォン(NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 16. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他) 17. パソコンのインターネットの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他) 18. 緊急地震速報の専用受信装置(端末) 19. マンションなどの多機能インターホン 20. エレベータ内の表示や放送 21. 学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送 22. その他の手段(具体的に：)</p>
Q10	<p>その地震では、緊急地震速報を見聞きしてから地震の揺れが来るまでにどのくらいの時間がありましたか。</p> <p>1. 1~5秒程度 2. 5~10秒程度 3. 10~20秒程度 4. 20秒以上 5. 揺れが始まってから見聞きした</p>
Q11	<p>その地震では、あなたのいた地域の震度はどのくらいでしたか。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 震度 2～3 2. 震度 4 3. 震度 5 弱 4. 震度 5 強 5. 震度 6 弱以上 6. わからない
Q12	<p>その地震では、あなたが緊急地震速報を見聞きしたとき、何をしていましたか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事をしていた 2. 会議中だった 3. 勉強中だった 4. 本や新聞などを読んでいた 5. パソコンを使用していた 6. くつろいでいた(休憩中だった) 7. 子どもなど身のまわりの人の世話をしていた 8. テレビを見ていた 9. ラジオを聞いていた 10. 音楽を聴いていた 11. 携帯電話を操作していた 12. 掃除・洗濯をしていた 13. 食事をつくっていた(炊事をしていた) 14. ごはんを食べていた 15. お風呂に入っていた 16. トイレに入っていた 17. 寝ていた 18. 公共交通機関で移動中だった 19. 歩いて移動中だった 20. その他(具体的に：) 21. はっきり覚えていない
Q12-1	<p>■前問で「17. 寝ていた」とお答えの方にお伺いします。■なぜ緊急地震速報に気付くことができたのですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 隣人(家族や友人、職場の人など)が起こしてくれた 2. 電源の入っていたテレビで気付いた 3. 電源の入っていたラジオで気づいた 4. 電源の入っていたパソコンで気付いた 5. 携帯電話に貼った緊急地震速報の着信で気付いた 6. 緊急地震速報の専用受信装置(端末)の警報で気付いた 7. 集合住宅の多機能インターホンが鳴って気付いた 8. 職場の館内放送など、屋内の公共の設備で気付いた 9. 防災無線放送など、屋外の公共の設備で気付いた 10. その他(具体的に：)
Q13	<p>あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動をあらかじめ決めていますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決めている 2. 決めていない
Q13-1	<p>■前問で「1. 決めている」とお答えの方にお伺いします。■具体的にどのような行動をとることにしていますか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などを押さえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子どもなど身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る(くつを履く) 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. その他(具体的に:) 15. 何も行動をとらないことにしている
Q13-2	<p>Q7 の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を見聞きしたとき、予め決めていた行動をとることができましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決めていた通りに行動できた 2. だいたい決めていた通りに行動できた 3. 決めていたようには行動できなかった 4. 何の行動もできなかった
Q13-3	<p>■前問で「1. 決めていた通りに行動できた」「2. だいたい決めていた通りに行動できた」とお答えの方にお伺いします。■以下の中で、「予め決めていた行動」の他にといった行動がありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などを押さえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子どもなど身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る(くつを履く) 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. その他(具体的に:) 15. 特になし
Q13-4	<p>「予め決めていた行動」以外で、こうしておけば良かったと思う行動があれば、どのようなことでも結構ですので、あなたのご意見をお聞かせください。(ご自由にお書きください)</p> <p>(自由回答)</p>
Q13-5	<p>■前問(問 13-2)で「3. 決めていたようには行動できなかった」とお答えの方にお伺いします。■なぜ予め決めていた行動ができなかったと思いますか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 突然だったので動転してしまった 2. 行動するには時間がなさすぎた 3. 家族や周囲の人を守るので精一杯だった 4. 家族や周囲の人に知らせるので精一杯だった 5. 避難するのに適切な場所がなかった 6. その時していたことをすぐにやめられなかった 7. 火元を消すので精一杯だった 8. 家具や棚を押さえるので精一杯だった 9. 外へ出ようと準備をしていたら避難できなくなった 10. お風呂やトイレに入っていて避難できなかった 11. 眠っていて咄嗟の対応がとれなかった 12. 眠っていて床から出るのが面倒だった 13. 周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思った 14. 行動するのがはずかしかった 15. その他(具体的に：)
Q13-6	<p>■前問(問 13)で「2. 決めていない」とお答えの方にお伺いします。■とるべき行動をあらかじめ決めていない理由があればお答えください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れの強さによって、とるべき行動が違うと思うから 2. 地震発生時に自分のいる場所がいつも同じとは限らないから 3. 地震発生時に自分のしていることがいつも同じとは限らないから 4. 揺れ始めたときに臨機応変に行動すればよいと思う 5. 緊急地震速報が出るような大きな地震なら、できることはほとんどないと思う 6. 日頃から決めなくてはいけないと思っているが、まだ決めていない 7. そもそも緊急地震速報を信用していないから 8. その他(具体的に：) 9. 特に理由はない
Q13-7	<p>Q7 の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を受けたときには、どのような行動をとりましたか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐった 2. 家具や棚などから離れた 3. 家具や棚などを押さえた 4. 周りの人に地震が来ることを知らせた 5. 子どもなど身のまわりの人を守った 6. 家の中の安全な場所に移動した 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保した 8. 外に出た 9. 外着を着た(くつを履いた) 10. テレビをつけるなど他の情報を得た 11. 火を消した 12. 予想された揺れまでカウントダウンをした 13. 誰かに知らせるために電話をした 14. その他(具体的に：) 15. 何の行動もとらなかった(とれなかった)
Q13-8	<p>■前問(Q13-2 または Q13-7)で「4. 何の行動もできなかった」または「15. 何の行動もとらなかった(とれなかった)」とお答えの方にお伺いします。■なぜ何の行動もとらなかった(とれなかった)のですか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 何をしてよいかわからなかった 2. 行動する時間の余裕がなかった 3. 予想震度が小さかったので、何もする必要はないと思った 4. 今までも大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った 5. 自分のいる場所は安全だと思った 6. 何をしても無駄だと思った 7. 周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思った 8. 行動するのがはずかしかった 9. その他(具体的に：) 10. 特に理由はない
Q13-9	<p>もし何らかの行動をするとしたら、何をすれば良かったと思いますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などを押さえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子どもなど身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る(くつを履く) 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. その他(具体的に：) 15. やはり何の行動もしない
Q14	<p>これまでの経験から、緊急地震速報はあなたの役に立っていると思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役に立っている 2. どちらかといえば役に立っている 3. どちらかといえば役に立っていない 4. 役に立っていない
Q14-1	<p>■前問で「1. 役に立っている」「2. どちらかといえば役に立っている」とお答えの方にお伺いします。■緊急地震速報はどのような点で役に立っていると思いますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心できる・心構えができる 2. 身構えることができる(避難などの行動ができる) 3. 冷静・迅速な行動ができる 4. 身を守ることができる 5. 周りの人を助けることができる 6. 訓練などの今後の対策につながる 7. 何らかの情報を得ることができる 8. その他(具体的に：)
Q14-2	<p>■前問(Q14)で「3. どちらかといえば役に立っていない」「4. 役に立っていない」とお答えの方にお伺いします。■緊急地震速報はなぜ役に立っていないとお考えですか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れが到達する前に速報を見聞きしても、対応できる余裕がないから 2. 地震の揺れが始まってから速報を見聞きすることもあり、対応できないから 3. 地震による強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかったから 4. 速報を見聞きしても気がつかないことが多かったから 5. 揺れたことがないから 6. その他(具体的に：)
Q15	<p>緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたの地震への備えに対する考え方は変わったと思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れが来ても慌てることがなくなった 2. 何度か受信したことで、素早い行動がとれるようになった 3. 地震への備え(避難行動など)を見直すきっかけとなった 4. 地震に対して興味を持つようになった 5. その他(具体的に：) 6. 特に変わらない
Q16	<p>緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたのご自宅や職場で、地震への備えとして新たに始めたことがありますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物や設備などの耐震補強を行った 2. コンピュータなどの装置や機械、設備などが安全に停止するようにした 3. 家具や書棚やロッカー、陳列棚などを倒れにくいようにした 4. 落下しそうなものを移動した 5. ガラスや食器が割れて飛び散らないようにした 6. ガスや電気が自動的に止まるようにした 7. コンピュータが安全にシャットダウンできるようにした 8. 携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した 9. 避難経路等を確認した 10. 地震発生時の行動について家族や職場で話し合った 11. 避難訓練(避難のシミュレーション)を行った 12. 家族や職員の連絡先や連絡方法を確認した 13. 非常食や水を用意した 14. 職員の携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した 15. 職場での客や社員の誘導方法の確認を行うようになった 16. その他(具体的に：) 17. 特に新たな対策はとっていない 18. 自宅や職場では緊急地震速報を知ることができない(テレビやラジオなどが無い)
Q17	<p>あなたは緊急地震速報をどのような場所で見聞きしたいと思いますか。次の中から、情報を見聞きしたいと思う場所があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も見聞きしたい場所を「ひとつだけ」、右の回答欄にお選びください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅のリビングやキッチン、居間 2. 自宅のトイレやふろ場 3. 学校や幼稚園・保育園 4. 職場や勤務先の現場 5. エレベーターの中 6. 外出先のトイレの中 7. 病院や診療所、介護施設などの医療施設 8. 役所や図書館、郵便局、銀行などの公共施設 9. レストランや喫茶店、その他の飲食施設 10. デパートやホームセンター、スーパーマーケット、ショッピングモールなどの大型集客施設 11. 商店街のアーケード 12. 車の中(自家用車の中) 13. 自転車やバイクの上 14. バスや電車、船の上などの公共交通機関の中 15. 公共交通機関の駅やプラットホーム 16. 路上(一般道路) 17. 高速道路のサービスエリア、パーキングエリア 18. 公園 19. 畑や田んぼ、温室など農作業の現場 20. 山の中 21. 海岸や港湾、海の近く 22. ビルの建築現場などの高所で 23. その他(具体的に：)
Q18	<p>あなたは緊急地震速報をどのような方法で見聞きたいですか。次の中から、希望する方法があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も希望する方法を「ひとつ」だけ、右の回答欄にお選びください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テレビ(CATVを含む)やラジオ 2. 固定電話やファックス 3. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 4. スマートフォン(NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 5. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他) 6. パソコンのインターネットの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他) 7. 緊急地震速報の専用受信装置(端末) 8. マンションなどの多機能インターホン 9. エレベータ内の表示や放送 10. 学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送 11. カーナビゲーション 12. バスや電車などの公共交通機関の中の放送 13. 防災無線などの公共放送 14. 地域の警鐘・警報音 15. 広報車 16. 工事現場、工場などでの放送 17. 役所の人、自治会の人呼びかけ 18. その他(具体的に：)
Q19	<p>あなたが緊急地震速報で知りたいと思う情報はどれですか。次の中から、知りたいと思う情報があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も知りたいと思う情報を「ひとつ」だけ、右の回答欄にお選びください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各地の予想震度(自分がいるところを含む) 2. 自分のいる場所に地震の揺れが到達するまでの猶予時間 3. 各地に地震の揺れが到達するまでの猶予時間 4. 震源の場所(地名) 5. 震源の深さ 6. 地震の規模(マグニチュード) 7. 地震の揺れが到達したときにとるべき行動 8. その他(具体的に：)
Q20	<p>今後、緊急地震速報双方を利用する上で実現してほしいことは何ですか。次の中から、お考えに合う内容があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も重要だと思う内容を「ひとつ」だけ、右の回答欄にお選びください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どんなとき、どんな場所でも緊急地震速報を受けることができる仕組みづくり 2. ノートパソコンやタブレット、携帯電話などで手軽に緊急地震速報が受けられること 3. 緊急地震速報の猶予時間の精度を上げること 4. 緊急地震速報の震度の精度を上げること 5. 地震の揺れが来るまでの短時間で何ができるのかを周知・広報すること 6. 緊急地震速報を使って日頃から訓練できること 7. 緊急地震速報の仕組みをもっとたくさんの人が理解すること 8. 緊急地震速報をもっとたくさんの人が知ること 9. 高度利用者向けの緊急地震速報(予報)の専用受信装置(端末)の値段が下がること 10. 高度利用者向けの緊急地震速報(予報)をもっと多くの人を知ることができること 11. その他(具体的に：) 12. そもそも緊急地震速報など必要ない
Q21	<p>緊急地震速報の内容を人々に理解してもらう上で、どんな方法が有効だと思いますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テレビやラジオの放送 2. 新聞や雑誌での紹介記事 3. 気象庁のホームページでの紹介 4. 気象庁以外のホームページでの紹介 5. 国土交通省や気象庁などの中央省庁の広報やチラシでの紹介 6. 庁や市町村などの役場の広報やチラシでの紹介 7. 学校での広報(掲示板等)や避難訓練での紹介 8. 職場での広報や避難訓練での紹介 9. その他(具体的に：)
Q22	<p>緊急地震速報の仕組みをもっと多くの人に知ってもらうためには、架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練を行ってはどうかという意見もあります。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. より多くの人々が緊急地震速報を理解して有効に活用するためには必要なことだと思う 2. 必要だと思うが、混乱がないよう実施方法をよく検討すべき 3. 本当の地震と間違ったり、混乱する可能性があるため、実施しないほうが良い 4. わからない

Q23	<p>現在、「一般向けの緊急地震速報(警報)が発表されるのは、予想される最大の震度が「5弱以上」の場合です。あなたは、この基準についてどう思いますか。基準となる震度を低くすると、今よりも頻繁に緊急地震速報が発表される一方、基準の震度を高くすると、より強い揺れが来る時しか緊急地震速報が発表されません。なお、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、基準の震度を低くすると緊急地震速報の発表回数は多くなります。(震度5弱以上の地震は少ない年で1年間に4~5回、多い年で数十回、平均すると10回程度発生しています。震度4の地震は震度5弱のおおむね5倍程度発生しています。)</p> <p>次の中からあなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の発表基準(最大震度)を上げて、より強い揺れが来る場合のみの発表で良い 2. 現在のままで良い 3. 現在の発表基準(最大震度)を下げて、弱い揺れでもわかるようにした方が良い 4. よくわからない
Q24	<p>地震の揺れには、長くゆっくりしたものもあり、これを長周期の地震(長周期震動)ともいいます。地震の揺れが長周期であることによって、気象庁が発表する地表の震度が小さくても高層ビルなどの高い建物が大きく揺れることがあります。あなたはこのことをご存知でしたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)
Q25	<p>現在の緊急地震速報では、地表の揺れの大きさ(震度)を予想して発表していますので、予想震度が小さくて緊急地震速報が発表されないときでも、長周期の地震動の場合には追う層ビルなどの高い建物が大きく揺れる場合があります。あなたは、緊急地震速報の中で、予想震度等以外にこのような長周期の地震動の予報を行うことについて、どう思われますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役に立つので実施したほうが良いと思う 2. どちらかといえば役に立つと思う 3. どちらかといえば役に立たないと思う 4. 役に立たないので実施しても意味がないと思う 5. どちらともいえない
Q26	<p>緊急地震速報のサービスは、継続的に改善をしていく必要があると考えられます。緊急地震速報の放送内容や携帯電話への配信、警報音、周知・広報に関することなど、どのようなことでも結構ですので、緊急地震速報に対するあなたのご意見があればお聞かせください。(ご自由にお書きください)</p> <p>(自由記述回答)</p>
Q27	<p>あなたのご職業をお教えてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会社員 2. 自営業 3. 農林水産業 4. パートタイム、アルバイト 5. 公務員 6. 主婦、家事手伝い 7. 学生 8. 無職 9. その他()
Q27-1	<p>■前問で「1. 会社員」「2. 自営業」「3. 農林水産業」「4. パートタイム、アルバイト」「5. 公務員」とお答えの方にお伺いします。■業種をお教えてください。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 1. 農業 2. 林業 3. 漁業 4. 鉱業 5. 建設業 6. 製造業 7. 電気・ガス・熱供給・水道業 8. 運搬・通信業 9. 卸売・小売業、飲食店 10. 金融・保険業 11. 不動産業 12. サービス業(放送業) 13. サービス業(医療業) 14. サービス業(教育) 15. サービス業(その他のサービス業) 16. 公務員(事務系) 17. 公務員(技術系) 18. 公務員(その他) 19. その他(具体的に：)
Q28	<p>あなたが同居しているご家族の構成をお教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子 4. 親と子と孫 5. その他()
Q28-1	<p>あなたを含めた同居家族の人数をお教えてください。</p> <p>(数値入力)</p>

Q1-4	ご利用のソフト（アプリ）はどのように入手されましたか。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. スマートフォンのアプリをダウンロードした 2. パソコン用のフリーソフトやシェアウェアをダウンロードした 3. 製品として購入した 4. サンプルを入手した 5. その他（具体的に： ）
Q2	ご利用の専用受信装置、パソコン、その他の装置のご利用回線（アクセス回線：通信事業者と自宅等を結ぶ回線）の種類がわかればお教えてください。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 光ファイバー 2. ADSL 3. ISDN 4. CATV（ケーブルテレビ回線） 5. 情報配信会社提供の専用線 6. マンション用インターホンのインターネット回線 7. アンテナにより衛星から情報を受信する 8. その他（具体的に： ） 9. わからない
Q3	ご利用の装置（パソコンを含む）はどこに置いてありますか。（いくつでも）
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅のリビング（居間） 7. 職場の代表者の部屋（社長室、会長室など） 2. 自宅のダイニング（食堂室） 8. 職場の事務部門のある部屋（総務部など） 3. 自宅のキッチン 9. 職場の社員の働いている部屋 4. 自宅の寝室 10. 職場の工場や倉庫の内部 5. 自宅の子供部屋 11. 職場の放送設備がある部屋（スタジオなど） 6. 自宅の書斎 12. その他（具体的に： ）
Q4	設定震度はどのくらいで受信するように設定していますか。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 震度に関係なく受信する 2. 震度2以上で受信する 3. 震度3以上で受信する 4. 震度4以上で受信する 5. 震度5弱以上で受信する 6. 震度5強以上で受信する 7. わからない 8. その他（具体的に： ）
Q5	なぜそのような震度の設定にしているのですか。最もあてはまるものをお答えください。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配信事業者がそのように設定したから 2. すべての地震で緊急地震速報を受信したいから 3. 設定の仕方がわからない 4. よくわからない 5. その他（具体的に： ）
Q6	ご利用の装置（ソフト・アプリ等）は、緊急地震速報をどのような方法（報知音や表示など）で知らせますか。（いくつでも）
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 震源や予測震度、地震の規模、猶予時間などを文字のみで表示する 2. 震源や予測震度、地震の規模、猶予時間などを文字に加え地図でも表示する 3. ランプが光ったり点滅する 4. 警告音（電子音声）が鳴る 5. 建物内に音声で放送が流れる 6. その他（具体的に： ）

Q7	<p>ご利用の装置(ソフト・アプリ等)は、音や文字で報知する機能のほかにどのような機能がありますか。具体的にお教えてください。特にない方は、なしとお答えください。</p> <p>例：・複数のパソコンなどにも同じ情報が配信できる ・電気やガスなどの自動シャットダウン装置が付加されている ・コンピュータや他の機器を安全にシャットダウンできる</p>
	<p>その他の機能（具体的に：）</p>
Q8	<p>緊急地震速報を受信できる装置（ソフト・アプリ等を含む）を導入したきっかけはどのようなことですか。（いくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.パンフレットを入手して興味を持った 2.テレビで知って興味を持った 3.会社で利用していて興味を持った 4.知人（関連会社等）から紹介されて興味をもった 5.自分や家族の身を守りたいと考えたから 6.職場の人の安全を守りたいと考えたから 7.棚や物など落下物が多いから 8.地震の情報をいち早く知りたいから 9.マンションや職場の入っているビル全戸で契約しているから 10.携帯電話のショップの人が教えてくれた（セッティングしてくれた） 11.その他（具体的に：）
Q9	<p>今のサービスを今後も使い続けたいと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.今後もこのサービスを使い続ける 2.様子を見てから判断する 3.他のサービスを検討中 4.このサービスは今後使わない 5.わからない
Q10	<p>今のサービスで改善して欲しい点があれば教えてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.予測精度を上げてほしい 2.報知音を分かりやすくして欲しい 3.報知音（電子音声）が鳴るようにして欲しい 4.表示を分かりやすくして欲しい 5.表示をもっと詳しくして欲しい 6.もっと分かりやすい.説明書が欲しい（配信事業者からもっと説明が受けたい） 7.定期的なメンテナンスをして欲しい 8.一箇所だけでなく、別の場所でも受け取れるようにして欲しい 9.料金を安くして欲しい 10.情報の遅延（遅れ）がないようにしてほしい 11.その他（具体的に：） 12.特になし
Q11	<p>緊急地震速報は、地震発生直後に地震計で観測したデータを分析して、震源地や震度、強い揺れが到達するまでの時間などの情報を、強い揺れが来る前に知らせる情報です。地震による揺れを実際に観測し、その震度や震源地などを 2～3 分後にお知らせする「震度速報」などの地震情報とは異なります。</p> <p>あなたは、「緊急地震速報」が「地震情報」と異なることをご存知でしたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)

Q12	<p>緊急地震速報は、地震発生直後に地震計で観測したデータを分析して発表します。このため、震源地に近いところでは、緊急地震速報の発表前や発表と同時に強く揺れることがあります。また、緊急地震速報で発表される予想震度の値は、プラスマイナス1程度の誤差を伴います。</p> <p>あなたは、このように震源地の場所によっては緊急地震速報より先に強い揺れが来る場合があることや、予測震度に誤差が生じることがあることを知っていましたか。</p>
	<p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>
Q13	<p>あなたは、緊急地震速報の内容をどのような方法で理解しましたか。(いくつでも)</p>
	<p>1. テレビやラジオの放送で理解した 2. 新聞や雑誌を読んで理解した 3. 気象庁のホームページを見て理解した 4. 気象庁以外のホームページを見て理解した 5. 人から聞いて理解した 6. 国土交通省や気象庁などの中央省庁の広報やチラシを読んで理解した 7. 県や市町村などの役場の広報やチラシを読んで理解した 8. 学校の広報(掲示板等)や避難訓練などで理解した 9. 職場の広報や避難訓練などで理解した 10. その他 ()</p>
Q14	<p>緊急地震速報には、発表の基準やお知らせの仕方が異なる「一般向けの緊急地震速報(警報)」と「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」の2種類があります。</p> <p>「一般向けの緊急地震速報(警報)」は、震度5弱以上の強い揺れを予想した場合に発表し、テレビやラジオ、携帯電話等を通じて、地震が発生した時間や震源地、震度4以上の揺れとなる地域名などを広く一般の方々にお知らせします。その際、強く揺れるまでの猶予時間は知らされません。</p> <p>一方、「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」は、震度3以上の揺れまたは地震の規模を示すマグニチュードが3.5以上を予想した場合に発表し、民間の予報事業者や情報配信事業者を通じて専用の受信機や受信ソフトウェアをお持ちの方々に伝えられます。お住まいの地域の震度や揺れが到達するまでの時間など詳細な情報を随時お知らせするため、「警報」が発表されない揺れの小さな地震を知りたい方や、地震の発生や揺れの到達を詳しく知りたい方が利用されています。ただし、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、「予報」の発表回数は「警報」に比べて10倍以上(通常は1日に数回程度)になります。</p> <p>あなたは、このように緊急地震速報に「警報」と「予報」の2種類あり、発表の基準やお知らせの仕方が異なることをご存知でしたか。</p>
	<p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>
Q15	<p>あなたは、2011年3月11日以降の地震で、緊急地震速報によって強い揺れが来ることを知り、自分や家族の身を守ったり、火を消すような行動をとったことがありますか。</p>
	<p>1. 何らかの行動をとったことがある 2. 何らかの行動をとろうとしたができなかった 3. 何の行動もとったことはない</p>
Q15-1	<p>■前問で「3. 何の行動もとったことはない」とお答えの方にお伺いします。■なぜ、何の行動もとらなかったのですか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. どのような行動をとるべきかわからなかった 2. 驚いて何をしてもよいか分からなかった 3. 行動する時間の余裕がなかった 4. これまでも大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った 5. 自分のいる場所は安全だと思った 6. 何をしても無駄だと思った 7. 周囲の人が何も行動していなかったから 8. 行動するのがはずかしかったから 9. その他（具体的に： ）
Q16	<p>■以降の設問文は、3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震についてお伺いします。</p> <p>3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震について、いつ、どこで発生した地震か、記憶にある範囲でお答えください。</p> <p>※震源地は、〇〇県、東北沖など、大まかなものでも結構です。</p> <p>平成 年 月 日 時 分頃に、 を震源として、起こった地震で受信した緊急地震速報（制限なし）</p>
Q17	<p>その地震では、どこで緊急地震速報を見聞きしましたか。その場所の郵便番号が分かれば郵便番号を、わからなければ市町村名をお答えください。また、どのような場所で見聞きしたのか、あてはまるものに○を付けてください。</p> <p>郵便番号 □□□-□□□□</p> <p>緊急地震速報を受けた市町村名()</p>
Q17-3	<p>見聞きした場所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅 2. 職場 3. 自宅・職場以外の屋内 4. 屋外 5. その他（ ） 6. 覚えていない
Q18	<p>その地震では、どのような方法で緊急地震速報を見聞きしましたか。（いくつでも）</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. テレビ（地上波アナログテレビ、地上波デジタルテレビ） 2. ケーブルテレビ放送（CATV） 3. NHK の BS（衛星放送） 4. 民間放送の BS（衛星放送） 5. テレビだったが、どういった放送か覚えていない 6. NHK のラジオ放送（AM） 7. NHK のラジオ放送（FM） 8. 民間放送のラジオ（AM） 9. 民間放送のラジオ（FM） 10. コミュニティ FM 局 11. その他のラジオ放送（短波放送など） 12. ラジオだったが、どういった放送か覚えていない 13. 固定電話やファックス 14. 携帯電話（スマートフォンは除く。NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス） 15. スマートフォン（NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス） 16. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ（ゆれくるコール、なまず速報 β、その他） 17. パソコンのインターネット緊急地震速報受信ソフト（SignalNow Express、その他） 18. 緊急地震速報の専用受信装置（端末） 19. マンションなどの多機能インターホン 20. エレベータ内の表示や放送 21. 学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送 22. その他の手段（具体的に： ）
Q19	<p>その地震では、緊急地震速報を見聞きしてから地震の揺れが来るまでにどのくらいの時間がありましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1～5 秒程度 2. 5～10 秒程度 3. 10～20 秒程度 4. 20 秒以上 5. 揺れが始まってから見聞きした
Q20	<p>その地震では、あなたのいた地域の震度はどのくらいでしたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 震度 2～3 2. 震度 4 3. 震度 5 弱 4. 震度 5 強 5. 震度 6 弱以上 6. わからない
Q21	<p>その地震では、あなたが緊急地震速報を見聞きしたとき、何をしていましたか。（いくつでも）</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事をしていた 2. 会議中だった 3. 勉強中だった 4. 本や新聞などを読んでいた 5. パソコンを使用していた 6. くつろいでいた（休憩中だった） 7. 子供など身のまわりの人の世話をしていた 8. テレビを見ていた 9. ラジオを聞いていた 10. 音楽を聴いていた 11. 携帯電話を操作していた 12. 掃除・洗濯をしていた 13. 食事を作っていた（炊事をしていた） 14. ごはんを食べていた 15. お風呂に入っていた 16. トイレに入っていた 17. 寝ていた 18. 公共交通機関で移動中だった 19. 歩いて移動中だった 20. その他（具体的に： ） 21. はっきり覚えていない
Q21-1	<p>■前問で「17. 寝ていた」とお答えの方にお伺いします■なぜ緊急地震速報に気付くことができたのですか。（いくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 隣人（家族や友人、職場の人など）が起こしてくれた 2. 電源の入っていたテレビで気付いた 3. 電源の入っていたラジオで気付いた 4. 電源の入っていたパソコンで気付いた 5. 携帯電話に入った緊急地震速報の着信で気付いた 6. 緊急地震速報の専用受信装置（端末）の警報で気付いた 7. 集合住宅の多機能インターホンが鳴って気付いた 8. 職場の館内放送など、屋内の公共の設備で気付いた 9. 防災無線放送など、屋外の公共の設備で気付いた 10. その他（具体的に： ）
Q22	<p>■全員にお伺いします。 あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動を予め決めていますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決めている 2. 決めていない
Q22-1	<p>■前問で「1. 決めている」とお答えの方にお伺いします■ 具体的にどのような行動をとることにしていますか。（いくつでも）</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 机などの下にもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などをおさえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子供など身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る（くつを履く） 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. その他（具体的に： ） 15. 何も行動をとらないことにしている
Q22-2	<p>Q7 の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を見聞きしたとき、予め決めていた行動をとることができましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決めていた通りに行動できた 2. だいたい決めていた通りに行動できた 3. 決めていたようには行動できなかった 4. 何の行動もできなかった
Q22-3	<p>■前問で「1. 決めていた通りに行動できた」「2. だいたい決めていた通りに行動できた」とお答えの方にお伺いします。■以下の中で、「予め決めていた行動」の他にとった行動がありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などを押さえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子どもなど身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る（くつを履く） 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. その他（具体的に： ） 15. 特になし
Q22-4	<p>「予め決めていた行動」以外で、こうしておけば良かったと思う行動があればどのようなことでも結構ですので、あなたのご意見をお聞かせください。（ご自由にお書きください）</p> <p>（自由回答）</p>
Q22-5	<p>■前問で「3. 決めていたように行動できなかった」とお答えの方にお伺いします■なぜ予め決めていた行動ができなかったと思いますか。（いくつでも）</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 突然だったので動転してしまった 2. 行動するには時間がなさすぎた 3. 家族や周囲の人を守るのでせいっぱいだっただ 4. 家族や周囲の人に知らせるのでせいっぱいだっただ 5. 避難するのに適切な場所がなかった 6. その時していたことをすぐにやめられなかった 7. 火元を消すのでせいっぱいだっただ 8. 家具や棚を抑えるのでせいっぱいだっただ 9. 外へ出ようと準備をしていたら避難できなくなった 10. お風呂やトイレに入っていて避難できなかった 11. 眠っていてとっさの対応がとれなかった 12. 眠っていて、床から出るのがめんどろだっただ 13. 周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思っただ 14. 行動するのがはずかしかった 15. その他（具体的に： ）
Q22-6	<p>■前問で「2. 決めていない」とお答えの方にお伺いします■ とるべき行動を予め決めていない理由があればお答えください。（いくつでも）</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れの強さによって、とるべき行動が違ろと思ろから 2. 地震発生時に自分のいる場所がいつも同じとは限らないから 3. 地震発生時に自分のしていることがいつも同じとは限らないから 4. 揺れ始めたときに臨機応変に行動すれば良いと思ろ 5. 緊急地震速報が出るような大きな地震なら、できることはほとんどないと思ろ 6. 日頃から決めなくてはいけないと思ろているが、まだ決めていない 7. そもそも緊急地震速報を信用していないから 8. その他（具体的に： ） 9. とくに理由はない
Q22-7	<p>Q16 の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を受けたときには、どのような行動をとりましたか。（いくつでも）</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 机などの下にもぐった 2. 家具や棚などから離れた 3. 家具や棚などをおさえた 4. 周囲の人に地震が来ることを知らせた 5. 子供など身のまわりの人を守った 6. 家の中の安全な場所に移動した 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保した 8. 外に出た 9. 外着を着た（くつを履いた） 10. テレビをつけるなど他の情報を得た 11. 火を消した 12. 予想された揺れまでカウントダウンをした 13. だれかに知らせるために電話をした 14. その他（具体的に： ） 15. 何の行動もとらなかった（とれなかった）
Q22-8	<p>もし何らかの行動をするとしたら、何をすればよかったと思ろいますか。（いくつでも）</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 机などの下にもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などをおさえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子供など身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る（くつを履く） 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. だれかに知らせるために電話をする 14. その他（具体的に： ） 15. やはり何の行動もしない
Q23	<p>■全員にお伺いします。 これまでの経験から、緊急地震速報はあなたの役に立っていると思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役に立っている 2. どちらかといえば役に立っている 3. どちらかといえば役に立っていない 4. 役に立っていない
Q23-1	<p>■前問で「1. 役に立っている」「2. どちらかといえば役に立っている」とお答えの方にお伺いします■ 緊急地震速報はどのような点で役に立っていると思いますか。（いくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心できる・心構えができる 2. 身構えることができる（避難などの行動ができる） 3. 冷静・迅速な行動が出来る 4. 身を守ることができる 5. まわりの人を助けることができる 6. 訓練などの今後の対策に繋がる 7. 何らかの情報を得ることができる 8. その他（具体的に： ）
Q23-2	<p>■前問で「3. どちらかといえば役に立っていない」「4. 役に立っていない」とお答えの方にお伺いします■ 緊急地震速報はなぜ役に立っていないとお考えですか。（いくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れが到達する前に速報を見聞きしても、対応できる余裕がないから 2. 地震の揺れが始まってから速報を見聞きすることもあり、対応できないから 3. 地震による強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかったから 4. 速報を見聞きしても気がつかないことが多かったから 5. 揺れたことがないから 6. その他（具体的に： ）
Q24	<p>■全員にお伺いします。 緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたの地震への備えに対する考え方は変わったと思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。（いくつでも）</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れが来ても慌てることがなくなった 2. 何度か受信したことで、素早い行動がとれるようになった 3. 地震への備え（避難行動など）を見直すきっかけとなった 4. 地震に対して興味を持つようになった 5. その他（具体的に： ） 6. 特に変わらない
Q25	<p>緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたのご自宅や職場で、地震への備えとして新たにはじめたことがありますか。（いくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物や設備などの耐震補強を行った 2. コンピュータなどの装置や機械、設備などが安全に停止するようにした 3. 家具や書棚やロッカー、陳列棚などを倒れにくいようにした 4. 落下しそうなものを移動した 5. ガラスや食器が割れて飛び散らないようにした 6. ガスや電気が自動的に止まるようにした 7. コンピュータが安全にシャットダウンできるようにした 8. 携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した 9. 避難経路等を確認した 10. 地震発生時の行動について家族や職場で話し合った 11. 避難訓練（避難のシミュレーション）を行った 12. 家族や職員の連絡先や連絡方法を確認した 13. 非常食や水を用意した 14. 職員の携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した 15. 職場での客や社員の誘導方法の確認を行うようになった 16. その他（具体的に： ） 17. とくに新たな対策はとっていない（排他） 18. 自宅や職場では緊急地震速報を知ることができない（テレビやラジオなどが無い）（排他）
Q26	<p>あなたは緊急地震速報をどのような場所で見聞きしたいと思いますか。次の中から、情報を見聞きしたいと思う場所があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も見聞きしたい場所を「ひとつだけ」、右の回答欄にお選びください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅のリビングやキッチン、居間 2. 自宅のトイレやふろ場 3. 学校や幼稚園・保育園 4. 職場や勤務先の現場 5. エレベーターの中 6. 外出先のトイレの中 7. 病院や診療所、介護施設などの医療施設 8. 役所や図書館、郵便局、銀行などの公共施設 9. レストランや喫茶店、その他の飲食施設 10. デパートやホームセンター、スーパーマーケット、ショッピングモールなどの大型集客施設 11. 商店街のアーケード 12. 車の中(自家用車の中) 13. 自転車やバイクの上 14. バスや電車、船の上などの公共交通機関の中 15. 公共交通機関の駅やプラットホーム 16. 路上(一般道路) 17. 高速道路のサービスエリア、パーキングエリア 18. 公園 19. 畑や田んぼ、温室など農作業の現場 20. 山の中 21. 海岸や港湾、海の近く 22. ビルの建築現場などの高所で 23. その他(具体的に：)
Q27	<p>あなたは緊急地震速報をどのような方法で見聞きたいですか。次の中から、希望する方法があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も希望する方法を「ひとつ」だけ、右の回答欄にお選びください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テレビ(CATVを含む)やラジオ 2. 固定電話やファックス 3. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 4. スマートフォン(NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 5. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他) 6. パソコンのインターネットの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他) 7. 緊急地震速報の専用受信装置(端末) 8. マンションなどの多機能インターホン 9. エレベーター内の表示や放送 10. 学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送 11. カーナビゲーション 12. バスや電車などの公共交通機関の中の放送 13. 防災無線などの公共放送 14. 地域の警鐘・警報音 15. 広報車 16. 工事現場、工場などでの放送 17. 役所の人、自治会の人呼びかけ 18. その他(具体的に：)
Q28	<p>あなたが緊急地震速報で知りたいと思う情報はどれですか。次の中から、知りたいと思う情報があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も知りたいと思う情報を「ひとつ」だけ、右の回答欄にお選びください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各地の予想震度(自分がいるところを含む) 2. 自分のいる場所に地震の揺れが到達するまでの猶予時間 3. 各地に地震の揺れが到達するまでの猶予時間 4. 震源の場所(地名) 5. 震源の深さ 6. 地震の規模(マグニチュード) 7. 地震の揺れが到達したときにとるべき行動 8. その他(具体的に：)
Q29	<p>今後、緊急地震双方を利用する上で実現してほしいことは何ですか。次の中から、お考えに合う内容があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も重要だと思う内容を「ひとつ」だけ、右の回答欄にお選びください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どんなとき、どんな場所でも緊急地震速報を受けられることができる仕組みづくり 2. ノートパソコンやタブレット、携帯電話などで手軽に緊急地震速報が受けられること 3. 緊急地震速報の猶予時間の精度を上げること 4. 緊急地震速報の震度の精度を上げること 5. 地震の揺れが来るまでの短時間で何ができるのかを周知・広報すること 6. 緊急地震速報を使って日頃から訓練できること 7. 緊急地震速報の仕組みをもっとたくさんの人が理解すること 8. 緊急地震速報をもっとたくさんの人が知ること 9. 高度利用者向けの緊急地震速報(予報)の専用受信装置(端末)の値段が下がること 10. 高度利用者向けの緊急地震速報(予報)をもっと多くの人が知ることができること 11. その他(具体的に：) 12. そもそも緊急地震速報など必要ない
Q30	<p>緊急地震速報の内容を人々に理解してもらう上で、どんな方法が有効だと思いますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テレビやラジオの放送 2. 新聞や雑誌での紹介記事 3. 気象庁のホームページでの紹介 4. 気象庁以外のホームページでの紹介 5. 国土交通省や気象庁などの中央省庁の広報やチラシでの紹介 6. 県や市町村などの役場の広報やチラシでの紹介 7. 学校での広報(掲示板等)や避難訓練での紹介 8. 職場での広報や避難訓練での紹介 9. その他()
Q31	<p>緊急地震速報のしくみをもっと多くの人に知ってもらうためには、架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練を行ってはどうかという意見もあります。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. より多くの人が緊急地震速報を理解して有効に活用するためには必要なことだと思う 2. 必要だと思うが、混乱がないよう実施方法をよく検討すべき 3. 本当の地震と間違ったり、混乱する可能性があるので、実施しないほうが良い 4. わからない
Q32	<p>現在、「一般向けの緊急地震速報(警報)」が発表されるのは、予想される最大の震度が「5弱以上」の場合です。あなたは、この基準についてどう思いますか。基準となる震度を低くすると、今よりも頻繁に緊急地震速報が発表される一方、基準の震度を高くすると、より強い揺れが来るときしか緊急地震速報が発表されません。なお、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、基準の震度を低くすると緊急地震速報の発表回数は多くなります。(震度5弱以上の地震は少ない年で1年間に4~5回、多い年で数十回、平均すると10回程度発生しています。震度4の地震は震度5弱のおおむね5倍程度発生しています。)</p> <p>次の中からあなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の発表基準（最大震度）を上げて、より強い揺れが来る場合のみの発表でよい 2. 現在のままでよい 3. 現在の発表基準（最大震度）を下げて、弱い揺れでもわかるようにした方がよい 4. よくわからない
Q33	<p>地震の揺れには、長くゆっくりしたものもあり、これを長周期の地震（長周期震動）といいます。地震の揺れが長周期であることによって、気象庁が発表する地表の震度が小さくても高層ビルなどの高い建物が大きく揺れることがあります。あなたは、このことをご存じでしたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知っていた 2. 知らなかった（このアンケートで初めて知った）
Q34	<p>現在の緊急地震速報では、地表の揺れの大きさ（震度）を予想して発表していますので、予想震度が小さくて緊急地震速報が発表されないときでも、長周期の地震動の場合には高層ビルなどの高い建物が大きく揺れる場合があります。あなたは、緊急地震速報の中で、予想震度等以外にこのような長周期の震動の予報を行うことについて、どう思われますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役に立つので実施した方が良いと思う 2. どちらかといえば役に立つと思う 3. どちらかといえば役に立たないと思う 4. 役に立たないので実施しても意味がないと思う 5. どちらともいえない
Q35	<p>緊急地震速報のサービスは、継続的に改善をしていく必要があると考えられます。緊急地震速報の放送内容や携帯電話への配信、警報音、周知・広報に関する事など、どのようなことでも結構ですので、緊急地震速報に対するあなたのご意見があればお聞かせください。（ご自由にお書きください）</p> <p>（自由回答）</p>
Q36	<p>あなたのご職業をお教えてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会社員 2. 自営業 3. 農林水産業 4. パートタイム、アルバイト 5. 公務員 6. 主婦、家事手伝い 7. 学生 8. 無職 9. その他（ ）
Q36-1	<p>■前問で「1. 会社員」「2. 自営業」「3. 農林水産業」「4. パートタイム、アルバイト」「5. 公務員」とお答えの方にお伺いします。■業種をお教えてください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業 2. 林業 3. 漁業 4. 鉱業 5. 建設業 6. 製造業 7. 電気・ガス・熱供給・水道業 8. 運輸・通信業 9. 卸売・小売業、飲食店 10. 金融・保険業 11. 不動産業 12. サービス業（放送業） 13. サービス業（医療業） 14. サービス業（教育） 15. サービス業（その他のサービス業） 16. 公務員（事務系） 17. 公務員（技術系） 18. 公務員（その他） 19. その他（具体的に： ）
Q37	<p>あなたが同居しているご家族の構成をお教えてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子 4. 親と子と孫 5. その他（ ）
Q37-1	<p>あなたを含めた同居家族の人数をお教えてください。（半角数字でご記入ください）</p> <p>（数値入力）</p>

ウ WEB モニター調査

郵送質問紙調査（以下、質問紙調査）で用いた査項目を示す。なお、実際の調査で使用された調査票は巻末資料に添付する。

【質問紙調査】調査項目	
Q1	<p>緊急地震速報は、地震発生直後に地震計で観測したデータを分析して、震源地や震度、強い揺れが到達するまでの時間などの情報を、強い揺れが来る前に知らせる情報です。地震による揺れを実際に観測し、その震度や震源地などを2～3分以内にお知らせする「震度速報」などの地震情報とは異なります。</p> <p>あなたは、「緊急地震速報」が「地震情報」と異なることをご存知でしたか。</p> <p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>
Q2	<p>緊急地震速報は、地震発生直後に地震計で観測したデータを分析して発表します。このため、震源地に近いところでは、緊急地震速報の発表前や発表と同時に強く揺れることがあります。また、緊急地震速報で発表される予想震度の値は、プラスマイナス1程度の誤差を伴います。</p> <p>あなたは、このように震源地の場所によっては緊急地震速報より先に強い揺れが来る場合があることや、予想震度に誤差が生じることがあることを知っていましたか。</p> <p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>
Q3	<p>緊急地震速報には、発表の基準やお知らせの仕方が異なる「一般向けの緊急地震速報(警報)」と「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」の2種類があります。</p> <p>「一般向けの緊急地震速報(警報)」は、震度5弱以上の強い揺れを予想した場合に発表し、テレビやラジオ、携帯電話等を通じて、地震が発生した時間や震源地、震度4以上の揺れとなる地域名などを広く一般の方々にお知らせします。その際、強く揺れるまでの猶予時間は知らされません。</p> <p>一方、「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」は、震度3以上の揺れまたは地震の規模を示すマグニチュードが3.5以上を予想した場合に発表し、民間の予報事業者や情報配信事業者を通じて専用の受信機や受信ソフトウェアをお持ちの方々に伝えられます。お住まいの地域の震度や揺れが到達するまでの時間など詳細な情報を随時お知らせするため、「警報」が発表されない揺れの小さな地震を知りたい方や、地震の発生や揺れの到達を詳しく知りたい方が利用されています。ただし、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、「予報」の発表回数は「警報」に比べて10倍以上（通常は1日に数回程度）になります。</p> <p>あなたは、このように緊急地震速報に「警報」と「予報」の2種類あり、発表の基準やお知らせの仕方が異なることをご存知でしたか。</p> <p>1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)</p>
Q4	<p>あなたは、「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」を利用したいと思いますか。</p> <p>1. 利用したい 2. 利用したくない 3. わからない</p>
Q4-1	<p>■前問で「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」を「1. 利用したい」とお答えの方にお伺いします。■なぜ利用したいと思われたのですか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報は多いほど良いと思うから 2. 一般向け緊急地震速報(警報)だけでは安心できないから 3. 仕事上で必要だから 4. 弱い揺れでも倒れたり壊れたりするものがあるから 5. 避難などの準備時間が長くとれるから 6. 余震の情報も知りたいから 7. 小さな地震の情報も知ることで、日頃からの心構えができるから 8. その他(具体的に:)
Q4-2	<p>■前問で「高度利用者向け緊急地震速報(予報)」を「2. 利用したくない」「3. わからない」とお答えの方にお伺いします。■その理由は何ですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報が多過ぎると混乱するから 2. テレビやラジオの警報だけで十分だと思う 3. 自宅や職場では必要のないサービスだと思う 4. 揺れが来ることを直前に知っても役に立たないと思う 5. 複雑すぎて理解できそうもないから(使いこなせそうにないから) 6. 費用がかかりそうだから 7. その他(具体的に:)
Q5	<p>あなたは、2011年3月11日以降の地震で、緊急地震速報によって強い揺れが来ることを知り、自分や家族の身を守ったり、火を消すような行動をとったことがありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 何らかの行動をとったことがある 2. 何らかの行動をとろうとしたができなかった 3. 何の行動もとったことはない
Q5-1	<p>■前問で「3. 何の行動もとったことはない」とお答えの方にお伺いします。■なぜ、何の行動もとらなかったのですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どのような行動をとるべきかわからなかった 2. 驚いて何をしようかわからなかった 3. 行動する時間の余裕がなかった 4. これまでの大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った 5. 自分のいる場所は安全だと思った 6. 何をしても無駄だと思った 7. 周囲の人が何も行動していなかったから 8. 行動するのがはずかしかったから 9. その他(具体的に:)
Q6	<p>以降の設問分は、3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震についてお伺いします。 3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震について、いつ、どこで発生した地震か、記憶にある範囲でお答えください。</p> <p>平成□年□月□日□時□分頃に、□□□を震源として起こった地震で受信。</p>
Q7	<p>その地震では、どこで緊急地震速報を見聞きしましたか。その場所の郵便番号が分かれば郵便番号を、わからなければ市町村名をお答えください。また、どのような場所で見聞きしたのか、あてはまるものに○を付けてください。</p> <p>郵便番号 □□□-□□□□ 緊急地震速報を受けた市町村名()</p> <p>その緊急地震速報を見聞きした場所はどこですか。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅 2. 職場 3. 自宅・職場以外の屋内 4. 屋外 5. その他() 6. 覚えていない
Q8	<p>その地震では、どのような方法で緊急地震速報を見聞きしましたか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テレビ(地上波アナログテレビ、地上波デジタルテレビ) 2. ケーブルテレビ放送(CATV) 3. NHKのBS(衛星放送) 4. 民間放送のBS(衛星放送) 5. テレビだったが、どういった放送か覚えていない 6. NHKのラジオ放送(AM) 7. NHKのラジオ放送(FM) 8. 民間放送のラジオ(AM) 9. 民間放送のラジオ(FM) 10. コミュニティFM局 11. その他のラジオ放送(短波放送など) 12. ラジオだったが、どういった放送か覚えていない 13. 固定電話やファックス 14. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 15. スマートフォン(NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 16. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他) 17. パソコンのインターネットの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他) 18. 緊急地震速報の専用受信装置(端末) 19. マンションなどの多機能インターホン 20. エレベータ内の表示や放送 21. 学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送 22. その他の手段(具体的に：)
Q9	<p>その地震では、緊急地震速報を見聞きしてから地震の揺れが来るまでにどのくらいの時間がありましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1～5秒程度 5～10秒程度 10～20秒程度 20秒以上 揺れが始まってから見聞きした
Q10	<p>その地震では、あなたのいた地域の震度はどのくらいでしたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 震度2～3 2. 震度4 3. 震度5弱 4. 震度5強 5. 震度6弱以上 6. わからない
Q11	<p>その地震では、あなたが緊急地震速報を見聞きしたとき、何をしていましたか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事をしていた 2. 会議中だった 3. 勉強中だった 4. 本や新聞などを読んでいた 5. パソコンを使用していた 6. くつろいでいた(休憩中だった) 7. 子どもなど身のまわりの人の世話をしていた 8. テレビを見ていた 9. ラジオを聞いていた 10. 音楽を聴いていた 11. 携帯電話を操作していた 12. 掃除・洗濯をしていた 13. 食事をつくっていた(炊事をしていた) 14. ごはんを食べていた 15. お風呂に入っていた 16. トイレに入っていた 17. 寝ていた 18. 公共交通機関で移動中だった 19. 歩いて移動中だった 20. はっきり覚えていない 21. その他(具体的に：)
Q11-1	<p>■前問で「17. 寝ていた」とお答えの方にお伺いします。■なぜ緊急地震速報に気付くことができたのですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 隣人(家族や友人、職場の人など)が起こしてくれた 2. 電源の入っていたテレビで気付いた 3. 電源の入っていたラジオで気づいた 4. 電源の入っていたパソコンで気付いた 5. 携帯電話に貼った緊急地震速報の着信で気付いた 6. 緊急地震速報の専用受信装置(端末)の警報で気付いた 7. 集合住宅の多機能インターホンが鳴って気付いた 8. 職場の館内放送など、屋内の公共の設備で気付いた 9. 防災無線放送など、屋外の公共の設備で気付いた 10. その他(具体的に：)
Q12	<p>あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動をあらかじめ決めていますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決めている 2. 決めていない
Q12-1	<p>■前問で「1. 決めている」とお答えの方にお伺いします。■具体的にどのような行動をとることにしていますか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などを押さえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子どもなど身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る(くつを履く) 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. 何も行動をとらないことにしている 15. その他(具体的に：)
Q12-2	<p>Q6の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を見聞きしたとき、予め決めていた行動をとることができましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決めていた通りに行動できた 2. だいたい決めていた通りに行動できた 3. 決めていたようには行動できなかった 4. 何の行動もできなかった
Q12-3	<p>■前問で「1. 決めていた通りに行動できた」「2. だいたい決めていた通りに行動できた」とお答えの方にお伺いします。■以下の中で、「予め決めていた行動」の他にとった行動がありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などを押さえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子どもなど身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る(くつを履く) 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. その他(具体的に：)
Q12-4	<p>「予め決めていた行動」以外で、こうしておけば良かったと思う行動があれば、どのようなことでも結構ですので、あなたのご意見をお聞かせください。(ご自由にお書きください)</p> <p>(自由回答)</p>
Q12-5	<p>■前問(問 12-2)で「3. 決めていたようには行動できなかった」とお答えの方にお伺いします。■なぜ予め決めていた行動ができなかったと思いますか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 突然だったので動転してしまった 2. 行動するには時間がなさすぎた 3. 家族や周囲の人を守るので精一杯だった 4. 家族や周囲の人に知らせるので精一杯だった 5. 避難するのに適切な場所がなかった 6. その時していたことをすぐにやめられなかった 7. 火元を消すので精一杯だった 8. 家具や棚を押さえるので精一杯だった 9. 外へ出ようと準備をしていたら避難できなくなった 10. お風呂やトイレに入っていて避難できなかった 11. 眠っていて咄嗟の対応がとれなかった 12. 眠っていて床から出るのが面倒だった 14. 周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思った 15. 行動するのがはずかしかった 16. その他(具体的に：)
Q12-6	<p>■前問(問 12)で「2. 決めていない」とお答えの方にお伺いします。■とるべき行動をあらかじめ決めていない理由があればお答えください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れの強さによって、とるべき行動が違うと思うから 2. 地震発生時に自分のいる場所がいつも同じとは限らないから 3. 地震発生時に自分のしていることがいつも同じとは限らないから 4. 揺れ始めたときに臨機応変に行動すればよいと思う 5. 緊急地震速報が出るような大きな地震なら、できることはほとんどないと思う 6. 日頃から決めなくてはいけないと思っているが、まだ決めていない 7. そもそも緊急地震速報を信用していないから 8. 特に理由はない 9. その他(具体的に：)
Q12-7	<p>Q6 の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を受けたときには、どのような行動をとりましたか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐった 2. 家具や棚などから離れた 3. 家具や棚などを押さえた 4. 周りの人に地震が来ることを知らせた 5. 子どもなど身のまわりの人を守った 6. 家の中の安全な場所に移動した 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保した 8. 外に出た 9. 外着を着た(くつを履いた) 10. テレビをつけるなど他の情報を得た 11. 火を消した 12. 予想された揺れまでカウントダウンをした 13. 誰かに知らせるために電話をした 14. その他(具体的に：) 15. 何の行動もとらなかった(とれなかった)
Q12-8	<p>■前問(Q12-2 または Q13-7)で「4. 何の行動もできなかった」または「15. 何の行動もとらなかった(とれなかった)」とお答えの方にお伺いします。■なぜ何の行動もとらなかった(とれなかった)のですか。(いくつでも)</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 何をしてよいかわからなかった 2. 行動する時間の余裕がなかった 3. 予想震度が小さかったので、何もする必要はないと思った 4. 今までも大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った 5. 自分のいる場所は安全だと思った 6. 何をしても無駄だと思った 7. 周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思った 8. 行動するのがはずかしかった 9. その他(具体的に：)
Q12-9	<p>もし何らかの行動をするとしたら、何をすれば良かったと思いますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机の下などにもぐる 2. 家具や棚などから離れる 3. 家具や棚などを押さえる 4. 周りの人に地震が来ることを知らせる 5. 子どもなど身のまわりの人を守る 6. 家の中の安全な場所に移動する 7. ドアなどを開けて逃げ道を確保する 8. 外に出る 9. 外着を着る(くつを履く) 10. テレビをつけるなど他の情報を得る 11. 火を消す 12. 予想された揺れまでカウントダウンをする 13. 誰かに知らせるために電話をする 14. やはり何の行動もしない 15. その他(具体的に：)
Q13	<p>これまでの経験から、緊急地震速報はあなたの役に立っていると思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 役に立っている 2. どちらかといえば役に立っている 3. どちらかといえば役に立っていない 4. 役に立っていない
Q13-1	<p>■前問で「1. 役に立っている」「2. どちらかといえば役に立っている」とお答えの方にお伺いします。■緊急地震速報はどのような点で役に立っていると思いますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心できる・心構えができる 2. 身構えることができる(避難などの行動ができる) 3. 冷静・迅速な行動ができる 4. 身を守ることができる 5. 周りの人を助けることができる 6. 訓練などの今後の対策につながる 7. 何らかの情報を得ることができる 8. その他(具体的に：)
Q13-2	<p>■前問(Q13)で「3. どちらかといえば役に立っていない」「4. 役に立っていない」とお答えの方にお伺いします。■緊急地震速報はなぜ役に立っていないとお考えですか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れが到達する前に速報を見聞きしても、対応できる余裕がないから 2. 地震の揺れが始まってから速報を見聞きすることもあり、対応できないから 3. 地震による強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかったから 4. 速報を見聞きしても気がつかないことが多かったから 5. 揺れたことがないから 6. その他(具体的に：)

Q14	<p>緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたの地震への備えに対する考え方は変わったと思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震の揺れが来ても慌てることがなくなった 2. 何度か受信したことで、素早い行動がとれるようになった 3. 地震への備え(避難行動など)を見直すきっかけとなった 4. 地震に対して興味を持つようになった 5. 特に変わらない 6. その他(具体的に：)
Q15	<p>緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたのご自宅や職場で、地震への備えとして新たに始めたことがありますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物や設備などの耐震補強を行った 2. コンピュータなどの装置や機械、設備などが安全に停止するようにした 3. 家具や書棚やロッカー、陳列棚などを倒れにくいようにした 4. 落下しそうなものを移動した 5. ガラスや食器が割れて飛び散らないようにした 6. ガスや電気が自動的に止まるようにした 7. コンピュータが安全にシャットダウンできるようにした 8. 携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した 9. 避難経路等を確認した 10. 地震発生時の行動について家族や職場で話し合った 11. 避難訓練(避難のシミュレーション)を行った 12. 家族や職員の連絡先や連絡方法を確認した 13. 非常食や水を用意した 14. 職員の携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した 15. 職場での客や社員の誘導方法の確認を行うようになった 16. その他(具体的に：) 17. 特に新たな対策はとっていない 18. 自宅や職場では緊急地震速報を知ることができない(テレビやラジオなどが無い)

Q16	<p>あなたは緊急地震速報をどのような場所で見聞きしたいと思いますか。次の中から、最も知りたいと思う場所を「ひとつ」選んで、その番号をお書きください。その他、緊急地震速報を知りたいと思う場所があれば番号に○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅のリビングやキッチン、居間 2. 自宅のトイレやふろ場 3. 学校や幼稚園・保育園 4. 職場や勤務先の現場 5. エレベーターの中 6. 外出先のトイレの中 7. 病院や診療所、介護施設などの医療施設 8. 役所や図書館、郵便局、銀行などの公共施設 9. レストランや喫茶店、その他の飲食施設 10. デパートやホームセンター、スーパーマーケット、ショッピングモールなどの大型集客施設 11. 商店街のアーケード 12. 車の中(自家用車の中) 13. 自転車やバイクの上 14. バスや電車、船の上などの公共交通機関の中 15. 公共交通機関の駅やプラットホーム 16. 路上(一般道路) 17. 高速道路のサービスエリア、パーキングエリア 18. 公園 19. 畑や田んぼ、温室など農作業の現場 20. 山の中 21. 海岸や港湾、海の近く 22. ビルの建築現場などの高所で 23. その他(具体的に：)
Q17	<p>あなたは緊急地震速報をどのような方法で見聞きしたいですか。次の中から、最も受け取りたい方法を「ひとつ」選んで、その番号をお書きください。その他、希望する方法があれば番号に○をつけてください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. テレビ(CATVを含む)やラジオ 2. 固定電話やファックス 3. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 4. スマートフォン(NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他) 5. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他) 6. パソコンのインターネットの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他) 7. 緊急地震速報の専用受信装置(端末) 8. マンションなどの多機能インターホン 9. エレベータ内の表示や放送 10. 学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送 11. カーナビゲーション 12. バスや電車などの公共交通機関の中の放送 13. 防災無線などの公共放送 14. 地域の警鐘・警報音 15. 広報車 16. 工事現場、工場などでの放送 17. 役所の人、自治会の人呼びかけ 18. その他(具体的に：)
Q18	<p>あなたが緊急地震速報で知りたいと思う情報はどれですか。次の中から、最も知りたいと思う内容を「ひとつ」選んで、その番号をお書きください。その他、知りたいと思う内容があれば番号に○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各地の予想震度(自分がいるところを含む) 2. 自分のいる場所に地震の揺れが到達するまでの猶予時間 3. 各地に地震の揺れが到達するまでの猶予時間 4. 震源の場所(地名) 5. 震源の深さ 6. 地震の規模(マグニチュード) 7. 地震の揺れが到達したときにとるべき行動 8. その他(具体的に：)
Q19	<p>今後、緊急地震速報双方を利用する上で実現してほしいことは何ですか。次の中から、最も重要だと思う内容を「ひとつ」選んで、その番号をお書きください。その他、お考えに合う内容があれば番号に○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どんなとき、どんな場所でも緊急地震速報を受けられる仕組みづくり 2. ノートパソコンやタブレット、携帯電話などで手軽に緊急地震速報を受けられること 3. 緊急地震速報の猶予時間の精度を上げること 4. 緊急地震速報の震度の精度を上げること 5. 地震の揺れが来るまでの短時間で何ができるのかを周知・広報すること 6. 緊急地震速報を使って日頃から訓練できること 7. 緊急地震速報の仕組みをもっとたくさんの人が理解すること 8. 緊急地震速報をもっとたくさんの人が知ること 9. 高度利用者向けの緊急地震速報(予報)の専用受信装置(端末)の値段が下がること 10. 高度利用者向けの緊急地震速報(予報)をもっと多くの人を知ることができること 11. そもそも緊急地震速報など必要ない 12. その他(具体的に：)

Q20	<p>緊急地震速報のしくみをもと多くの人に知ってもらうためには、架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練を行ってはどうかという意見もあります。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急地震速報の認知度や理解度を上げるためには必要なことだと思う 2. 必要だと思うが、混乱がないよう、内容についてはよく検討すべきだ 3. 本当の地震と間違える可能性があるため、実施しないほうがよい 4. わからない
Q21	<p>現在、「一般向けの緊急地震速報(警報)が発表されるのは、予想される最大の震度が「5弱以上」の場合です。あなたは、この基準についてどう思いますか。基準となる震度を低くすると、今よりも頻繁に緊急地震速報が発表される一方、基準の震度を高くすると、より強い揺れが来る時しか緊急地震速報が発表されません。なお、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、基準の震度を低くすると緊急地震速報の発表回数は多くなります。(震度5弱以上の地震は少ない年で1年間に4~5回、多い年で数十回、平均すると10回程度発生しています。震度4の地震は震度5弱のおおむね5倍程度発生しています。)</p> <p>次の中からあなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の発表基準(最大震度)を上げて、より強い揺れが来る場合のみの発表で良い 2. 現在のままで良い 3. 現在の発表基準(最大震度)を下げて、弱い揺れでもわかるようにした方が良い 4. よくわからない
Q22	<p>地震の揺れには、長くゆっくりしたものもあり、これを長周期の地震(長周期震動)ともいいます。地震の揺れが長周期であることによって、気象庁が発表する地表の震度が小さくても高層ビルなどの高い建物が大きく揺れることがあります。</p> <p>あなたはこのことをご存知でしたか。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知っていた 2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)
Q23	<p>現在の緊急地震速報では、地表の揺れの大きさ(震度)を予想して発表していますので、予想震度が小さくて緊急地震速報が発表されないときでも、長周期の地震動の場合には追う層ビルなどの高い建物が大きく揺れる場合があります。</p> <p>あなたは、緊急地震速報の中で、予想震度等以外にこのような長周期の地震動の予報を行うことについて、どう思われますか。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役に立つので実施したほうが良いと思う 2. どちらかといえば役に立つと思う 3. どちらかといえば役に立たないと思う 4. 役に立たないので実施しても意味がないと思う 5. どちらともいえない
Q24	<p>これまでに緊急地震速報を見聞きして、身を守ることができるなどの成功例や、有効に活用できなかった失敗例などがございましたら、できるだけ具体的にお教えてください。</p>
	<p>(自由記述回答)</p>
Q25	<p>今後の緊急地震速報のサービスを続けていくにあたっては、多くの改善が必要と考えられます。緊急地震速報のテレビなどでの放送内容や警報音、周知・広報やその他どのようなことでも結構ですので、ご意見があればお聞かせください。</p>
	<p>(自由記述回答)</p>
Q26	<p>あなたのご職業をお教えてください。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社員 2. 自営業 3. 農林水産業 4. パートタイム、アルバイト 5. 公務員 6. 主婦、家事手伝い 7. 学生 8. 無職
Q26-1	<p>■前問で「1. 会社員」「2. 自営業」「3. 農林水産業」「4. パートタイム、アルバイト」「5. 公務員」とお答えの方にお伺いします。■業種をお教えてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業 2. 林業 3. 漁業 4. 鉱業 5. 建設業 6. 製造業 7. 電気・ガス・熱供給・水道業 8. 運搬・通信業 9. 卸売・小売業、飲食店 10. 金融・保険業 11. 不動産業 12. サービス業(放送業) 13. サービス業(医療業) 14. サービス業(教育) 15. サービス業(その他のサービス業) 16. 公務員(事務系) 17. 公務員(技術系) 18. 公務員(その他) 19. その他(具体的に：)
Q27	<p>あなたが同居しているご家族の構成をお教えてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子 4. 親と子と孫 5. その他() <p>あなたを含めた同居家族の人数をお教えてください。</p> <p>(数値記入)</p>

3. 調査結果

(1) WEB 調査及び質問紙調査の結果

WEB 一般調査、WEB 高度調査および質問紙調査の内容は、それぞれの対象の結果を比較できるように原則的に同様の設問を設定した。

以下に、各設問に対する各調査の回答結果を示す。なお、回答の集計生データは巻末資料に添付した。

1) WEB SC 調査 1

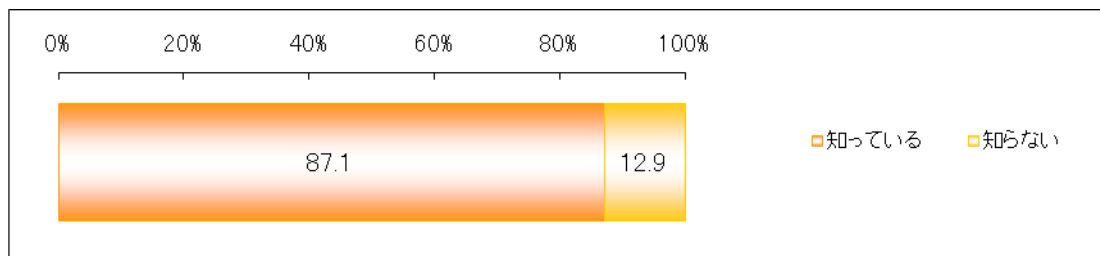
① 設問

あなたは、地震の時に気象庁から発表される「緊急地震速報(きんきゅうじしんそくほう)」がどんな情報か、ご存知ですか。緊急地震速報は、地震が発生した直後、地震による強い揺れが伝わる前に発表される予測情報で、地震の揺れが伝わった後に各地の詳しい震度が伝えられる「地震情報」とは異なります。

② 回答数

	度数
知っている	8,713
知らない	1,294
合 計	10,007

③ WEB 全回答者 (%グラフ)



2) WEB SC 調査 2

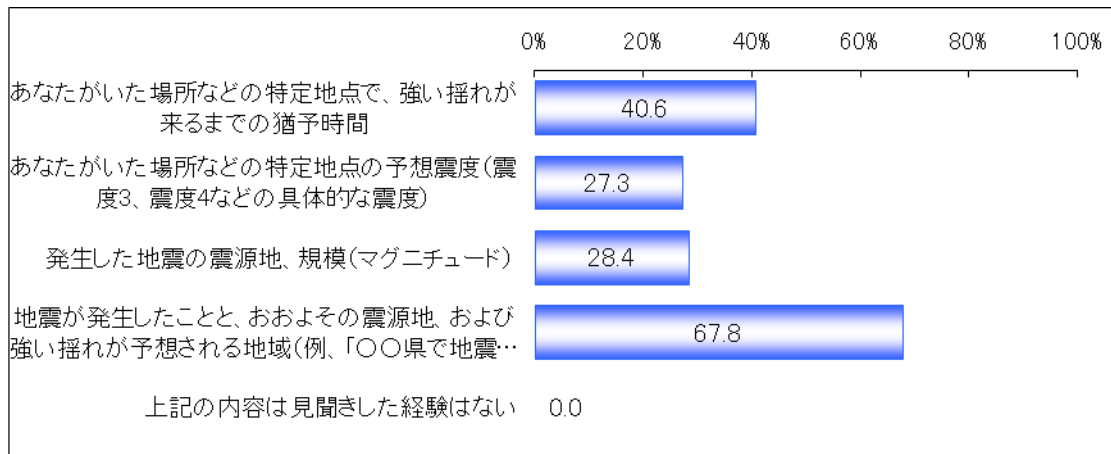
① 設問

あなたは緊急地震速報を見聞きした経験がありますか。見聞きした経験がある方は、その緊急地震速報によってどのような情報を得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。見聞きした経験がない方は、5をお選びください。（複数回答）

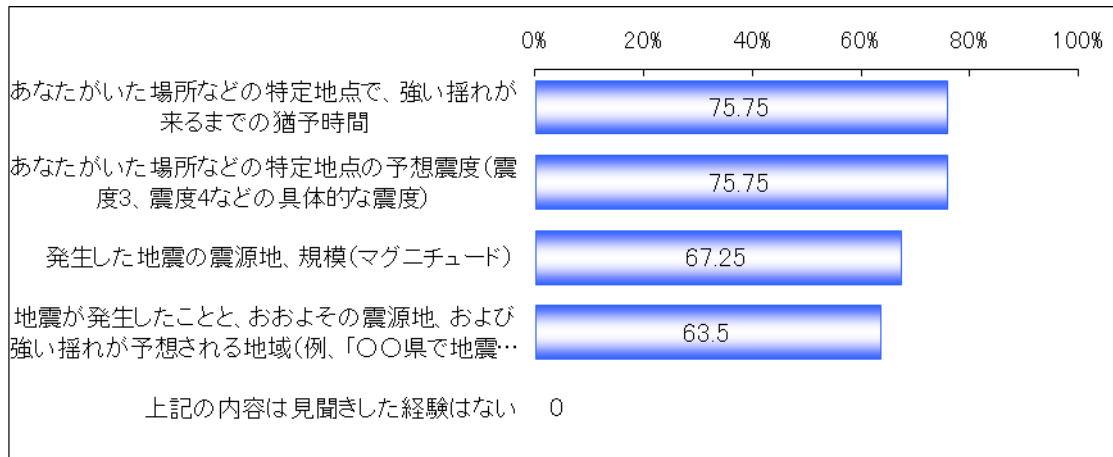
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度
あなたがいた場所などの特定地点で、強い揺れが来るまでの猶予時間	650	303
あなたがいた場所などの特定地点の予想震度（震度 3、震度 4 などの具体的な震度）	436	303
発生した地震の震源地、規模（マグニチュード）	454	269
地震が発生したことと、おおよその震源地、および強い揺れが予想される地域（例、「〇〇県で地震です。次の地域は強い揺れに警戒してください。〇〇県、〇〇県、〇〇県」など）	1,084	254
上記の内容は見聞きした経験はない	0	0
合 計	2,624	1,129
回答者数	1,600	400

③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 調査 (%グラフ)



3) WEB SC 調査 3

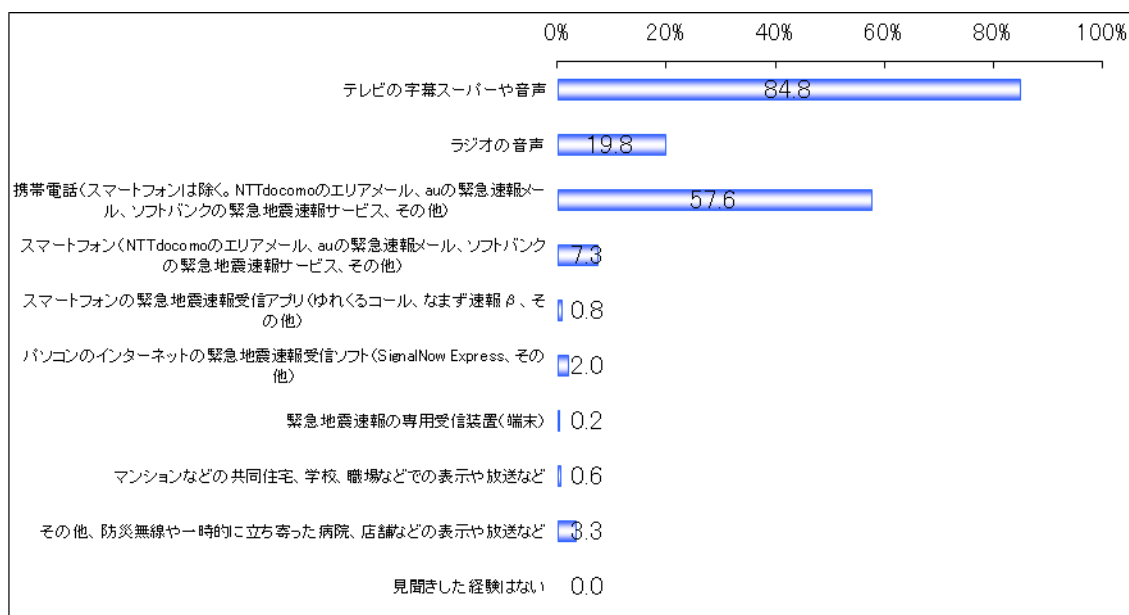
① 設問

あなたが緊急地震速報を見聞きした手段（方法）で、あてはまるものすべてをお答えください。（複数回答）

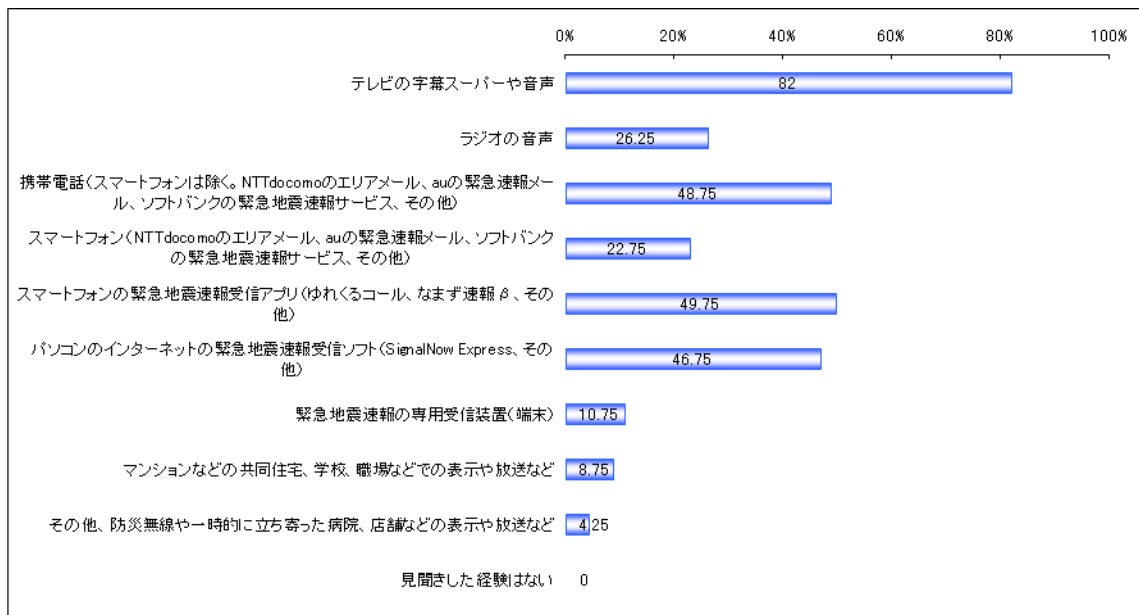
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度
テレビの字幕スーパーや音声	1,356	328
ラジオの音声	316	105
携帯電話（スマートフォンは除く。NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他）	921	195
スマートフォン（NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス、その他）	116	91
スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ（ゆれくるコール、なまず速報 β、その他）	13	199
パソコンのインターネットの緊急地震速報受信ソフト（SignalNow Express、その他）	32	187
緊急地震速報の専用受信装置（端末）	3	43
マンションなどの共同住宅、学校、職場などでの表示や放送など	9	35
その他、防災無線や一時的に立ち寄った病院、店舗などの表示や放送など	52	17
見聞きした経験はない	0	0
合 計	2,818	1,200
回答者数	1,600	400

③ WEB 一般（%グラフ）



④ WEB 高度 (%グラフ)



4) 属性調査 1

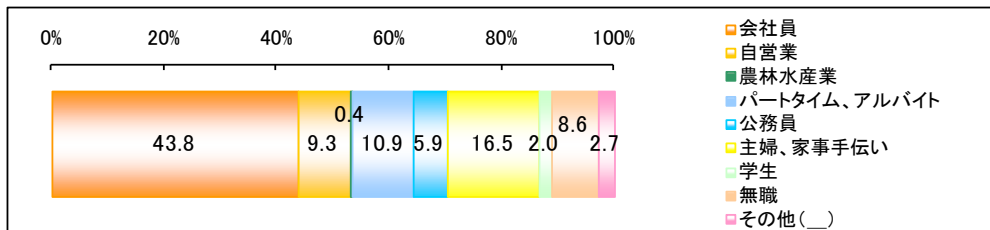
① 設問

あなたのご職業をお教えてください。

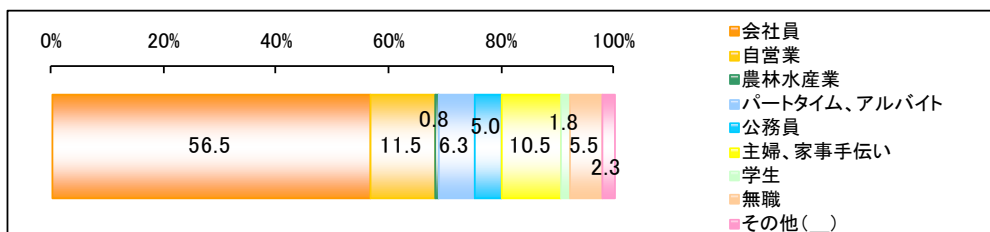
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
会社員	701	226	258
自営業	148	46	90
農林水産業	7	3	54
パートタイム、アルバイト	174	25	76
公務員	94	20	60
主婦、家事手伝い	264	42	108
学生	32	7	2
無職	137	22	169
その他 ()	43	9	258
合 計	1,600	400	817

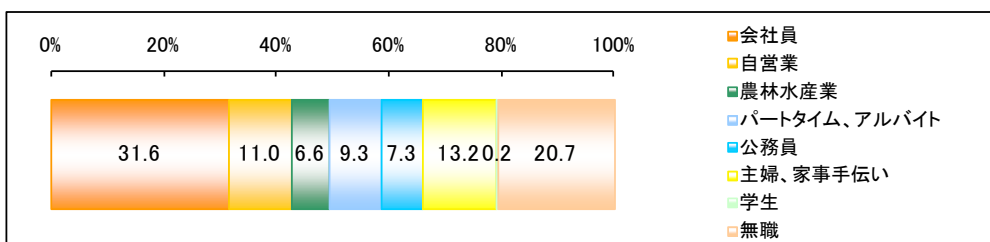
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



5) 属性調査 2

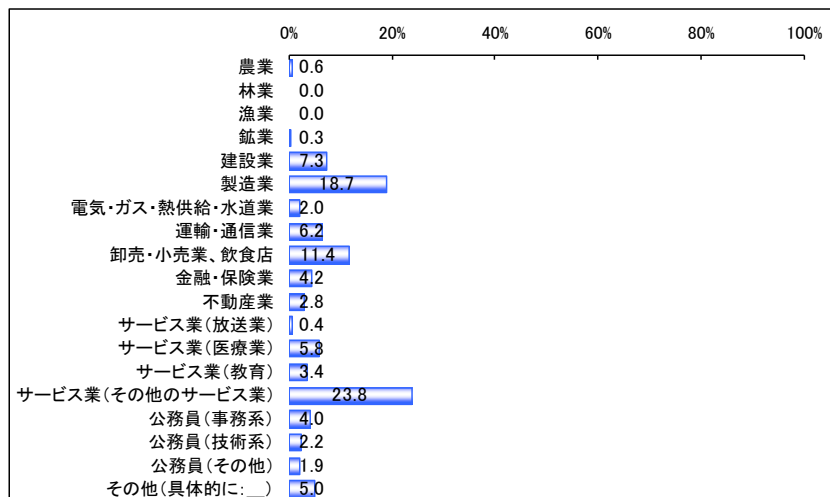
① 設問

■前問で「1. 会社員」「2. 自営業」「3. 農林水産業」「4. パートタイム、アルバイト」「5. 公務員」とお答えの方にお伺いします■業種をお教えてください。

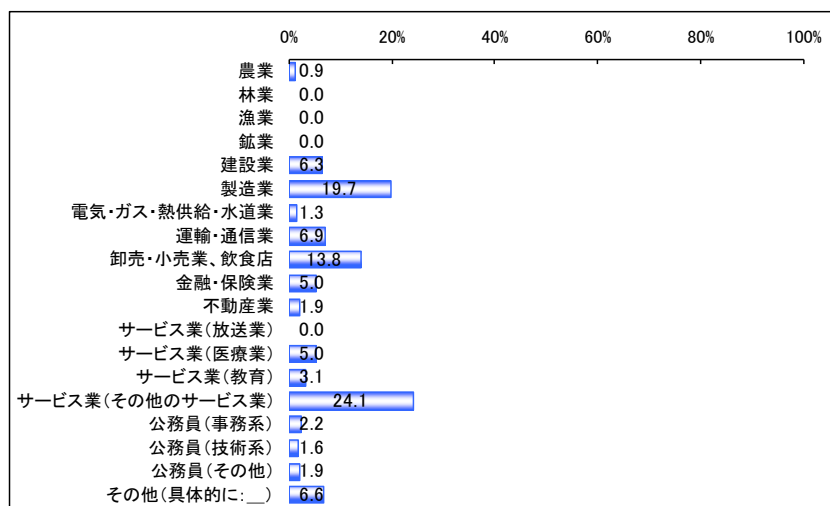
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
農業	7	3	66
林業	0	0	1
漁業	0	0	2
鉱業	3	0	0
建設業	82	20	63
製造業	210	63	71
電気・ガス・熱供給・水道業	23	4	8
運輸・通信業	70	22	28
卸売・小売業、飲食店	128	44	65
金融・保険業	47	16	14
不動産業	32	6	2
サービス業（放送業）	5	0	0
サービス業（医療業）	65	16	36
サービス業（教育）	38	10	15
サービス業（その他のサービス業）	267	77	77
公務員（事務系）	45	7	27
公務員（技術系）	25	5	12
公務員（その他）	21	6	25
その他（具体的に：__）	56	21	26
合 計	1,124	320	538

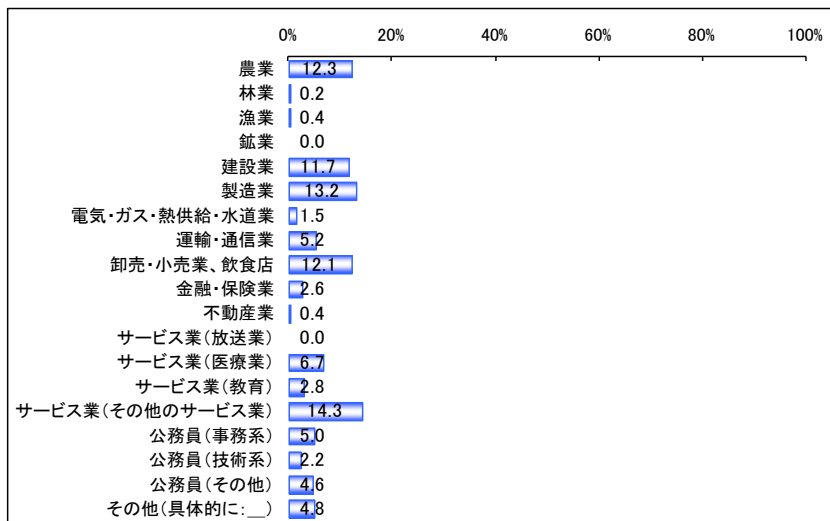
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



6) 属性調査 3

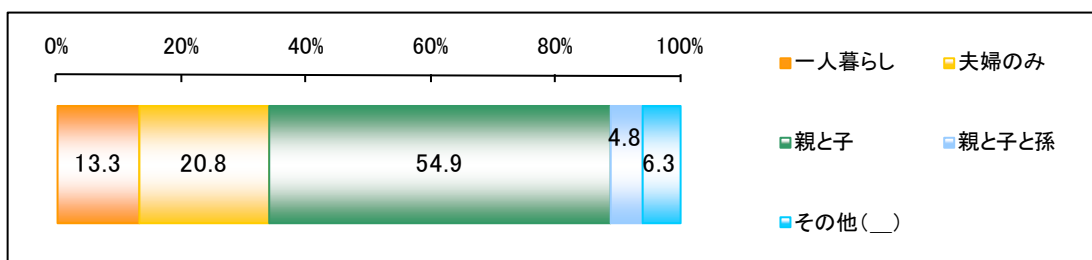
① 設問

あなたが同居しているご家族の構成をお教えてください。

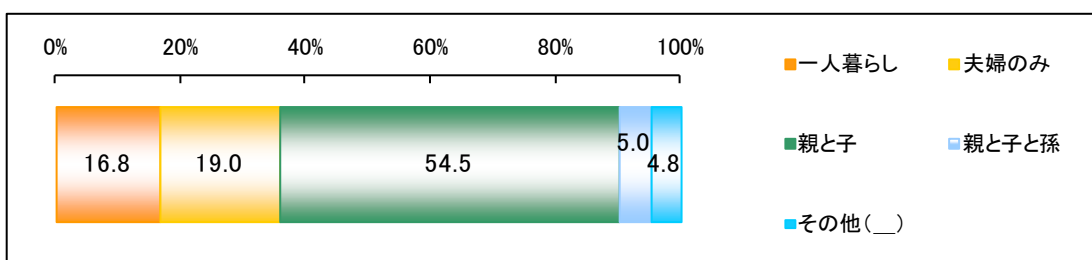
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
一人暮らし	212	67	74
夫婦のみ	332	76	191
親と子	879	218	389
親と子と孫	77	20	105
その他 ()	100	19	58
合 計	1,600	400	817

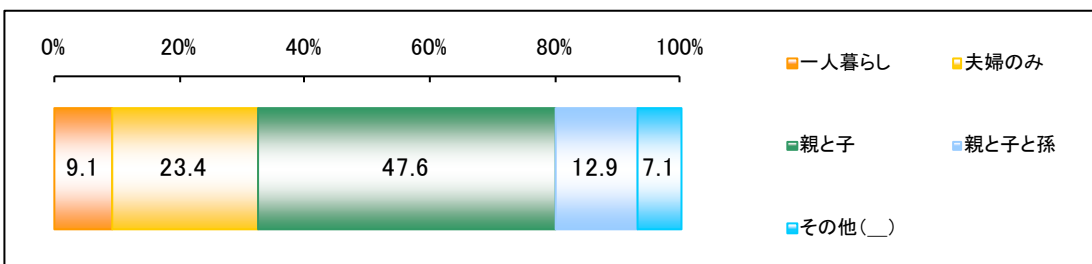
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



7) 属性調査 4

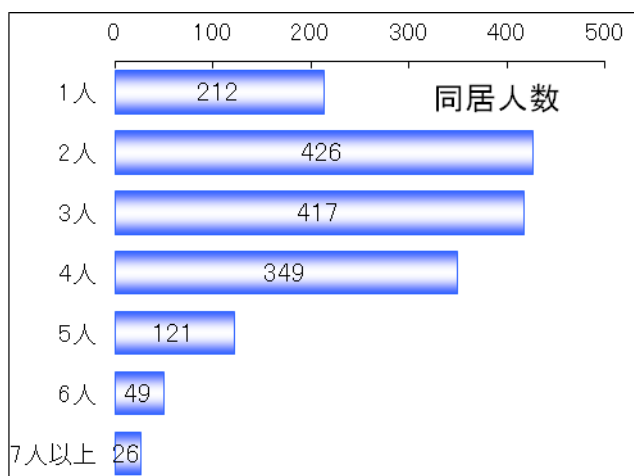
① 設問

あなたを含めた同居家族の人数をお教えてください。(半角数字でご記入ください)

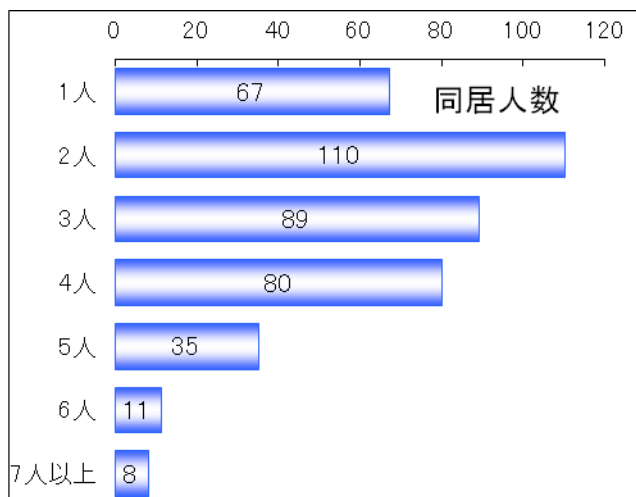
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
1人	212	67	103
2人	426	110	374
3人	417	89	303
4人	349	80	264
5人	121	35	135
6人	49	11	90
7人以上	26	8	78
合 計	1,600	400	1,347

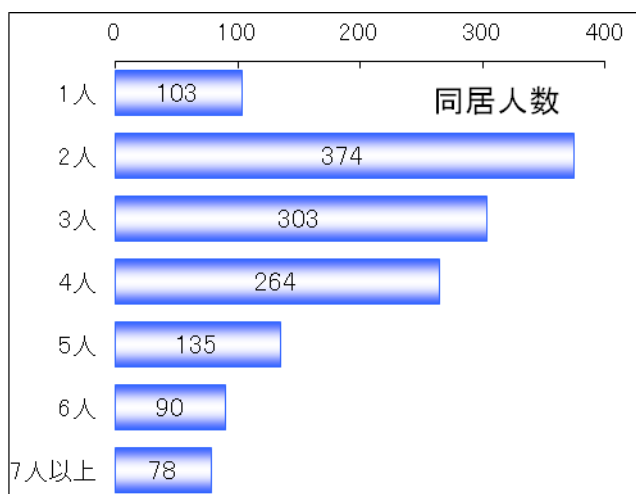
③ WEB 一般 (n グラフ)



④ WEB 高度 (n グラフ)



⑤ 質問紙調査 (n グラフ)



7) 属性調査 5

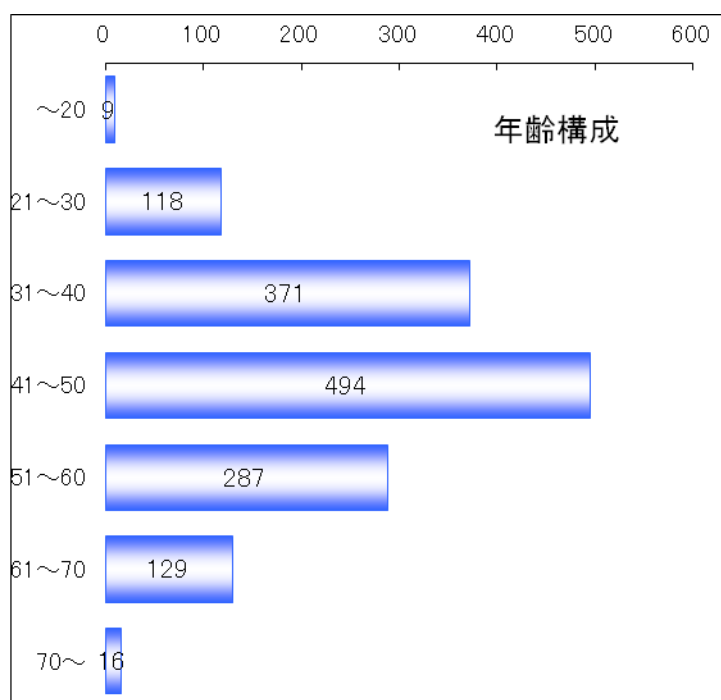
① 設問

あなたの年齢を教えてください。

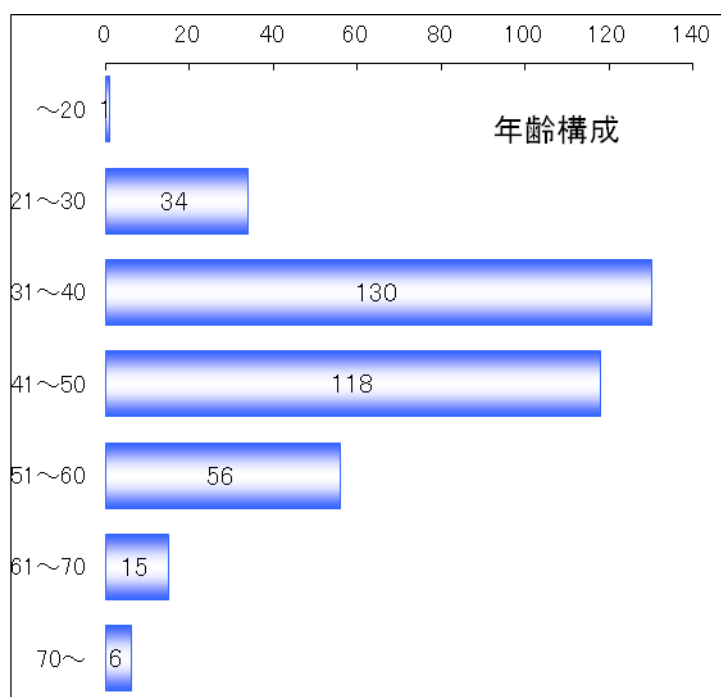
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度
～20	9	1
21～30	118	31
31～40	371	130
41～50	494	118
51～60	287	56
61～70	129	15
71～	16	6
合 計	1,424	357

③ WEB 一般 (n グラフ)



④ WEB 高度 (n グラフ)



8) 属性調査 6

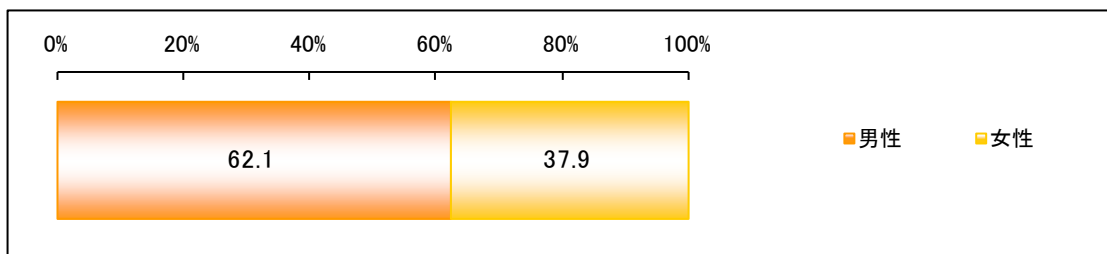
① 設問

あなたの性別を教えてください。

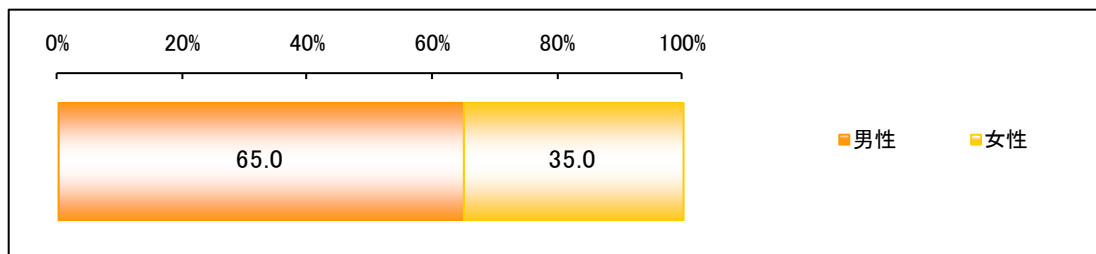
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度
男性	994	260
女性	606	140
合 計	1,600	400

③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



9) 本調査 1

① 設問

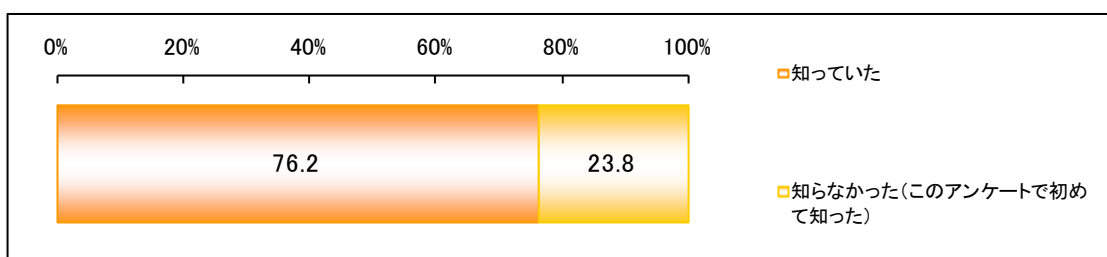
緊急地震速報は、地震発生直後に地震計で観測したデータを分析して、震源地や震度、強い揺れが到達するまでの時間などの情報を、強い揺れが来る前に知らせる情報です。地震による揺れを実際に観測し、その震度や震源地などを2～3分後にお知らせする「震度速報」などの地震情報とは異なります。

あなたは、「緊急地震速報」が「地震情報」と異なることをご存知でしたか。（WEB 高度 Q11、質問紙調査 Q2）

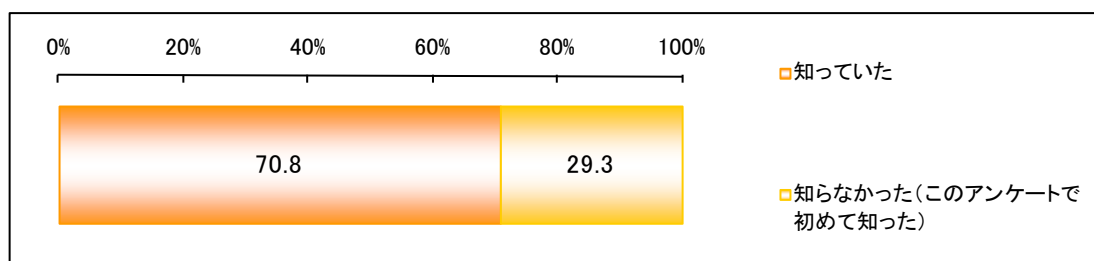
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
知っていた	1,219	283	591
知らなかった（このアンケートで初めて知った）	381	117	226
合計	1,600	400	817

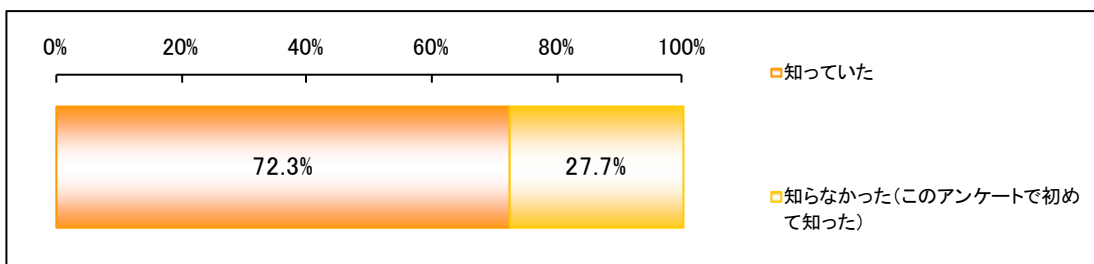
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



10) 本調査 2

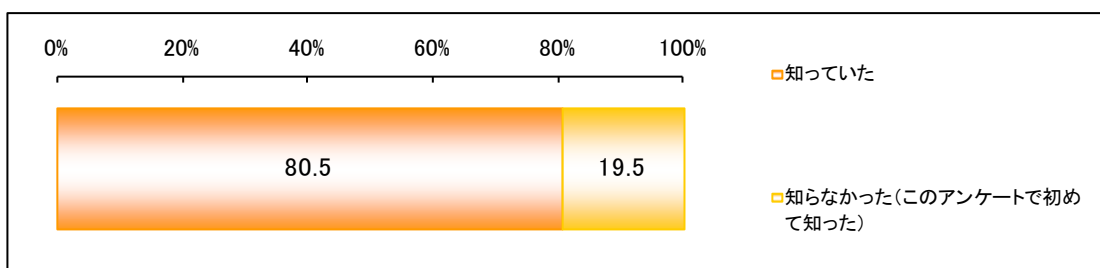
① 設問

あなたは、このように震源地の場所によっては緊急地震速報より先に強い揺れが来る場合があることや、予測震度に誤差が生じることがあることを知っていましたか。(WEB 高度 Q12、質問紙調査 Q2)

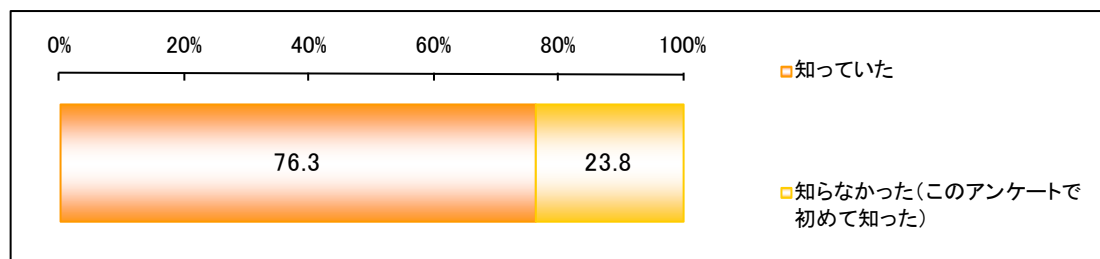
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
知っていた	1,288	305	605
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	312	95	212
合計	1,600	400	817

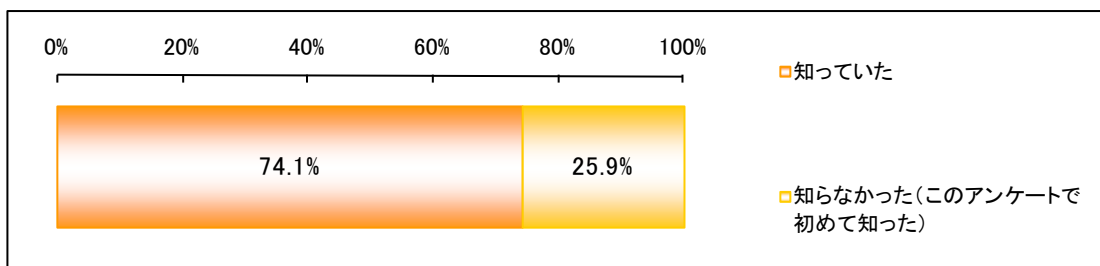
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



11) 本調査 3

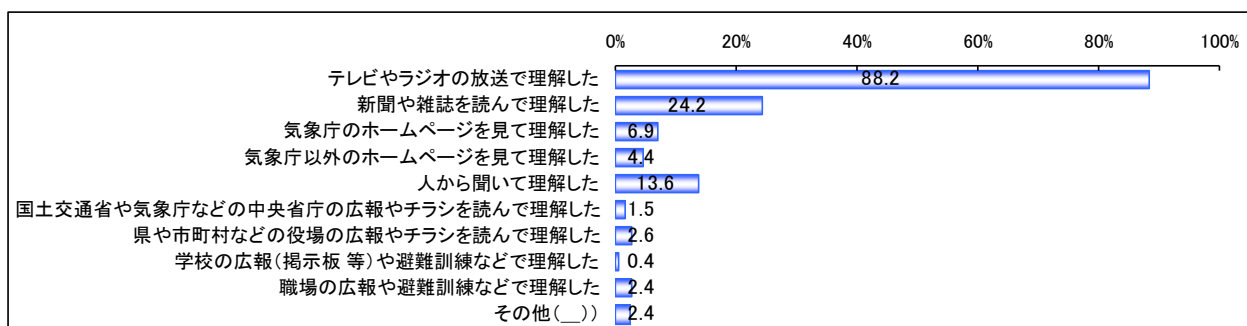
① 設問

あなたは、緊急地震速報の内容をどう方法で理解しましたか。(複数回答) (WEB 高度 Q13)

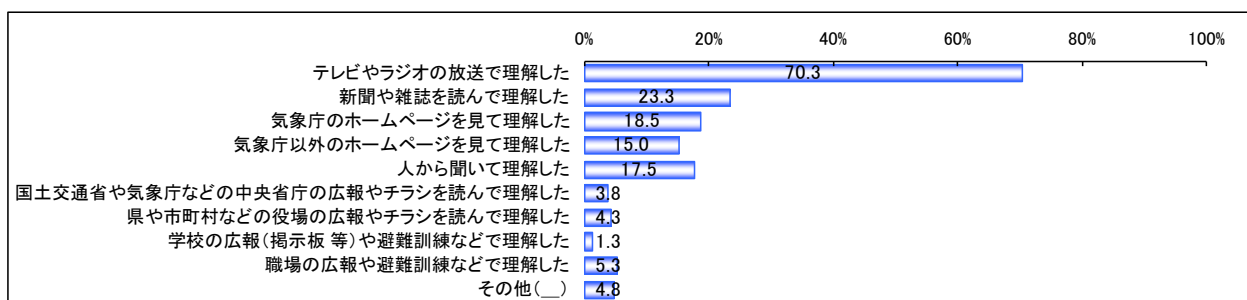
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度
テレビやラジオの放送で理解した	1,411	655
新聞や雑誌を読んで理解した	387	93
気象庁のホームページを見て理解した	110	74
気象庁以外のホームページを見て理解した	71	60
人から聞いて理解した	218	70
国土交通省や気象庁などの中央省庁の広報やチラシを読んで理解した	24	15
県や市町村などの役場の広報やチラシを読んで理解した	41	17
学校の広報(掲示板等)や避難訓練などで理解した	7	5
職場の広報や避難訓練などで理解した	39	21
その他()	38	19
合計	2,346	655
回答者数	1,600	400

③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



12) 本調査 4

① 設問

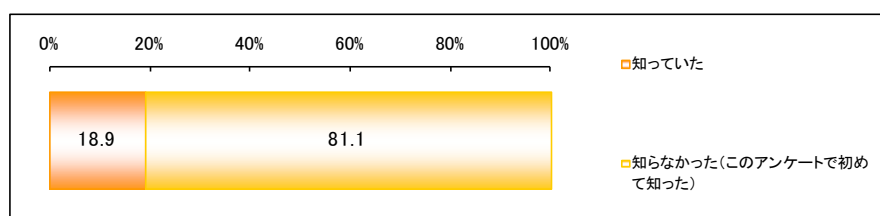
緊急地震速報には、発表の基準やお知らせの仕方が異なる「一般向けの緊急地震速報（警報）」と「高度利用者向けの緊急地震速報（予報）」の 2 種類があります。「一般向けの緊急地震速報（警報）」は、震度 5 弱以上の強い揺れを予想した場合に発表し、テレビやラジオ、携帯電話等を通じて、地震が発生した時間や震源地、震度 4 以上の揺れとなる地域名などを広く一般の方々にお知らせします。その際、強く揺れるまでの猶予時間は知らされません。一方、「高度利用者向けの緊急地震速報（予報）」は、震度 3 以上の揺れまたは地震の規模を示すマグニチュードが 3.5 以上を予想した場合に発表し、民間の予報事業者や情報配信事業者を通じて専用の受信機や受信ソフトウェアをお持ちの方々に伝えられます。お住まいの地域の震度や揺れが到達するまでの時間など詳細な情報を随時お知らせするため、「警報」が発表されない揺れの小さな地震を知りたい方や、地震の発生や揺れの到達を詳しく知りたい方が利用されています。ただし、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、「予報」の発表回数は「警報」に比べて 10 倍以上（通常は 1 日に数回程度）になります。

あなたは、このように緊急地震速報に「警報」と「予報」の 2 種類あり、発表の基準やお知らせの仕方が異なることをご存知でしたか。（WEB 高度 Q14、質問紙調査 Q3）

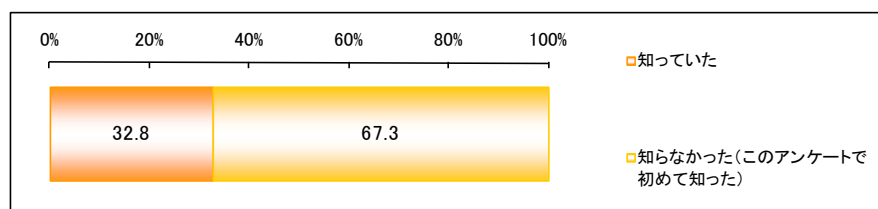
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
知っていた	303	131	150
知らなかった（このアンケートで初めて知った）	1,297	269	667
合 計	1,600	400	817

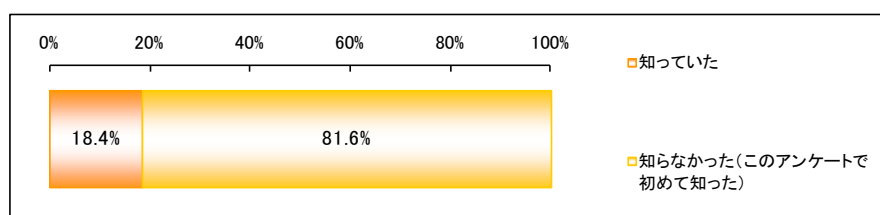
③ WEB 一般（%グラフ）



④ WEB 高度（%グラフ）



⑤ 質問紙調査（%グラフ）



13) 本調査 5

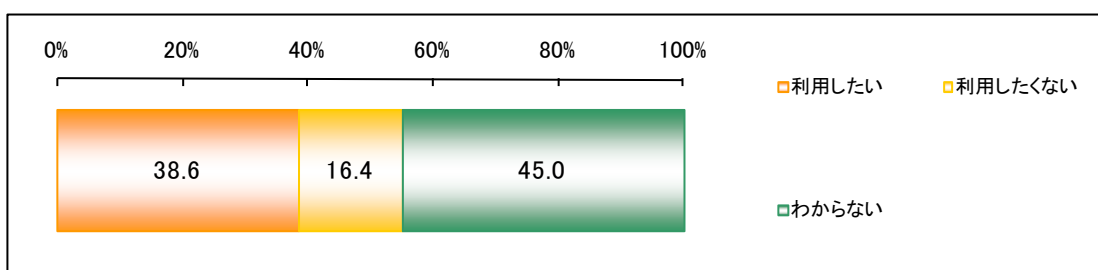
① 設問

あなたは、「高度利用者向けの緊急地震速報（予報）」を利用したいと思いますか（質問紙調査 Q4）。

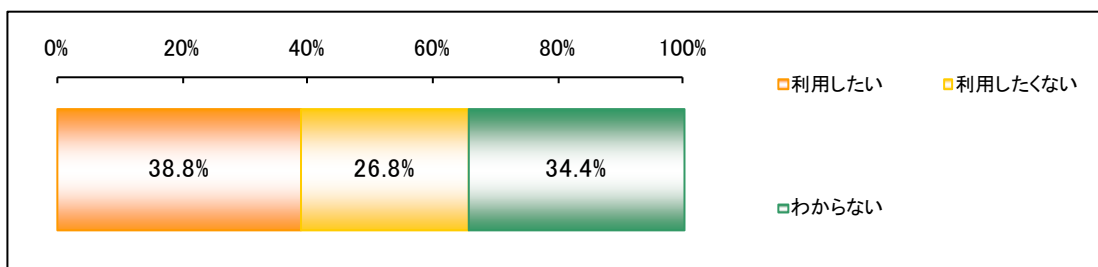
② 回答数

	WEB 一般	質問紙調査
利用したい	617	317
利用したくない	263	219
わからない	720	281
合 計	1,600	400

③ WEB 一般（%グラフ）



④ 質問紙調査（%グラフ）



14) 本調査 6

① 設問

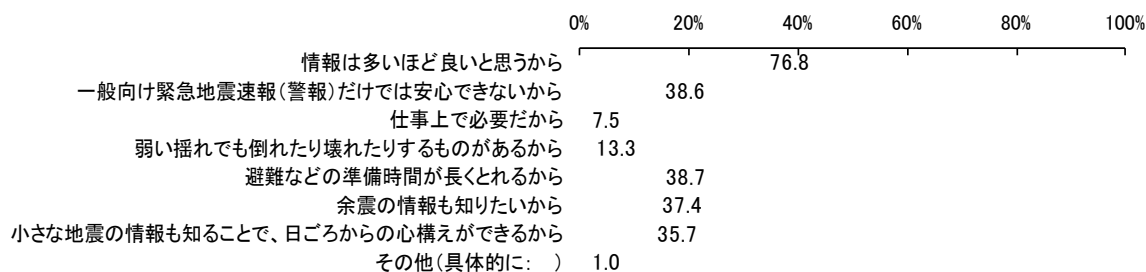
■前問で「高度利用者向けの緊急地震速報（予報）」を「1. 利用したい」とお答えの方にお伺いします■

なぜ利用したいと思われたのですか。（複数回答）（質問紙調査 Q4-1）

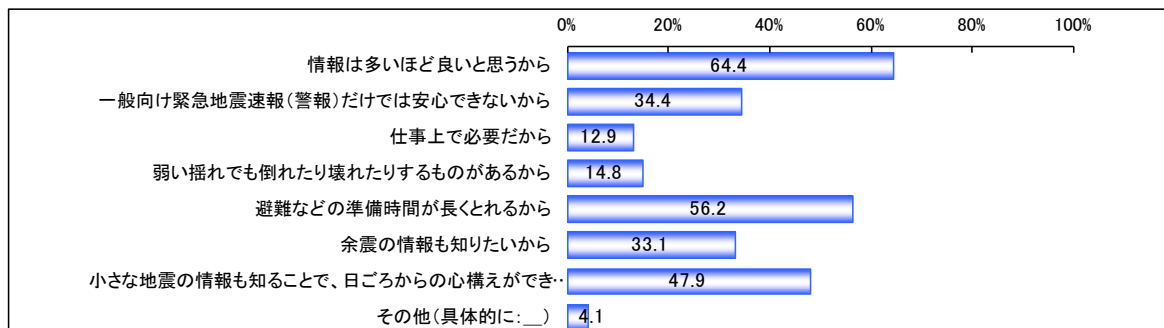
② 回答数

	WEB 一般	質問紙調査
情報は多いほど良いと思うから	474	204
一般向け緊急地震速報（警報）だけでは安心できないから	238	109
仕事上で必要だから	46	41
弱い揺れでも倒れたり壊れたりするものがあるから	82	47
避難などの準備時間が長くとれるから	239	178
余震の情報も知りたいから	231	105
小さな地震の情報も知ることで、日ごろからの心構えができるから	220	152
その他（具体的に：__）	6	13
合 計	1,536	849
回答者数	617	317

③ WEB 一般（%グラフ）



④ 質問紙調査（%グラフ）



⑤ その他（設問主旨に合致するもののみ）

※設問主旨に合致するもののみ記載

	8. その他(具体的に:)	
	仕事で使いた	津波避難に使いた
非常召集の目安としたいから	<input type="radio"/>	
家族の中に高齢者がいるため、様々な情報を早く知りたいから		<input type="radio"/>

15) 本調査 7

① 設問

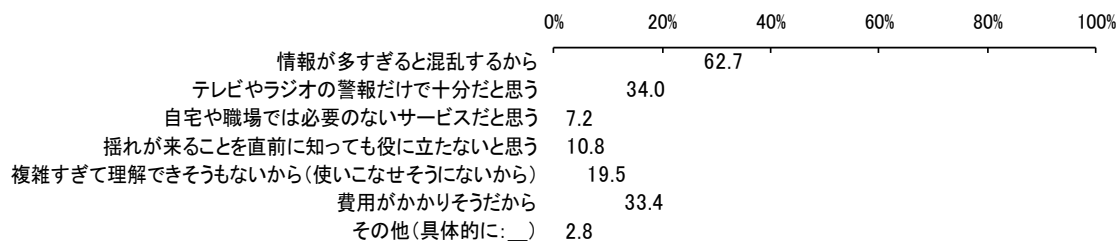
■前問で「高度利用者向け緊急地震速報（予報）」を「2.利用したくない」「3.わからない」とお答えの方にお伺いします■

その理由は何ですか。（複数回答）（質問紙調査 Q4-2）

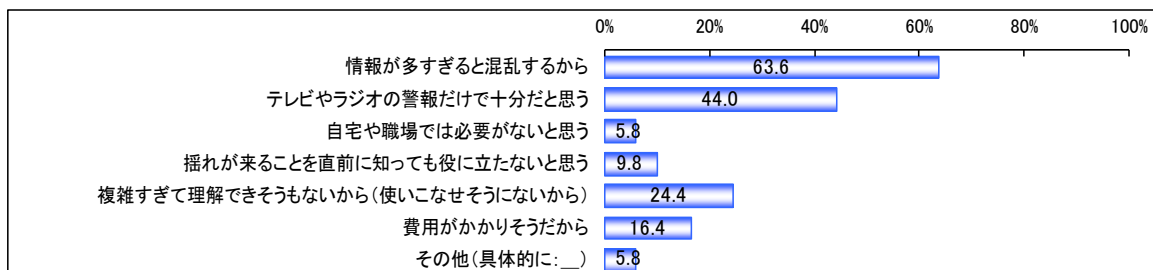
② 回答数

	WEB 一般	質問紙調査
情報が多すぎると混乱するから	616	318
テレビやラジオの警報だけで十分だと思う	334	220
自宅や職場では必要のないサービスだと思う	71	29
揺れが来ることを直前に知っても役に立たないと思う	106	49
複雑すぎて理解できそうもないから（使いこなせそうにないから）	192	122
費用がかかりそうだから	328	82
その他（具体的に：__）	28	29
合 計	1,675	849
回答者数	983	500

③ WEB 一般（%グラフ）



④ 質問紙調査（%グラフ）



⑤ その他（WEB 一般、質問紙調査）

※設問主旨に合致するもののみとする

	7. その他(具体的に:)				
	慣情 れ報 がし多 まい うと	い現 状で 問題 な	に精速 なる報 がに多 不安と	きな精 ない度 いが使 上が でら	応も予 にその 困る報 のを聞 のい 対て
M3.5じゃ被害は出なさそう					
知りたい情報だけれど、警報音がトラウマになっているので、あまりききたくないのが実情			○		
情報の精度が不確かだから			○		
携帯電話を持っていないから					
地震があまりおこらないから					
速報が多すぎると慣れてしまっていざというとき行動できなくなってしまう	○				
必要なら、市の広報(ラジオ)で判るので					
精度に欠ける				○	
実績が無いから					
普通の緊急速報で良いと思う		○			
あらかじめ知っていると必要以上にこわくなるから			○		
精神的に参ってしまいそう			○		
あまり大きな地震がこない地域だから					
過剰に不安を感じて不快になりそうだから			○		
1日に10回程度も受信すると仕事にならないから					○
小さな地震にはなれてしまったから4以上の情報ならほしい					
地震が来ないときに地震速報が来たときがあったから				○	
小さい揺れでは対処することもない(被害はないと思われる)為。					○
速報に合わせて済ませられることは限られているから					○
震度5以上がわかれば十分だから		○			
速報より、実際の地震が早く来ていつの地震の速報なのかわからなかった。速報なのに遅くては混乱するだけで、役に立たない。					
小さい揺れまでの予報で回数が多くなるのは困る					○
緊張でストレスがかりそう			○		
大きくない情報は必要ない。		○			
対応が難しいから					○
逆に不安になる			○		
強くない揺れは知らされなくてもいい		○			
地震への備えは必要も、日常においてあまり過敏になりたくはないと思ってるから			○		
正しく予報されるのかどうか不安が有る				○	
間違いが多いと思う				○	
配信回数が多くなりすぎるから					○
情報が多すぎると却ってストレスを感じてしまう			○		
頻度よりも、情報の精度のほうが重要と考えるから				○	
危険がない地震規模ならば知る必要がないため		○			
震災以来、地震恐怖症になってしまい速報の音にストレスを感じてしまう			○		
震度3以上だと頻度が多くなるから		○			
震度3位のゆれが来ても家が倒壊するとは考えられないので。身の危険が少ないため。		○			
実際どのくらい効果があるかわからないから		○			
震度3ぐらいではあまり人体及び建物に影響しないから		○			
頻繁だと慣れてしまい強い地震の際に警戒意識が下がりそうだから	○				
強い地震が来る時だけで十分です		○			
被害が多くなる震度が高い速報のみで十分		○			
子どもの不安を増やしてしまうから			○		

16) 本調査 8

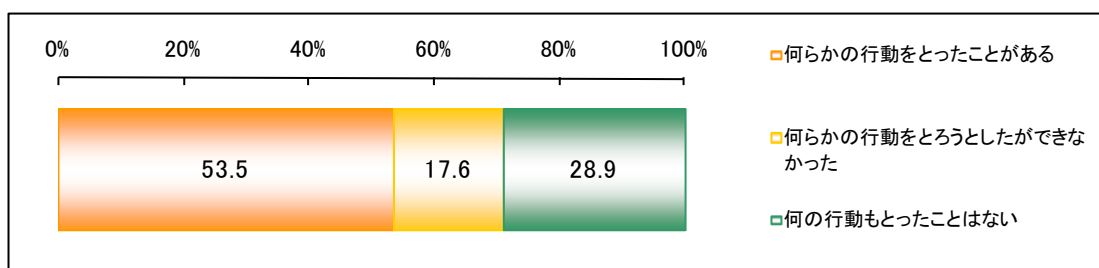
① 設問

あなたは、2011年3月11日以降の地震で、緊急地震速報によって強い揺れが来ることを知り、自分や家族の身を守ったり、火を消すような行動をとったことがありますか。(WEB 高度 Q15、質問紙調査 Q5)

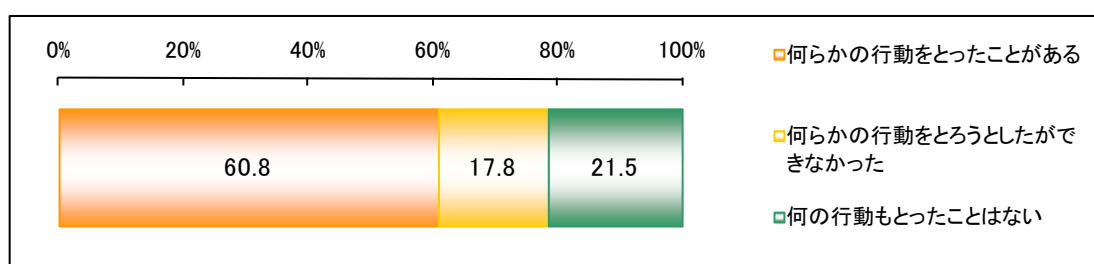
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
何らかの行動をとったことがある	856	243	607
何らかの行動をとろうとしたができなかった	282	71	131
何の行動もとったことはない	462	86	79
合 計	1,600	400	817

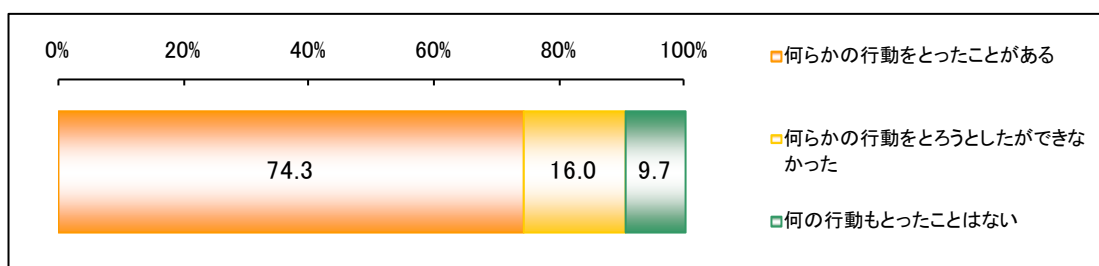
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



16) 本調査 9

① 設問

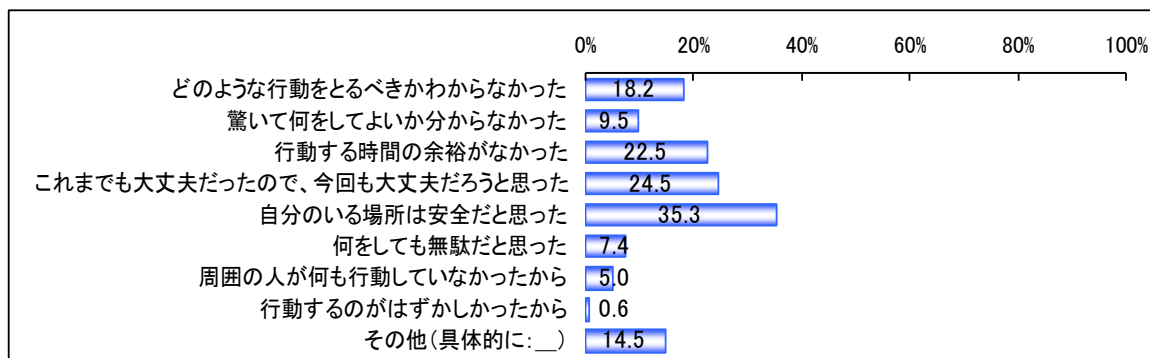
■前問で「3. 何の行動もとったことはない」とお答えの方にお伺いします■

なぜ、何の行動もとらなかったのですか。（複数回答）（WEB 高度 Q15-1、質問紙調査 Q5-1）

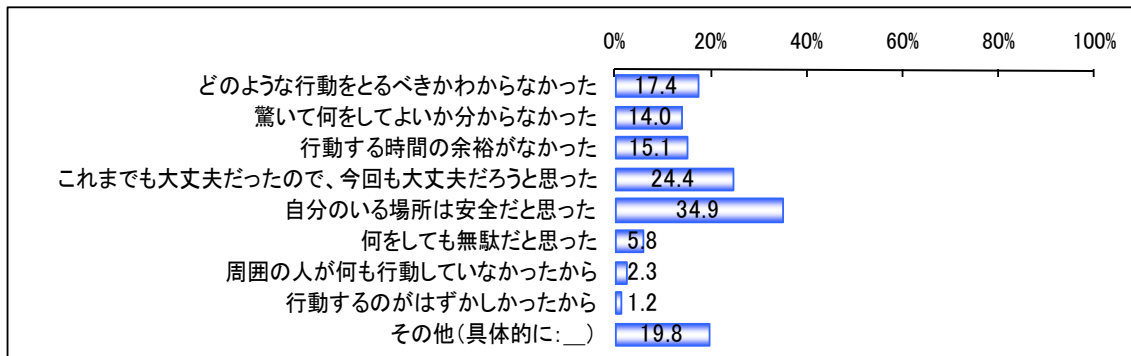
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
どのような行動をとるべきかわからなかった	84	15	15
驚いて何をしてもよいか分からなかった	44	12	10
行動する時間の余裕がなかった	104	13	26
これまでも大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った	113	21	23
自分のいる場所は安全だと思った	163	30	15
何をしても無駄だと思った	34	5	9
周囲の人が何も行動していなかったから	23	2	2
行動するのがはずかしかったから	3	1	0
その他（具体的に：__）	67	17	24
合 計	635	116	124
回答者数	462	86	79

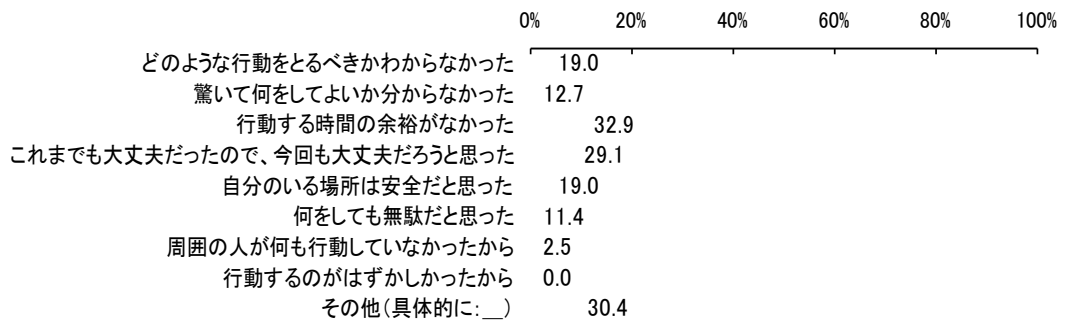
③ WEB 一般（%グラフ）



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	9. その他(具体的に:)	
	思何 わも なし いよ うと	か何他乗 つも施り たで設物 きのや な中そ での
逃げようとは思っていない	<input type="radio"/>	
特に必要はなかった	<input type="radio"/>	
行動する理由がない。	<input type="radio"/>	
特にとるべき行動がなかった	<input type="radio"/>	
バスの中		<input type="radio"/>
情報が当てにならない	<input type="radio"/>	
情報の信頼度が低く、判断に迷う	<input type="radio"/>	
検診の為に、病院内にいた。		<input type="radio"/>
車の中にいた		<input type="radio"/>
車両運転中で情報を入手出来なかった		<input type="radio"/>
入院中		<input type="radio"/>
速報はあてにならない	<input type="radio"/>	
車の運転中		<input type="radio"/>

17) 本調査 10

① 設問

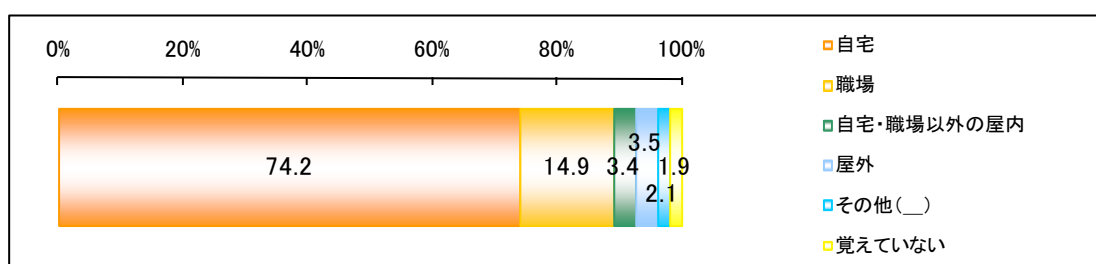
■以降の設問文は、3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震についてお伺いします■

3月11日以降、あなたが緊急地震速報を見聞きした地震の中で、最も記憶に残っている地震について、いつ、どこで発生した地震か、記憶にある範囲でお答えください。※震源地は、〇〇県、東北沖など、大まかなものでも結構です。(WEB 高度 Q16、質問紙調査 Q6)

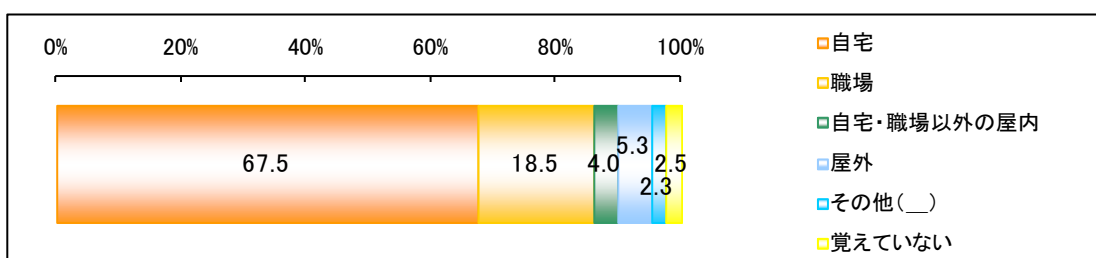
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
自宅	1,187	270	530
職場	239	74	95
自宅・職場以外の屋内	55	16	55
屋外	56	21	47
その他()	33	9	24
覚えていない	30	10	32
合計	1,600	400	817

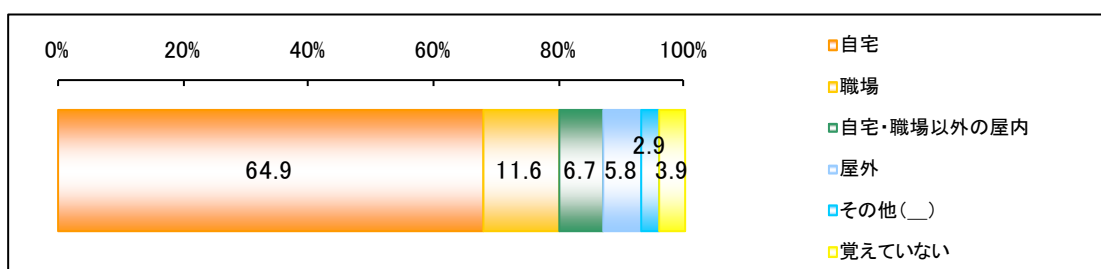
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



18) 本調査 11

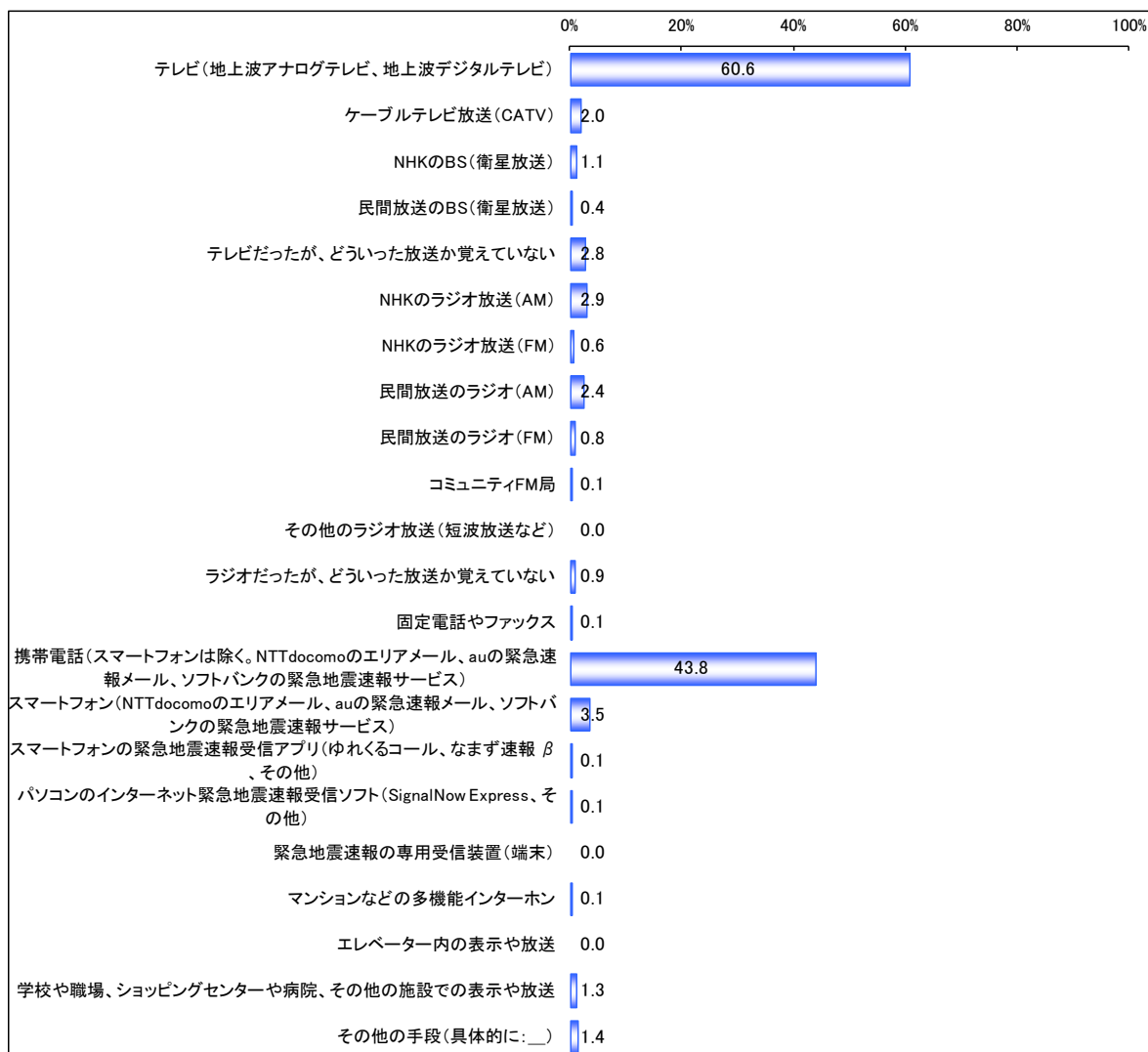
① 設問

その地震では、どのような方法で緊急地震速報を見聞きしましたか。(複数回答) (WEB 高度 Q18、質問紙調査 Q8)

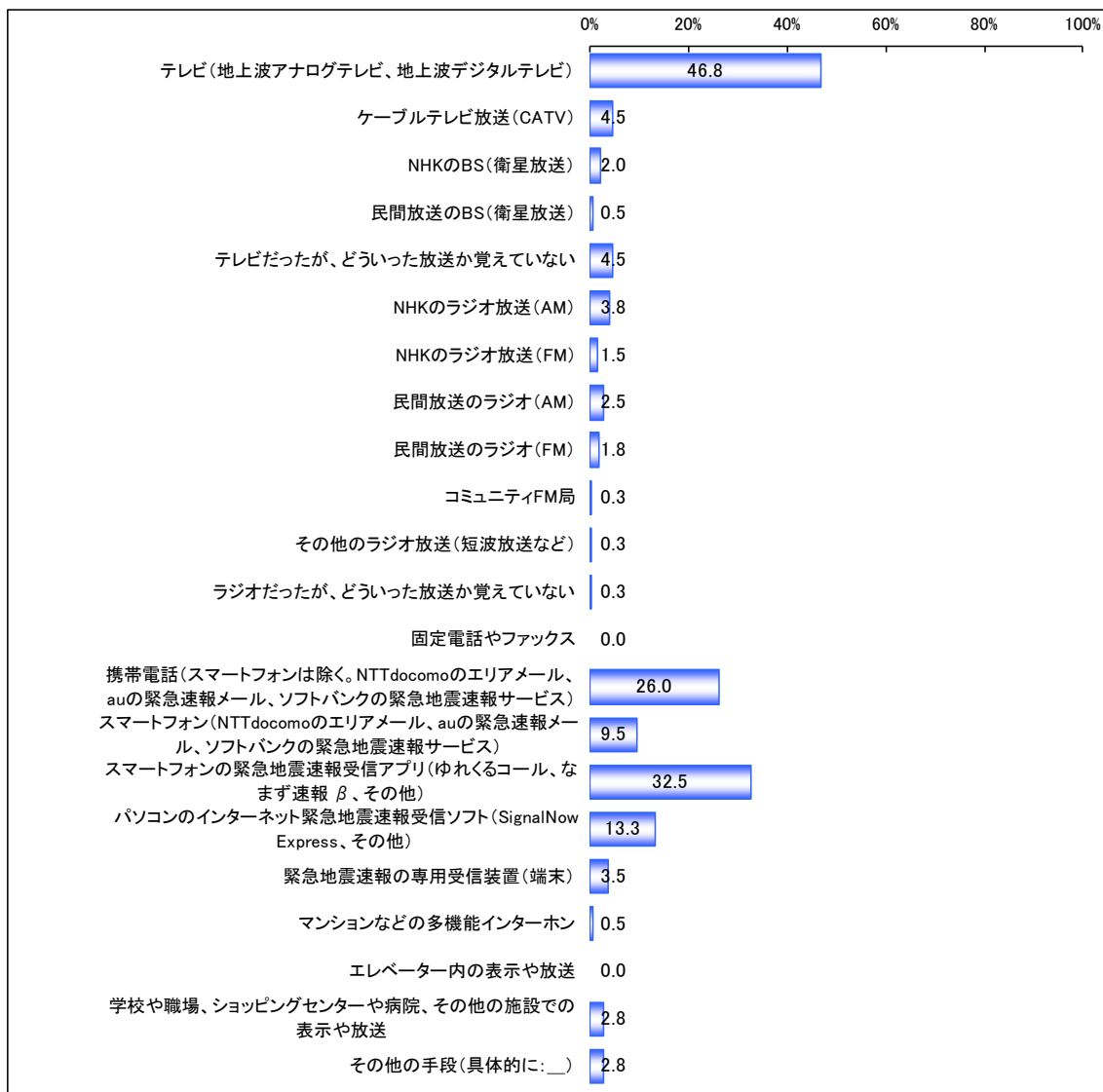
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
テレビ(地上波アナログテレビ、地上波デジタルテレビ)	969	187	353
ケーブルテレビ放送(CATV)	32	18	6
NHKのBS(衛星放送)	18	8	17
民間放送のBS(衛星放送)	6	2	8
テレビだったが、どういった放送か覚えていない	45	18	59
NHKのラジオ放送(AM)	47	15	117
NHKのラジオ放送(FM)	9	6	18
民間放送のラジオ(AM)	38	10	83
民間放送のラジオ(FM)	13	7	15
コミュニティFM局	1	1	4
その他のラジオ放送(短波放送など)	0	1	5
ラジオだったが、どういった放送か覚えていない	15	1	17
固定電話やファックス	1	0	0
携帯電話(スマートフォンは除く。NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス)	701	104	431
スマートフォン(NTTdocomoのエリアメール、auの緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス)	56	38	17
スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他)	1	130	10
パソコンのインターネット緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他)	1	53	5
緊急地震速報の専用受信装置(端末)	0	14	19
マンションなどの多機能インターホン	1	2	0
エレベーター内の表示や放送	0	0	0
学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送	20	11	12
その他の手段(具体的に:)	22	11	36
合計	1,996	637	1,232
回答者数	1,600	400	817

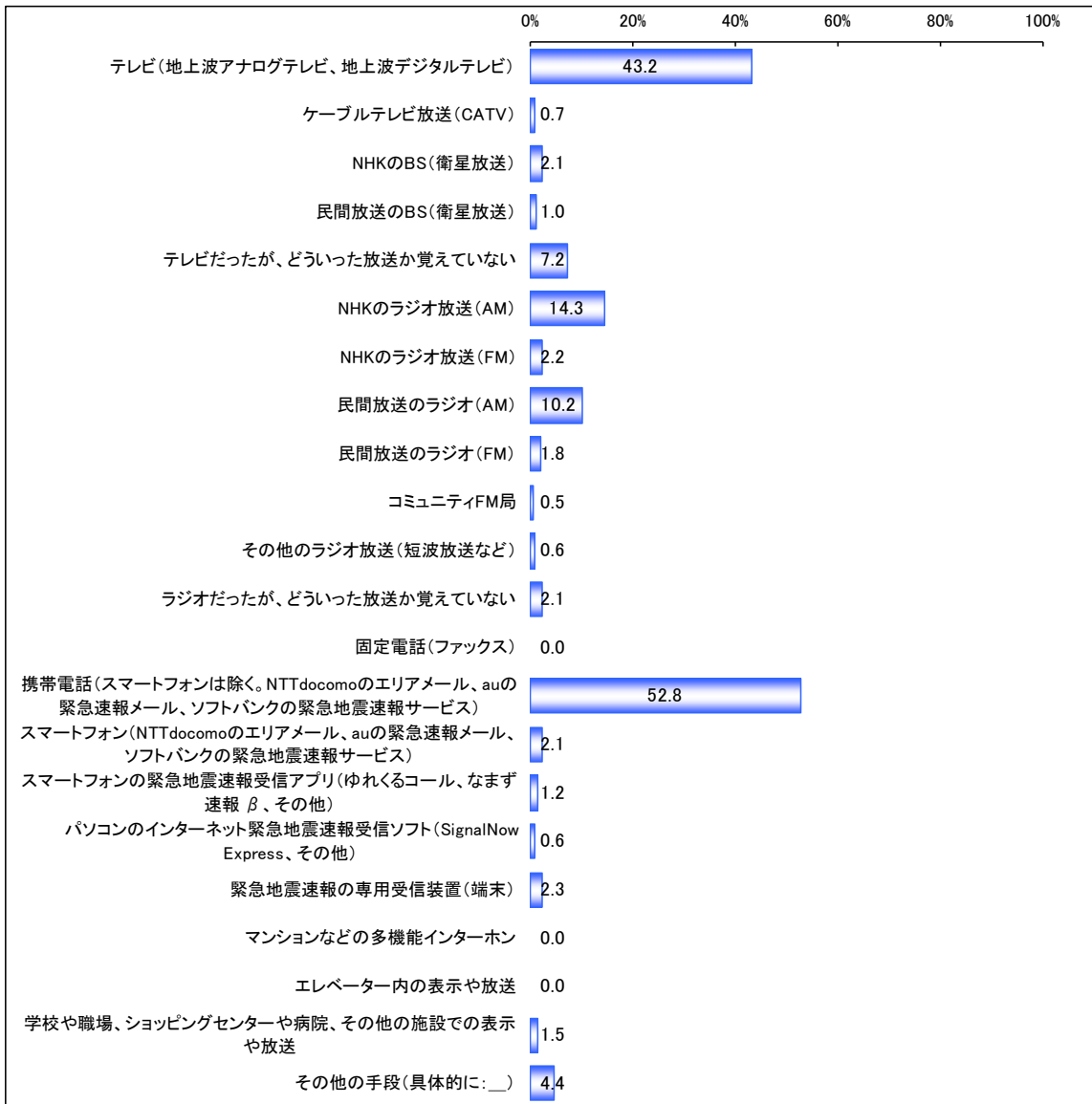
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	22. その他の手段(具体的に:)
	て他 もの ら人 った た教 え
近所の人達	○
近所の人から声をかけてくれて、集合場所へ集合して、寝過ごしたことがあります。	○
会社からの連絡	○

19) 本調査 12

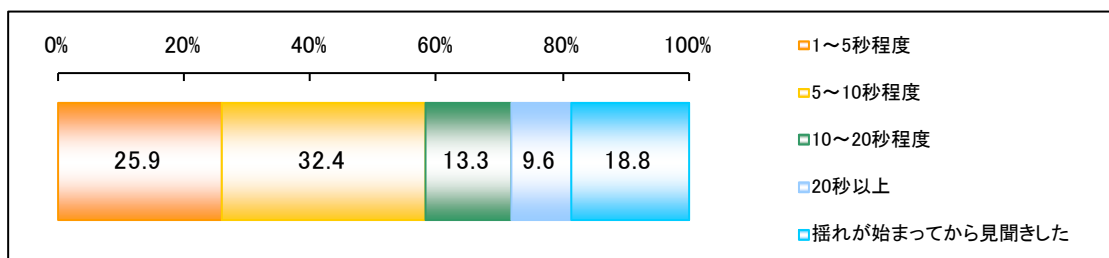
① 設問

その地震では、緊急地震速報を見聞きしてから地震の揺れが来るまでにどのくらいの時間がありましたか。(WEB 高度 Q19、質問紙調査 Q9)

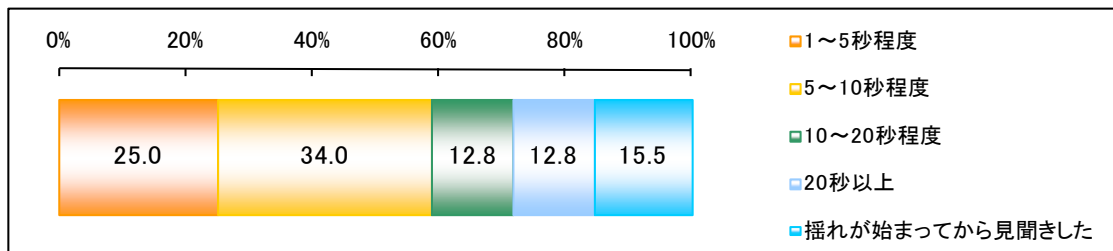
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
1～5 秒程度	415	100	273
5～10 秒程度	518	136	236
10～20 秒程度	213	51	85
20 秒以上	153	51	37
揺れが始まってから見聞きした	301	62	186
合 計	1,600	400	817

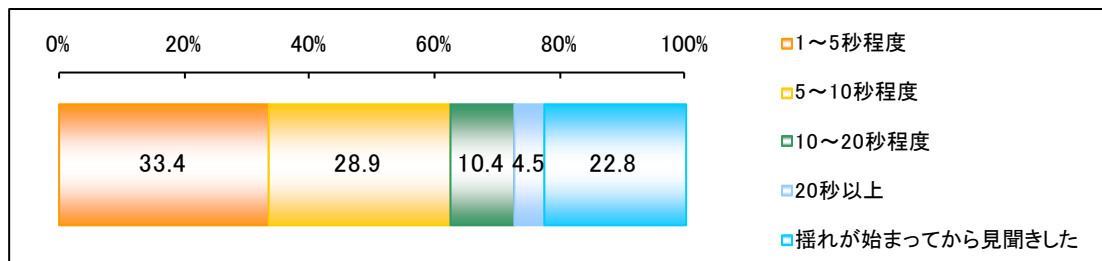
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



20) 本調査 13

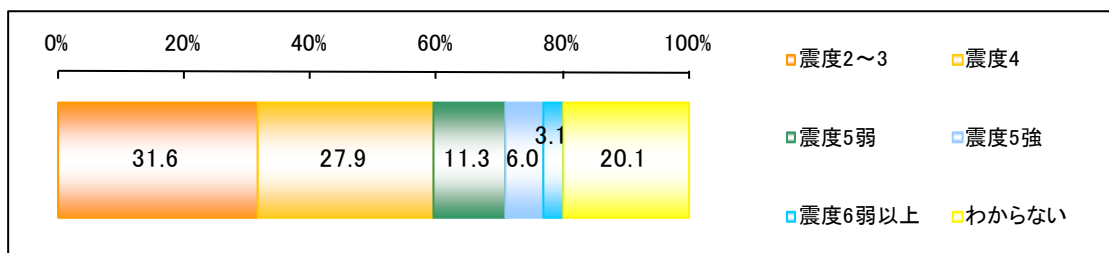
① 設問

その地震では、あなたのいた地域の震度はどのくらいでしたか。(WEB 高度 Q20、質問紙調査 Q10)

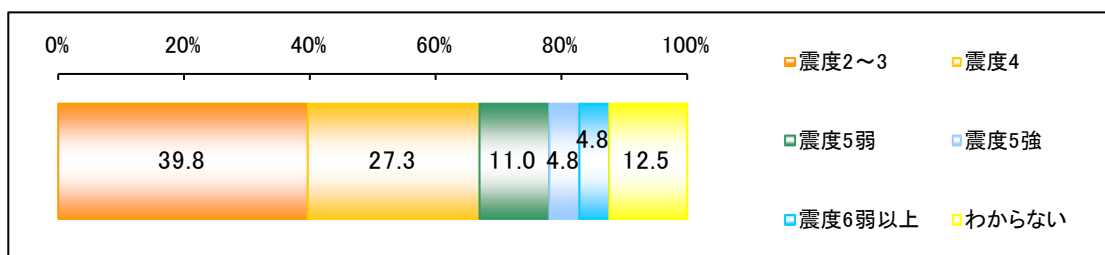
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
震度 2～3	505	159	273
震度 4	447	109	236
震度 5 弱	181	44	85
震度 5 強	96	19	37
震度 6 弱以上	49	19	186
わからない	322	50	273
合 計	1,600	400	817

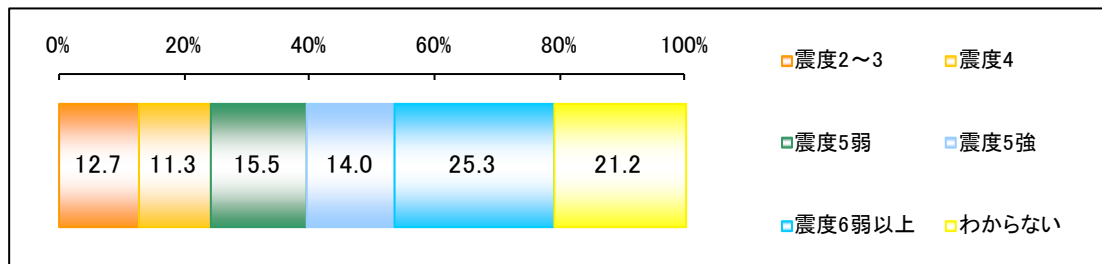
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



21) 本調査 14

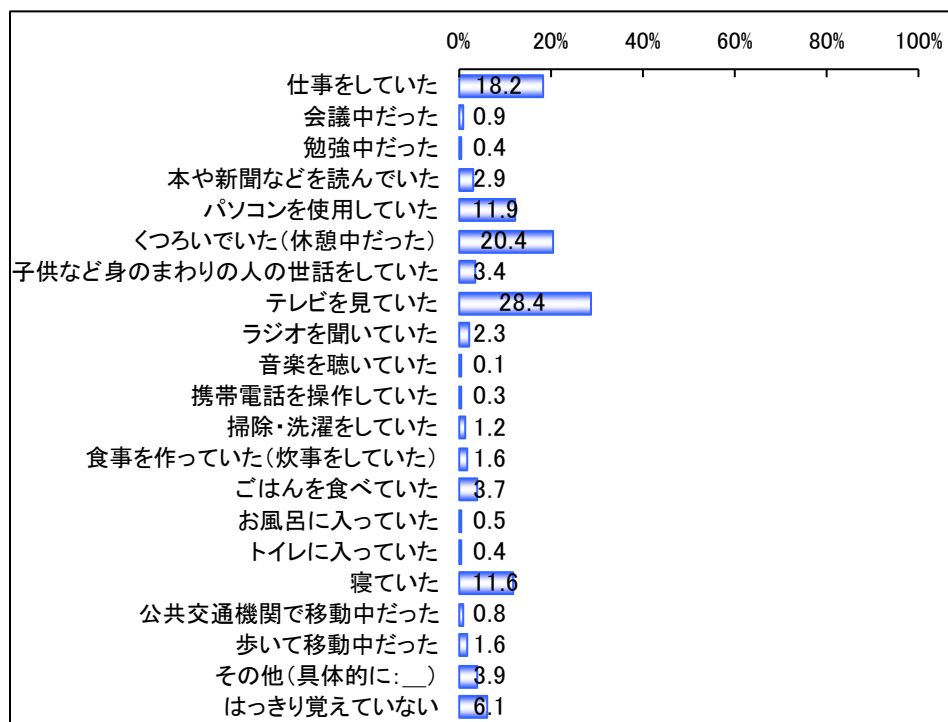
① 設問

その地震では、あなたが緊急地震速報を見聞きしたとき、何をしていましたか。（複数回答）（WEB 高度 Q21、質問紙調査 Q11）

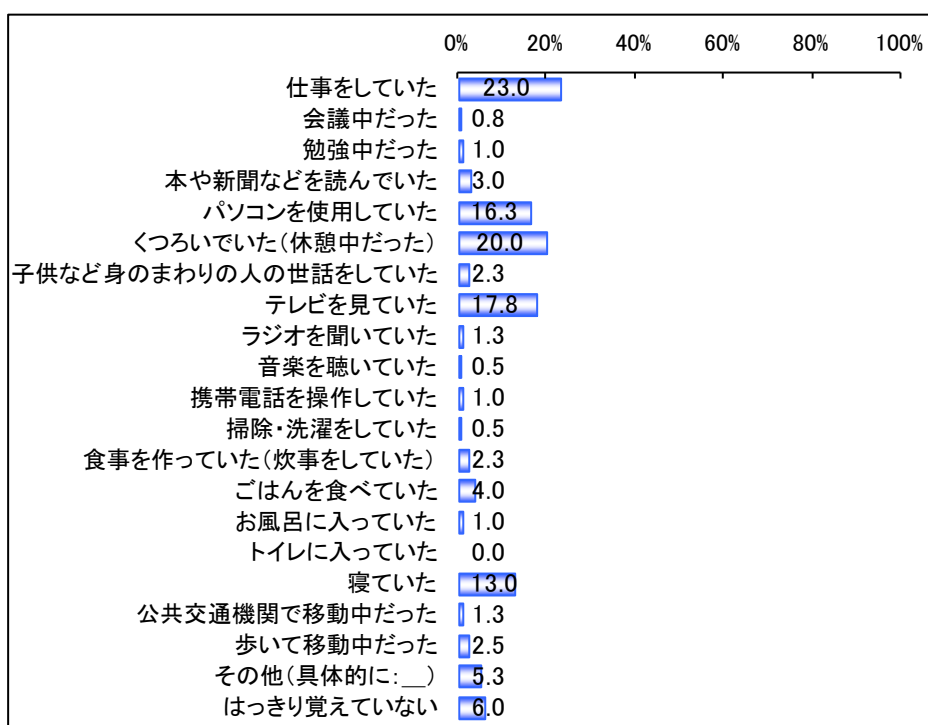
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
仕事をしていた	291	92	154
会議中だった	14	3	6
勉強中だった	7	4	1
本や新聞などを読んでいた	47	12	28
パソコンを使用していた	191	65	20
くつろいでいた（休憩中だった）	326	80	127
子供など身のまわりの人の世話をしていた	54	9	17
テレビを見ていた	455	71	203
ラジオを聞いていた	36	5	49
音楽を聴いていた	1	2	1
携帯電話を操作していた	5	4	12
掃除・洗濯をしていた	19	2	7
食事を作っていた（炊事をしていた）	25	9	22
ごはんを食べていた	59	16	21
お風呂に入っていた	8	4	11
トイレに入っていた	7	0	6
寝ていた	185	52	275
公共交通機関で移動中だった	12	5	4
歩いて移動中だった	26	10	11
その他（具体的に：__）	62	21	33
はっきり覚えていない	97	24	50
合 計	1,927	490	1,058
回答者数	1,600	400	817

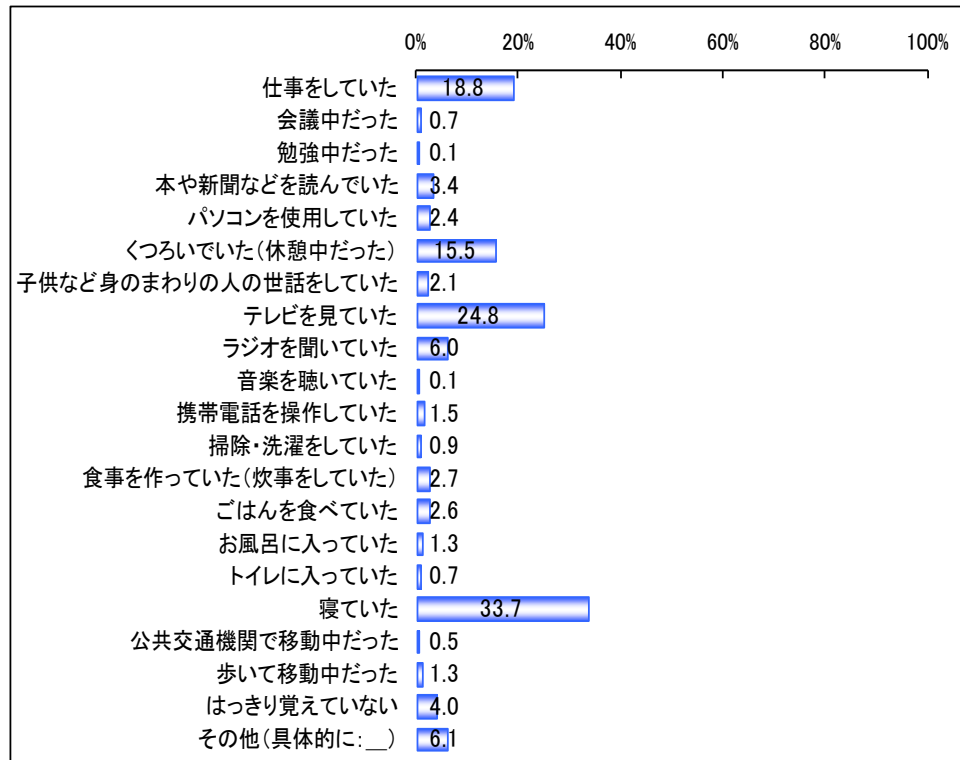
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	20. その他(具体的に:)	
	取私 りの 組 作 み 業 中 等 の	移車 動の 中運 転中 ・
着替え中	<input type="radio"/>	
家で化粧をしていた	<input type="radio"/>	
車の中		<input type="radio"/>
タクシーで移動中だった		<input type="radio"/>
病院でリハビリ中でした	<input type="radio"/>	
子供の卒業式	<input type="radio"/>	
食事をしようとして、飲食店の前に並んでいた。	<input type="radio"/>	
庭にいた	<input type="radio"/>	
車で移動中だった		<input type="radio"/>
バイクで移動中		<input type="radio"/>
身仕度中	<input type="radio"/>	
車でスーパーの駐車場のゲートを出るところだった		<input type="radio"/>
車を運転		<input type="radio"/>
車で移動中		<input type="radio"/>
避難中		
自家用車を運転中		<input type="radio"/>
庭に出ていた	<input type="radio"/>	
自動車運転中ラジオを聴いていた		<input type="radio"/>
自宅駐車場にて、車を入れていた。		<input type="radio"/>
自動車を運転中だった。		<input type="radio"/>
病院でリハビリ中	<input type="radio"/>	
コンビニに居た	<input type="radio"/>	
車で移動中		<input type="radio"/>
運転中		<input type="radio"/>
寝室のベッドの上		
運転中		<input type="radio"/>
親戚へ電話中	<input type="radio"/>	

※設問主旨に合致するもののみ記載

	20. その他(具体的に:)	
	取私 りの 組 作 業 中 等 の	移 車 動 の 運 転 中 ・
買い物の最中	○	
出掛けるところだった	○	
二輪車運転中		○
運転中		○
車を運転中		○
運転中		○
車中		○
停車中の車の中		○
店で買い物をしていた	○	
自動車で移動中		○
店で買い物をしていた	○	
庭仕事	○	
車の運転中		○
スーパーで買い物中	○	
買い物中	○	
マツモトキヨシで買い物中	○	
車の運転中		○
自転車で移動中だった		○
出勤前の身支度をしていた	○	
神社で参拝中。	○	
自転車で移動中だった		○
電車運転中		○
車の中		○
病院にいた。	○	
仕事で車の中にいて信号待ちしていた		○
外で友達と話をしていた	○	
運転中だった。		○
店でライブ演奏中だった	○	
車で移動中		○
買い物中	○	
買い物中	○	
車を運転中		○
自転車運転中		○
訪問先へ車で移動		○
入院居ている妻の介護中	○	
運転中		○
車の運転中		○
車で移動中		○
車で移動中		○
病院で診断待ち	○	
車で移動中		○
外出から戻り支度駐車場へ車を入れたとき		○
子供のピアノの発表会の会場に居た	○	
卒業式の日・・・忘れない日に家において地震・・・起きていた	○	
葬儀中	○	
自家用車(仙台～東松島へ移動中)		○
車で移動中		○
屋外が遊戯中	○	
買い物中	○	
映画館にて鑑賞中	○	
食器を洗っていた	○	
高速を車で移動中		○
車の運転中		○
外出中	○	
仕事で高速道路のP.Aに停車していた		○
母の介護を見守り中に地震で携帯テレビを見た	○	
病院の待合室で会計待ちだった	○	
自家用車を運転中でラジオを聞いていた		○
車で走行中		○
車の運転中		○
車で移動しようとしたところ		○
停電中で避難のため車で移動中		○
来客中だった	○	
車で移動中		○

22) 本調査 15

① 設問

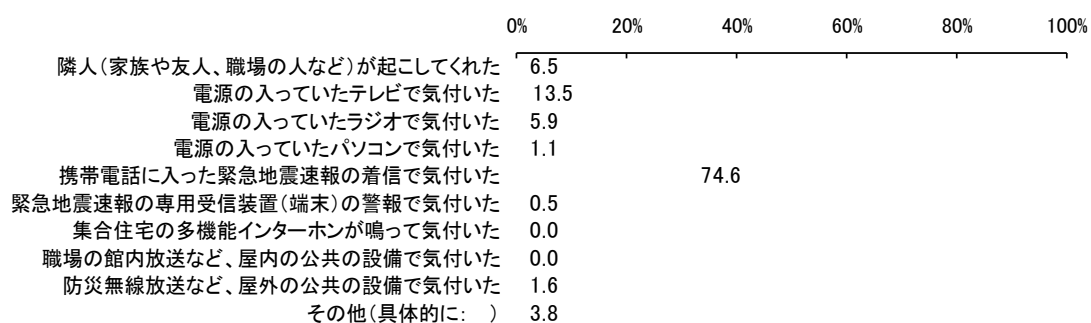
■前問で「17. 寝ていた」とお答えの方にお伺いします■

なぜ緊急地震速報に気付くことができたのですか。（複数回答）（WEB 高度 Q21-1、質問紙調査 Q11-1）

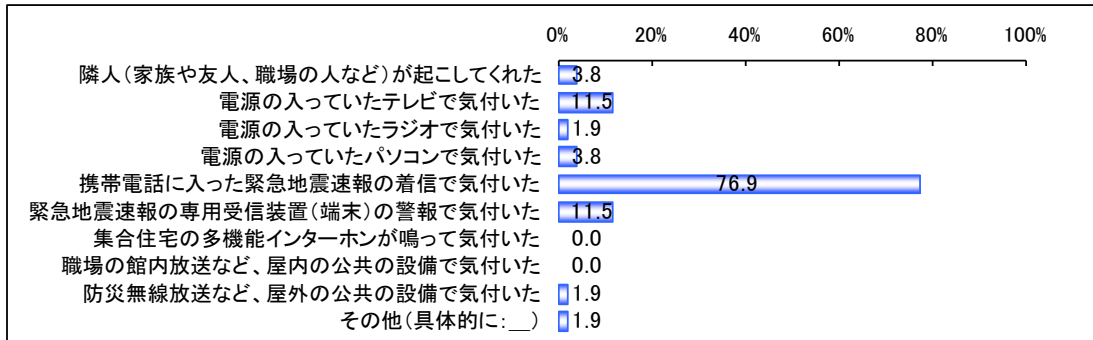
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
隣人（家族や友人、職場の人など）が起こしてくれた	12	2	22
電源の入っていたテレビで気付いた	25	6	19
電源の入っていたラジオで気付いた	11	1	20
電源の入っていたパソコンで気付いた	2	2	1
携帯電話に入った緊急地震速報の着信で気付いた	138	40	171
緊急地震速報の専用受信装置（端末）の警報で気付いた	1	6	6
集合住宅の多機能インターホンが鳴って気付いた	0	0	0
職場の館内放送など、屋内の公共の設備で気付いた	0	0	0
防災無線放送など、屋外の公共の設備で気付いた	3	1	10
その他（具体的に：__）	7	1	26
隣人（家族や友人、職場の人など）が起こしてくれた	12	2	22
合 計	199	59	275
回答者数	185	52	275

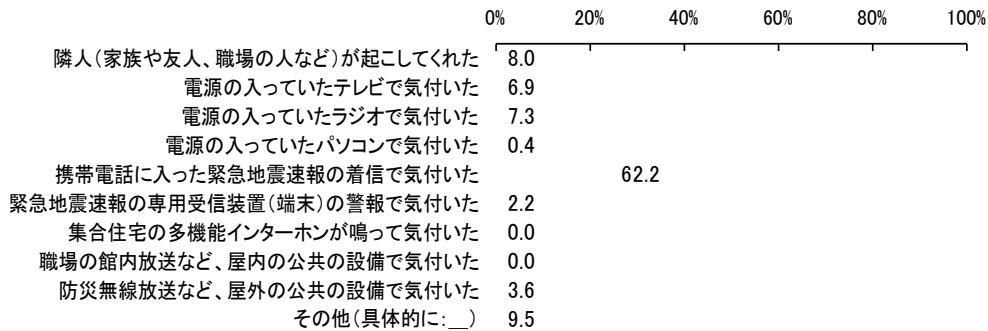
③ WEB 一般（%グラフ）



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

設問	回答
10. その他(具体的に:)	
がきれた震動の後、速報が来た	
揺れで目が覚め。その後速報を聴く。	○
揺れが始まってから気づいた	○
地震で目が覚めた	○
揺れが大きかったので、起きてテーブルにもぐってから、電話の速報が鳴った。	○
強い揺れと地震速報で起きた	○
地鳴りがして目が覚めた	○
揺れてからなった	○
揺れてからなった	○
揺れたから	○
地震の揺れで気づいた	○
地震の揺れで	○
揺れが始まって	○
揺れが来て携帯電話の緊急地震速報がまもなく鳴ったから	○

23) 本調査 16

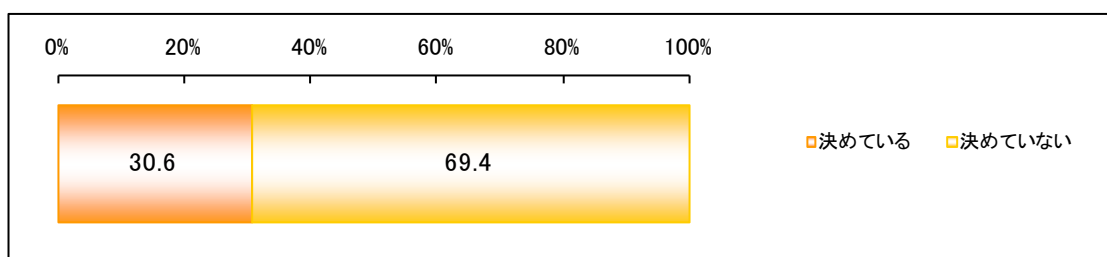
① 設問

あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動を予め決めていますか。
(WEB 高度 Q22、質問紙調査 Q12)

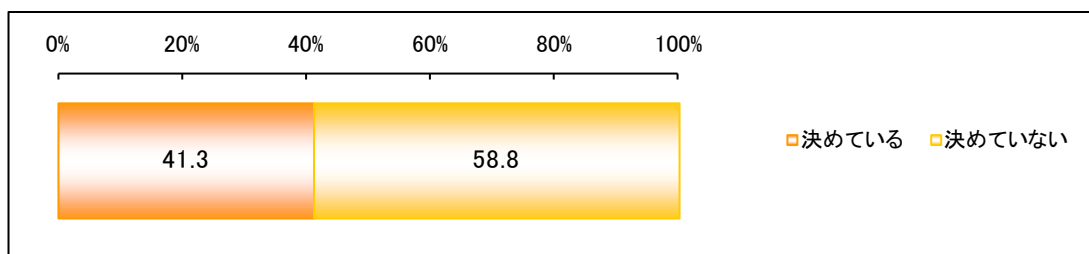
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
決めている	489	165	503
決めていない	1,111	235	314
合計	1,600	400	817

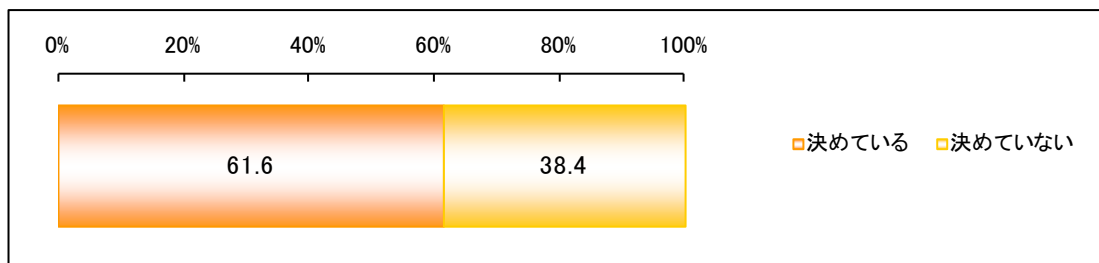
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



24) 本調査 17

① 設問

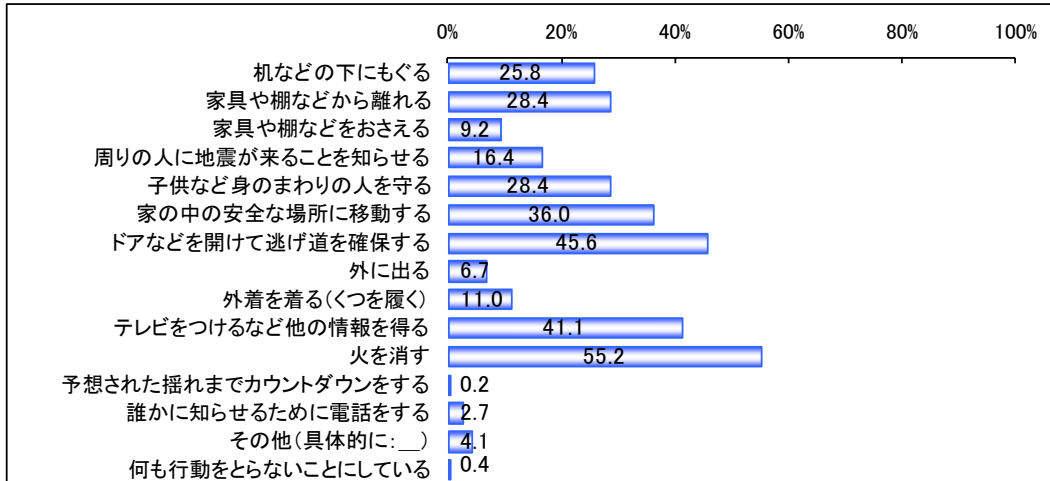
■前問で「1. 決めている」とお答えの方にお伺いします■

具体的にどのような行動をとることになっていますか。（複数回答）（WEB 高度 Q22-1、質問紙調査 Q12-1）

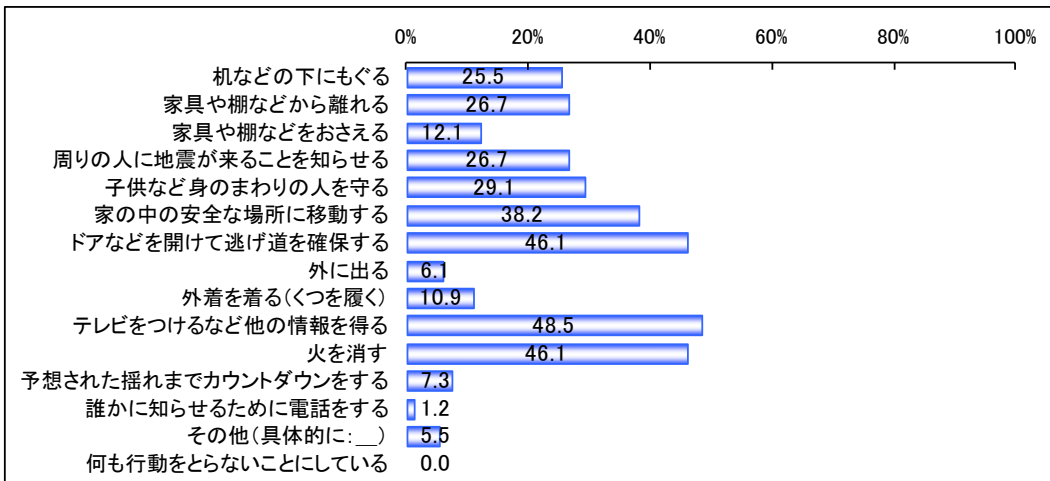
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
机などの下にもぐる	126	42	80
家具や棚などから離れる	139	44	149
家具や棚などをおさえる	45	20	52
周りの人に地震が来ることを知らせる	80	44	133
子供など身のまわりの人を守る	139	48	153
家の中の安全な場所に移動する	176	63	170
ドアなどを開けて逃げ道を確保する	223	76	322
外に出る	33	10	130
外着を着る（くつを履く）	54	18	89
テレビをつけるなど他の情報を得る	201	80	225
火を消す	270	76	361
予想された揺れまでカウントダウンをする	1	12	16
誰かに知らせるために電話をする	13	2	31
その他（具体的に：__）	20	9	23
何も行動をとらないことにしている	2	0	0
合 計	1,522	544	1,934
回答者数	489	165	503

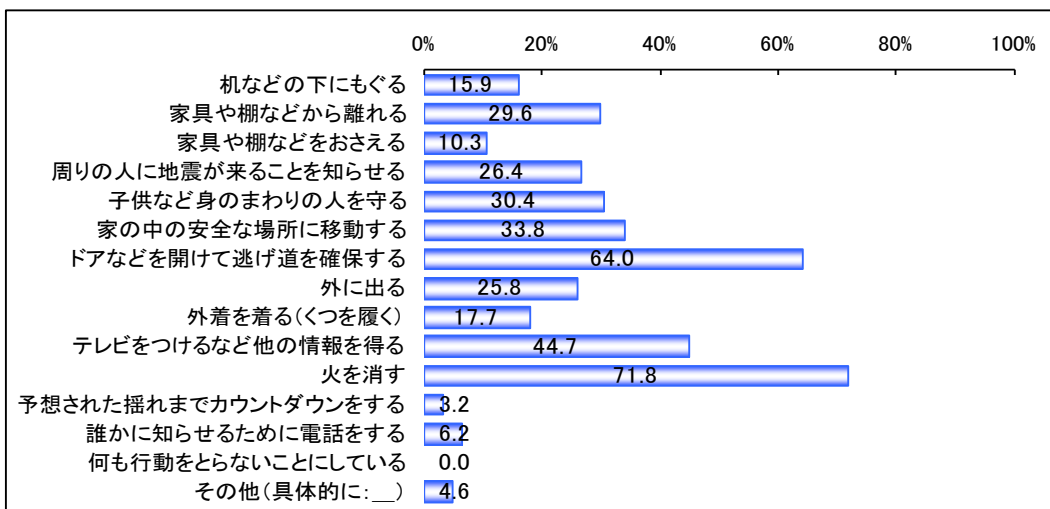
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他（WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査）

※設問主旨に合致するもののみ記載

	14. その他(具体的に:)							
	家族自身の安全を確保する	自身や車を止める	ペット安全確保	避難及び避難準備	防火準備	電気を消す	他の人の判断を仰ぐ	水の確保
愛犬を助ける			○					
ペットの犬の安全確保(だっこする)			○					
バックを持つ				○				
(家族に)声をかけ、(玄関)出口近くに待機								
緊急袋を持つ				○				
防災用具の準備					○			
飼い猫を保護する。			○					
身構える	○							
ヘルメットをかぶる	○							
愛犬の安全の確保			○					
ペットをキャリーに入れる			○					
直ちに非常ブレーキ	○							
持ち出し品の用意				○				
ブレーカーで電源の遮断						○		
エアコンなど火器ではない電気も消す						○		
非常用リュックを持つ				○				
運転中なら左に寄せて駐車する		○						
人にきいて判断する。							○	
季節による着衣を準備している				○				
座って近くにある柱・テーブル等につかまる	○							
夜は電灯を手元に置く				○				
避難袋を持ち出す				○				
ブレーカーをおろす。ラジオに切り替える。						○		
水を貯めれるだけ貯める								○
職場では荷物を手に取る				○				
水タンク(20L)に水道水を入れる								○
周囲を見て危険個所を確認する	○							
ひなんする				○				

25) 本調査 18

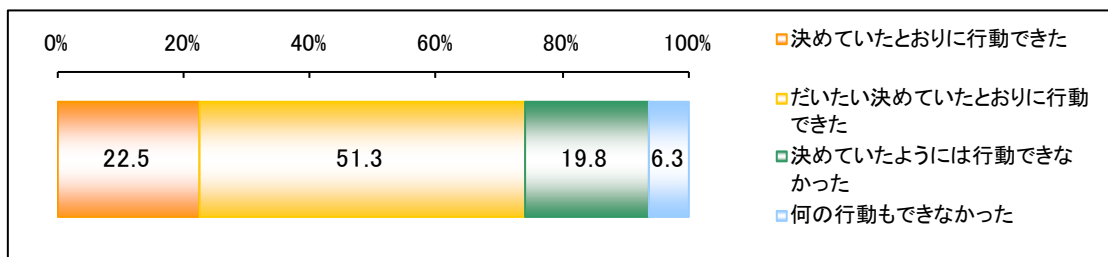
① 設問

Q7 の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を見聞きしたとき、予め決めていた行動をとることができましたか。（WEB 高度 Q22-2、質問紙調査 Q12-2）

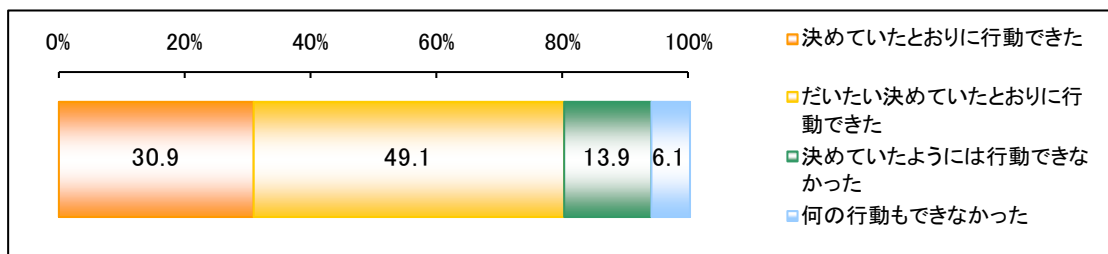
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
決めていたとおりに行動できた	110	51	84
だいたい決めていたとおりに行動できた	251	81	248
決めていたようには行動できなかった	97	23	134
何の行動もできなかった	31	10	37
合 計	489	165	503

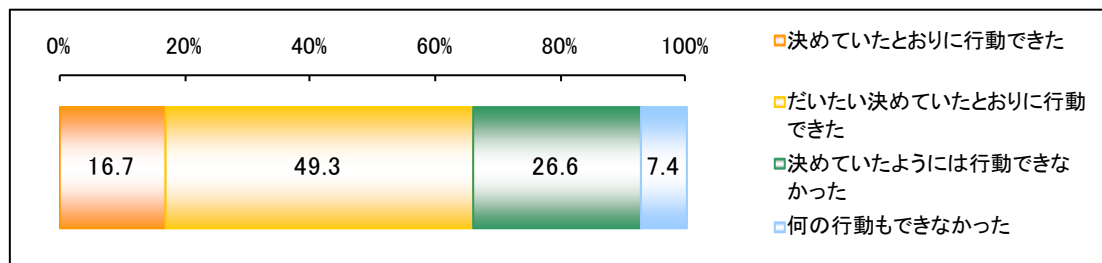
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



26) 本調査 19

① 設問

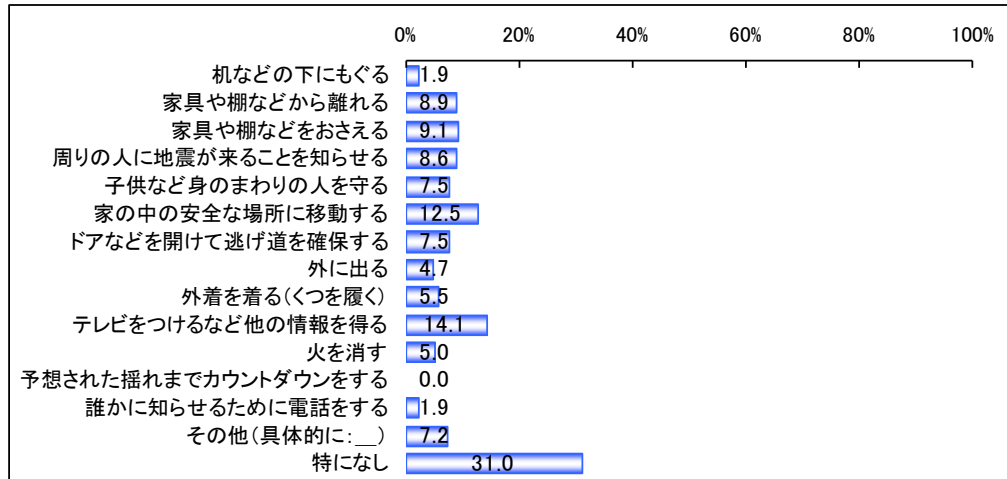
■前問で「1. 決めていた通りに行動できた」「2. だいたい決めていたとおりに行動できた」とお答えの方にお伺いします■

以下の中で、「予め決めていた行動」の他にといった行動がありますか。(複数回答) (WEB高度 Q22-3)

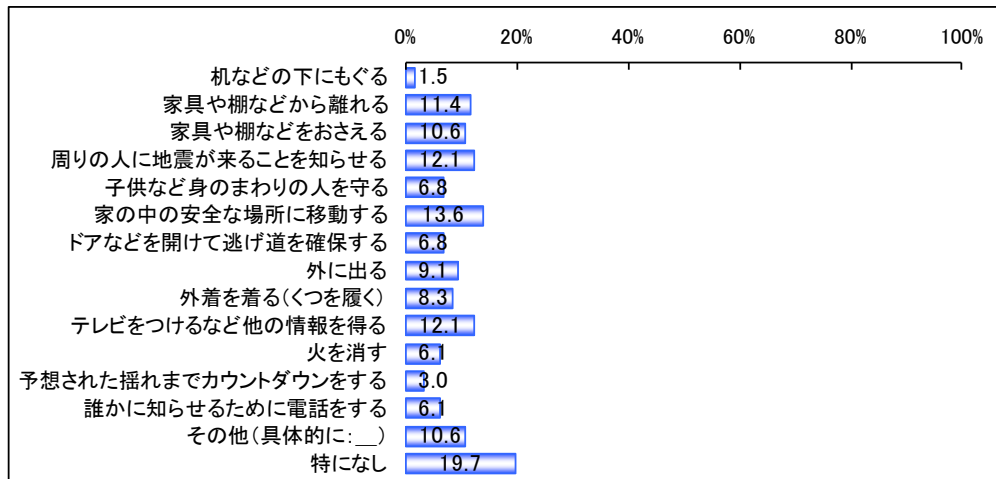
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
机などの下にもぐる	7	2	13
家具や棚などから離れる	32	15	60
家具や棚などをおさえる	33	14	27
周りの人に地震が来ることを知らせる	31	16	64
子供など身のまわりの人を守る	27	9	66
家の中の安全な場所に移動する	45	18	67
ドアなどを開けて逃げ道を確保する	27	9	137
外に出る	17	12	85
外着を着る(くつを履く)	20	11	63
テレビをつけるなど他の情報を得る	51	16	105
火を消す	18	8	109
予想された揺れまでカウントダウンをする	0	4	13
誰かに知らせるために電話をする	7	8	29
その他(具体的に: __)	26	14	33
特になし	112	26	
合 計	453	182	332
回答者数	361	132	871

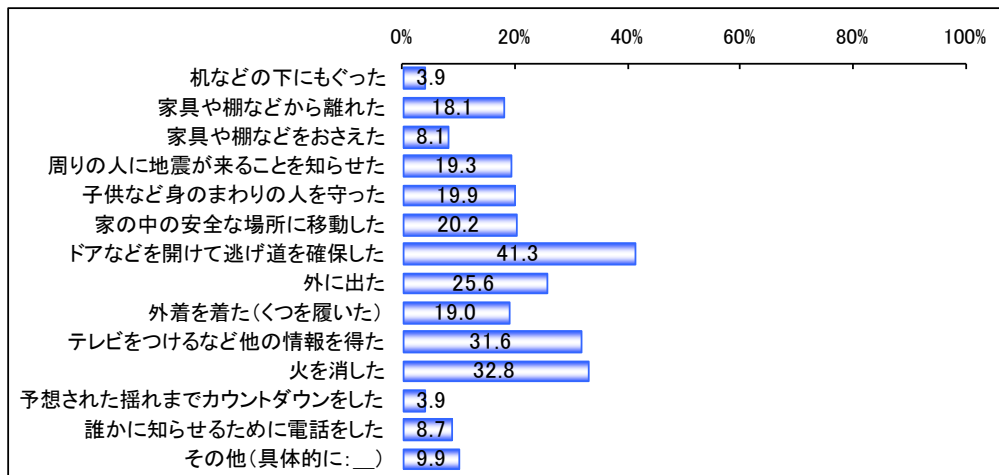
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他（WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査）

※設問主旨に合致するもののみ記載

	14. その他(具体的に:)					
	家族自身の安全を確保	車を止める	ベットの安全確保	避難及び避難準備	電気を消す	被害確認
ゆれ始めるときをじっと待って心構えをする	<input type="radio"/>					
身構える	<input type="radio"/>					
車を止める	<input type="radio"/>					
身構えることができた	<input type="radio"/>					
猫をカゴに入れる。			<input type="radio"/>			
懐中電灯など灯りの確保				<input type="radio"/>		
車の運転の速度を落とす	<input type="radio"/>					
犬を抱き上げる			<input type="radio"/>			
直ちに非常ブレーキ	<input type="radio"/>					
クルマから安易に出ない。頭上落下物の注意。	<input type="radio"/>					
猫3匹を毛布に入れた			<input type="radio"/>			
非常持ち出し袋を確認した				<input type="radio"/>		
そんなに大きな地震にはならなかったですが、こどもをそばに読んで逃げられる準備はできました				<input type="radio"/>		
車の仲二揺れが収まるまで待機している	<input type="radio"/>					
寝たきり老妻の介護	<input type="radio"/>					
津波警報も出たので高台に避難した				<input type="radio"/>		
津波が来ると思ってすぐ高台の中学校へ避難した				<input type="radio"/>		
津波が来ると聞いたので、前の家の人に乘せられ避難した				<input type="radio"/>		
近所の被害確認。						<input type="radio"/>
車で移動中 左側にて停車した		<input type="radio"/>				
電源OFF、隣近所の安否確認に走った					<input type="radio"/>	
防寒着を着用し、避難準備をした。				<input type="radio"/>		
津波が予想されたので、家から出て逃げた:北へ				<input type="radio"/>		
津波がまた来ると思ったので避難した。				<input type="radio"/>		
家内にいつもの所に出るという。	<input type="radio"/>					
車で家族で避難した。津波が心配。				<input type="radio"/>		
揺れが大きかったので車で高台に向かった				<input type="radio"/>		
布団の中にもぐる	<input type="radio"/>					

27) 本調査 20

① 設問

■「予め決めていた行動」以外で、こうしておけば良かったと思う行動があれば、どのようなことでも結構ですので、あなたのご意見をお聞かせください。■

(自由回答) (WEB 一般 Q13-4、WEB 高度 Q22-4、Q12-4)

	自由回答																	
	離りの保	自分や人の身の安全	非常用電源の確保	屋内の安全確保	薬等の確保	水、非常食、	保	ガソリンの確保	防災活動	消火活動	確保	ペットの安全	避難の準備	連絡体制の確保	情報の確保	意	子供用品の用	
電池式の照明器具を手が届く範囲に用意しておけばより安心だった。もっとも、常に小さなライトは携行していたし、部屋のランプ2つはバッテリーバックアップで1時間半は点灯し続けるので、さほどの問題ではないかとも思う。			○															
水の確保 火を消すなどできればブレーカーも落としておきたい。						○												
落下物に注意する 寝ていたのでふとんをかぶった									○									
ペットの身柄を確保する 必要最低限の日用品をまとめておいた方がよいと思った。						○			○			○						
靴をはく。緊急用の荷物を持つ(作っておく) 貴重品をまとめておけば良かった テレビ等の固定 避難袋の準備							○									○	○	○
常に靴を履いておくこと。サンダル等を廃棄しました。 非常袋等、すぐに持ち出せる場所に置いておく 逃げる ペットへの対応												○				○	○	○
貴重品の整理、保管場所 避難道具をまとめておくこと 家具の耐震の強化 耐震対策							○									○	○	○
乾電池の予備 頭を守るものを用意しておく 避難する、しないに関わらず車のエンジンをかけて避難準備しておけば良かった。			○						○									
家族で連絡を取り合う方法 テレビを固定する 非常用バッグを傍に置く 家具の扉にストッパーを付ける。頭と足元の安全確保。						○										○	○	○
子供に地震の時の行動を予め教えておくこと。 外着を着る メールが通じなかつたので、家族だけが書き込めるネット掲示板を決めておけば良かった。 もつと逃げ見ように家の掃除 身の安全を確保する事 地震時に懐中電灯とラジオ、その他避難道具などを瞬時に持ち運べればと思った。 自宅や別の場所に居る家族との統一した避難行動と避難場所の申し合わせなど							○									○	○	○
家具の固定 貴重品の整理 避難先の確定 非常用袋をいつでも持てるようにしておく 避難袋の用意 ヘルメットとサンダル着用 対震金具をつけておくべきだった 小さな携帯食とマグライト、水のペットボトルを常に身近に置いておく							○									○	○	○
緊急時に、家族と連絡をとる方法を話し合っておくべきだった。固定電話や携帯電話は使えなくなったが、インターネットは無事だったと記憶している。インターネットを利用した何らかの連絡手段が考えられる。																○		
暖房を消す 緊急持ち出し袋の用意 ドッグフードなど出入り口の近くに置いておくことで取り易くてよい。												○					○	○
持ち出す荷物を身近に置くこと 保存食品の用意 非常用持出袋の配置 厚手の着替えの用意しておけば良かった。 防災用具の準備が必要 避難行動の際、携帯電話を持てば良かった にげる 着替える 緊急連絡網の電話を待機して待つ お風呂に水をはっておく。3.11以来水を常時はっている。 非常袋の用意 防寒着を着る																○	○	○

	自由回答																			
	確 保	り の 人 の 身 の 安 全	自 分 の 身 の 安 全	用 意 の 周 辺	非 常 用 電 源 の 確 保	保 屋 内 の 安 全 確 保	乗 車 等 の 確 保	水 、 非 常 食 、 の 確 保	ガ ソ リ ン の 確 保	防 災 活 動	消 火 活 動	確 保	ベ ッ ト の 安 全	避 難 の 準 備	認 知 制 度 の 確 保	連 絡 体 制 の 確 保	情 報 取 集 手 段 の 確 保	意 見	子 供 用 品 の 用 意	
防災グッズを手元に置く																				
食料の備蓄																				
非常袋を持ち出す																				
懐中電灯を用意する。槽に水を溜める																				
逃げる準備をする。																				
犬を抱っこする																				
避難																				
非常用のグッズを一ヶ所にまとめておけば良かった。																				
服&靴の確保																				
まだ完全に家具を固定していなかった																				
緊急持ち出し袋を逃げ道近くに常に保管しておく事																				
非常持ち出し袋は市販品ではほとんど役に立たないことがわかった。車での避難生活を想定してアウトドア商品や備蓄品、炭火でお湯をわかせるようにした。																				
靴を近くにおいておく																				
ラジオ、充電器の準備																				
すぐに服をきるコートなど																				
外に出るための靴の確保																				
頭を守る																				
家具の完全耐震化																				
火を消すこと																				
地震が起こることを想定し、周囲の安全確保をすること。																				
窓際から離れていた方が良かったかと思った。																				
テレビのリモコンを身近に置く。携帯電話を所定位置に置いておく。																				
あたまを隠す																				
犬を連れて逃げる																				
避難袋を玄関に保管しておけばよかった。																				
扉をあける家具や棚から離れる																				
とにかく身の安全を確保する。それ以外の行動は揺れがおさまってから。																				
その後、防災用品の購入、食料の備蓄をし、オフィス家具の転倒防止工事を施工した。																				
貴重品を持ち出す																				
あらかじめ家具の固定しておけば良かった。																				
避難ルートの具体的なイメージを持つこと																				
ラジオをいつでも聴ける状態にしておく																				
非常用の食料などの準備をしておく																				
子供用の水と食べ物を用意する																				
非常持ち出し袋を用意																				
貴重品を持ち出せなかった																				
靴を近くにおいておくこと																				
お風呂の残り湯を捨てなければよかった。																				
スリッパなどはく																				
家具やテレビの固定。よく和室にある吊り型の照明、これを固定式タイプにしたいと思った。																				
財布を身につけるべきだった																				
風呂に水をはっておく																				
犬を抱く																				
揺れが大きい時はどりあえず火を消し、外へでることにしている。あわてて携帯電話を持つのを忘れた。																				
ラジオを聴く																				
実際に大地震が起きた時に家族の集まる場所を決めて無く不安感が有った。																				
靴の準備																				
貴重品をまとめておく																				
非常用備品の用意																				
自分の身もしくみを守る																				
電気が止まったので、乾電池や食糧、ガソリンなどの燃料の備蓄																				
避難道具を抱える																				
持ちだす物を決めておけばよかった																				
3.11後 強い余震が続き 常に警報が鳴りっぱなしの状態だったので 避難袋を身の回りに置いてあったので 直ぐに袋を持つようにしていた ガス栓は自動で止まるので 止めている間に 身の確保のほうが大事だと思った																				
食材の確保																				
常備袋を用意																				
家族との連絡方法願が得るべき																				
非常持ち出しの確保																				
貴重品をすぐにとって出れるようまとめて身近において置くこと																				

	自由回答																		
	確保	りの人	自分	非常	保	屋	薬	水	保	防	消	確	ベ	避	認	連	情	意	
	の	の	用	常	内	等	、	ガ	災	火	保	ッ	難	絡	報	子			
	身	の	電	の	の	確	非	ソ	活	活	の	ト	の	体	取	用			
	の	周	源	確	確	保	常	リ	動	動	の	の	制	集	品				
	安	の	の	の	の	の	食	の			確	安	の	手	の				
	全	周	の	確	確	確	、	確			保	全	確	段	用				
	の	の	の	の	の	の	、	の			の	の	の	の	の				
	の	の	の	の	の	の	、	の			の	の	の	の	の				
家具の耐震固定。																			
携帯ラジオをすぐに使える場所に置く事																			
本棚をきちんと固定しておくべきだ																			
携帯の充電、電池の替えや水の確保、電気に頼らない暖房機や調理設備機器の確保等を含め危機管理及び能力が不備であった。																			
照明器具の確保、履き物の確保																			
外に出られる服を着ていけば良かった。																			
暖かい上着を着る																			
衣服を非常に備えて着る。																			
子ども用品を常に用意しておく。オムツ・着替え一式など																			
非常食の準備をしておけば良かった。																			
非常用具の持ち出し																			
断水に備えて水をためておく。																			
ケトルやお風呂に水を用意しておくこと																			
普段から家具を固定したり、水や非常食の確保などをしておきたい																			
外着を着る																			
携帯電話のメールで情報を得る																			
防災用具の携行、水の確保。																			
携帯電話を持つ																			
防災用品の確認が必要だと思っている																			
高いものに物をあけない																			
部屋の片付けの徹底																			
倒れやすい荷物の整理。																			
夜だったので、懐中電灯を手を持つこと																			
非常用具を持ち出しやすくしておくこと。																			
避難用に靴を用意しておく																			
停電になったので、灯りなどの辺りを照らすものや、小型ラジオを手の届く範囲または、各部屋に常に置いておけば良かったなあと思いました。																			
幼児がいるので、すぐ逃げ出せるある程度オムツ・ミルク・食料の入ったバッグの用意																			
高い場所(避難先)を予め決めておいた方が良かったと思った。																			
高校生の娘の友達が泊りに来ていたので、前もって地震時の行動を話しておくべきだった																			
水や食料品等を備えておきたい。																			
水をためる																			
貴重品を予めとりやすい場所に用意しておくべき																			
貴重品をまとめる																			
水の確保																			
決めておいた行動ではないが、車にガソリンを入れておく、水、食物等を常に貯えを準備して持ち出しやすい所に準備しておくべきだった。と思った。																			
貴重品をまとめておくこと																			
家族が一緒にいないで離れていても近所の人への連絡先と親戚などへの連絡先を把握して置くように連絡網などの作成をする。																			
家具などの転倒防止の対策をしておけば良かったと思いました。																			
よく通る道路だったら避難場所をいくつか考えておく																			
携帯電話をあらかじめ充電しておく、簡易充電器を用意しておく																			
逃げ道に色々な荷物を置いていたのですが、きちんと片付けておくべきだと思いました。しかし持ち出し荷物だけは逃げ道におかなくてははいけないし、狭いマンションの玄関ではジレンマです。																			
家族と電話を使って連絡が取れなかった時の集合場所の設定。(避難場所)																			
携帯やパスポートなどをポケットに入れる																			
非常袋を手元に持つ																			
身近な人に、すぐさま連絡をとれば良かった																			
スリッパなどの履物を手に取れるところに置いておけば良かった。																			
避難ルールの確定																			
高台に逃げる支度																			
水の備蓄																			
トイレに行っておけば良かった。																			
非常持ち出し袋を持つ																			
食料の備蓄																			
避難用品を持参する																			

	自由回答														
	確 保	自 分 の 身 の 安 全	用 意 の 周 全	非 常 用 電 源 の 確 保	保 屋 内 の 安 全 確 保	薬 等 の 確 保	水 、 非 常 食 、 の 確 保	保 ガ ソ リ ン の 確 保	防 災 活 動	消 火 活 動	確 保 ベ ッ ト の 安 全	避 難 の 準 備	認 連 絡 体 制 の 確 保	情 報 取 集 手 段 の 確 保	意 子 供 用 品 の 用
色々な防災用具をもう一度点検食料、毛布等を備蓄する。															
避難用の道具を持ってよかった															
以前から地震対策はしっかりと取っており家具の転倒や落下物の心配はなく、へたに火を消す等動き回るよりまず身の安全を確保する事と教わったので、特にな															
い。3.11時に外に出るより自宅が安全とよく分かった。															
火を消す															
緊急持ち出し袋をもっと持ち出しやすいところに用意しておくこと。															
家具等の転倒防止															
室内履をはく															
充電ラジオは定期的に充電しておかなくてはならないと実感しました。															
家具の転倒防止対策がしっかりさせておきたい。そしたら他の事も出てくる															
壁などに、「何をするか」を書いて貼っておけば良かったと思った。															
水を汲む															
周りの人の確認															
非常持ち出し品の確認															
ガスの元栓をきる															
歩きやすいくつを用意する															
子供達の帰宅経路を、明確にしておけば良かった。直ぐに停電となり、テレビ等の情報が直ぐに得られなかった、カーテレビの利用を想定する事。															
くつをはけるように用意する															
家族へ安全な場所への誘導															
ペットの移動確保															
外着に着替える															
家族間の連絡方法をきちんと定めておけば良かった															
方が一の食糧と飲み水の確保の準備															
家族の避難場所位置															
ラジオを持ち出す等情報源の持参の癖付けをしとけば良かった。															
日常の備蓄															
窓ガラスの補強															
持ち出しグッズの用意、靴を身近に用意。															
家具、扉等の固定															
くつ、上着などの用意、できれば貴重品を持つ															
非常用持ち出し袋を用意しておけば良かった															
備蓄品をまとめておけば良かった。															
動きやすい服装															
持ち物を確認する															
緊急持ち出しリュックを手にする。															
貴重品等は定位置に確保する															
ペットの安全の確保															
部屋の中にも靴をおくようにする。															
まずファンヒーターとエアコンを消し、1階にいる家族に室内電話と大声で知らせ、ヘルメットとラジオ付き懐中灯(昼間ではあったが)と携帯電話を手を取ったが、カウントダウンの途中で大きく揺れ出したために動揺し、携帯電話の充電器を持ち出すのを忘れた。また、PCで緊急地震速報が鳴った時、最初にPC画面で予想震度を確認するのだが、確認するよりも先に行動するクセを付けた方が(鳴ったら毎回の確に動けるよう)、しかもそれを習慣化させた方がいいと思った。大げさなくらいに、小さな震度でも的確に行動できるよう、身につけておいた方がいいと思った。															
たまたま土曜日の休日であったため、家族一緒だったが、緊急時の連絡方法の優先順位を決めておいたほうが良いと思った。															
非常電灯などの持ち出し															
身の回りのものをまとめておいたのに存在さえも忘れていた															
頭部の安全確保															
電気を使用しないで、使えるもの(ストーブやカイロ)の準備等															
乾電池常備、電灯ランタン等常備、テント															

	自由回答																
	確 保 の 人 の 安 全	自 分 の 身 の 安 全	用 意 の 周 圍	非 常 用 電 源 の 確 保	保 屋 内 の 安 全 確 保	薬 等 の 確 保	水 、 非 常 食 、 の 確 保	保 ガ ソ リ ン の 確 保	防 災 活 動	消 火 活 動	確 保 ベ ッ ト の 安 全	避 難 の 準 備	認 連 絡 体 制 の 確 保	情 報 収 集 手 段 の 確 保	意 子 供 用 品 の 用		
3月11日の大震災のときは家は大丈夫だったので家が中が大変なことになって、何もかもグチャグチャになりまして1人で2人の孫を見ていたので揺れ絵が鶴腰小さいときにふっと思った事が食べ物、飲み物の事が頭に浮かび冷蔵庫にも何も無く、他にお腹に溜まるようなたべものがなくて、その日に限っていつもだと午前中に買い物に行くのにまだその日入ってなくて結局何も口にするのが無くそのまま孫を連れて近くの中学校に避難をしました。だけどそこでも何もなくて、何も口にしなかった日が二日間、けど3日目で飲み物がなくて、孫が全部で5人大人4人で3日目も何もそのままでした。4日目から果物少しずつそれも小さく分けて食べてという感じだったので、中学校そして家に帰ってきたときも大した食べ物が無かったので今は三日おきに水をとり換えるようにいっぱいみ置きをして食べ物も孫達が食べ物や飲み物など色々避難食やその他、ローソクラジオ、電池、マスク、北海道、ティッシュ、海中電気などひとおろいそろえていざとなった時4日?5日くらいもつらいの食料も天死しています。あの突如みたいなのがかわいそうな思いをさせないために①②③でも長くもつ食料を買い置きしています。本当に後少しでも食べるものがあつたら良かったのにと井木だに後悔しています、どうなるかと思いましたが																	
風呂に水をためていけば良かった																	
火を消したりガスを止めたりするべきだった。ケータイの速報の音を聞くと3月の地震を思い出してしまい2つの事をするだけではないいっばいになってしまいレシ生に判断出来ない																	
あわてず状況判断把握するケータイで連絡を取れない場合家族や知人に避難場所を伝える																	
夜だったので懐中電灯を分かりやすいところへ置いておけば良かった																	
寝タイル枕もおに携帯ラジオ(乾電池使用)と懐中電灯などを於ておく事、停電中でも衣服が着られるように順を決めておく事																	
3月11日の地震の時すぐにライフラインがダメだったので避難時の持ち出す物などで一カ所にまとめて井於ければ良かったと思います。必要な物も買いそろえておけば良かったと思いました																	
停電時の対応策を覚えておくべきです																	
家に居る時は地震が収まるまで安全に物が落ちたりしないように家族を守りますが、いろいろなパターンでの地震の事も1つずつ決めておかないとイケナイと思つた。眠っていたら着替えてい時間持ちもの、逃げる時の車に乗って行くまでの道順など、必ずみんなが一緒に居るときにならないので各自自身で逃げるときは決めた場所に集まる事を最終的に決めてからそこに着いたら待つように話している																	
家具などの固定ワレモノは棚の中にしておく事																	
ガソリン灯油の確保非常食の確保者採用携帯電話機充電器の確保																	
3,11後大きなダメージ野は来ないだろうと思ひ備蓄品が少なくなっていた。以降は消費期限を確認しつつ入れ替えてる貴重品は一カ所にするガソリン灯油は在庫を減らさない																	
深夜など寝ているときに地震が着た場合は焦らず落ち着いて着替えを敷してから行動するようになりたい																	
家具を固定しておけば良かった																	
寝ているときは自分の着物は大きい物に包んでおく事家の中を片付けておく事戸やドアの近くに重たい物は於かない玄関に安全性のある靴を置く帽子も用意する。幸い少しだけノセトモやタンステレビひっくり返って少し壊れたくらいですんだ風呂場のタイルにひびが入つた。3.11より4月8日位?のほうで壊れた																	
停電のためTV等の情報収集が出来なかつた。4月7日の地震後TVにUPS固定電話と防災無線にUPSを装着して停電対策とした																	
花瓶など水のはいつてるものを下におく																	
電氣(ブレーカー)を切る事																	
頭を保護する物を手元においておく必要があつた																	

	自由回答																			
	確 保	自 ら の 身 の 安 全	自 分 の 身 の 安 全	用 意 の 周 り	非 常 用 電 源 の 確 保	保 屋 内 の 安 全 確 保	薬 等 の 確 保	水 、 非 常 食 、 保 の 確 保	ガ ソ リ ン の 確 保	防 災 活 動	消 火 活 動	確 保	ベ ッ ト の 安 全	避 難 の 準 備	認 定	連 絡 体 制 の 確 保	情 報 取 集 手 段 の 確 保	意 識	子 供 用 品 の 用 意	
23.4.7の地震が来る前に非常食(補助食品)飲料など非常持ち出し品を準備しておく必要を感じた。家庭用と車両用とに分ける必要も感じた。実際4.7の地震に際しては自宅に居たので慌てず行動できた。近隣の方への呼びかけをしたりも出来た。							○													
防災用品の点検など														○						
家庭電源サーキットOFF プロパンガスの元栓の閉め緊急時非常持ち出しのものを持参しなかったので持ち出すべきである											○			○						
水食料ガソリンが入ってなかったので準備しておくべきだった														○						
ハザードマップの確認														○						
防災グッズ等をしつかり買いそろえておけば良かった(電池石油ストーブマッチ非常食ラジオヘルメットヘヤバキリュック)と後悔した 棚等のストッパーをきちんとつけておけば良かった														○						
水の確保							○													
1. 家族の安否確認の仕方 2. ラジオ等ですぐ情報が聞けるようにしておく 3. 携帯メールを暗号化しておき、(家族内で決めた暗号で)スムーズに対応すれば混乱しないで済んだかも貴重品をまとめておく。災害に備えて食料、防災グッズを準備しておく。家族間の連絡方法、避難場所の確認							○							○	○					○
すぐに避難するのではなく、確実な情報を得て行動する																				
車で避難するため、非常用の食料や布団、着替えなどを準備しておけばよかった。携帯、懐中電灯など飲み水の確保				○			○													
外着を着けて、くつをはいて、防災リュックをもって外に出るようにすればよかったと思う。														○						
外に出た場合建物から離れたほうがよい。ブロック塀の周りからも離れること。	○																			
行動ではないが、防寒など衣類を身近に置いておくこと															○					
まわりの状況を見て、安全な場所に移動する		○																		
3日間ぐらいの飲料水と食料を準備しておくことよと思った							○													
大切なものをリュックサックに用意しておけばよかった。(夜だったので)服を着て寝ていればよかった、(2階で寝ていたので)夜なので寒かった。電灯を用意していたかつあわててもいなかっかつ携帯で地震の前に目が覚めたのでよかったのか。夜の方が何十倍も怖かった。														○						
断水が予測されるので、すぐに水をためる							○													
地震が来ることを周りの人に知らせたよかった。寒さ対策をきちんと準備しておけばよかった(夜中だったので)															○					
停電になると特に夜の場合は明かりを身の回りに用意しておかないと動きがとりにくいです。テレビの情報は無理になりラジオだけです。ラジオも身の回りに置くようにしないといざというときは探せないものです。																				
1. 風呂の残り湯は捨てないでおくこと(水道が止まりトイレのつまりを流せるから) 2. 保管の米は二階に置いた方がよい。(津波での汚染が助かる場合もある。) 3. ポリタンク缶は常時満タンにしておくこと。 4. 避難先は張り紙しておくこと。 5. 電気が止まっても電源を切り避難する事。 6. 津波には何をさておき逃げる事が第一である。							○													
近所には、高齢者がいて耳が遠く、目には一人であることが多いので、やはり気に掛ける様にしたい。なかなか高齢ともなると行動力も低下するので、出来る限りの事をしたいと思っている。																				
非常持ち出しを手元に置いておけばよかった															○					
家庭で発電機の準備				○																
避難するかどうかで家族内で意見が分かかれ、避難はしたが時間が過ぎてしまった。これからは5以上の地震がきたら迷わず避難することにした															○					
幸い高台に住んでいたので津波の被害はありませんでしたが、電気がつかないで避難所に行きました。貴重品は持ち出せるよう用意はしていましたが毛布などは心がけていませんでした。何日も避難所でお世話になるとはおもっていませんでした。水を用意しておくべきだと思いました。							○													

	自由回答															
	確 保	り の 人 の 安 全	自 分 の 身 の 安 全	非 常 用 電 源 の 確 保	屋 内 の 安 全 確 保	乗 等 の 確 保	水 、 非 常 食 、 の 確 保	ガ ソ リ ン の 確 保	防 災 活 動	消 火 活 動	確 保	ベ ッ ト の 安 全	避 難 の 準 備	認 め ら れ た 連 絡 体 制 の 確 保	情 報 収 集 手 段 の 確 保	意 子 供 用 品 の 用
ガソリンを(車の燃料)適量確保しておくと思い ました。								○								
帽子があるのでかぶって外に出るようにする。(事務職 なので部屋内がガラス張り) お風呂の中に水を入れておけばよかった。							○						○			
携帯ラジオ、懐中電灯、車準備 手元に懐中電灯を置けばよかった				○											○	
防寒着、飲み物等を持つ。必要最低限の持ち物を準 備しておけばとおもう。(薬と少々のお金。カードはだ めまったく利用できない。)いつも出口にバール道具を 用意している。60cmのもの。													○			
自分の身を守る。家具や棚などあらかじめ倒れな いようにするべきだった。	○				○											
近所の外回り(ガスボンベ及び灯油等)の転倒にきく ばり										○						
緊急時に持ち出せるものの準備を日頃からしておけ ばよかったと思う。懐中電灯、ラジオ、乾電池など				○											○	
寝るときは上着と懐中電灯を常に枕元に準備してお けばよかったと思いました。				○												
ガソリンを常に満タンにしておく。携帯電話の充電。 飲料水をペットボトルに多くいれておくべき。又食糧品 (レトルト)、灯油等すつしておくべきでした。釜石 は、ガス、電気が通じないので、またティッシュも同様 に。							○	○								
貴重品緊急用食料等の持ち出し 上着を着る、家族で一か所に集まる							○						○			
携帯の充電器の準備															○	
1. あらかじめ「重要書類等」をまとめ、いざというときに 持ち出せるよう準備(現在実施中)2. 車用ガソリンの 確保(ポリタンク実施中10L)3. 携行品準備(ライト、ラ ジオ、マスク、カイロ、水、トイレ用ペーパー) 冬季の寒さをしのぐ防寒着など、すぐ持ち出せるところ に常備しておく。3.11は寒くて死にそうだったため												○				
棚などの固定、および散乱防止対策 家の中にある小さくて落ちそうな物を床などに移動し ておけばよかったと思う。(時計や写真立てなど)					○											
飲料水の確保(ポリタンクなどに)。車両のGAS(FULL 状態)。懐中電灯、ラジオなどの電池の確保。							○									
住宅の耐震補強					○											
ヘルメットを準備して装着すればよかった。	○															
薬を会社準備しておけば良かったと思いました							○									
夜だったので食品を(何でもよい)持ちたかった							○									
地震発生時(3.11)停電10日間、(4.7)停電2日間のた め、テレビによる情報入手が出来なかった。それがた め、「発電機(含むガソリン)を備えておけば」と思いまし た。現在は発電機を備えました。								○								
家具や本棚を固定する					○											
地震の避難訓練をしていたので近くの高い学校へ急 いで逃げた。																
家具棚等転倒防止器具を全てに設置しておけばよい と思った。					○											
懐中電灯をわかりやすい場所に置いておき、すぐ使え る様にしておけばよかった。				○												
風呂水を普段からためておくこと							○									
必要な燃料の確保、水、食料など日ごろから準備して おくべきである							○	○								
家族親族に被害が予想される場合、あらかじめ避難集 合する場所を決めておく。外には貼紙(安否、避難先 は書かない)※不在を見た泥場が侵入した事例が多数 あったそうです。													○			
食料、水のストック							○									
電気ブレーカーのある場所にあまり物をおかないよう にしておけばよかった。ブレーカー落とすのに少し時 間がかかった。整理整頓、ブレーカーの位置、少し低 めに。									○							

28) 本調査 21

① 設問

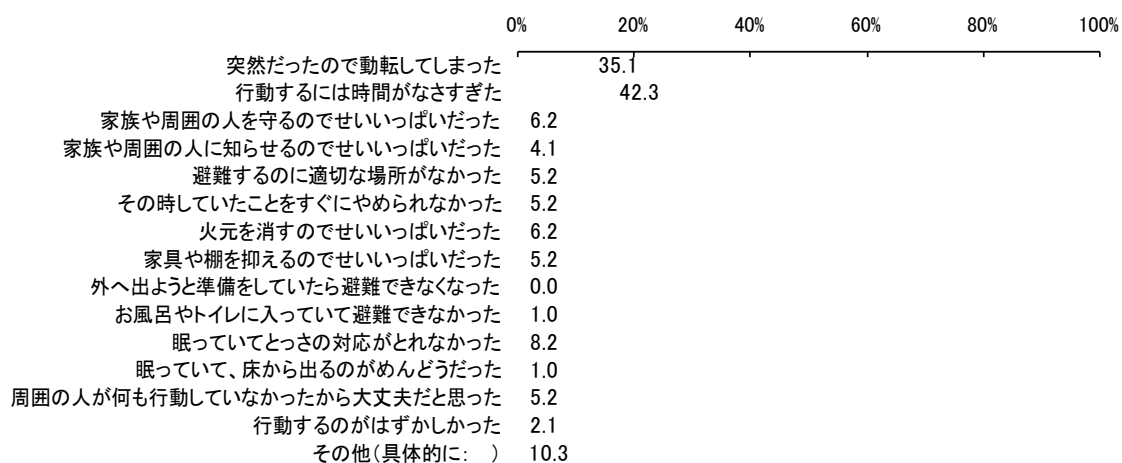
■前問で「3. 決めていたように行動できなかった」とお答えの方にお伺いします■

なぜ予め決めていた行動ができなかったと思いますか。(複数回答) (WEB 高度 Q22-5、質問紙調査 Q12-5)

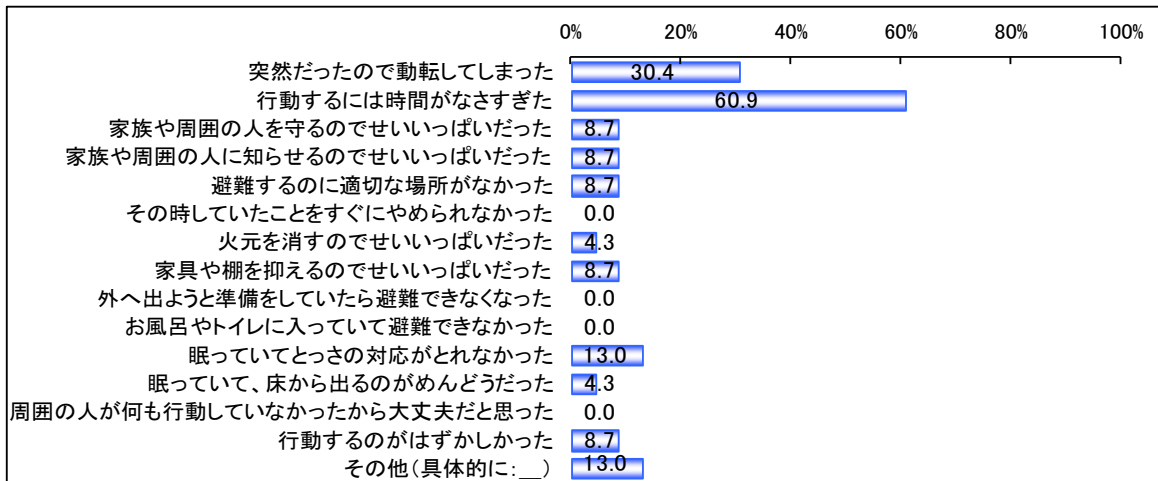
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
突然だったので動転してしまった	34	7	57
行動するには時間がなさすぎた	41	14	63
家族や周囲の人を守るのでせいっぱいだった	6	2	32
家族や周囲の人に知らせるのでせいっぱいだった	4	2	16
避難するのに適切な場所がなかった	5	2	7
その時していたことをすぐにやめられなかった	5	0	6
火元を消すのでせいっぱいだった	6	1	22
家具や棚を抑えるのでせいっぱいだった	5	2	16
外へ出ようと準備をしていたら避難できなくなった	0	0	4
お風呂やトイレに入っていて避難できなかった	1	0	5
眠っていてとっさの対応がとれなかった	8	3	28
眠っていて、床から出るのがめんどろだった	1	1	2
周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思った	5	0	2
行動するのがはずかしかった	2	2	1
その他(具体的に:_)	10	3	18
合 計	133	39	279
回答者数	97	23	134

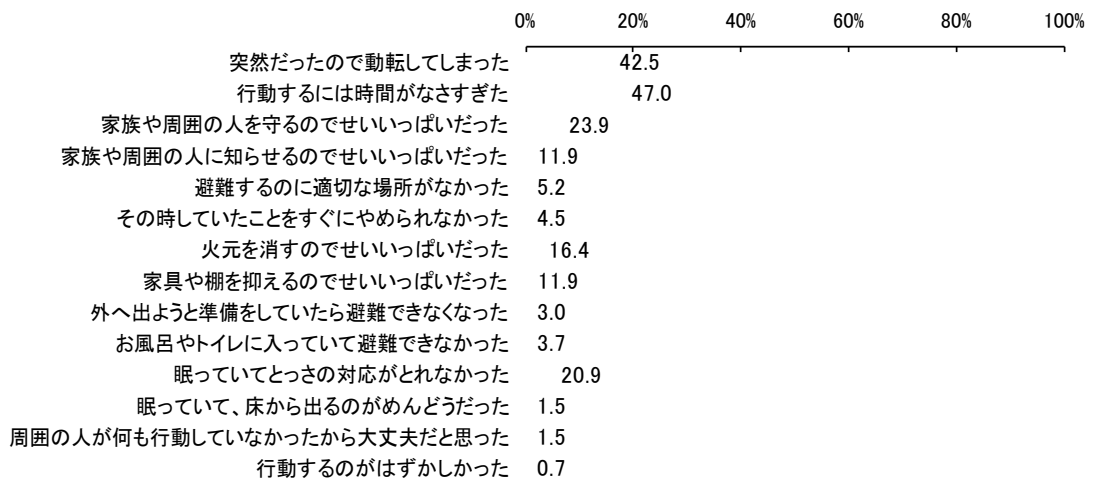
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	15. その他(具体的に:)	
	場想定とし違っていた	ぎやたる事が多す
想定したのが家の中だった	○	
運転中はどうしたらいいかわからなかった	○	
やるべき事が沢山ありすぎて優先順位がわからなくなりました。		○
外出中だったため	○	
病院だったのでとてあえずじっとしていた	○	
屋外だったため	○	
自宅に居なかった	○	

29) 本調査 22

① 設問

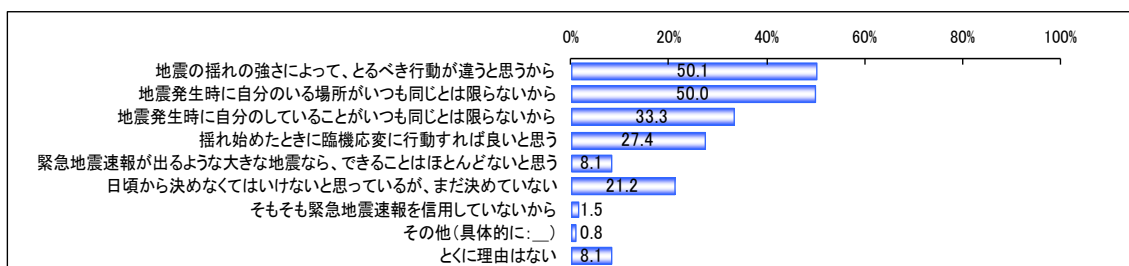
■前問で「2. 決めていない」とお答えの方にお伺いします■

とるべき行動を予め決めていない理由があればお答えください。(複数回答) (WEB 高度 Q22-6、質問紙調査 Q12-6)

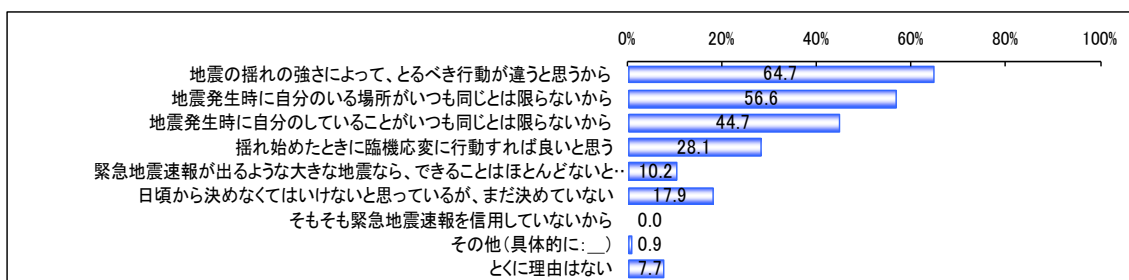
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
地震の揺れの強さによって、とるべき行動が違うと思うから	557	152	173
地震発生時に自分のいる場所がいつも同じとは限らないから	555	133	197
地震発生時に自分のしていることがいつも同じとは限らないから	370	105	131
揺れ始めたときに臨機応変に行動すれば良いと思う	304	66	101
緊急地震速報が出るような大きな地震なら、できることはほとんどないと思う	90	24	21
日頃から決めなくてはいけないと思っているが、まだ決めていない	235	42	68
そもそも緊急地震速報を信用していないから	17	0	7
その他(具体的に:_)	9	2	20
とくに理由はない	90	18	14
合計	2,227	542	732
回答者数	1,111	235	314

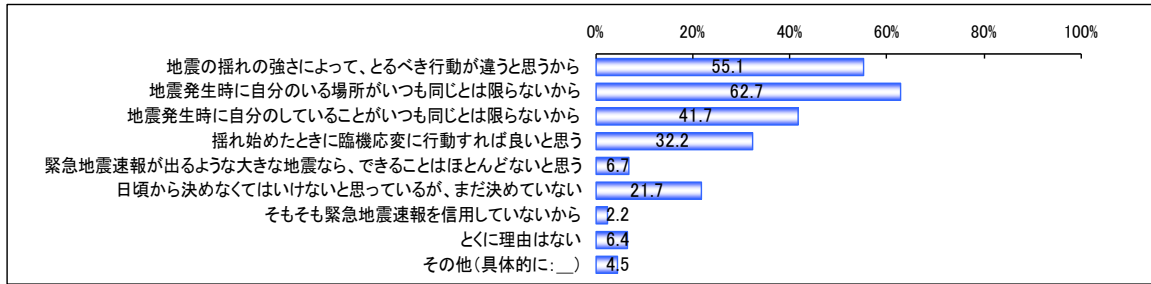
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	8. その他(具体的に:)				
	予にれ地 時そが震 間れ来に はほるよ などまる い猶で揺	ない発 くの表 なで頻 なで頻 つ何度 たもが し低 たもが し高	なで精 つ何度 たもが し低 たもが し高	でク怖 きにく ななて いりパ 何ニ もツ	が地 分震 かの ら大 きな さ
地震速報が発表されてから数秒位しか猶予がないので何も出来ない	<input type="radio"/>				
すぐに揺れ始めるから、何も出来ない 誤報が多いのも事実で、あまり焦らなくなっている感もあります	<input type="radio"/>				
発表から揺れまでの時間が短いので有効な行動が取れるか分からない	<input type="radio"/>				
地震速報の方が揺れより後にきたので信用してない。	<input type="radio"/>				
速報の度に反応してられない位に頻繁		<input type="radio"/>			
こわくて何もできなくなってしまうから				<input type="radio"/>	
地震が本当に苦手でパニックになってしまう				<input type="radio"/>	
実際に地震がほとんどない			<input type="radio"/>		
物の何秒で何ができますか	<input type="radio"/>				
揺れの大きさが分からない					<input type="radio"/>
東日本大震災時緊急地震速報前に大きな揺れを体験を下その後緊急地震速報を感知したほとんど弱い地震しかこなかったイメージが強く逆に緊急地震速報が無いのに大きな揺れを感じた地震もおおくあった。住民の中には狼少年的に感じているところが有る。		<input type="radio"/>			
揺れまでの短い時間で出来る事は無い	<input type="radio"/>				
速報から揺れまで時間が無く行動に移せない	<input type="radio"/>				
とりあえず、速報を聞いた段階で、できる身の安全を考えようと思っっている。くるという心構えができて、何らかの形で安全をはかれれば十分。数秒ではそれが精一杯。	<input type="radio"/>				
警報が鳴るが揺れない、揺れが始まった後に速報が遅れてくる。			<input type="radio"/>		
70歳で何もできない。消火程度。	<input type="radio"/>				
緊急地震速報が来ても地震が起きない場合がある			<input type="radio"/>		
地震の大きさが動が変わる					
パニックになる				<input type="radio"/>	

30) 本調査 23

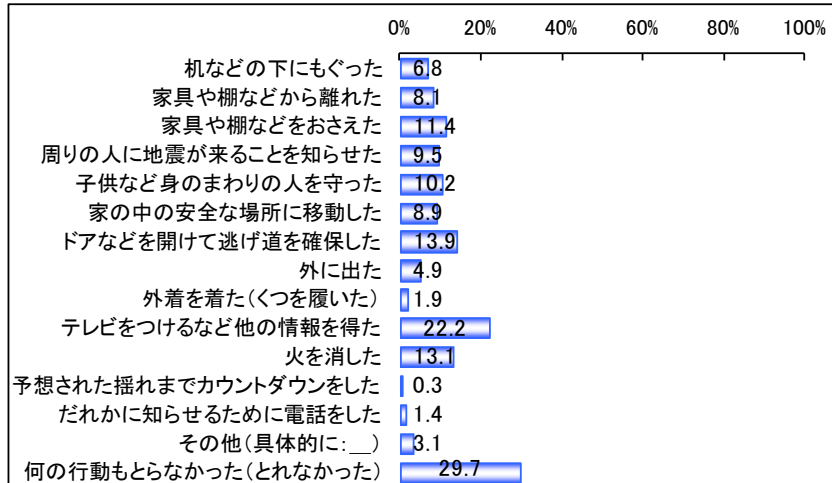
① 設問

Q7 の最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を受けたときには、どのような行動をとりましたか。
(複数回答) (WEB 高度 Q22-7、質問紙調査 Q12-7)

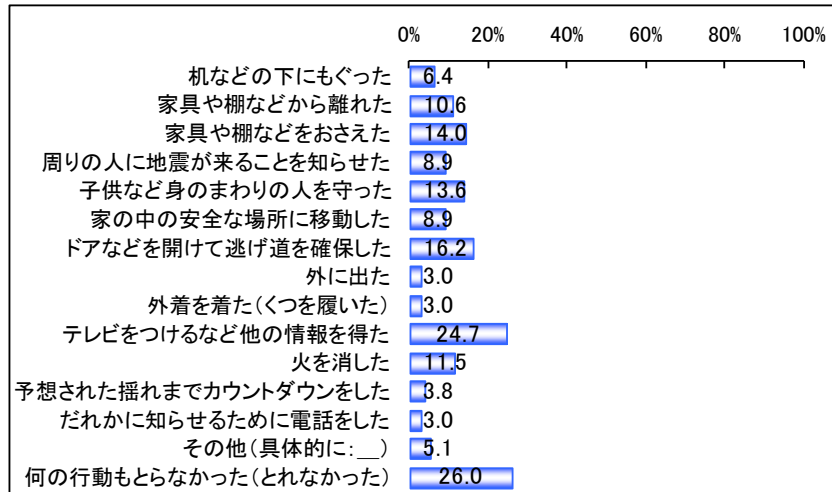
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
机などの下にもぐった	75	15	13
家具や棚などから離れた	90	25	30
家具や棚などをおさえた	127	33	44
周りの人に地震が来ることを知らせた	105	21	52
子供など身のまわりの人を守った	113	32	45
家の中の安全な場所に移動した	99	21	28
ドアなどを開けて逃げ道を確保した	154	38	114
外に出た	54	7	56
外着を着た (くつを履いた)	21	7	14
テレビをつけるなど他の情報を得た	247	58	81
火を消した	146	27	71
予想された揺れまでカウントダウンをした	3	9	6
だれかに知らせるために電話をした	16	7	7
その他 (具体的に:)	34	12	16
何の行動もとらなかった (とれなかった)	330	61	44
合 計	1,614	373	621
回答者数	1,111	235	314

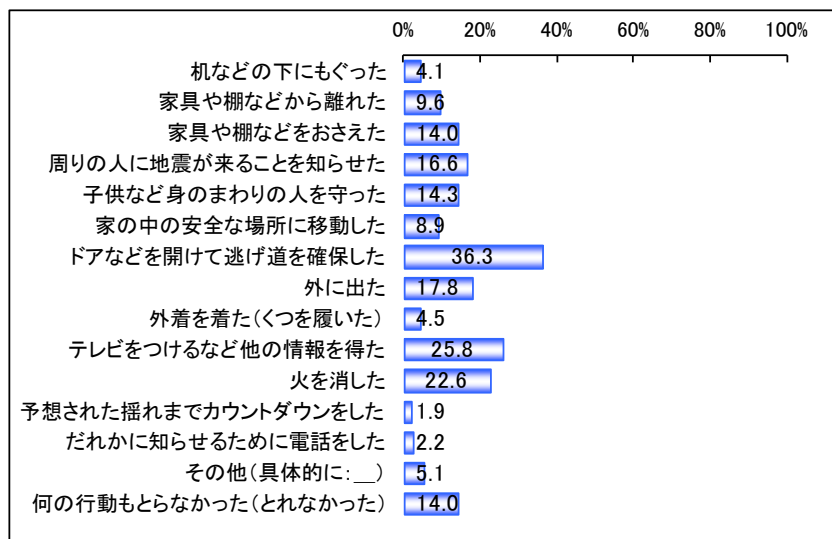
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

14. その他(具体的に:)											
保族自 すの分 安の自 全身 をを 確や 家	車 停 止	保 ベ ッ ト 安 全 確	準 備 避 難 及 び 避 難	防 火 準 備	電 気 を 消 す	を 他 の 人 の 判 断 を 仰 ぐ	水 の 確 保	被 害 確 認	防 災 活 動	自 宅 へ 戻 っ た	
揺れがおさまるまで膝まづいて待ち、急いで自宅に戻った。	<input type="checkbox"/>										
安全な場所が確認した	<input type="checkbox"/>										
車を停止させた		<input type="checkbox"/>									
懐中電灯を手に取った			<input type="checkbox"/>								
布団をかぶった	<input type="checkbox"/>										
車から降りて、建物から離れた場所に徒歩で移動し、落下物の無い所へ揺れがひどいので、しゃがんでいた。	<input type="checkbox"/>										
身構えた	<input type="checkbox"/>										
すぐ逃げられるように荷物を持った			<input type="checkbox"/>								
車を止めた		<input type="checkbox"/>									
猫をベッド下に誘導した。		<input type="checkbox"/>									
火を使わないことを確認				<input type="checkbox"/>							
犬を抱いて、地震を見守っていた		<input type="checkbox"/>									
身構えた	<input type="checkbox"/>										
車を止めた		<input type="checkbox"/>									
車の中にとどまった	<input type="checkbox"/>										
心の準備	<input type="checkbox"/>										
動けない親の所に行った	<input type="checkbox"/>										
避難所の避難した			<input type="checkbox"/>								
車を道路わき止め車外に出た		<input type="checkbox"/>									
周囲の様子を点検した								<input type="checkbox"/>			
水槽の水が零れるのを防いだ。							<input type="checkbox"/>				
すぐに動けるような体勢をとった	<input type="checkbox"/>										
取り敢えず自転車を止めた	<input type="checkbox"/>										
避難なりの行動が出来るように身構えてた。	<input type="checkbox"/>										
ベットの側へ行き守った		<input type="checkbox"/>									
津波に備えて避難した			<input type="checkbox"/>								
(業務上の)地震対応作業をした									<input type="checkbox"/>		
揺れてからすぐ行動できるようにしていた			<input type="checkbox"/>								
車で信号待ち。止まったままの状態。		<input type="checkbox"/>									
身構えた	<input type="checkbox"/>										
車両の停止		<input type="checkbox"/>									
携帯電話を手に持った	<input type="checkbox"/>										
布団をかぶった	<input type="checkbox"/>										
車を止めた		<input type="checkbox"/>									
身構えた	<input type="checkbox"/>										
地域を巡回した									<input type="checkbox"/>		
家の近くの高いところへ上った(津波を警戒)			<input type="checkbox"/>								
車で自宅へ向かった										<input type="checkbox"/>	
車を停車して車外に出た		<input type="checkbox"/>									

31) 本調査 24

① 設問

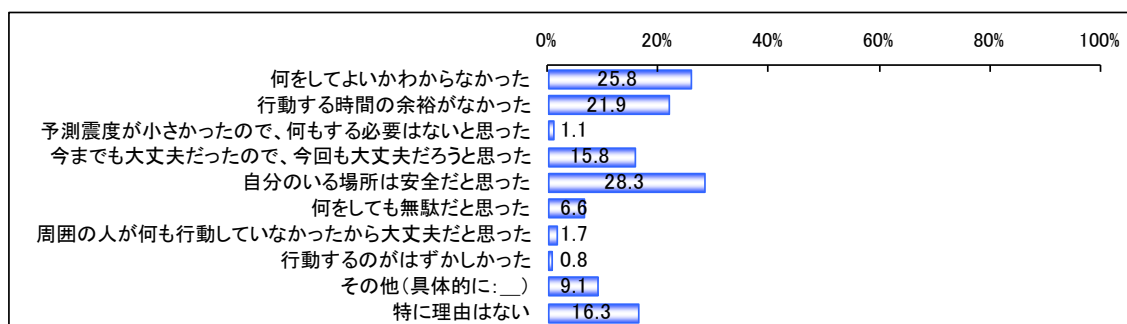
■前問で「4. 何の行動もできなかった」または「15. 何の行動もとらなかった（とれなかった）」とお答えの方にお伺いします■

なぜ何の行動もとらなかった（とれなかった）のですか。（複数回答）（WEB 高度 Q22-8、質問紙調査 Q12-8）

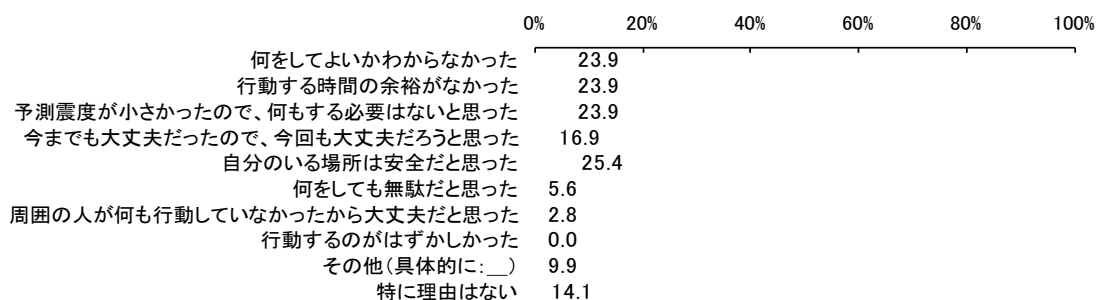
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
何をしてもよいかわからなかった	93	17	15
行動する時間の余裕がなかった	79	17	28
予測震度が小さかったので、何もする必要はないと思った	4	17	5
今までも大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った	57	12	6
自分のいる場所は安全だと思った	102	18	7
何をしても無駄だと思った	24	4	4
周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思った	6	2	1
行動するのがはずかしかった	3	0	15
その他（具体的に：_）	33	7	8
特に理由はない	59	10	0
合 計	762	165	89
回答者数	361	71	81

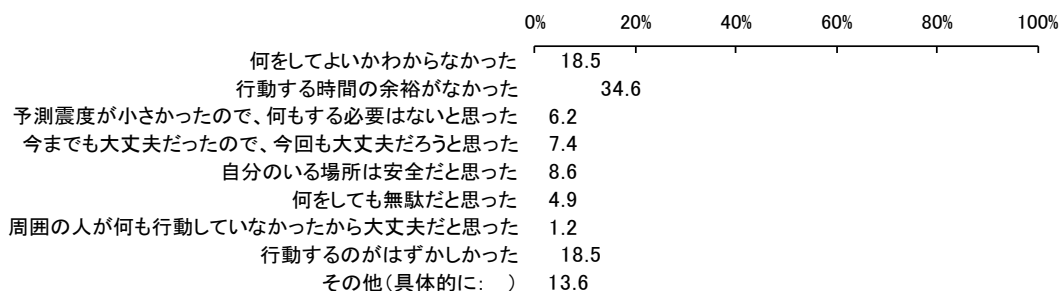
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	9. その他(具体的に:)								
	入浴中	だれの方による揺	地震の揺れ	低報の信頼性	想定と違った	停電になった	知らせなかった	身障者でもできる	周りの人の指
お風呂に入っていたので	○								
震度が大きすぎて動く(歩く)ことができなかった		○							
揺れが先だった		○							
揺れないことが多いので			○						
バスの中だったのでとりようがなかった				○					
先に揺れがきた		○							
速報がくる前にもう揺れていたから。		○							
停電になり動けなかった					○				
バスの中				○					
自宅ではなかったので、行動出来なかった				○					
車内のため				○					
揺れてから速報が流れたので何も出来なかった		○							
初めての受信だったので何かわからなかった						○			
あまりに数が多かったので、無防備になっていた			○						
障害者には行動はできない							○		
携帯電話の緊急地震速報の音を初めて聴いたため、何の音なのか理解できなかったから。						○			
入院中				○					
すぐ停電した					○				
県外で仕事で車で移動中だった				○					
その場に居よう係員に指示された								○	
揺れが大きすぎて、何もできなかった。3.11の本震時は栗原市で被災。震度7。		○							
寝ていたのと停電で身動きがとれなかった。物もすべて落下し、足の踏み場もなかった。						○			
地震が終わるまで動かない		○							
揺れが激しく動けなかった。揺れが落ち着いてからガスの元栓を閉めた		○							
すでに地震が発生していたので速報を受けての行動が出来なかった		○							

32) 本調査 25

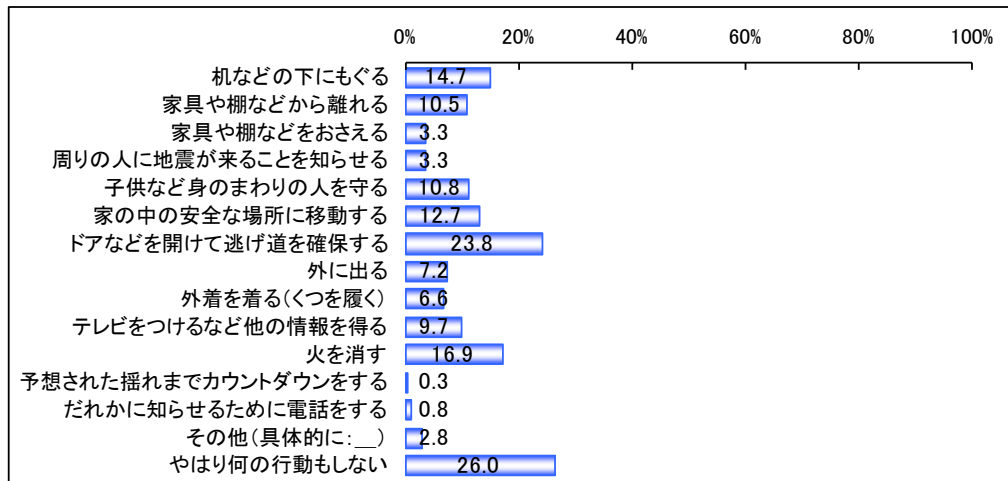
① 設問

もし何らかの行動をするとしたら、何をすればよかったですか。(複数回答) (WEB 高度 Q22-9、質問紙調査 Q12-9)

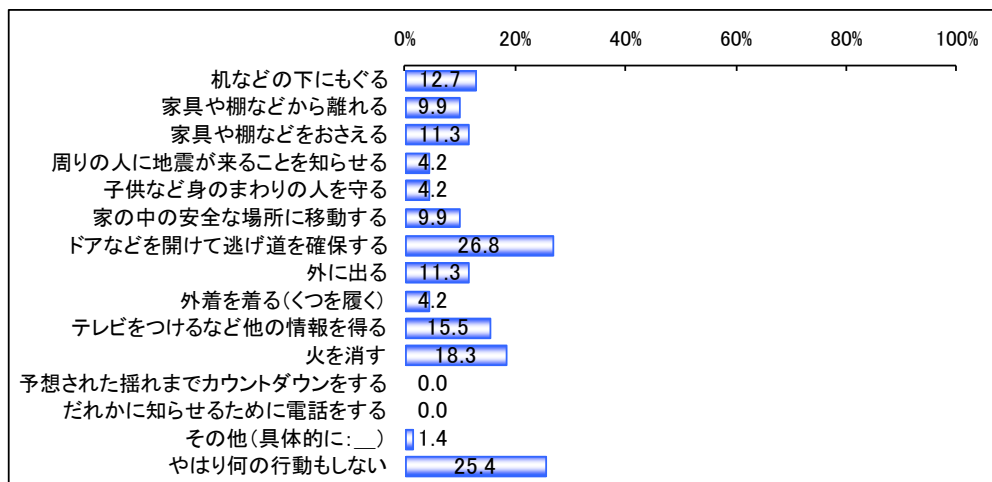
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
机などの下にもぐる	53	9	12
家具や棚などから離れる	38	7	19
家具や棚などをおさえる	12	8	6
周りの人に地震が来ることを知らせる	12	3	14
子供など身のまわりの人を守る	39	3	16
家の中の安全な場所に移動する	46	7	25
ドアなどを開けて逃げ道を確保する	86	19	42
外に出る	26	8	18
外着を着る (くつを履く)	24	3	12
テレビをつけるなど他の情報を得る	35	11	20
火を消す	61	13	34
予想された揺れまでカウントダウンをする	1	0	1
だれかに知らせるために電話をする	3	0	6
その他 (具体的に:)	10	1	3
やはり何の行動もしない	94	18	13
合 計	540	110	241
回答者数	361	71	81

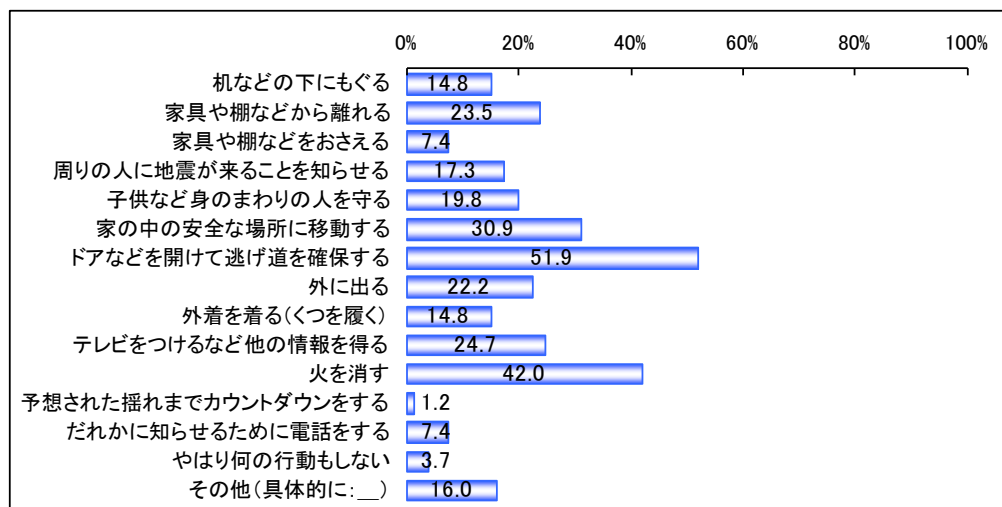
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	14. その他(具体的に:)			
	保族自 すの分 る安自 全身 をや 確家	車 停 止	準避 備難 及 び 避 難	防 災 活 動
椅子につかまる	○			
家族のそばにいる	○			
職場で緊急放送を入れる				○
自動車徐行		○		
停車		○		
逃げれる準備			○	
逃げる準備をする			○	
避難のため貴重品下着をもつ事			○	
道路を歩いていたので建物から離れる。電線から離れる。	○			
近くにあるもので頭を守る	○			

33) 本調査 26

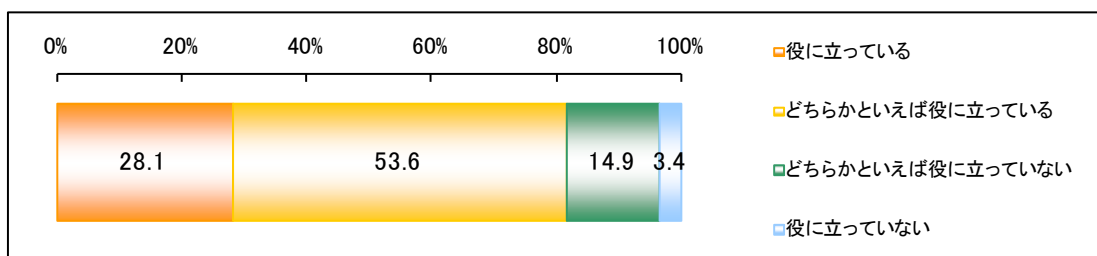
① 設問

これまでの経験から、緊急地震速報はあなたの役に立っていると思いますか。(WEB 高度 Q23、質問紙調査 Q13)

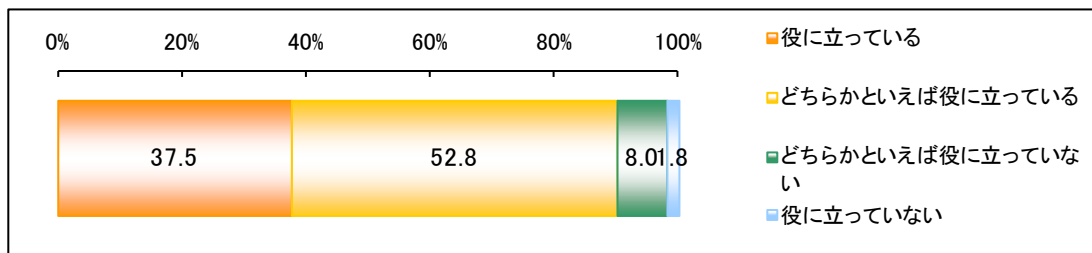
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
役に立っている	449	150	385
どちらかといえば役に立っている	858	211	352
どちらかといえば役に立っていない	238	32	65
役に立っていない	55	7	15
合計	1,600	400	817

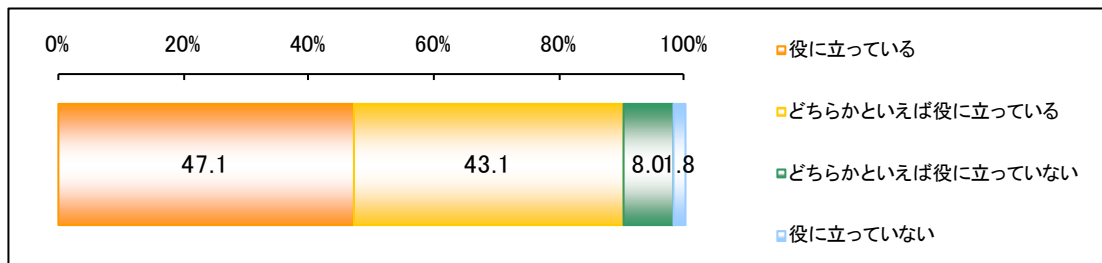
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



34) 本調査 27

① 設問

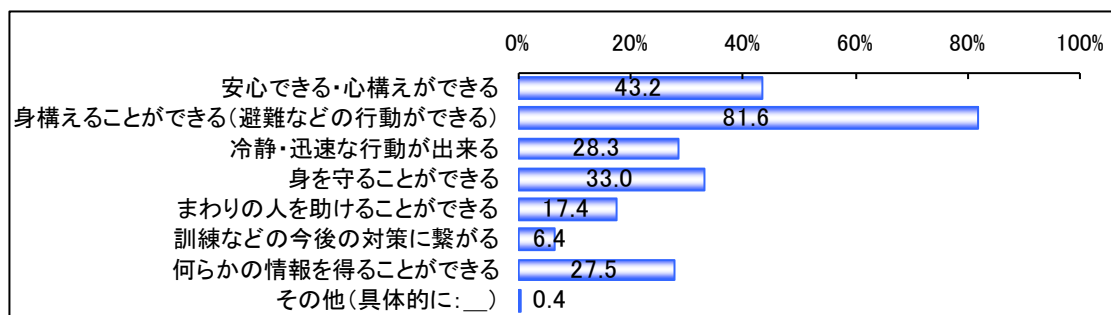
■前問で「1.役に立っている」「2.どちらかといえば役に立っている」とお答えの方にお伺いします■

緊急地震速報はどのような点で役に立っていると思いますか。(複数回答) (WEB 高度 Q23-1、質問紙調査 Q13-1)

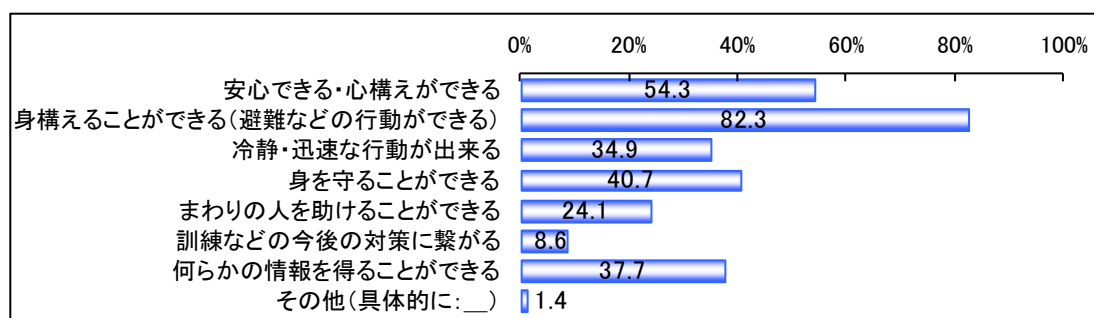
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
安心できる・心構えができる	565	196	324
身構えることができる(避難などの行動ができる)	1067	297	624
冷静・迅速な行動が出来る	370	126	206
身を守ることができる	431	47	339
まわりの人を助けることができる	228	87	171
訓練などの今後の対策に繋がる	83	31	72
何らかの情報を得ることができる	359	136	249
その他(具体的に:_)	5	5	9
合計	3,108	1,025	1,994
回答者数	1,307	361	737

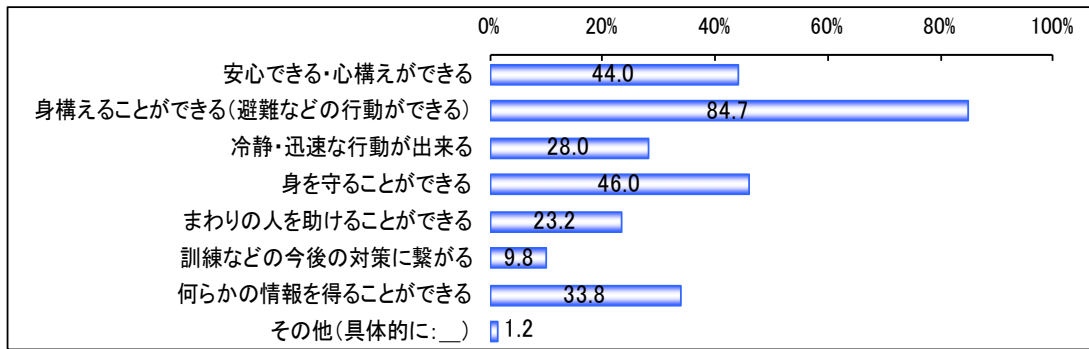
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	8. その他(具体的に:)		
	き防 る火 活動 がで	停運 止転 で中 きは る車 を	に就 対寝 応中 での 地震
火などを迅速に消すことができます。これは大きいと思います	<input type="radio"/>		
車で移動中はいち早く安全な場所をめぐって停車できる		<input type="radio"/>	
コンロやストーブの火が消せる	<input type="radio"/>		
就寝時に起きられる			<input type="radio"/>

35) 本調査 28

① 設問

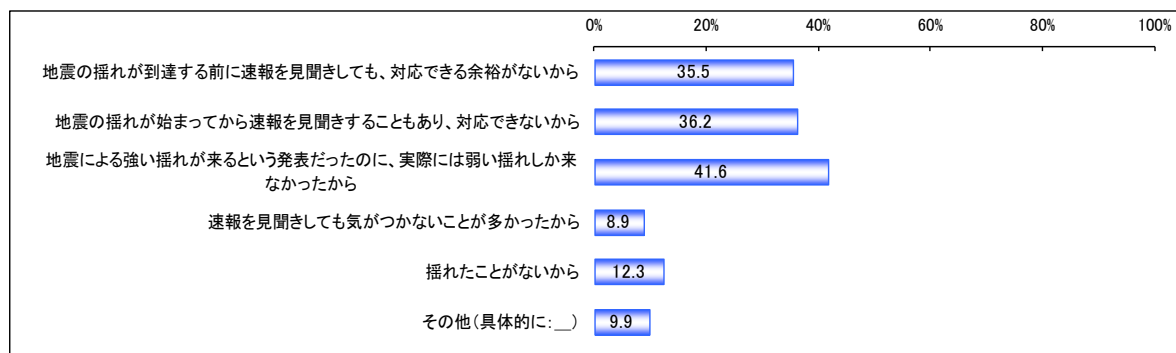
■前問で「3. どちらかといえば役に立っていない」「4. 役に立っていない」とお答えの方にお伺いします■

緊急地震速報はなぜ役に立っていないとお考えですか。（複数回答）（WEB 高度 Q23-2、質問紙調査 Q13-2）

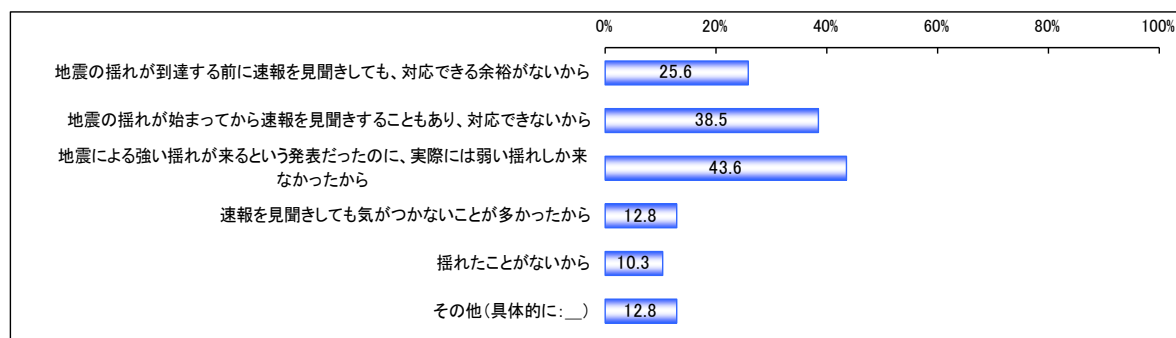
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
地震の揺れが到達する前に速報を見聞きしても、対応できる余裕がないから	104	10	25
地震の揺れが始まってから速報を見聞きすることもあり、対応できないから	106	15	47
地震による強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかったから	122	17	36
速報を見聞きしても気がつかないことが多かったから	26	5	10
揺れたことがないから	36	4	3
その他（具体的に：__）	29	5	10
合 計	423	56	131
回答者数	293	39	80

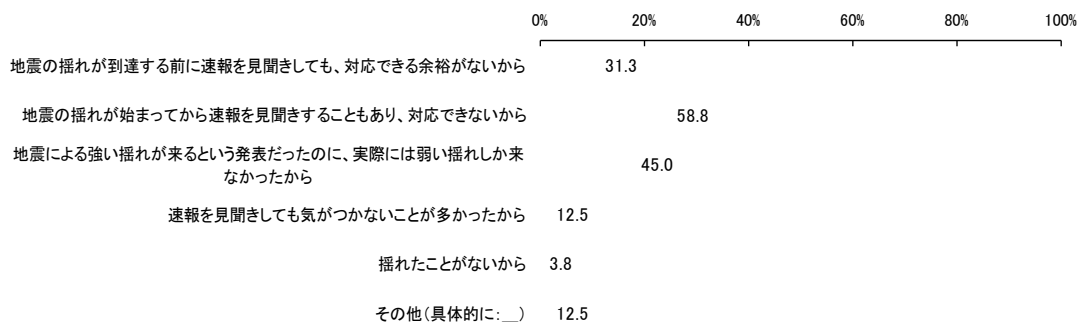
③ WEB 一般（%グラフ）



④ WEB 高度（%グラフ）



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	6. その他(具体的に:)						
	不安を助感長じ	いきめとるいな動	め場想定として違ういたる	なめ何者である	が速報の信頼性	限られていて	い段速報のから入れ手
いたずらに不安に思う事の方が多く精神的に辛い	○						
恐怖心をつのってしまう	○						
速報時の行動を決めていない		○					
地震が起きた時に、自分が家に居るかわからないから。			○				
障害者には行動は難しい				○			
信憑性にかけるから					○		
地震が来る前に速報が鳴らない							
誤報が多い					○		
信頼性に欠ける					○		
311の時に速報がなかった					○		
速報が出ていないのに大きい揺れが来たことが何度もあった					○		
見聞するといつくるかと予測と心の準備身構える事にだけ注視してします						○	
テレビを見ていないので対応できなかった							○
来る時と来ない時がある					○		
速報を見聞きできる機材、環境ではないから							○

36) 本調査 29

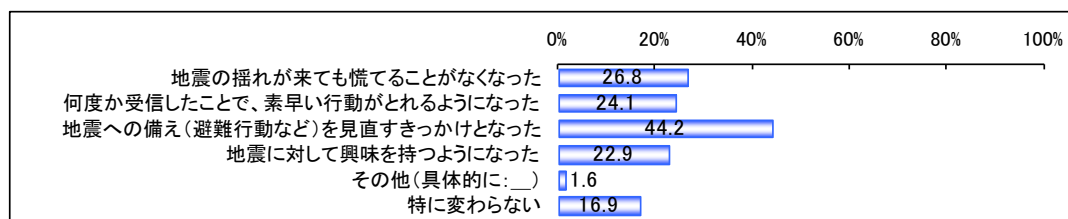
① 設問

緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたの地震への備えに対する考え方は変わったと思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。（複数回答）（WEB 高度 Q24、質問紙調査 Q14）

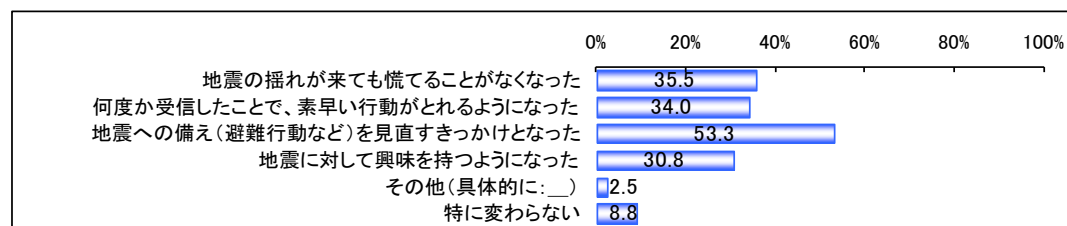
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
地震の揺れが来ても慌てることがなくなった	428	142	388
何度か受信したことで、素早い行動がとれるようになった	386	136	275
地震への備え（避難行動など）を見直すきっかけとなった	707	213	425
地震に対して興味を持つようになった	367	123	149
その他（具体的に：__）	26	10	79
特に変わらない	270	35	27
合計	2,184	659	1,343
回答者数	1,600	400	817

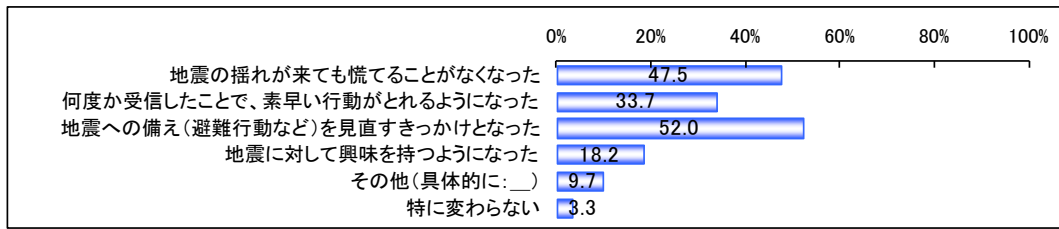
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	5. その他(具体的に:)		
	さ恐 れ怖 た心 が 助 長	るトが速 レ低報 スいの がた信 ため頼 ます性	れが速 始低報 めいの たた信 め頼 慣性
音がトラウマになる	○		
緊急地震速報によってもたらされた情報で、地震の前から(悪い意味で)ドキドキする時間が長くなった。	○		
あてにならない速報ばかりでストレスが増加		○	
3.11の地震を経験しても、何時の時も揺れは恐怖に感じる。	○		
音がトラウマになって憂鬱になった	○		
揺れてから速報を見た1回だけなのでよくわからない			○
地震速報の音に敏感になってしまった。	○		
来るぞと思い緊張と恐怖感がさらに増した	○		
ドキドキするようになった	○		
あの音が怖くてドキドキする	○		
近く被害が及ぶだろうと確信するようになった	○		
地震恐怖症気味になったかも?	○		
恐怖心を持つようになった	○		
またか、という慣れに変わった			○
頻繁に鳴る時は少々億劫になった。			○
恐怖心を感じる	○		
受信音に恐怖を煽られる	○		
地震速報が怖くなった	○		
微妙な揺れでも行動を起こす			
神経質になった	○		
狼少年的な情報はいらぬ			○
速報の回数が多いと聞き流してしまう			○
速報の音に恐怖を感じてしまいます似たような音まで反応してしまう	○		
うわっまた?!とイヤな気持ちになりつつも身構える	○		
速報を聞くたびに恐怖感が高まりドキドキする。	○		
エリアメールにSOSに来てわかるようになった。	○		
恐怖心がよみがえってくる	○		
安心はするが、速報がでない時や必要以上に細かい速報になることが心配。速報に慣れすぎることが心配なので、地震を感じたらとにかく早く行動するように心がけていきたい。自分の命は自分で守ることを心がけていきたい。			○
地震が来ても速報が流れない場合は大きい地震でないのだと安心する。逆に速報が流れた場合、いつ来るか、いつ来るかと身構えるようになった。良いのか悪いのかわからないけれど。	○		
大震災の記憶がよみがえり恐ろしく感じて動揺してしまう	○		
恐怖感が増し、3.11以降はあの音が鳴るたび心臓がどきどきしてたまりませんでした。現在もそうです。必要だと思いますが、未だに音が怖いです。	○		
不安がでる	○		
恐怖心が強くなった	○		

37) 本調査 30

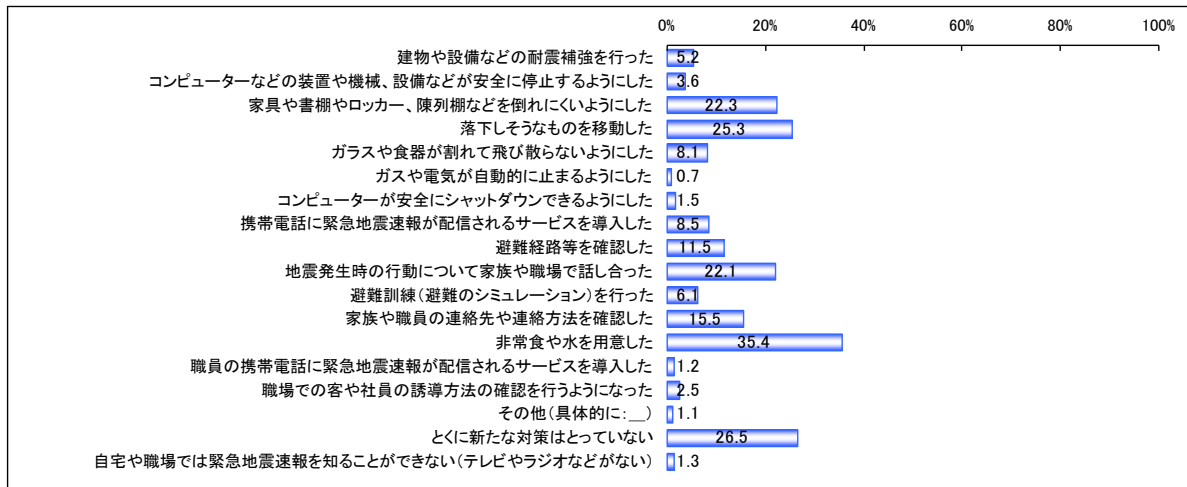
① 設問

緊急地震速報を見聞きするようになってから、あなたのご自宅や職場で、地震への備えとして新たに始めたことがありますか。(複数回答) (WEB 高度 Q25、質問紙調査 Q15)

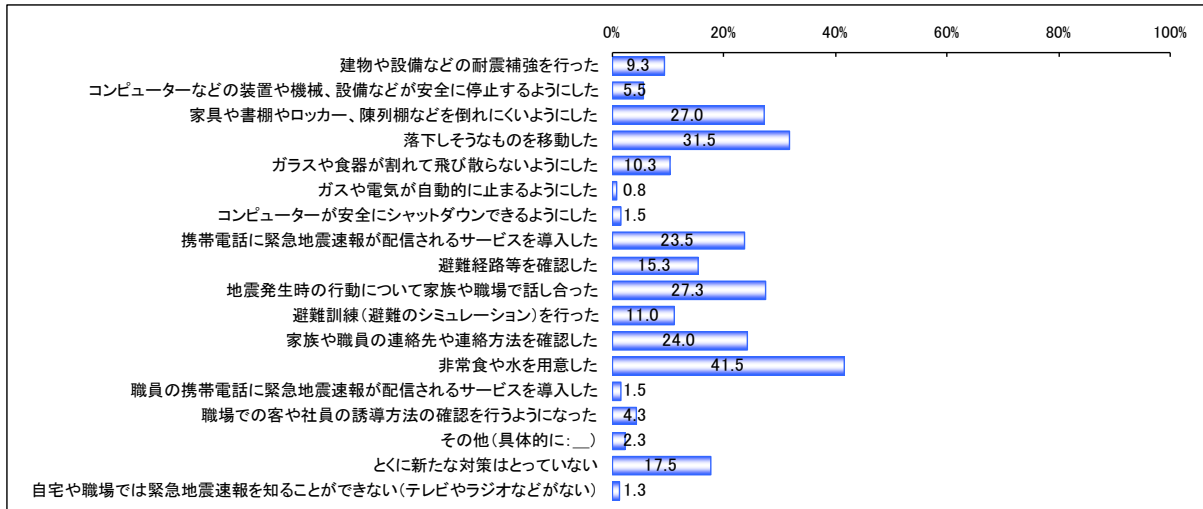
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
建物や設備などの耐震補強を行った	83	37	114
コンピュータなどの装置や機械、設備などが安全に停止するようにした	57	22	25
家具や書棚やロッカー、陳列棚などを倒れにくいようにした	356	108	306
落下しそうなものを移動した	405	126	354
ガラスや食器が割れて飛び散らないようにした	129	41	174
ガスや電気が自動的に止まるようにした	11	3	28
コンピュータが安全にシャットダウンできるようにした	24	6	7
携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した	136	94	113
避難経路等を確認した	184	61	164
地震発生時の行動について家族や職場で話し合った	353	109	242
避難訓練(避難のシミュレーション)を行った	97	44	59
家族や職員の連絡先や連絡方法を確認した	248	96	178
非常食や水を用意した	566	166	423
職員の携帯電話に緊急地震速報が配信されるサービスを導入した	19	6	9
職場での客や社員の誘導方法の確認を行うようになった	40	17	44
とくに新たな対策はとっていない	424	70	99
自宅や職場では緊急地震速報を知ることができない(テレビやラジオなどが無い)	20	5	11
その他(具体的に:_)	18	9	32
合 計	3,170	1,020	2,382
回答者数	1,600	400	817

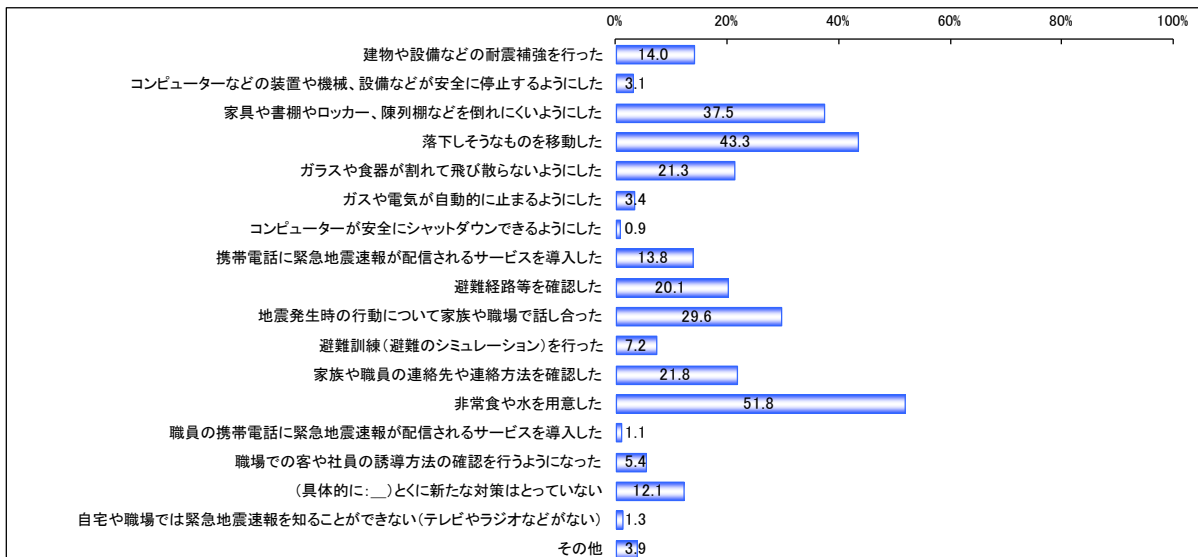
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	16. その他(具体的に:)				
	法情 を増入 や手 した方	夫保電 存子 方デ 法の タ 工の	の防 災 装 備 グ ッ ズ 等	防 火 準 備	設太 の陽 整光 備発 備電 施
ラジオを常に点けるようになった	○				
必要なものはデータ化してクラウドにアップした		○			
防災グッズの配布			○		
ガスを使用しない時は元栓を閉める。				○	
無線機を購入	○				
職場にテレビを設置した	○				
ヘルメットを用意した			○		
非常持出品および広域避難場所の見直し			○		
防災ラジオをつけた	○				
リュックに靴や懐中電灯をいれて用意した			○		
太陽光発電システムを自宅で作った					○
一般の準備物のほかに一泊分の着替え、投薬中の薬を1週間分玄関に置いてある。			○		
非常持ち出し袋			○		
ヘルメット、非常用トイレの用意			○		
非常用リュックを用意し定期的にチェック			○		

38) 本調査 31

① 設問

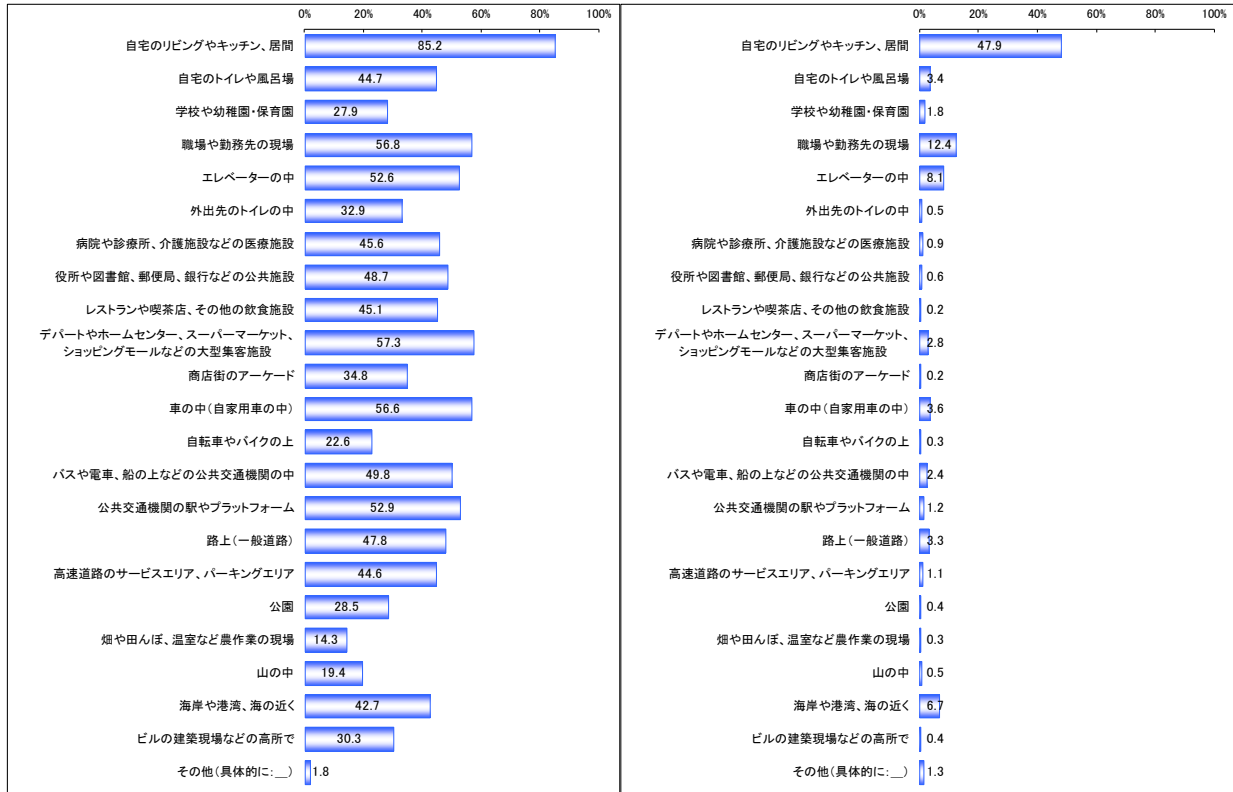
あなたが緊急地震速報をどのような場所で見聞きしたいと思いますか。次の中から、情報を見聞きしたいと思う場所があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も見聞きしたい場所を「ひとつ」だけお選びください。(WEB 高度 Q26、質問紙調査 Q16)

② 回答数 ※数値は、『最も…/いくつでも…』の順に示している。

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
自宅のリビングやキッチン、居間	767/1363	149/339	362/488
自宅のトイレや風呂場	54/715	23/223	18/139
学校や幼稚園・保育園	29/447	15/143	14/115
職場や勤務先の現場	198/908	53/283	107/288
エレベーターの中	130/841	34/248	25/166
外出先のトイレの中	8/526	2/176	4/85
病院や診療所、介護施設などの医療施設	14/730	3/224	17/193
役所や図書館、郵便局、銀行などの公共施設	9/779	0/231	7/148
レストランや喫茶店、その他の飲食施設	3/721	1/227	0/92
デパートやホームセンター、スーパーマーケット、ショッピングモールなどの大型集客施設	44/916	13/254	71/345
商店街のアーケード	3/557	0/180	4/98
車の中 (自家用車の中)	58/905	18/258	52/352
自転車やバイクの上	5/362	4/142	0/41
バスや電車、船の上などの公共交通機関の中	38/797	14/234	9/188
公共交通機関の駅やプラットフォーム	19/846	4/248	7/181
路上 (一般道路)	52/765	11/232	31/199
高速道路のサービスエリア、パーキングエリア	17/713	4/215	0/134
公園	6/456	0/160	1/52
畑や田んぼ、温室など農作業の現場	5/228	0/89	6/94
山の中	8/311	1/121	2/90
海岸や港湾、海の近く	107/683	36/208	52/271
ビルの建築現場などの高所で	6/484	4/171	5/87
その他 (具体的に:_)	20/28	11/16	23/38
合計	1,600/15,801	400/4,622	817/3,884

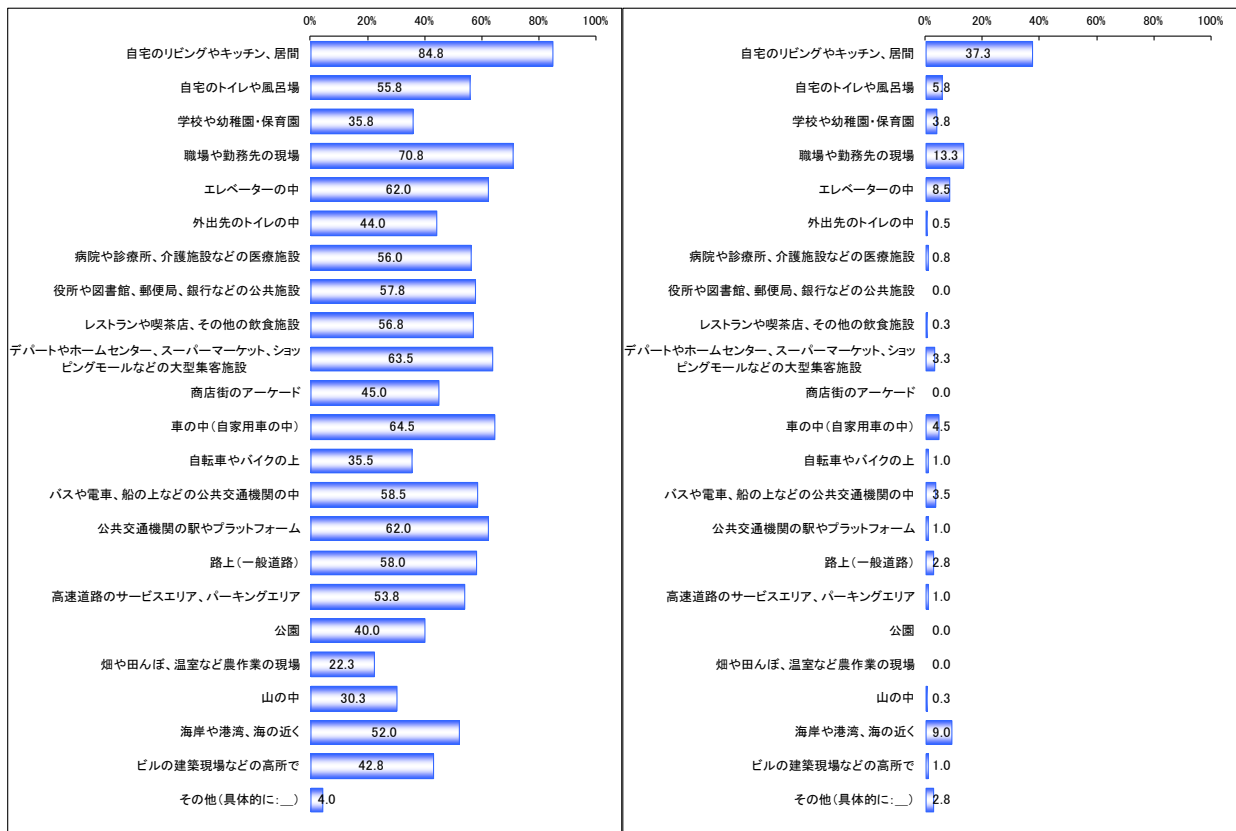
③ WEB 一般 (いくつでも)

(最も)



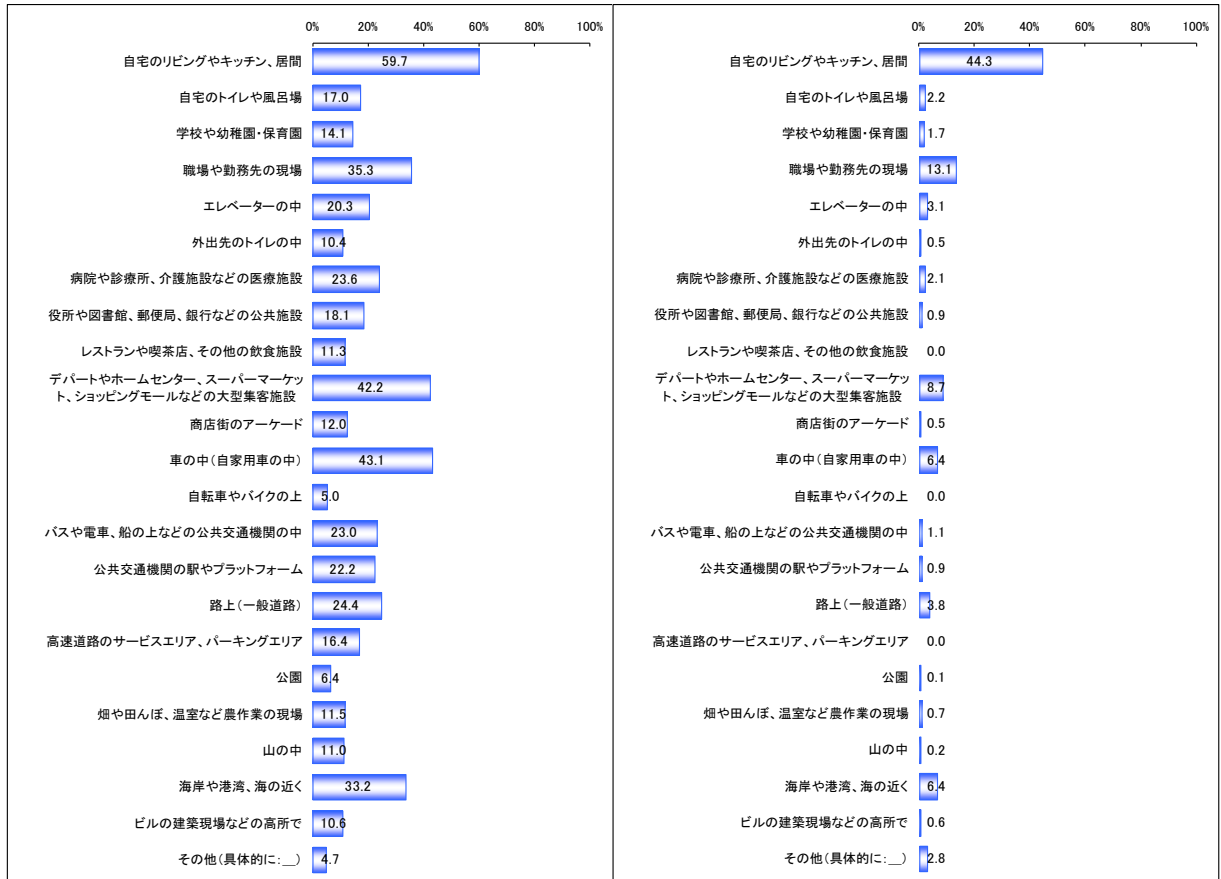
④ WEB 高度 (いくつでも)

(最も)



⑤ 質問紙調査 (いくつでも)

(最も)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	23. その他(具体的に:)	
	と波携 ころが帯 通電 じ話 じな い電	ど こ で も
全ての場所で知りたい		○
どこにいても		○
ひとつに絞れません		○
携帯の電波が通じないところ	○	
出来れば聞きたくない		○
操作中のPC		○
携帯電話の電波が入らない場所	○	
どこにいても知りたい		○
全ての場所。まずは防災無線放送が欲しい。		○
どこにいても		○
どこでも		○
不明		○
どこでも		○
どこにいても		○
実際どこにいても来る前にしりたい		○
地下街(電波の届きにくい)	○	
ありとあらゆる場所で		○
どこにいても		○
どこでも		○
どこでも		○
どこでも、どんな場所でも		○
24時間どこでも		○
すべての場所で		○
人が行く場所である限りどこでも知りたいです		○
何処にいても		○
どこにいても		○
いつ、どこでも開ければ良いと思う		○
携帯電話を常に携帯しておく	○	
聞きたい場所はいつでも聞きたい		○
いつでも、どこでも・・・。		○
地震に遭遇した場所		○
すべての地域、空間、地下なども		○
どこでも		○
雑踏の中でもわかればよいのでは		○
情報管理のきびしい場所(携帯使用不可)	○	
地震が起こったときにいる場所		○
全ての場所		○
携帯電話等、場所に関わらず自分の一番近いところ	○	
どこに居ても知りたい		○
場所は関係ない。地震が来るときならどこでも知りたい。		○
非常時に場所を選ぶか!		○
一番多くいる場所		○
携帯電話に24H常に配信されればよい	○	
基本的にはどこでも見聞きできるようにしてほしい。		○
地震が来る時どこにいるかわからない		○
優劣なく、どこにいても等しく知りたい		○
基本的にはどこでも聞けないと意味がない		○
全部		○
どこにいても知りたい		○
とにかく全部		○
どこでも		○
全部		○
広域的な情報源の設置を要望。人が集約しているところ。		○
全ての場所で		○

39) 本調査 32

① 設問

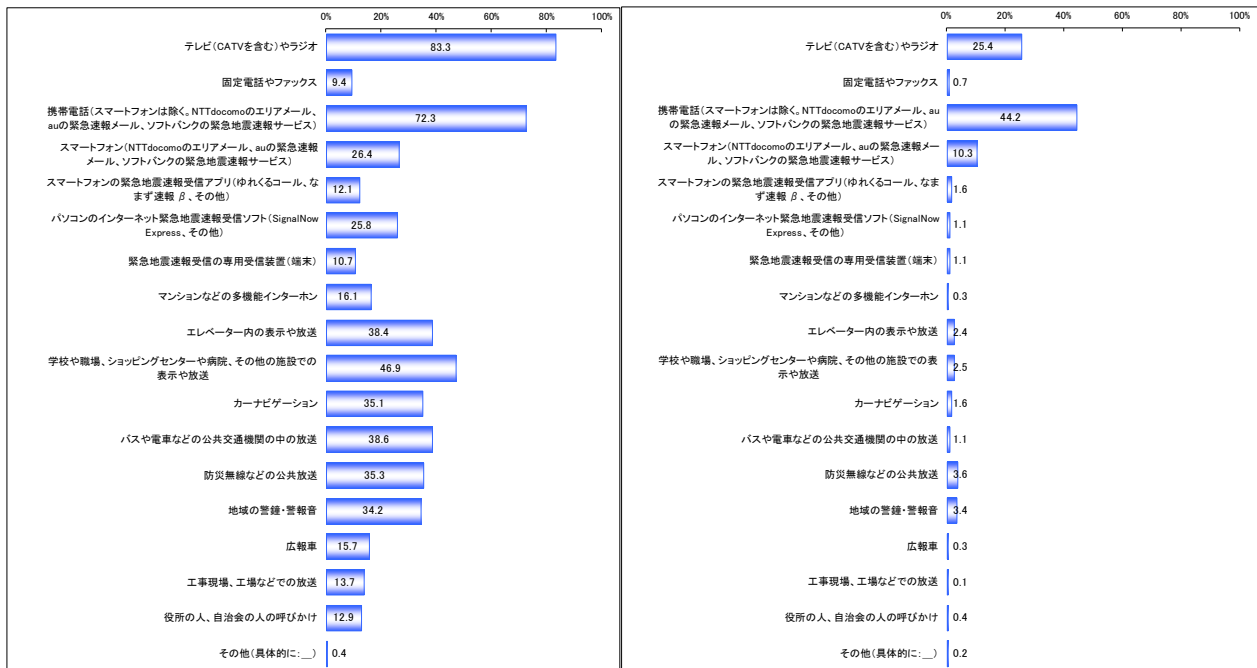
あなたは緊急地震速報をどのような方法で見聞きしたいですか。次の中から、希望する方法があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も希望する方法を「ひとつ」だけお選びください。（WEB 高度 Q27、質問紙調査 Q17）

② 回答数 ※数値は、『最も…/いくつでも…』の順に示している。

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
テレビ (CATV を含む) やラジオ	406/1, 333	40/284	293/564
固定電話やファックス	11/150	2/44	10/28
携帯電話 (スマートフォンは除く。NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス)	707/1156	98/236	298/511
スマートフォン (NTTdocomo のエリアメール、au の緊急速報メール、ソフトバンクの緊急地震速報サービス)	164/423	85/233	35/102
スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ (ゆれくるコール、なまず速報 β、その他)	26/193	81/220	4/41
パソコンのインターネット緊急地震速報受信ソフト (SignalNow Express、その他)	17/413	16/172	2/46
緊急地震速報受信の専用受信装置 (端末)	17/171	9/78	34/46
マンションなどの多機能インターホン	4/258	2/81	1/38
エレベーター内の表示や放送	38/614	9/178	9/102
学校や職場、ショッピングセンターや病院、その他の施設での表示や放送	40/751	11/195	15/230
カーナビゲーション	26/561	10/184	3/125
バスや電車などの公共交通機関の中の放送	18/617	6/196	1/131
防災無線などの公共放送	57/565	11/163	77/388
地域の警鐘・警報音	54/547	12/166	26/175
広報車	4/251	3/78	0/101
工事現場、工場などでの放送	2/219	2/73	1/49
役所の人、自治会の人呼びかけ	6/206	2/74	3/63
その他 (具体的に:)	3/6	1/2	5/19
合計	1, 600/8, 483	400/2, 657	817/2, 851

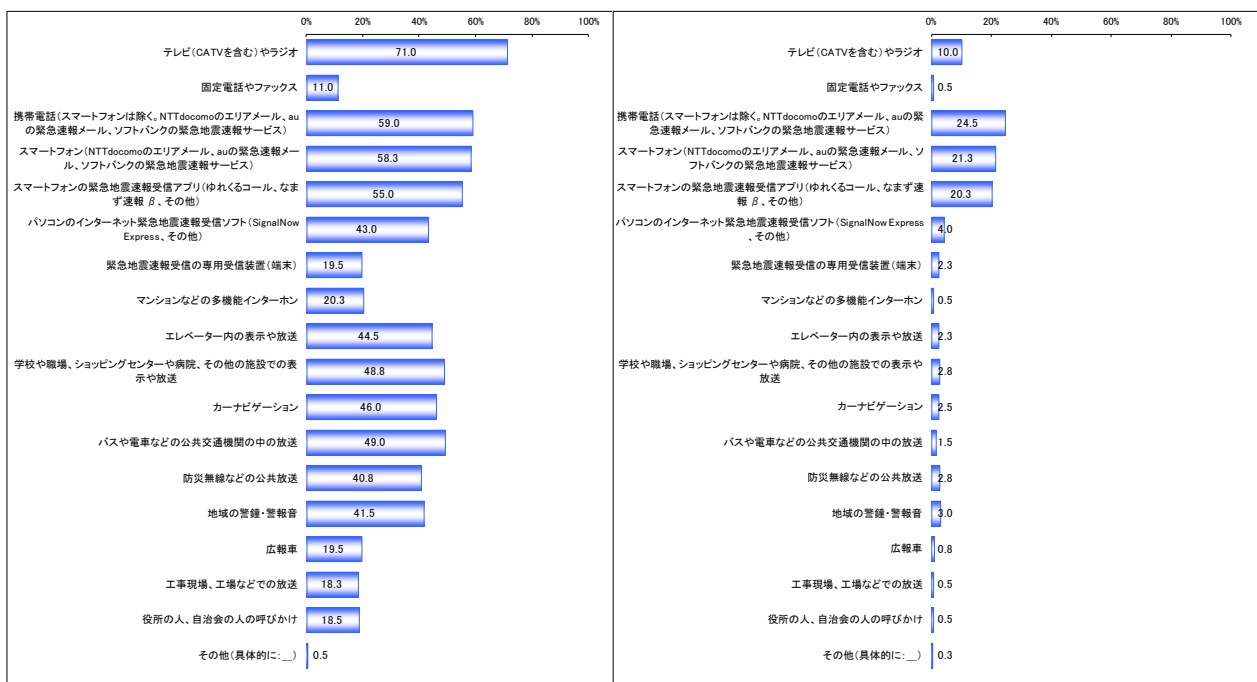
③ WEB 一般 (いくつでも)

(最も)



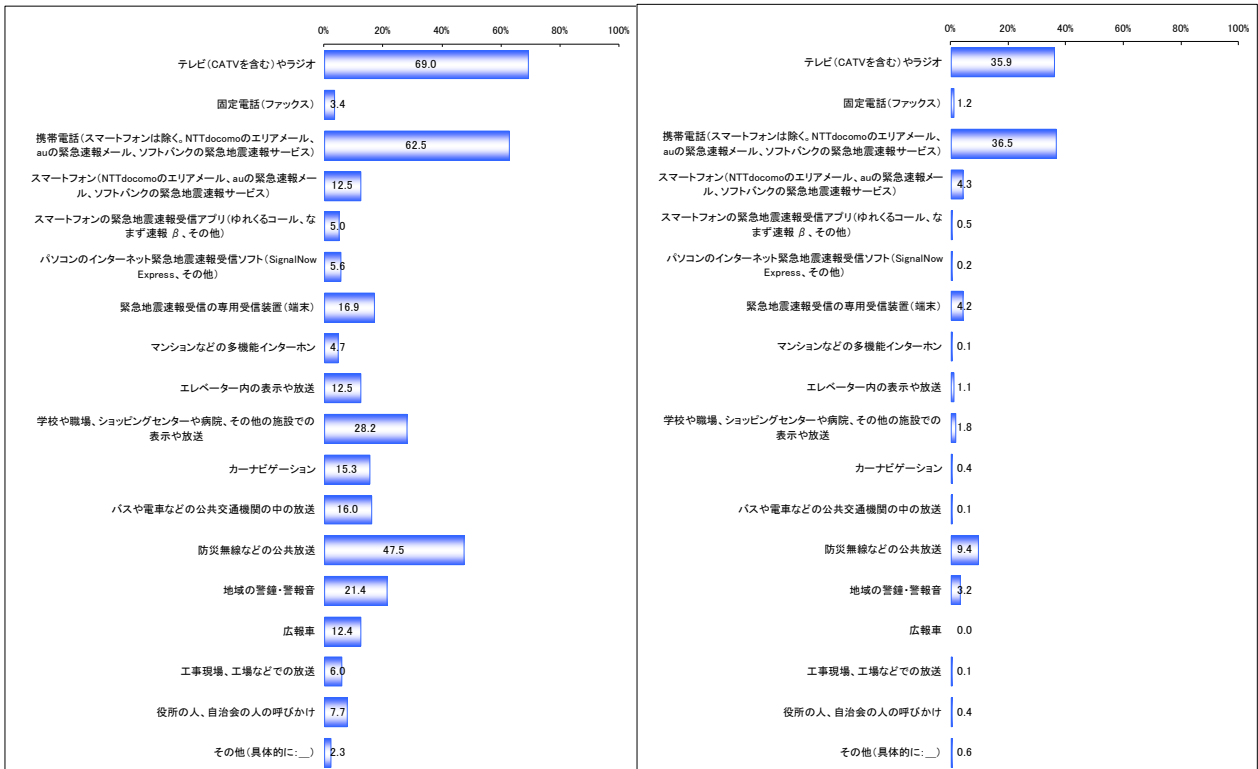
④ WEB 高度 (いくつでも)

(最も)



⑤ 質問紙調査 (いくつでも)

(最も)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	18. その他(具体的に:)
	P H S
PHS	○

40) 本調査 33

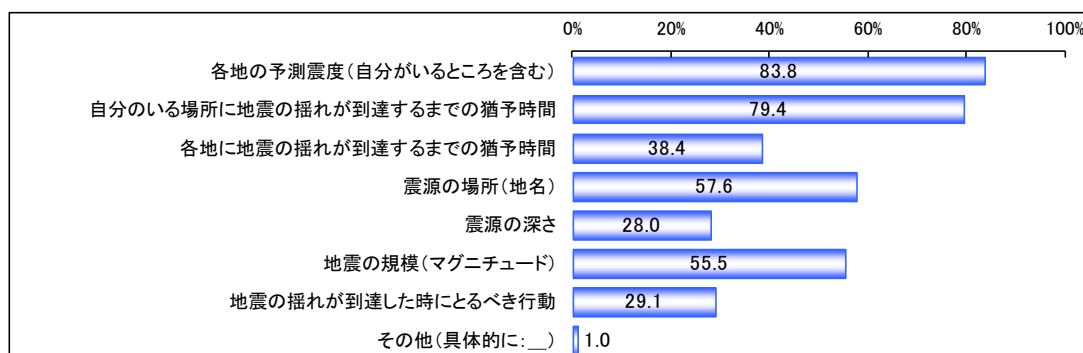
① 設問

あなたが緊急地震速報で知りたいと思う情報はどれですか。次の中から、知りたいと思う情報があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も知りたいと思う情報を「ひとつ」だけお選びください。（WEB 高度 Q28、質問紙調査 Q18）

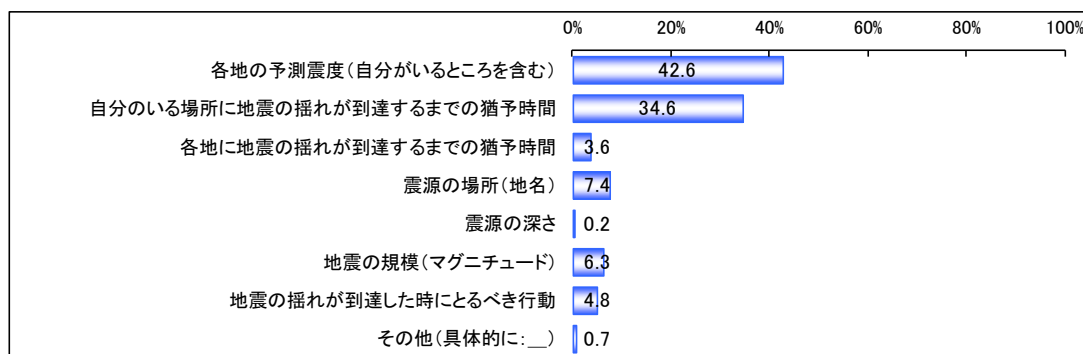
② 回答数 ※数値は、『最も…/いくつでも…』の順に示している。

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
各地の予測震度（自分がいるところを含む）	681/1340	141/348	372/585
自分のいる場所に地震の揺れが到達するまでの猶予時間	554/1271	165/352	242/480
各地に地震の揺れが到達するまでの猶予時間	57/615	20/191	19/156
震源の場所（地名）	118/922	27/262	78/398
震源の深さ	3/448	2/170	1/135
地震の規模（マグニチュード）	100/888	26/251	76/431
地震の揺れが到達した時にとるべき行動	76/465	18/144	22/113
その他（具体的に：__）	11/16	1/5	7/19
合計	1,600/5,965	400/1,723	817/2,317

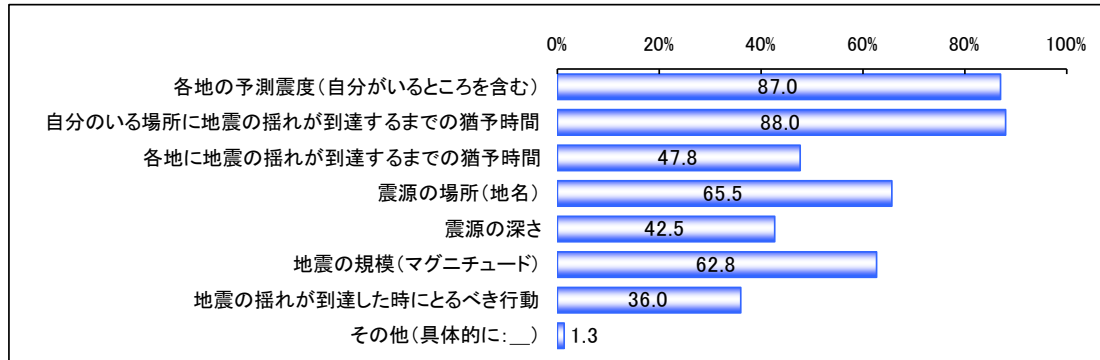
③-1 WEB 一般（いくつでも）



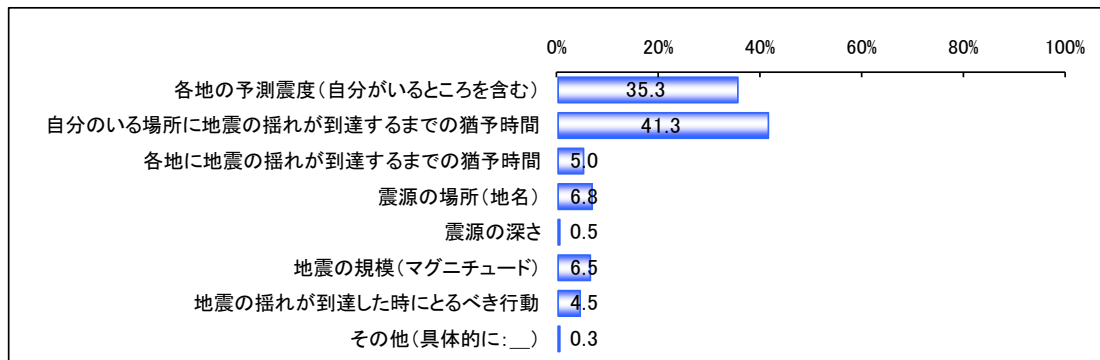
③-2 WEB 一般（最も）



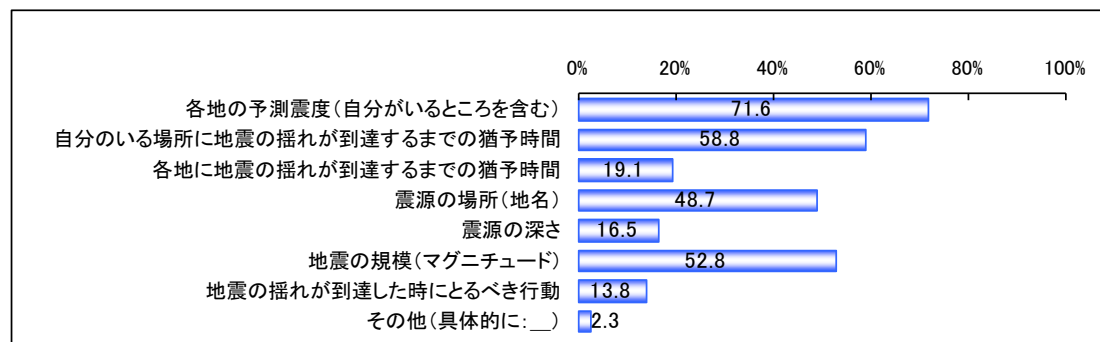
④-1 WEB 高度 (いくつでも)



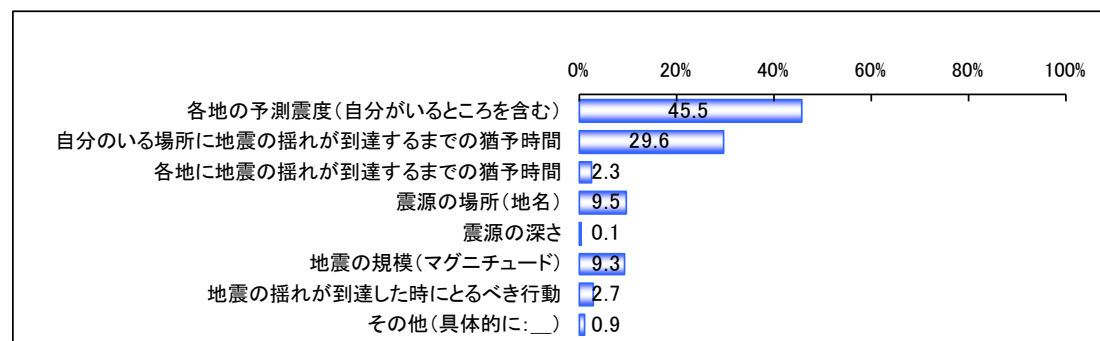
④-2 WEB 高度 (最も)



⑤-1 質問紙調査 (いくつでも)



⑤-2 質問紙調査 (最も)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	8. その他(具体的に:)		
	情津 報波 に 関 する	所自 の分 子 の 測 い る 震 度 場	関長 す周 る期 情地 報震 に
津波の有無	<input type="radio"/>		
予想される津波の高さ	<input type="radio"/>		
地震の津波	<input type="radio"/>		
津波の有無	<input type="radio"/>		
津波がくるかどうか	<input type="radio"/>		
津波到達時間	<input type="radio"/>		
自分がいる場所の震度		<input type="radio"/>	
自分が居るところの予測震度		<input type="radio"/>	
津波情報	<input type="radio"/>		
津波のある時の到達時間	<input type="radio"/>		
津波の有無	<input type="radio"/>		
直下型横揺れの方が知りたい(長周期)			<input type="radio"/>
津波の到達時間	<input type="radio"/>		
津波の有無	<input type="radio"/>		
津波情報	<input type="radio"/>		
津波の有無	<input type="radio"/>		
津波が来るから	<input type="radio"/>		
津波の有無	<input type="radio"/>		
津波の大きさ	<input type="radio"/>		
津波の有無	<input type="radio"/>		
津波の有無	<input type="radio"/>		
津波の危険性	<input type="radio"/>		

41) 本調査 34

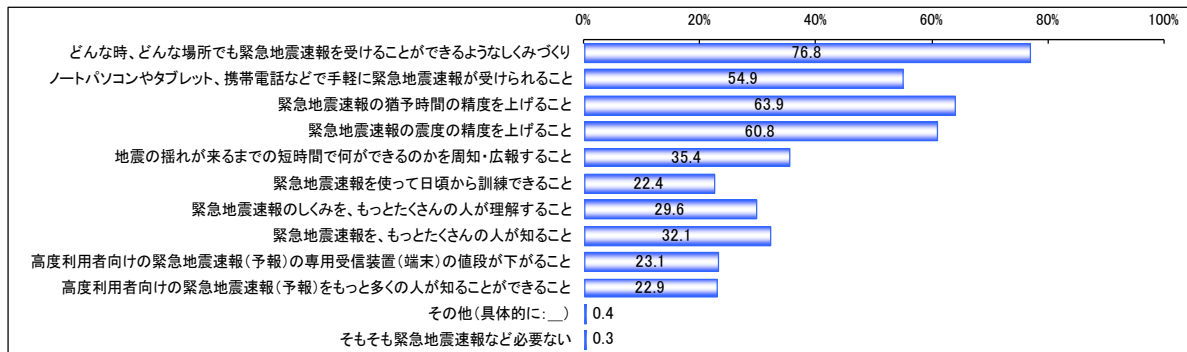
① 設問

今後、緊急地震速報を利用する上で実現してほしいことは何ですか。次の中から、お考えに合う内容があれば、左の回答欄にいくつでもお選びください。また、その中から最も重要だと思う内容を「ひとつ」だけお選びください。（WEB 高度 Q29、質問紙調査 Q19）

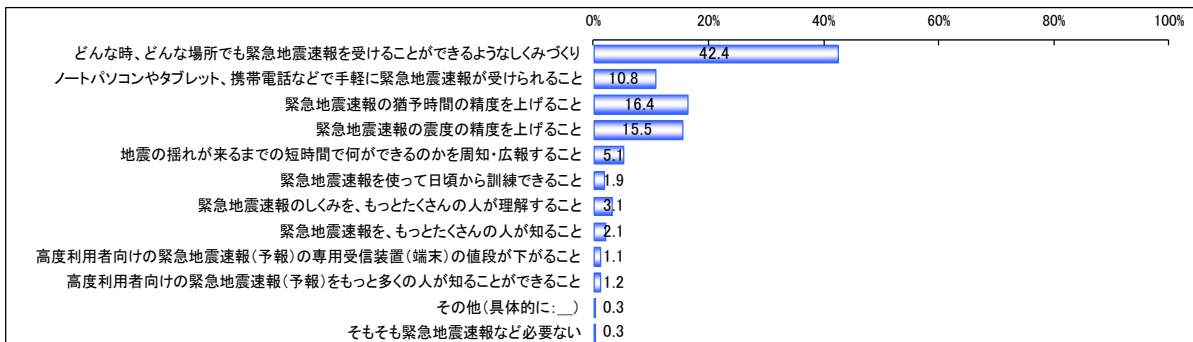
② 回答数 ※数値は、『最も…/いくつでも…』の順に示している。

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
どんな時、どんな場所でも緊急地震速報を受けることができるようなくみづくり	678/1, 229	161/327	623/114
ノートパソコンやタブレット、携帯電話などで手軽に緊急地震速報が受けられること	173/879	37/261	222/175
緊急地震速報の猶予時間の精度を上げること	262/1, 023	81/303	379/279
緊急地震速報の震度の精度を上げること	248/973	58/285	402/316
地震の揺れが来るまでの短時間で何ができるのかを周知・広報すること	81/566	18/180	151/128
緊急地震速報を使って日頃から訓練できること	30/358	10/130	72/65
緊急地震速報のしくみを、もっとたくさんの人が理解すること	50/474	9/150	131/118
緊急地震速報を、もっとたくさんの人が知ること	34/514	7/163	108/98
高度利用者向けの緊急地震速報（予報）の専用受信装置（端末）の値段が下がること	17/370	8/124	66/63
高度利用者向けの緊急地震速報（予報）をもっと多くの人を知ることができること	19/366	10/128	90/79
その他（具体的に：__）	4/7	1/1	2/2
そもそも緊急地震速報など必要ない	4/4	0/0	17/9
合 計	1, 600/6, 763	400/2, 520	817/1, 446

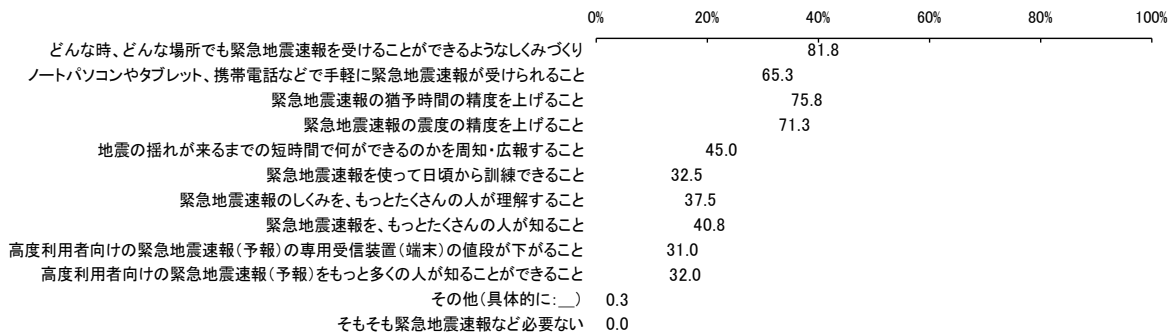
③-1 WEB 一般 (いくつでも)



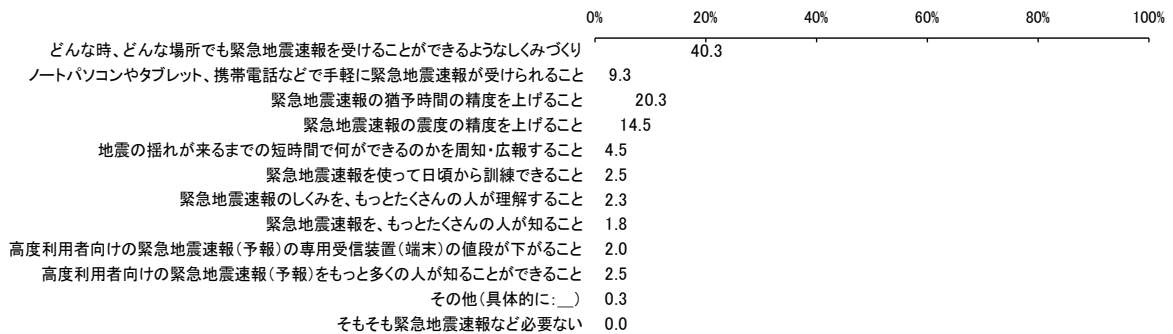
③-2 WEB 一般 (最も)



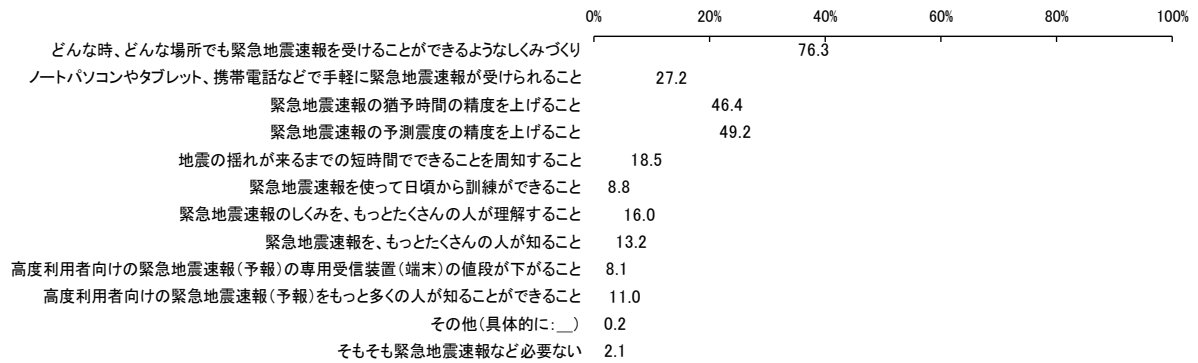
④-1 WEB 高度 (いくつでも)



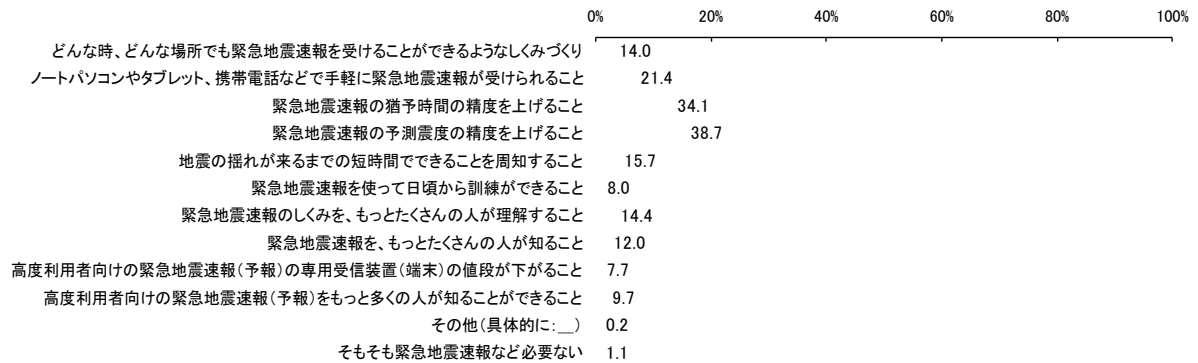
④-2 WEB 高度 (最も)



⑤-1 質問紙調査 (いくつでも)



⑤-2 質問紙調査 (最も)



⑥ その他 (WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査)

※設問主旨に合致するもののみ記載

	11. その他(具体的に:)		
	提供は無線情報で提	供よ供り早い情報	結果発表後の
自治体の放送を聞きとりやすくする事	○		
もっと早く速報を出せるように		○	
予報の早さ 震源地の近さにかかわらず30秒前		○	
直下型地震速報の震度予測		○	
地震が来たのか来なかったのか震度がいくつだったのか結果も速報すること			○
地震が来る前に速報を出して欲しい		○	
日中は高齢者だけになるので防災無線など公共施設を利用する。老人のためにも。	○		
地震が来る10分くらい前に速報がでるようにしてほしい		○	

42) 本調査 35

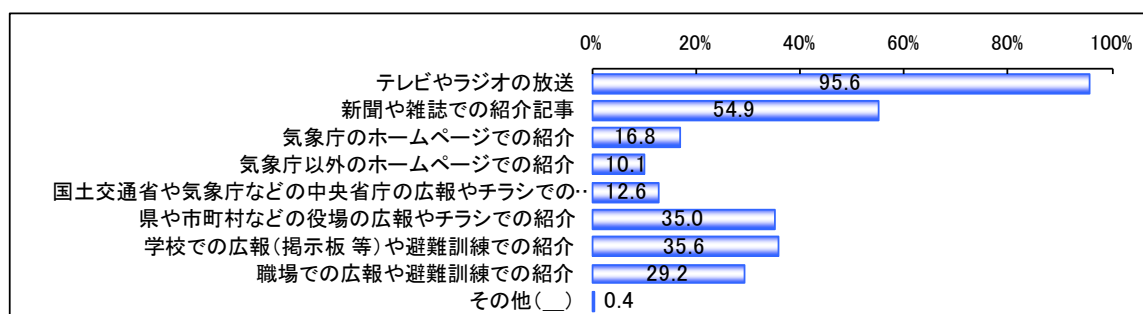
① 設問

緊急地震速報の内容を人々に理解してもらう上で、どんな方法が有効だと思いますか。(複数回答)
(WEB 高度 Q30)

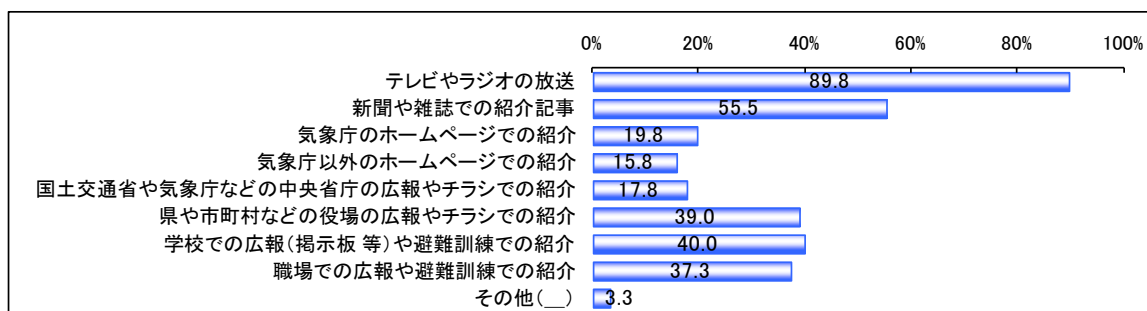
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度
テレビやラジオの放送	1,529	359
新聞や雑誌での紹介記事	878	222
気象庁のホームページでの紹介	268	79
気象庁以外のホームページでの紹介	161	63
国土交通省や気象庁などの中央省庁の広報やチラシでの紹介	202	71
県や市町村などの役場の広報やチラシでの紹介	560	156
学校での広報(掲示板等)や避難訓練での紹介	569	160
職場での広報や避難訓練での紹介	467	149
合 計	4,640	1,272
回答者数	1,600	400

③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



43) 本調査 36

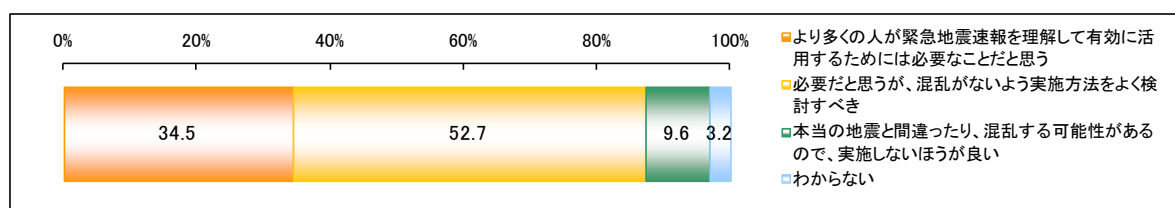
① 設問

緊急地震速報のしくみをもっと多くの人に知ってもらうためには、架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練を行ってはどうかという意見もあります。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。(WEB 高度 Q31、質問紙調査 Q20)

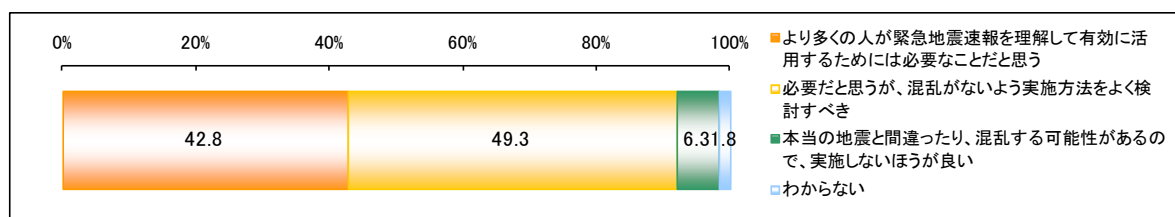
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
より多くの人が緊急地震速報を理解して有効に活用するためには必要なことだと思う	552	171	195
必要だと思うが、混乱がないよう実施方法をよく検討すべき	843	197	455
本当の地震と間違ったり、混乱する可能性があるので、実施しないほうが良い	154	25	134
わからない	51	7	33
合 計	1,600	400	817

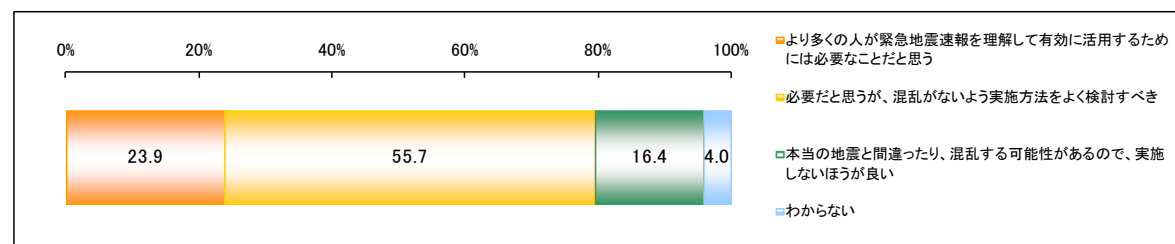
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



44) 本調査 37

① 設問

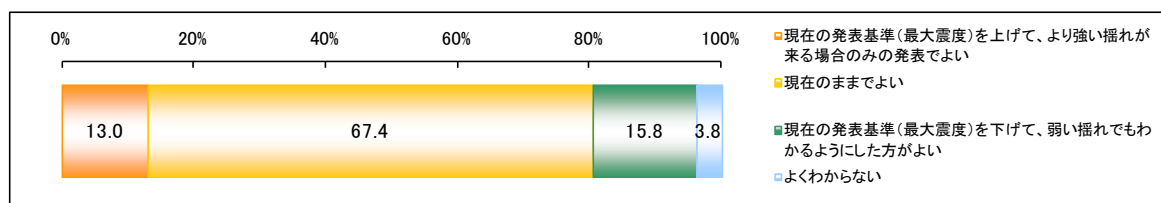
現在、「一般向けの緊急地震速報（警報）」が発表されるのは、予想される最大の震度が「5 弱以上」の場合です。あなたは、この基準についてどう思いますか。基準となる震度を低くすると、今よりも頻繁に緊急地震速報が発表される一方、基準の震度を高くすると、より強い揺れが来るときしか緊急地震速報が発表されません。なお、地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、基準の震度を低くすると緊急地震速報の発表回数は多くなります。（震度 5 弱以上の地震は少ない年で 1 年間に 4～5 回、多い年で数十回、平均すると 10 回程度発生しています。震度 4 の地震は震度 5 弱のおおむね 5 倍程度発生しています。）

次の中からあなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。（WEB 高度 Q32、質問紙調査 Q21）

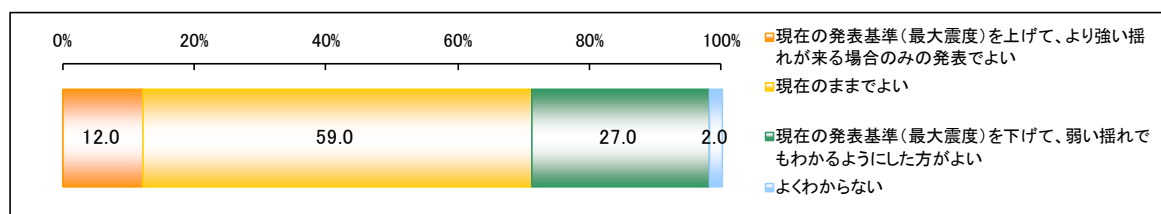
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
現在の発表基準（最大震度）を上げて、より強い揺れが来る場合のみの発表でよい	208	48	95
現在のままでよい	1,079	236	607
現在の発表基準（最大震度）を下げて、弱い揺れでもわかるようにした方がよい	253	108	80
よくわからない	60	8	35
合 計	1,600	400	817

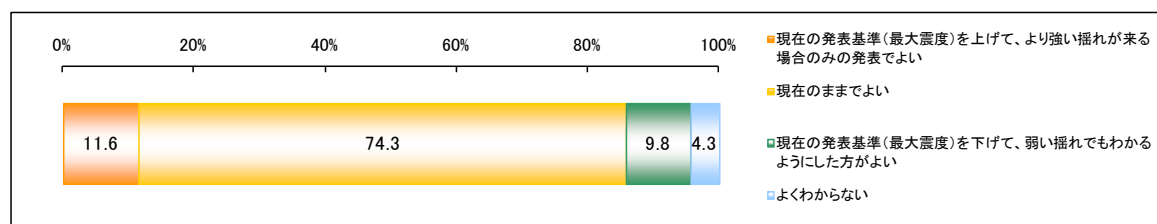
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



45) 本調査 38

① 設問

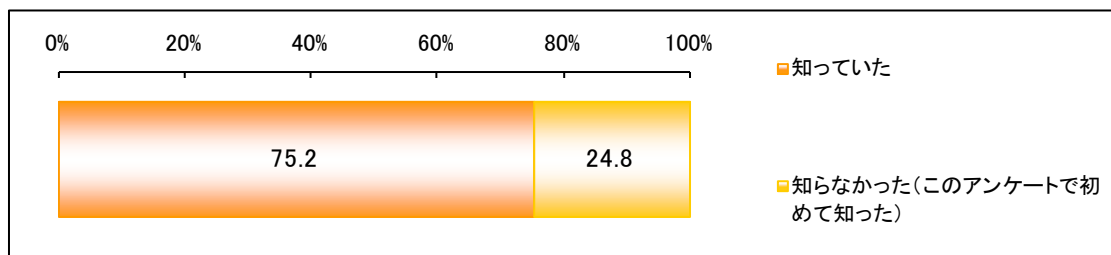
地震の揺れには、長くゆっくりしたものもあり、これを長周期の地震（長周期震動）といいます。地震の揺れが長周期であることによって、気象庁が発表する地表の震度が小さくても高層ビルなどの高い建物が大きく揺れることがあります。

あなたは、このことをご存じでしたか。（WEB 高度 Q33、質問紙調査 Q22）

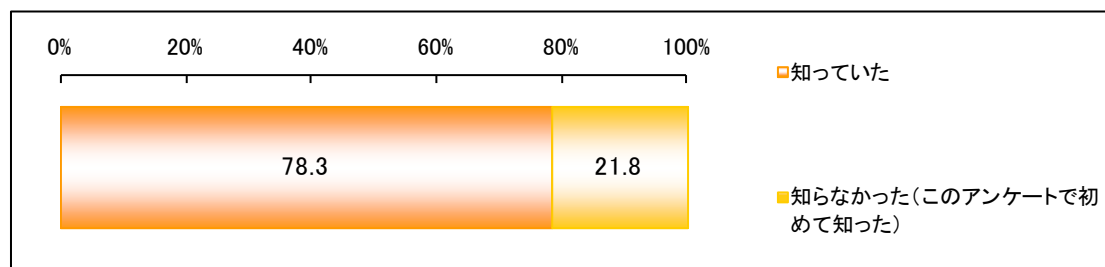
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
知っていた	1,203	313	541
知らなかった（このアンケートで初めて知った）	397	87	276
合計	1,600	400	817

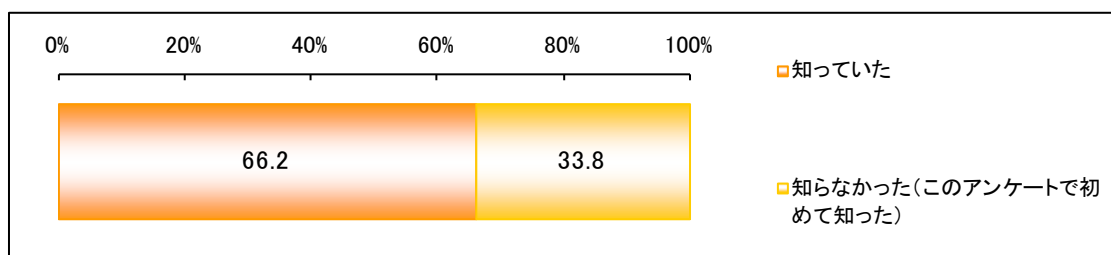
③ WEB 一般 (%グラフ)



④ WEB 高度 (%グラフ)



⑤ 質問紙調査 (%グラフ)



46) 本調査 39

① 設問

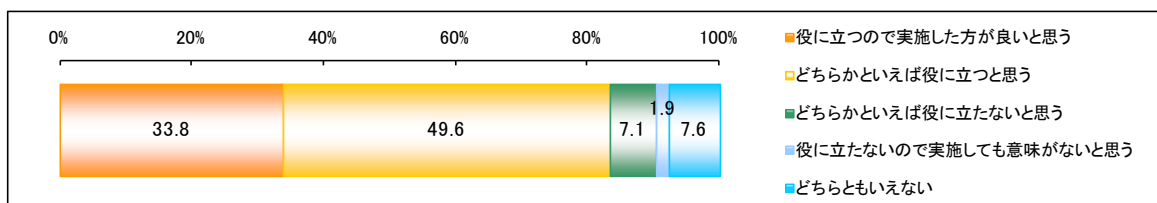
現在の緊急地震速報では、地表の揺れの大きさ（震度）を予想して発表していますので、予想震度が小さくて緊急地震速報が発表されないときでも、長周期の地震動の場合には高層ビルなどの高い建物が大きく揺れる場合があります。

あなたは、緊急地震速報の中で、予想震度等以外にこのような長周期の震動の予報を行うことについて、どう思われますか。（WEB 高度 Q34、質問紙調査 Q22）

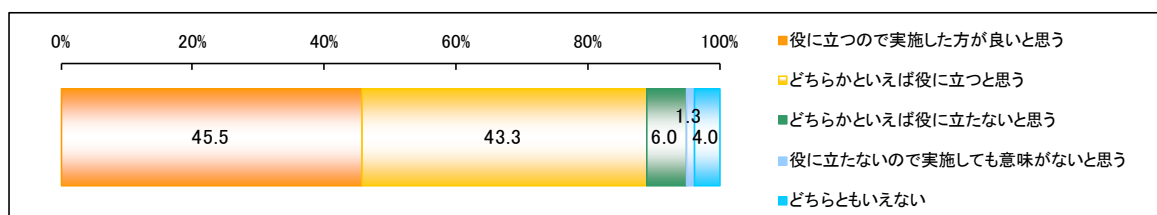
② 回答数

	WEB 一般	WEB 高度	質問紙調査
役に立つので実施した方が良いと思う	541	182	338
どちらかといえば役に立つと思う	793	173	301
どちらかといえば役に立たないと思う	114	24	45
役に立たないので実施しても意味がないと思う	31	5	19
どちらともいえない	121	16	114
合 計	1,600	400	817

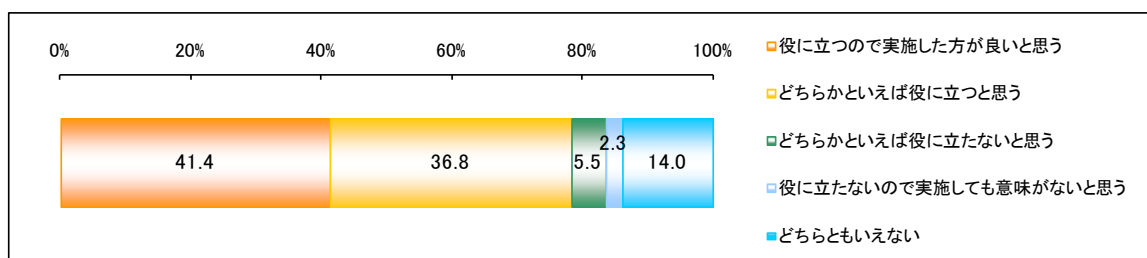
③ WEB 一般



④ WEB 高度



⑤ 質問紙調査



4. 調査結果の分析・整理

第3章の調査結果に基づいて、現在の利活用状況および今後に向けての課題や改善点などの傾向を把握するため、調査結果を分析・整理した。

(1) 分析方針の検討

本節においては、前章の調査結果をとりまとめるとともに、この結果をもとに分析を行うものとする。分析は、以下の大項目ごとに傾向がはっきりとわかるものを中心に実施することとした。

- 1) 緊急地震速報を受信する上での意識と準備
- 2) 緊急地震速報受信後の行動について
- 3) 緊急地震速報の評価について
- 4) アンケート対象者の属性について

分析にあたっては、一般利用者向けWEBモニター調査（以下、WEB一般）、高度利用者向けWEBモニター調査（以下、WEB高度）、郵送質問紙調査（以下、質問紙調査）、それぞれのアンケート結果を比較できるよう整理しその違いを明らかにする。

なお、分析を深めるため単純集計結果だけでは傾向が見えないものについては、複数の設問でクロス集計を行い、傾向が明らかと思われるものを抽出・整理した。

以下に各項目の分析方針を示す。

1) 緊急地震速報を受信する上での準備

以下の項目について、取りまとめることとした。

- ① 緊急地震速報を見聞きする方法について
 - ア 緊急地震速報を見聞きした方法
 - イ 年齢別に見る緊急地震速報を見聞きしたい方法
- ② 緊急地震速報の把握状況について
 - ア 緊急地震速報と地震情報の違いについて
 - イ 緊急地震速報の誤差について
 - ウ 緊急地震速報（警報）と緊急地震速報（予報）の違いについて
- ③ 緊急地震速報（予報）を利用したいか

2) 緊急地震速報受信後の行動について

以下の項目について、取りまとめることとした。

- ① 緊急地震速報受信後にとった行動について
 - ア 何かの行動をとったことがあるか
 - イ 緊急地震速報を受信した人が実際にした行動
 - ウ 受信方法・・・「テレビ」、「携帯電話」、「スマートフォン（アプリ）」
- ② 経験した地震の震度
- ③ 緊急地震速報発表をどのように知ったかについて
- ④ 緊急地震速報受信時に予め決めている行動について
 - ア 予めとるべき行動を決めているか
 - イ 予めとるべき行動を決めている人の行動の達成度

ウ 予め決めている行動ができなかった理由

⑤ 実際にどのように行動したか

⑥ 予め決めている行動の数と実際にとった行動の達成度

3) 緊急地震速報の評価について

以下の項目について、取りまとめることとした。

① 緊急地震速報の評価について

ア 役に立っているか

イ 地震による揺れと緊急地震速報の評価の関係

ウ 地震による揺れが到達するまでの猶予時間と緊急地震速報の評価の関係

② 緊急地震速報によって、地震への備えが変わったか

③ 緊急地震速報によって何が一番知りたいか

④ 今後の緊急地震速報について

ア 緊急地震速報を利用する上で実現してほしいこと

イ 全国的な避難訓練について

ウ 基準震度についてどう思うか

エ 長周期震動の予報について

4) アンケート対象者の属性について

アンケート対象者の属性について、際立った特徴がないか、また、WEB 一般、WEB 高度、質問紙調査毎に著しい違いがないかなどの観点から分析を行うものとする。

(2) アンケート調査の分析結果

1) 緊急地震速報を受信する上での準備

① 緊急受信速報を見聞きする手段について (WEB SC3)

WEB 調査で、緊急受信速報を見聞きした手段について質問したところ、WEB 一般の 85%、WEB 高度 82%が「テレビの字幕スーパーや音声」と答えており、最も比率が高い。これに次ぐ手段としては、WEB 一般の 55%、WEB 高度の 50%が「携帯電話 (スマートフォンを除く)」と答えている。

WEB 高度は、このほかに「スマートフォンのアプリ」で見聞きした人が 50%、「パソコンのフリーソフト」で見聞きした人が 47%いる。WEB 一般ではこれらの手段で緊急受信速報を見聞きした人の比率は低い。

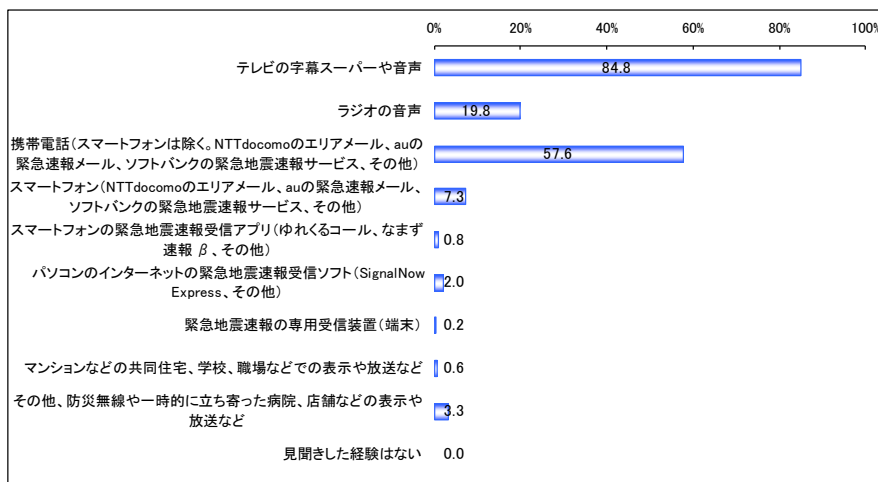


図-2 緊急地震速報を見聞きした方法 (WEB 一般)

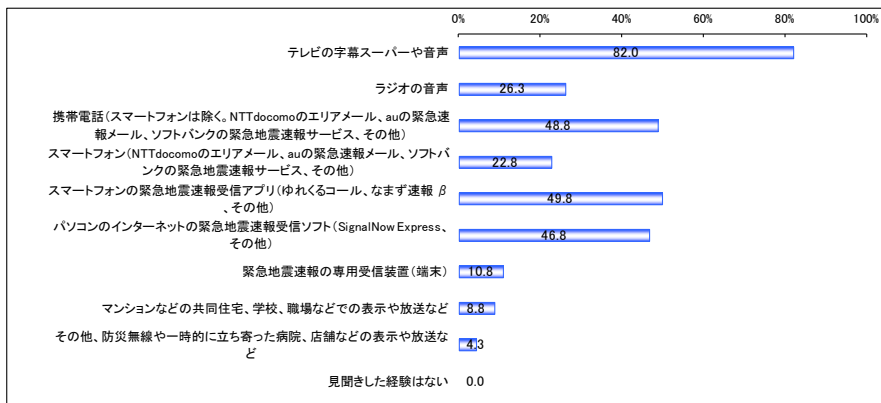


図-3 緊急地震速報を見聞きした方法 (WEB 高度)

今後、緊急地震速報をどのような方法で見聞きたいか、について質問したところ（WEB 一般 Q18、WEB 高度 Q27、質問紙調査 Q17）、最も見聞きたい手段として、WEB 一般や質問紙調査では「携帯電話」「テレビやラジオ」「スマートフォン（エリアメールなど）」の順に多いのに対して、WEB 高度では、1位から3位まですべてが携帯電話であり、3位には高度利用ができる「スマートフォンのアプリ」が入っている。

表-5 緊急地震速報を見聞きたい方法（上位3位）

	一般利用者 (N=1600)	高度利用者	タウンメール
1	携帯電話によるエリアメールなど (n=707, 44.2%)	携帯電話によるエリアメールなど (n=98, 25%)	携帯電話によるエリアメールなど (n=298, 37%)
2	テレビやラジオ (n=406, 25%)	スマートフォンによるエリアメールなど (n=85, 21%)	テレビやラジオ (n=293, 36%)
3	スマートフォンによるエリアメールなど (n=164, 10.3%)	スマートフォンのアプリ (n=81, 20%)	防災無線などの公共放送 (n=77, 9%)

また、緊急地震速報の受信手段を、年齢別に整理したところ、緊急地震速報を見聞きたい方法は、どの年代も「携帯電話」と回答した人が多く、「携帯電話」での情報入手の需要が多いことがわかる。一方で、高齢者ほどテレビやラジオからの情報入手を望んでいる。

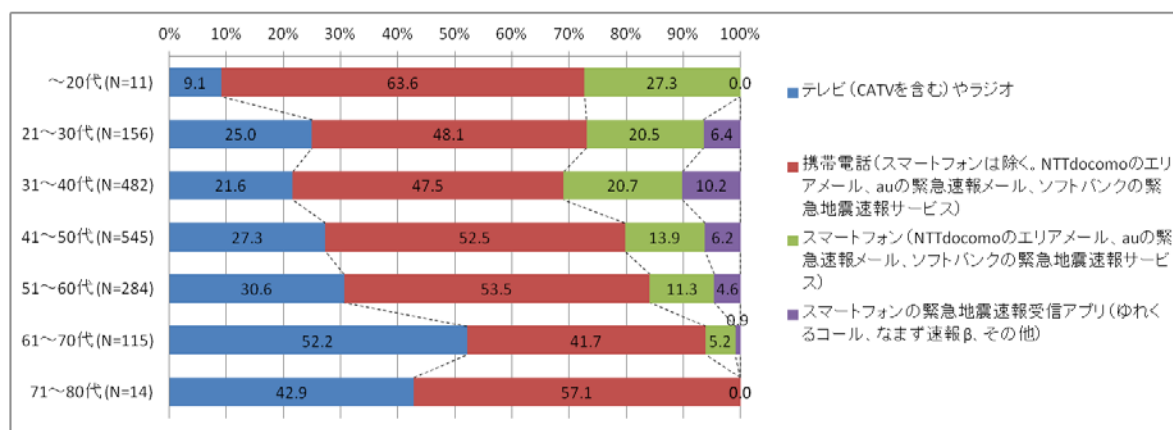


図-4 緊急地震速報を見聞きた方法（年齢別、WEB 一般+WEB 高度）

② 緊急地震速報の把握状況について

ア 緊急地震速報と地震情報の違いについて（WEB 一般 Q1、WEB 高度 Q11、質問紙調査 Q2）

「緊急地震速報」が「地震情報」と異なることを知っているかについて、質問したところ WEB 一般では 76%、WEB 高度では 71%、質問紙調査では 72%の人が「知っていた」と回答しており、「知らなかった」と回答した人を大幅に上回った。

「緊急地震速報」が「地震情報」と異なることを知っているかについて質問したところ、WEB 一般では 76%、WEB 高度では 71%、質問紙調査では 72%の人が「知っていた」と答えており、「知らなかった」と回答した人を大幅に上回った。

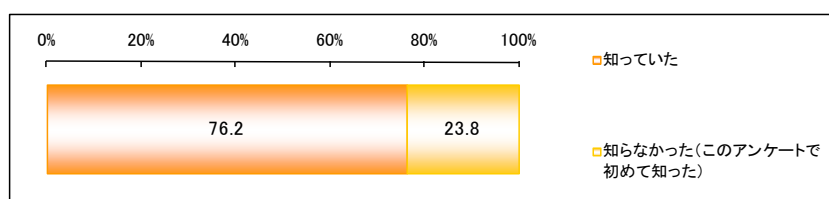


図-5 緊急地震速報と地震情報の違いについて（WEB 一般）

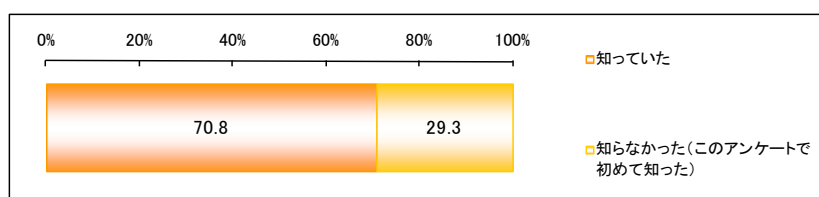


図-6 緊急地震速報と地震情報の違いについて（WEB 高度）

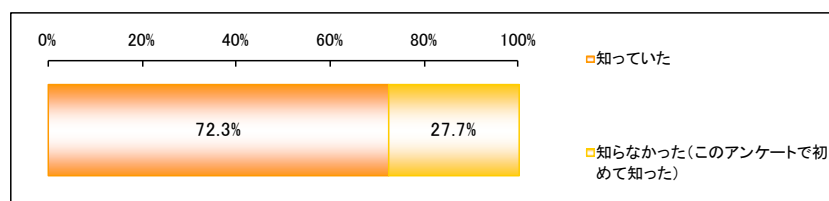


図-7 緊急地震速報と地震情報の違いについて（質問紙調査）

表-6 「緊急地震速報」と「地震情報」の違いについて

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
知っていた	1219	76.2	283	70.8	591	72.3
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	381	23.8	117	29.3	226	27.7

イ 緊急地震速報の誤差について (WEB 一般 Q2、WEB 高度 Q12、質問紙調査 Q2)

緊急地震速報が、震源地の場所によっては緊急地震速報より先に強い揺れが来る場合があることや予測震度に誤差が生じることがあることを知っているかを質問したところ、WEB 一般では81%、WEB 高度では77%、質問紙調査では74%の人が「知っていた」と答えており、知らなかったと答えた人を大幅に上回った。

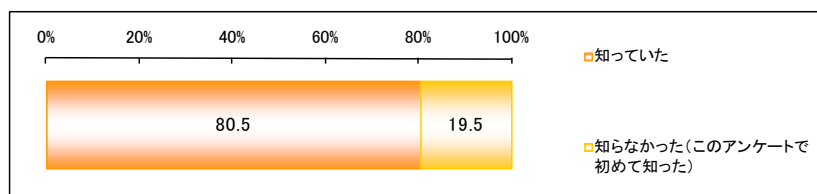


図-8 誤差があることについて (WEB 一般)

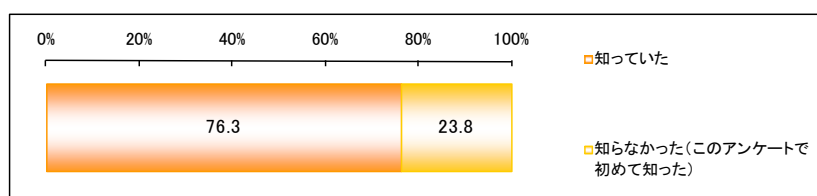


図-9 誤差があることについて (WEB 高度)

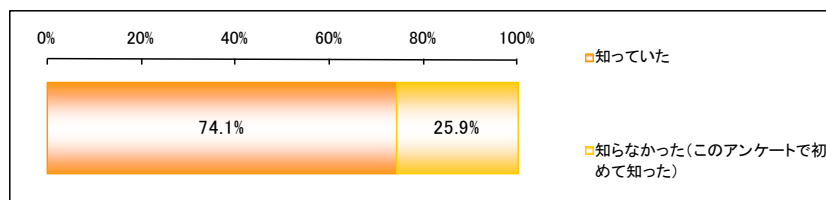


図-10 誤差があることについて (質問紙調査)

表-7 予測震度に誤差が生じることの認識

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n	%	n=400	%	n=817	%
全体	=1600					
知っていた	1288	80.5	305	76.3	605	74.1
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	312	19.5	95	23.8	212	25.9

ウ 警報と予報の違いについて (WEB 一般 Q4、WEB 高度 Q14、質問紙調査 Q3)

緊急地震速報には「警報」と「予報」の2種類あり、発表の基準やお知らせの仕方が異なることを知っているかを質問したところ、WEB 一般では81%、WEB 高度では67%、質問紙調査では82%の人が「知らなかった」と答えており、「知っていた」と答えた人を大幅に上回っている。

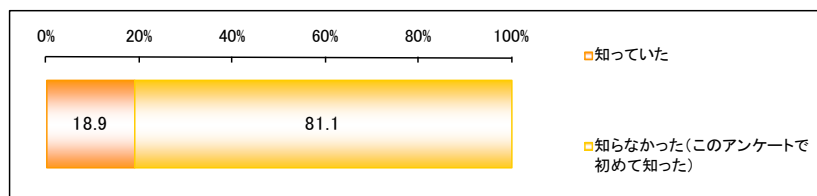


図-11 警報と予報の違いについて (WEB 一般)

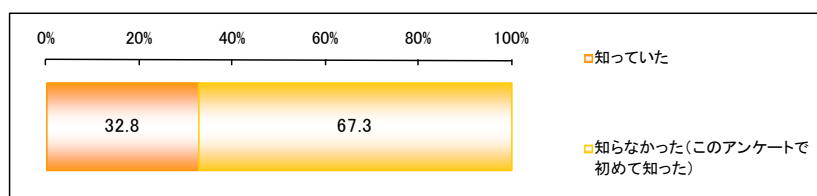


図-12 警報と予報の違いについて (WEB 高度)

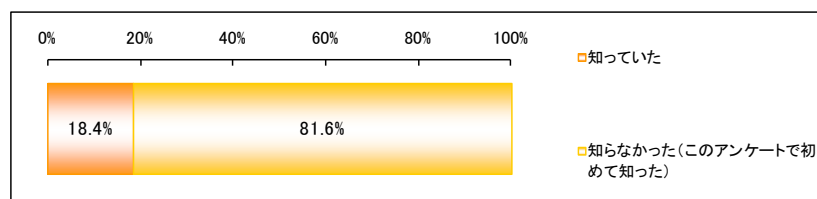


図-13 警報と予報の違いについて (質問紙調査)

表-8 緊急地震速報の「警報」と「予報」の違いについて

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
全体	1600	100.0	400	100.0	817	100.0%
知っていた	303	18.9	131	32.8	150	18.4%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	1297	81.1	269	67.3	667	81.6%

③ 緊急地震速報（予報）の利用について（WEB 一般 Q5、質問紙調査 Q4）

WEB 一般および質問紙調査の対象者に対し、緊急地震速報（予報）を利用したいかを質問したところ、WEB 一般の 39%、質問紙調査の 39%が利用したいと回答した。利用したくないと回答した人は、WEB 一般では 16%、質問紙調査では 34%であり、利用したいと答えた人を下回った。なお、「わからない」と答えた人の割合は、WEB 一般では 45%、質問紙調査でも 38%と高かった。

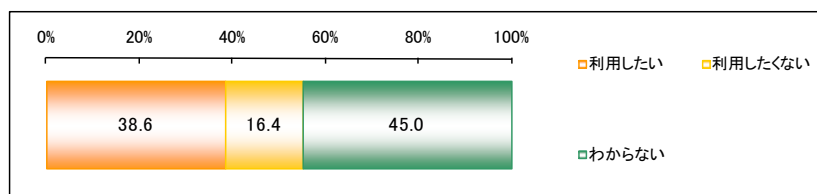


図-14 緊急地震速報（予報）を利用したいか（WEB 一般）

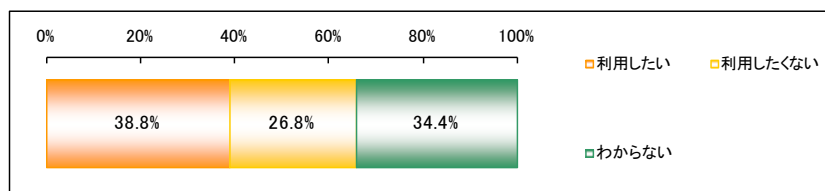


図-15 緊急地震速報（予報）を利用したいか（質問紙調査）

表-9 緊急地震速報（予報）の利用について

	WEB 一般		質問紙調査	
	n=1600	%	n=817	%
全体				
利用したい	617	38.6	317	38.8
利用したくない	263	16.4	219	26.8
わからない	720	45.0	281	34.4

「利用したい」と答えた人に対し更に「なぜ利用したいか」について質問したところ、WEB一般、質問紙調査ともに一番多かった回答は、「情報は多いほど良いと思うから」であった（WEB一般77%、質問紙調査64%）。

表-10 緊急地震速報（予報）を利用したい理由

	WEB一般		質問紙調査	
	n=617	%	n=317	%
全体				
情報は多いほど良いと思うから	474	76.8	204	64.4
一般向け緊急地震速報（警報）だけでは安心できないから	238	38.6	109	34.4
仕事上で必要だから	46	7.5	41	12.9
弱い揺れでも倒れたり壊れたりするものがあるから	82	13.3	47	14.8
避難などの準備時間が長くとれるから	239	38.7	178	56.2
余震の情報も知りたいから	231	37.4	105	33.1
小さな地震の情報も知ることで、日ごろからの心構えができるから	220	35.7	152	47.9
その他	6	1.0	13	4.1

一方、「利用したくない」と答えた人に「なぜ利用したくないか」を質問したところ、WEB一般、質問紙調査とも一番多かった回答は、「情報が多すぎると混乱するから」であった（WEB一般63%、質問紙調査64%）。この結果は、「利用したい」と答えた人で一番多かった「情報は多いほど良い」という理由と相反している。

表-11 緊急地震速報（予報）を利用したくない理由

	WEB一般		質問紙調査	
	n=983	%	n=500	%
全体				
情報が多すぎると混乱するから	616	62.7	318	63.6
テレビやラジオの警報だけで十分だと思う	334	34.0	220	44.0
自宅や職場では必要のないサービスだと思う	71	7.2	29	5.8
揺れが来ることを直前に知っても役に立たないと思う	106	10.8	49	9.8
複雑すぎて理解できそうもないから（使いこなせそうにないから）	192	19.5	122	24.4
費用がかかりそうだから	328	33.4	82	16.4
その他	28	2.8	29	5.8

① 緊急地震速報発表時の行動について

ア 緊急地震速報発表時にとった行動について（WEB 一般 Q6、WEB 高度 Q15、質問紙調査 Q5）

2011年3月11日以降の地震で最も記憶に残っている地震で、緊急地震速報によって強い揺れが来ることを知り、何らかの行動をとったことがあるかについて質問したところ、WEB 一般では54%、WEB 高度では60%、質問紙調査では74%の人が、何らかの行動をとったことがあると答えている。質問紙調査ではWEB 一般やWEB 高度よりも何らかの行動をとった人の比率が高い。

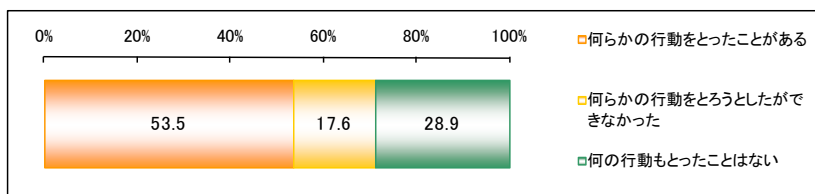


図-16 緊急地震速報で行動したことがあるか（WEB 一般）

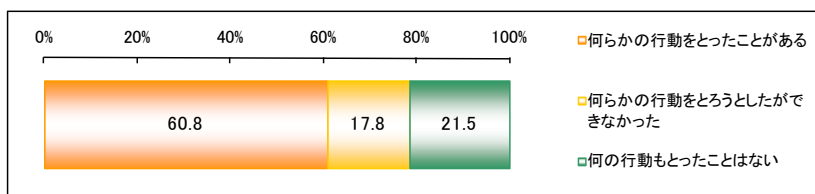


図-17 緊急地震速報で行動したことがあるか（WEB 高度）

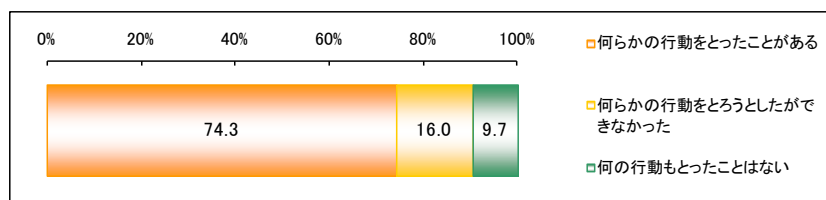


図-18 緊急地震速報で行動したことがあるか（質問紙調査）

また、「何の行動もとったことがない」と答えた人もWEB 一般29%、WEB 高度22%に対し、質問紙調査では10%にとどまっている。

表-12 緊急地震速報によって何らかの行動をとったことがあるか

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n	%	n	%	n	%
全体	1600		400		817	
何らかの行動をとったことがある	856	53.5	243	60.8	607	74.3
何らかの行動をとろうとしたができなかった	282	17.6	71	17.8	131	16.0
何の行動もとったことはない	462	28.9	86	21.5	79	9.7

イ 経験した地震の震度 (WEB 一般 Q11、WEB 高度 Q20、質問紙調査 Q10)

前節の2011年3月11日以降の地震で最も記憶に残っている地震で、「その地震時の震度はどのくらいであったか」を質問したところ、WEB 一般と WEB 高度ともに震度 2、3 が1位 (WEB 一般 32%、WEB 高度 40%) であったのに対し、質問紙調査では震度 6 以上と答えた人が1位で25%に及び、明らかに違いがあった。

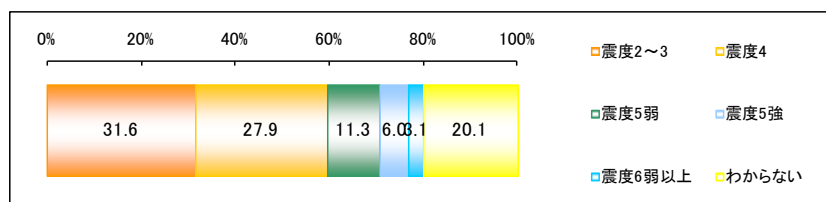


図-19 経験した地震の震度 (WEB 一般)

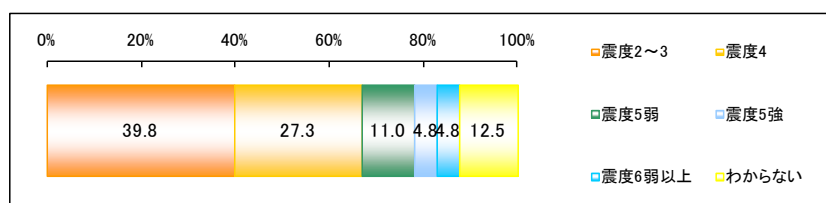


図-20 経験した地震の震度 (WEB 高度)

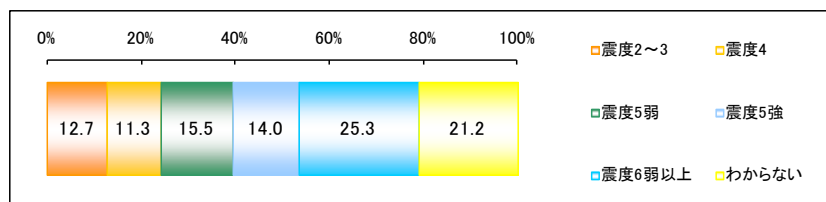


図-21 経験した地震の震度 (質問紙調査)

表-13 最も記憶に残っている地震の震度

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
全体						
震度2~3	505	31.6	159	39.8	104	12.7
震度4	447	27.9	109	27.3	92	11.3
震度5弱	181	11.3	44	11.0	127	15.5
震度5強	96	6.0	19	4.8	114	14.0
震度6弱以上	49	3.1	19	4.8	207	25.3
わからない	322	20.1	50	12.5	173	21.2

ウ 緊急地震速報発表を見聞きした手段について（WEB 一般 Q9、WEB 高度 Q18、質問紙調査 Q8）

前述の地震の際に緊急地震速報を見聞きした手段については、WEB 一般61%、WEB 高度47%、質問紙調査43%が「テレビ」と回答しており最も多い。WEB 一般や質問紙調査では、これに次ぐ手段として「携帯電話（スマートフォンを除く）」と回答している（WEB 一般44%、質問紙調査53%）。WEB 高度は「テレビ」に次いで「スマートフォンのアプリ」と答えた人が33%となっており、「携帯電話（スマートフォンを除く）」の26%を上回る結果となった。

表-14 緊急地震速報を見聞きした手段

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
全体						
テレビ（地上波アナログテレビ、地上波デジタルテレビ）	969	60.6	187	46.8	353	43.2
ケーブルテレビ放送（CATV）	32	2.0	18	4.5	6	0.7
NHKのBS（衛星放送）	18	1.1	8	2.0	17	2.1
民間放送のBS（衛星放送）	6	0.4	2	0.5	8	1.0
テレビだったが、どういった放送か覚えていない	45	2.8	18	4.5	59	7.2
NHKのラジオ放送（AM）	47	2.9	15	3.8	117	14.3
NHKのラジオ放送（FM）	9	0.6	6	1.5	18	2.2
民間放送のラジオ（AM）	38	2.4	10	2.5	83	10.2
民間放送のラジオ（FM）	13	0.8	7	1.8	15	1.8
コミュニティFM局	1	0.1	1	0.3	4	0.5
その他のラジオ放送（短波放送など）	0	0.0	1	0.3	5	0.6
ラジオだったが、どういった放送か覚えていない	15	0.9	1	0.3	17	2.1
固定電話やファックス	1	0.1	0	0.0	0	0.0
携帯電話（スマートフォンは除く。エリアメール等）	701	43.8	104	26.0	431	52.8
スマートフォン（エリアメール等）	56	3.5	38	9.5	17	2.1
スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ	1	0.1	130	32.5	10	1.2
パソコンのインターネット緊急地震速報受信ソフト	1	0.1	53	13.3	5	0.6
緊急地震速報の専用受信装置（端末）	0	0.0	14	3.5	19	2.3
マンションなどの多機能インターホン	1	0.1	2	0.5	0	0.0
エレベーター内の表示や放送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学校や職場、ショッピングセンターや病院等での表示や放送	20	1.3	11	2.8	12	1.5
その他の手段	22	1.4	11	2.8	36	4.4

表-15 緊急地震速報を見聞きしたときに何をしていたか

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
全体						
仕事をしていた	291	18.2	92	23.0	154	18.8
会議中だった	14	0.9	3	0.8	6	0.7
勉強中だった	7	0.4	4	1.0	1	0.1
本や新聞などを読んでいた	47	2.9	12	3.0	28	3.4
パソコンを使用していた	191	11.9	65	16.3	20	2.4
くつろいでいた（休憩中だった）	326	20.4	80	20.0	127	15.5
子供など身のまわりの人の世話をしていた	54	3.4	9	2.3	17	2.1
テレビを見ていた	455	28.4	71	17.8	203	24.8
ラジオを聞いていた	36	2.3	5	1.3	49	6.0
音楽を聴いていた	1	0.1	2	0.5	1	0.1
携帯電話を操作していた	5	0.3	4	1.0	12	1.5
掃除・洗濯をしていた	19	1.2	2	0.5	7	0.9
食事を作っていた（炊事をしていた）	25	1.6	9	2.3	22	2.7
ごはんを食べていた	59	3.7	16	4.0	21	2.6
お風呂に入っていた	8	0.5	4	1.0	11	1.3
トイレに入っていた	7	0.4	0	0.0	6	0.7
寝ていた	185	11.6	52	13.0	275	33.7
公共交通機関で移動中だった	12	0.8	5	1.3	4	0.5
歩いて移動中だった	26	1.6	10	2.5	11	1.3
その他（具体的に：_）	62	3.9	21	5.3	33	4.0
はっきり覚えていない	97	6.1	24	6.0	50	6.1

なお、緊急地震速報を見聞きしたときに「何をしていたか」について質問したところ、WEB 一般で12%、WEB 高度で13%、質問紙調査で34%の人が「寝ていた」と回答した。更に、寝ていたのに「なぜ緊急地震速報に気付くことができたか」について質問したところ、「携帯電話に入った緊急地震速報の着信で気付いた」と答えた人が、WEB 一般で75%、WEB 高度で77%、質問紙調査で62%とそれぞれ最も多い回答であった。

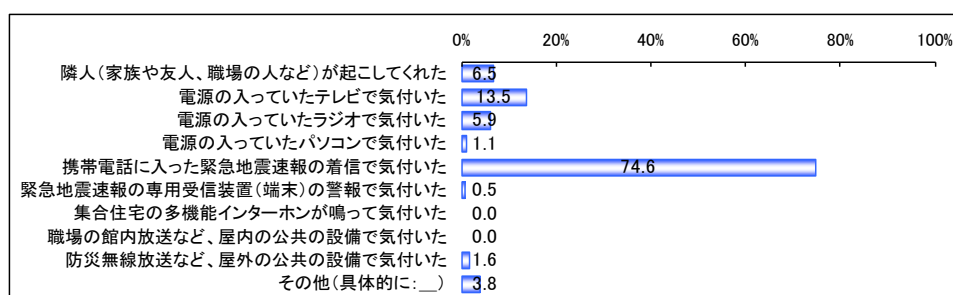


図-22 寝ていて緊急地震速報に気付いた理由 (WEB 一般)

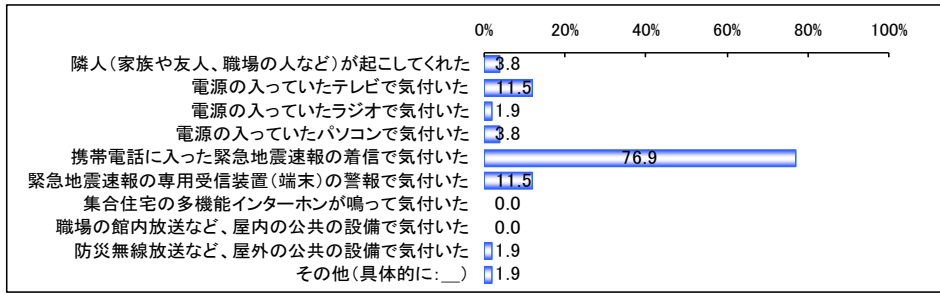


図-23 寝ていて緊急地震速報に気付いた理由 (WEB 高度)

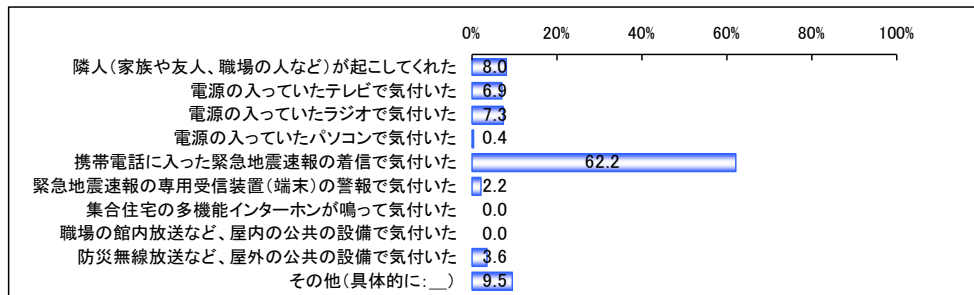


図-24 寝ていて緊急地震速報に気付いた理由 (質問紙調査)

表-16 「寝ていた」人が緊急地震速報に気付いた理由

理由	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n	%	n	%	n	%
全体	n=185		n=52		n=275	
隣人(家族や友人、職場の人など)が起こしてくれた	12	6.5	2	3.8	22	8.0
電源の入っていたテレビで気付いた	25	13.5	6	11.5	19	6.9
電源の入っていたラジオで気付いた	11	5.9	1	1.9	20	7.3
電源の入っていたパソコンで気付いた	2	1.1	2	3.8	1	0.4
携帯電話に入った緊急地震速報の着信で気付いた	138	74.6	40	76.9	171	62.2
緊急地震速報の専用受信装置(端末)の警報で気付いた	1	0.5	6	11.5	6	2.2
集合住宅の多機能インターホンが鳴って気付いた	0	0.0	0	0.0	0	0.0
職場の館内放送など、屋内の公共の設備で気付いた	0	0.0	0	0.0	0	0.0
防災無線放送など、屋外の公共の設備で気付いた	3	1.6	1	1.9	10	3.6
その他(具体的に:)	7	3.8	1	1.9	26	9.5

④ 緊急地震速報受信時に予め決めている行動（WEB 一般 Q13、WEB 高度 Q22、質問紙調査 Q12）

ア 予めとるべき行動を決めているか

日頃から緊急地震速報を見聞きしたときに「とるべき行動を予め決めているか」について質問したところ、WEB 一般では69%、WEB 高度では59%の人が「決めていない」と回答し、決めていると回答した人を大きく上回った。一方、質問紙調査では「決めている」と回答した人が 62%であり、WEB 一般やWEB 高度の結果と相反する結果となった。

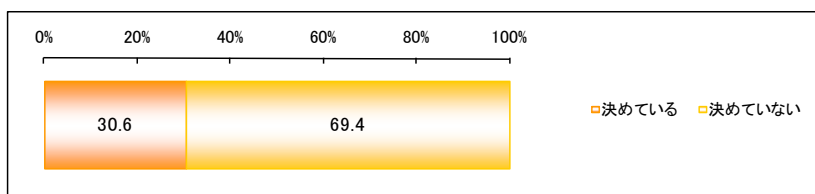


図-25 予めとるべき行動を決めているか（WEB 一般）

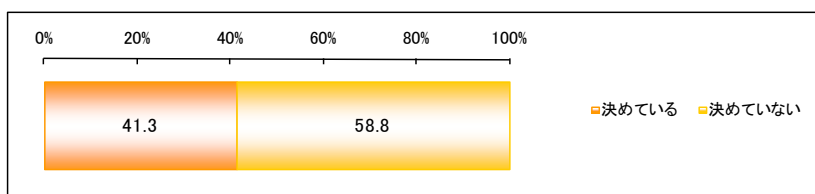


図-26 予めとるべき行動を決めているか（WEB 高度）

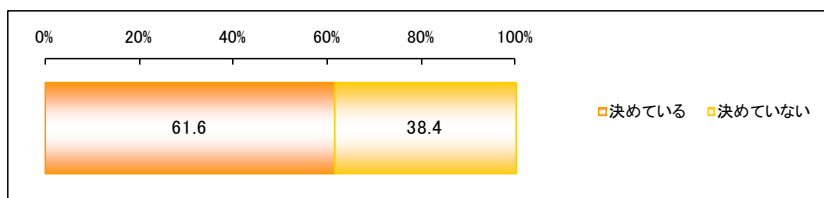


図-27 予めとるべき行動を決めているか（質問紙調査）

表-17 予めとるべき行動を決めているか

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
全体						
決めている	489	30.6	165	41.3	503	61.6
決めていない	1111	69.4	235	58.8	314	38.4

なお、「行動を決めていない」と答えた人にその理由を質問したところ、「地震の揺れの強さによってとるべき行動が違うと思うから」「地震発生時に自分のいる場所がいつも同じとは限らない」と回答した人が各調査とも多かった(それぞれ、WEB一般50%、50%、WEB高度55%、57%、質問紙調査55%、63%)。

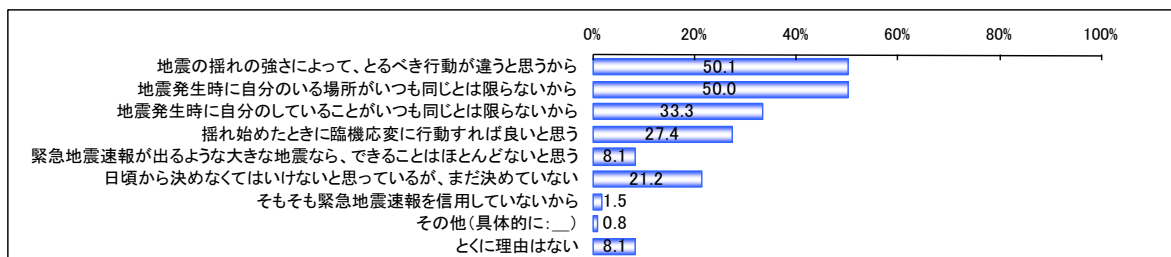


図-28 とるべき行動を決めていない理由 (WEB 一般)

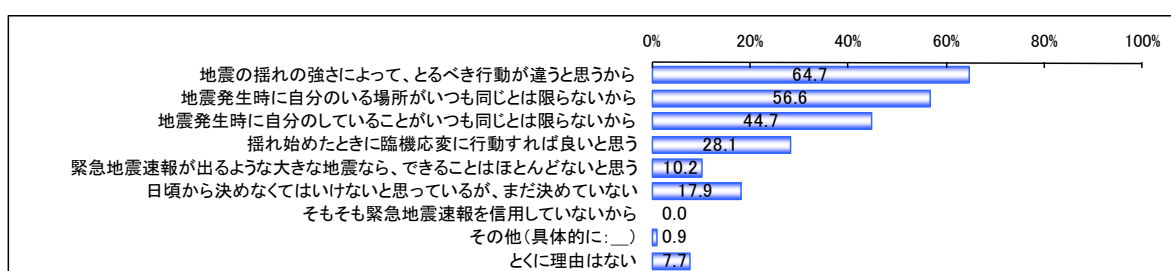


図-29 とるべき行動を決めていない理由 (WEB 高度)

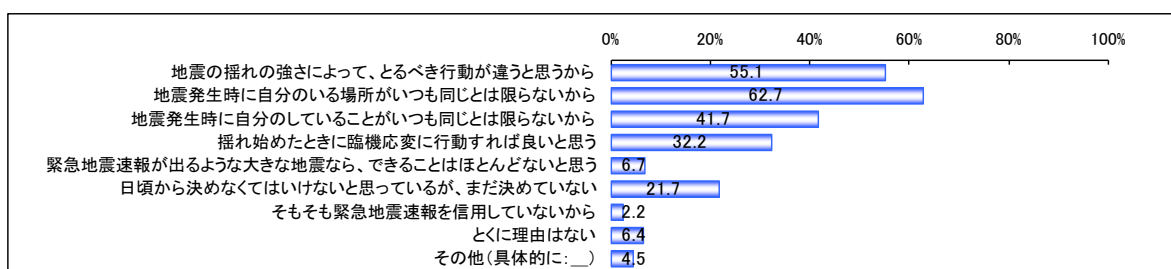


図-30 とるべき行動を決めていない理由 (質問紙調査)

表-18 とるべき行動を決めていない理由

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n	%	n	%	n	%
全体	n=1111		n=235		n=314	
地震の揺れの強さによって、とるべき行動が違うと思うから	557	50.1	152	64.7	173	55.1
地震発生時に自分のいる場所がいつも同じとは限らないから	555	50.0	133	56.6	197	62.7
地震発生時に自分のしていることがいつも同じとは限らないから	370	33.3	105	44.7	131	41.7
揺れ始めたときに臨機応変に行動すれば良いと思う	304	27.4	66	28.1	101	32.2
緊急地震速報が出るような大きな地震なら、できることはほとんどない	90	8.1	24	10.2	21	6.7
日頃から決めなくてはいけないと思っているが、まだ決めていない	235	21.2	42	17.9	68	21.7
そもそも緊急地震速報を信用していないから	17	1.5	0	0.0	7	2.2
その他(具体的に:_)	9	0.8	2	0.9	20	6.4
とくに理由はない	90	8.1	18	7.7	14	4.5

イ 予めとるべき行動を決めている人は行動の達成度が高い

「あらかじめ行動を決めている」と回答した人に、決めていたとおりに行動できたかを質問したところ、「行動できた」「だいたい行動できた」と回答した人の合計は、WEB 一般では74%、WEB 高度では80%、質問紙調査では66%となり、予め行動を決めていた人の達成度は高いことがわかった。

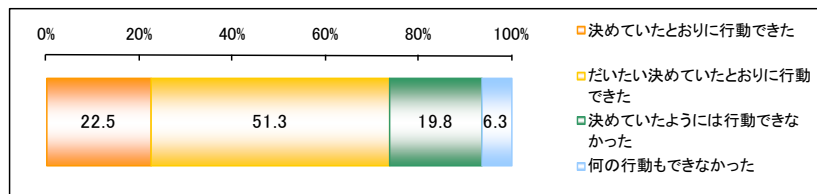


図-31 行動を決めていた人の達成度 (WEB 一般)

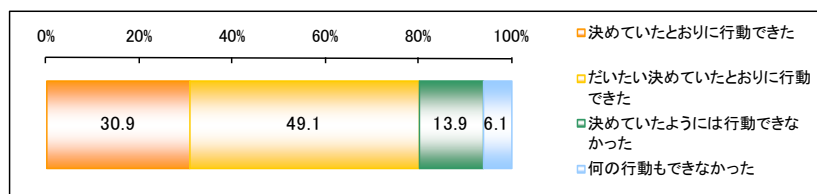


図-32 行動を決めていた人の達成度 (WEB 高度)

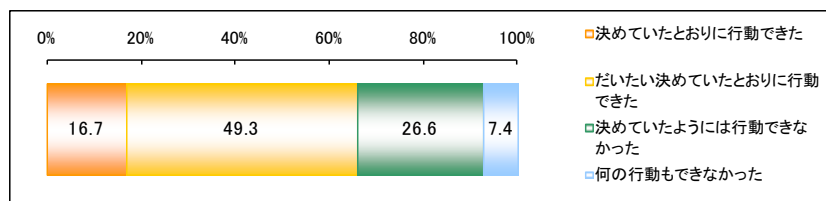


図-33 行動を決めていた人の達成度 (質問紙調査)

表-19 「予め行動を決めている」人で決めていたとおりに行動できたか

	行動できた			決めていたとおりに行動できなかった		合計
	行動できた	だいたい行動できた	合計	決めていたが行動できなかった	何の行動もできなかった	
WEB 一般	22.5	51.3	73.8	19.8	6.3	26.1
WEB 高度	30.9	49.1	80.0	13.9	6.1	20.0
質問紙調査	16.7	49.3	66.0	22.6	7.4	30.0

ウ 予め決めている行動ができなかった理由

「決めていたように行動できなかった」と回答した人に、「なぜ行動できなかったか」と質問したところ、「行動するには、時間がなさすぎた」と回答した人が各利用者とも最も多く（WEB 一般 42%、WEB 高度 61%、質問紙調査 47%）、次いで「突然だったので気が動転してしまった」と回答した人が、WEB 一般では 35%、WEB 高度では 30%、質問紙調査では 43%であった。

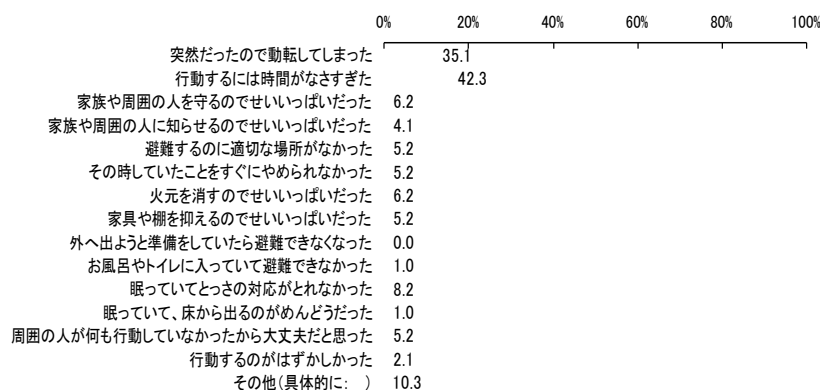


図-34 決めていた行動ができなかった理由 (WEB 一般)

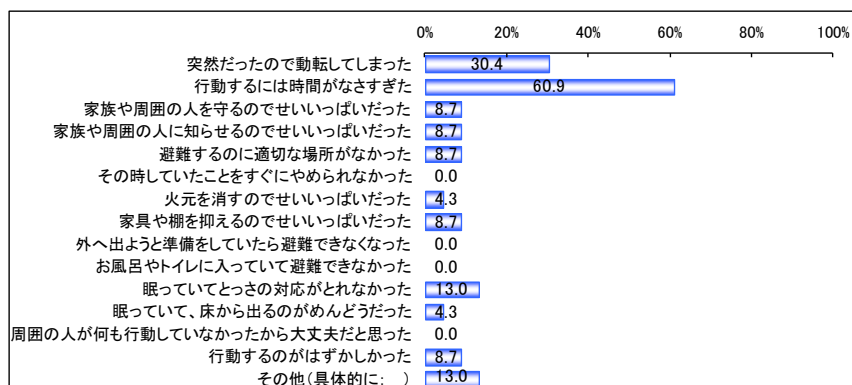


図-35 決めていた行動ができなかった理由 (WEB 高度)

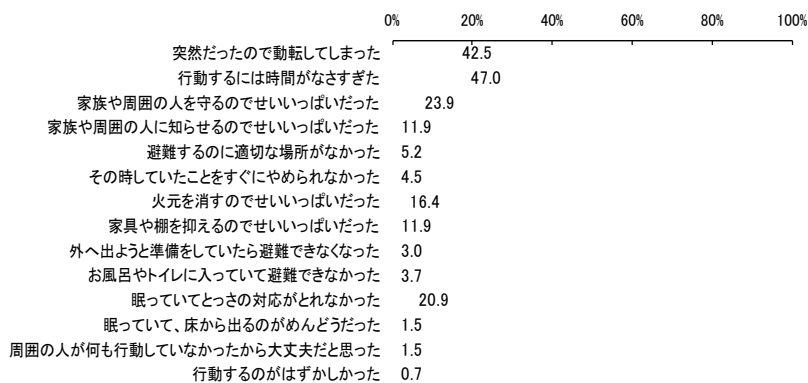


図-36 決めていた行動ができなかった理由 (質問紙調査)

⑤ 実際にどのように行動したか（WEB 一般 Q13-7、WEB 高度 Q22-7、質問紙調査 Q12-7）

最も記憶に残っている地震で緊急地震速報を受けたときに実際にどのような行動をとったかについて、全員に質問したところ、各調査とも「テレビをつけるなどの他の情報を得た」「ドアなどを開けて逃げ道を確保した」などの回答が比較的多かった（それぞれ 10～20%）が、とくに回答率が突出した項目はなく、顕著な傾向は見られなかった。

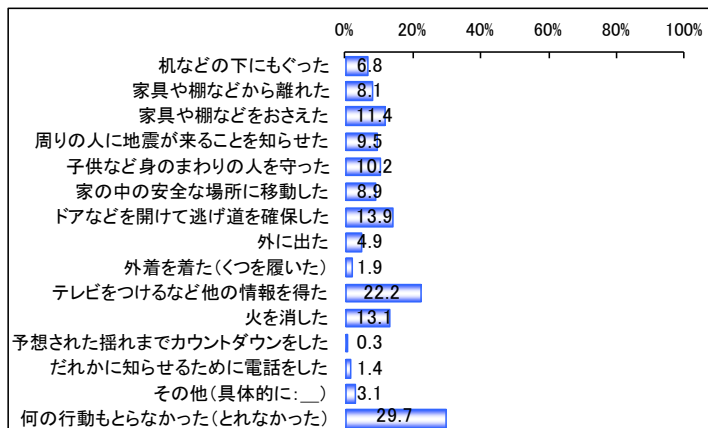


図-37 どのような行動をしたか（WEB 一般）

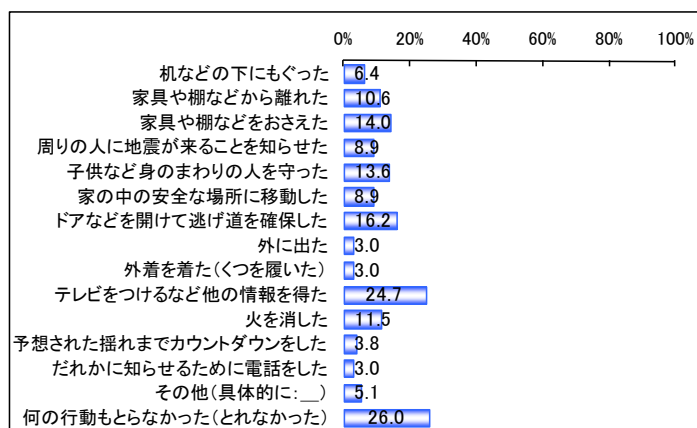


図-38 どのような行動をしたか（WEB 高度）

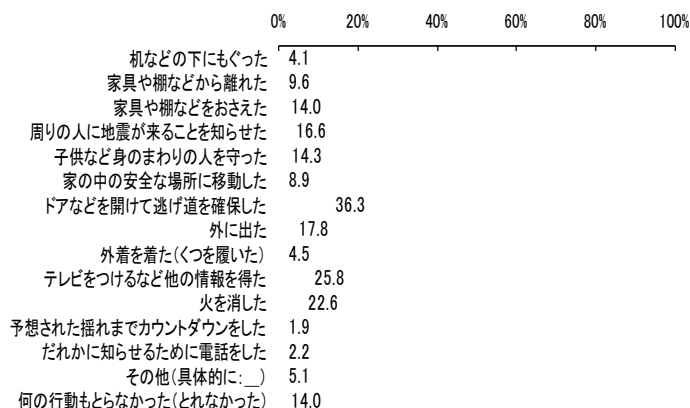


図-39 どのような行動をしたか（質問紙調査）

表-20 最も記憶に残っている地震で実際にとった行動

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全体	1111	100.0	235	100.0	314	100.0
机などの下にもぐった	75	6.8	15	6.4	13	4.1
家具や棚などから離れた	90	8.1	25	10.6	30	9.6
家具や棚などをおさえた	127	11.4	33	14.0	44	14.0
周りの人に地震が来ることを知らせた	105	9.5	21	8.9	52	16.6
子供など身のまわりの人を守った	113	10.2	32	13.6	45	14.3
家の中の安全な場所へ移動した	99	8.9	21	8.9	28	8.9
ドアなどを開けて逃げ道を確保した	154	13.9	38	16.2	114	36.3
外に出た	54	4.9	7	3.0	56	17.8
外着を着た（くつを履いた）	21	1.9	7	3.0	14	4.5
テレビをつけるなど他の情報を得た	247	22.2	58	24.7	81	25.8
火を消した	146	13.1	27	11.5	71	22.6
予想された揺れまでカウントダウンをした	3	0.3	9	3.8	6	1.9
だれかに知らせるために電話をした	16	1.4	7	3.0	7	2.2
その他（具体的に：__）	34	3.1	12	5.1	16	5.1
何の行動もとらなかった（とれなかった）	330	29.7	61	26.0	44	14.0

⑥ 予め決めていた行動の数と実際にとった行動の達成度

最も記憶に残っている地震で「緊急地震速報を受けたときに予定通りの行動ができたかどうか」と「予め決めていた行動」との達成度についてクロス集計を行ったところ、緊急地震速報を見聞きしたときに予め決めていた行動の数が少ないほど行動の達成度は高く、行動の数が多くなるほど行動の達成度は低くなっていたことがわかる。

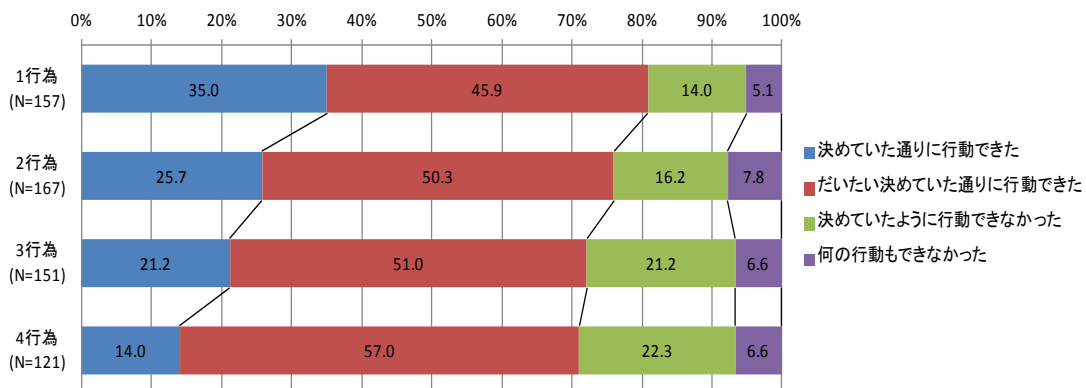


図-40 予め決めていた行動の数に対して実際に決めていた通りに行動できた割合

3) 緊急地震速報の評価について

① 緊急地震速報の評価について

ア 役にたっているか (WEB 一般 Q14、WEB 高度 Q23、質問紙調査 Q13)

「これまでの経験から緊急地震速報は役に立っているか」を質問したところ、「役に立っている」「どちらかといえば役に立っている」と答えた回答者の合計は、WEB 一般で82%、WEB 高度で90%、質問紙調査で90%と高い比率を占めた。

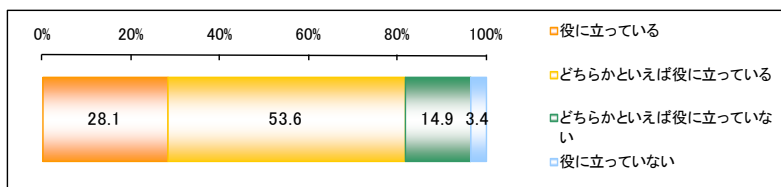


図-41 緊急地震速報は役に立っているか (WEB 一般)

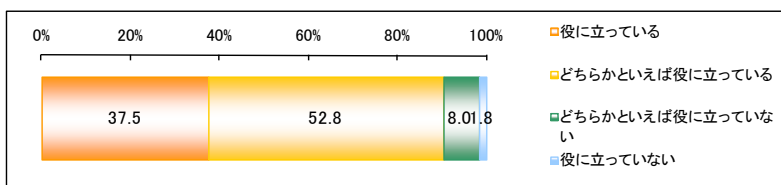


図-42 緊急地震速報は役に立っているか (WEB 高度)

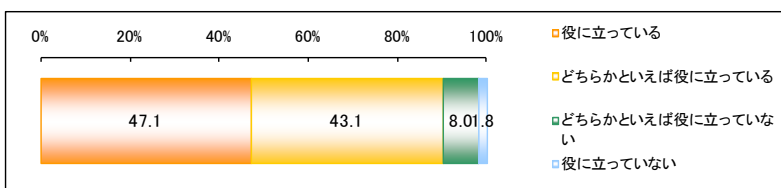


図-43 緊急地震速報は役に立っているか (質問紙調査)

表-21 緊急地震速報は役に立っているか (集計)

	役に立っている、どちらかといえば役に立っている (%)	役にたっていない、どちらかといえば役に立っていない (%)
WEB 一般	81.7	18.3
WEB 高度	90.3	9.7
質問紙調査	90.2	9.8

表-22 緊急地震速報は役に立っているか

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n	%	n	%	n	n
全体	n=1600		n=400		n=817	n
役に立っている	449	28.1	150	37.5	385	47.1
どちらかといえば役に立っている	858	53.6	211	52.8	352	43.1
どちらかといえば役に立っていない	238	14.9	32	8.0	65	8.0
役に立っていない	55	3.4	7	1.8	15	1.8

「役に立っている」「どちらかといえば役に立っている」と回答した人にその理由を質問したところ、各利用者とも「身構えることができる（避難などの行動ができる）」と回答した人が多かった（WEB一般82%、WEB高度82%、質問紙調査85%）。次いで「安心できる・心構えができる」「身を守ることができる」などの回答が多かった（各利用者とも30～45%程度）。

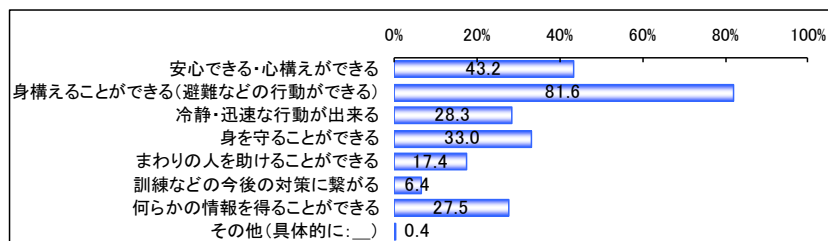


図-44 役に立っている理由 (WEB一般)

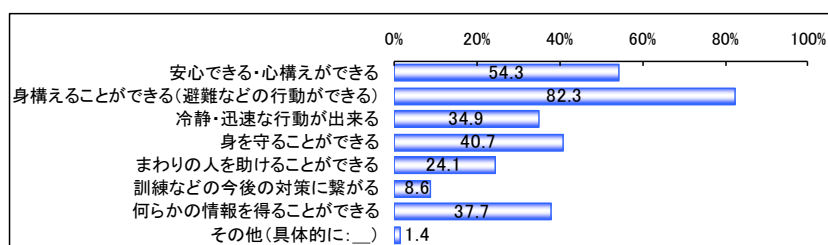


図-45 役に立っている理由 (WEB高度)

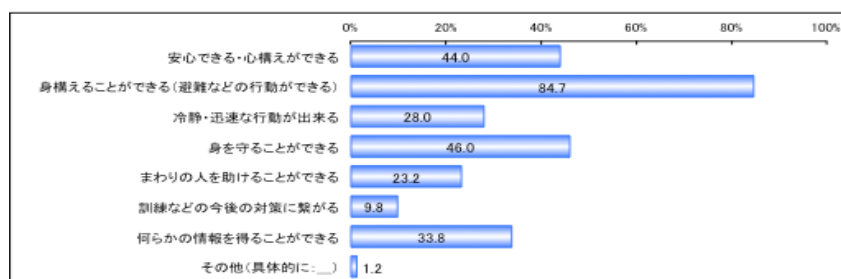


図-46 役に立っている理由 (質問紙調査)

表-23 役に立っている、どちらかといえば役に立っていると答えた人のその理由

	WEB一般		WEB高度		質問紙調査	
	n=1307	%	n=361	%	n=737	%
安心できる・心構えができる	565	43.2	196	54.3	324	44.0
身構えることができる(避難などの行動ができる)	1067	81.6	297	82.3	624	84.7
冷静・迅速な行動が出来る	370	28.3	126	34.9	206	28.0
身を守ることができる	431	33.0	147	40.7	339	46.0
まわりの人を助けることができる	228	17.4	87	24.1	171	23.2
訓練などの今後の対策に繋がる	83	6.4	31	8.6	72	9.8
何らかの情報を得ることができる	359	27.5	136	37.7	249	33.8
その他	5	0.4	5	1.4	9	1.2

一方、「役に立っていない」「どちらかといえば役に立っていない」と回答した人にその理由を質問したところ、WEB一般やWEB高度では「地震による強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかったから」と回答した人が最も多く（WEB一般42%、WEB高度44%）、質問紙調査では地震の揺れが始まってから速報を見聞きすることもあり「対応できなかった」が最も多かった（59%）。

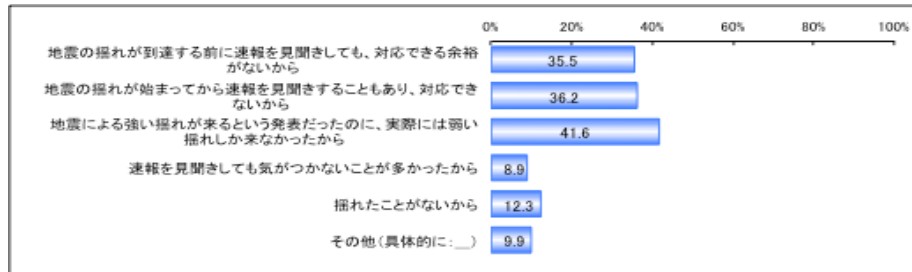


図-47 役に立っていない理由 (WEB一般)

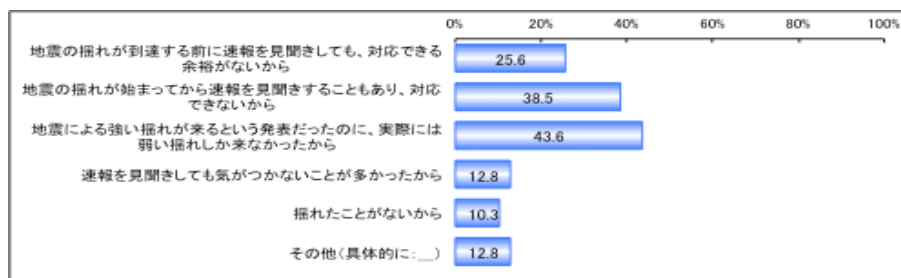


図-48 役に立っていない理由 (WEB高度)

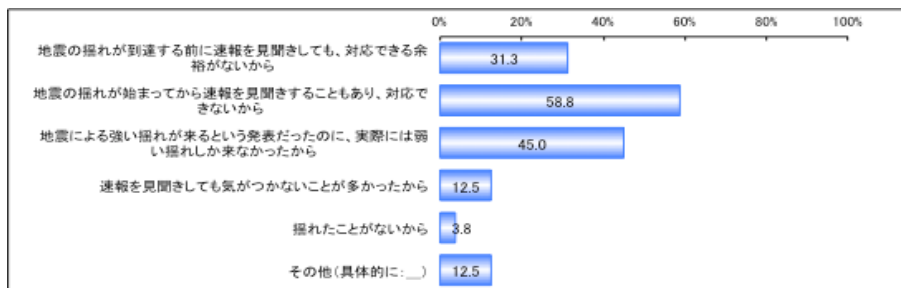


図-49 役に立っていない理由 (質問紙調査)

表-24 「役に立っていない」「どちらかといえば役に立っていない」理由

全体	WEB一般		WEB高度		質問紙調査	
	n=293	%	n=39	%	n=80	%
地震の揺れが到達する前に速報を見聞きしても、対応できる余裕がないから	104	35.5	10	25.6	25	31.3
地震の揺れが始まってから速報を見聞きすることもあり、対応できないから	106	36.2	15	38.5	47	58.8
地震による強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかったから	122	41.6	17	43.6	36	45.0
速報を見聞きしても気がつかないことが多かったから	26	8.9	5	12.8	10	12.5
揺れたことがないから	36	12.3	4	10.3	3	3.8
その他(具体的に:)	29	9.9	5	12.8	10	12.5

イ 地震による揺れと緊急地震速報の評価の関係 (WEB 一般+WEB 高度)

地震によって感じた揺れの大きさと、緊急地震速報が役に立っているかについてクロス集計したところ、緊急地震速報地震受信後の地震による揺れが大きいほど、緊急地震速報に対する評価が高いことがわかった。

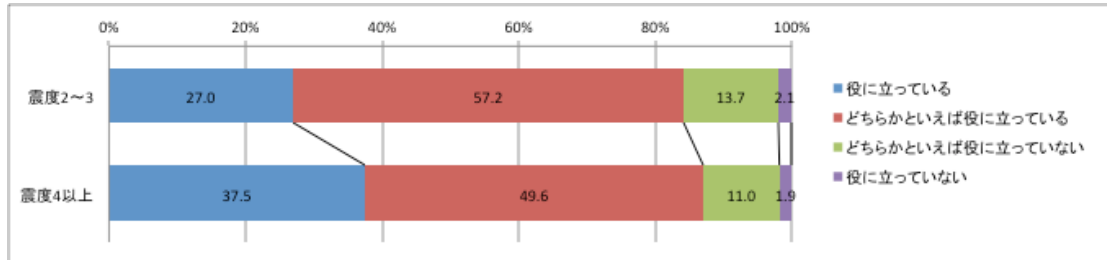


図-50 揺れの大きさに対して緊急地震速報が役立っているかどうかの割合

ウ 地震による揺れが到達するまでの猶予時間と緊急地震速報の評価の関係

地震による揺れが到達するまでの猶予時間と、緊急地震速報が役に立っているかをクロス集計したところ、緊急地震速報受信後早い段階で地震に揺れを感じた方が、緊急地震速報への評価が高いことがわかった。

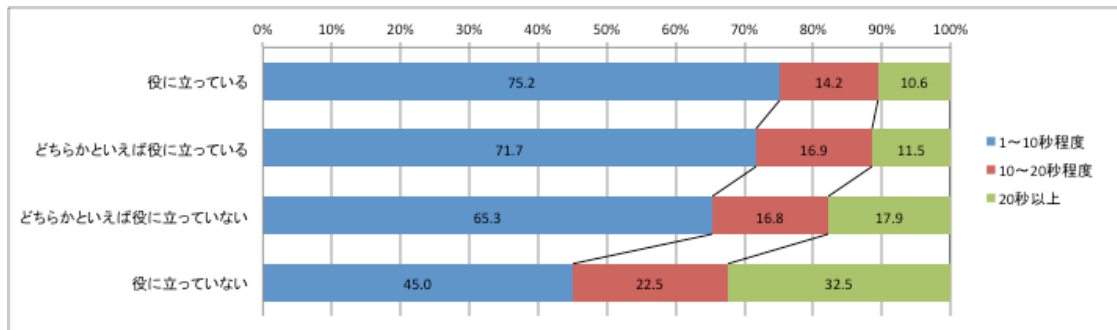


図-51 猶予時間に対して緊急地震速報が役に立っているかどうかの割合

- ② 緊急地震速報によって地震への備えが変わったか (WEB 一般 Q15、WEB 高度 Q24、質問紙調査 Q14)
- 緊急地震速報を見聞きするようになってから「地震への備えに対する考え方は変わったと思うか」について質問したところ、各調査とも最も多かった回答は、「地震への備え(避難行動など)を見直すきっかけになった」であった (WEB 一般 44%、WEB 高度 53%、質問紙調査 52%)。次いで、「地震の揺れが来ても慌てることがなくなった」と回答した人が各調査で多かった (WEB 一般 27%、WEB 高度 36%、質問紙調査 48%)。

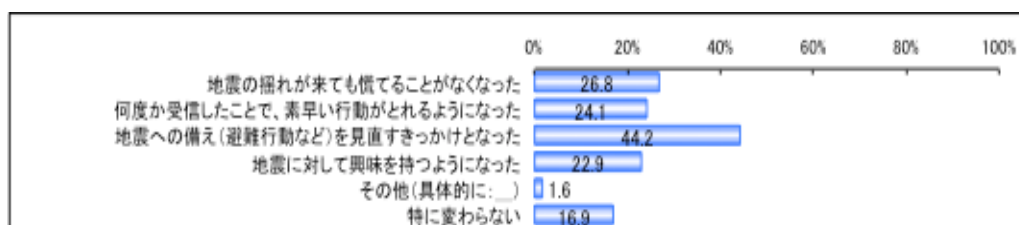


図-52 緊急地震速報を受けたことで地震への備えが変わった点 (WEB 一般)

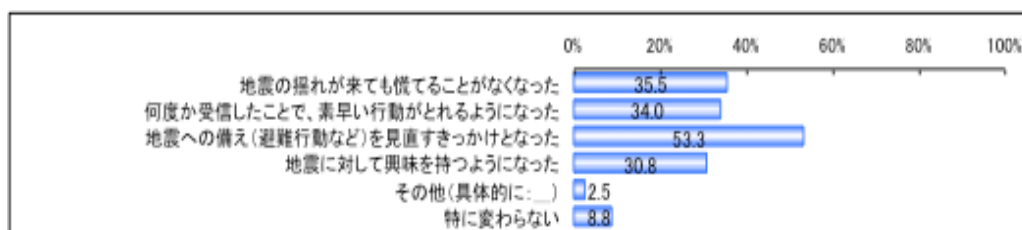


図-53 緊急地震速報を受けたことで地震への備えが変わった点 (WEB 高度)

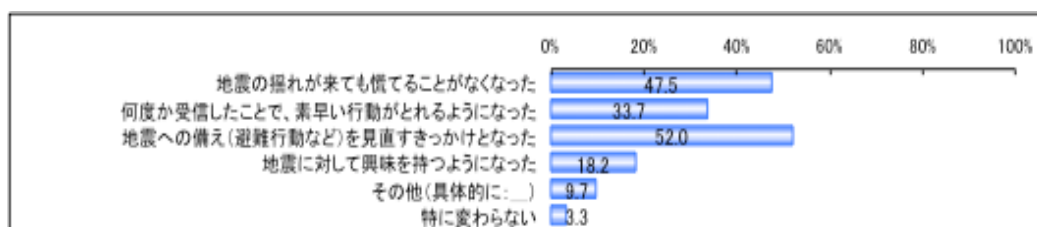


図-54 緊急地震速報を受けたことで地震への備えが変わった点 (質問紙調査)

表-25 地震への備えに対する考え方の変化

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
全体	1600	100.0	400	100.0	817	100.0
地震の揺れが来ても慌てることがなくなった	428	26.8	142	35.5	388	47.5
何度か受信したことで、素早い行動がとれるようになった	386	24.1	136	34.0	275	33.7
地震への備え(避難行動など)を見直すきっかけとなった	707	44.2	213	53.3	425	52.0
地震に対して興味を持つようになった	367	22.9	123	30.8	149	18.2
その他(具体的に:)	26	1.6	10	2.5	79	9.7
特に変わらない	270	16.9	35	8.8	27	3.3

③ 緊急地震速報によって何が一番知りたいか（WEB 一般 Q19、WEB 高度 Q28、質問紙調査 Q18）

緊急地震速報で、「一番知りたいと思うこと」は何かを質問したところ、WEB 一般や質問紙調査では、「各地の予測震度」と回答した人が最も多く（WEB 一般 43%、質問紙調査 46%）、「猶予時間」と回答した人が（WEB 一般 35%、質問紙調査 30%）とこれに次いで多かった。WEB 高度では、1、2 位が逆転して、「猶予時間」が 41%、「予測震度」が 35%となった。

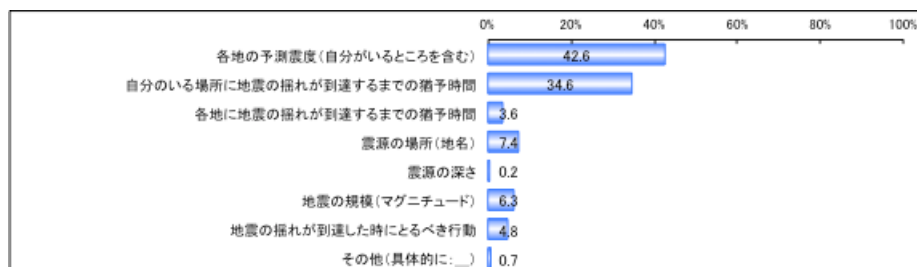


図-55 緊急地震速報で知りたいこと（WEB 一般）

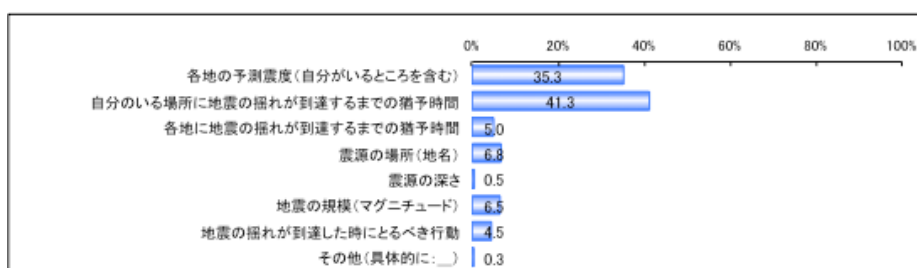


図-56 緊急地震速報で知りたいこと（WEB 高度）

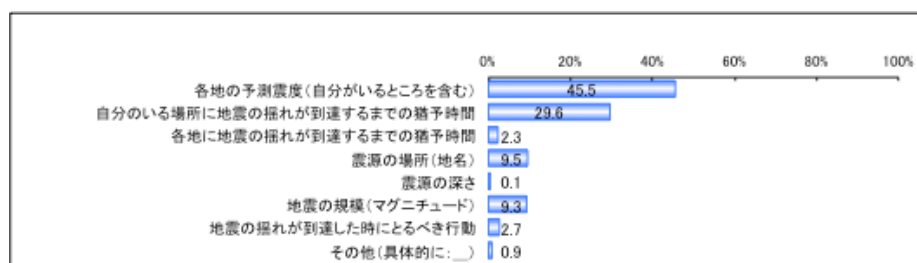


図-57 緊急地震速報で知りたいこと（質問紙調査）

表-26 緊急地震速報で、一番知りたいと思う情報は何か

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n	%	n	%	n	%
全体	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
各地の予測震度(自分がいるところを含む)	681	42.6	141	35.3	372	45.5
自分のいる場所に地震の揺れが到達するまでの猶予時間	554	34.6	165	41.3	242	29.6
各地に地震の揺れが到達するまでの猶予時間	57	3.6	20	5.0	19	2.3
震源の場所(地名)	118	7.4	27	6.8	78	9.5
震源の深さ	3	0.2	2	0.5	1	0.1
地震の規模(マグニチュード)	100	6.3	26	6.5	76	9.3
地震の揺れが到達した時にとるべき行動	76	4.8	18	4.5	22	2.7
その他	11	0.7	1	0.3	7	0.9

④ 今後の緊急地震速報について (WEB 一般 Q20、WEB 高度 Q29、質問紙調査 Q19)

ア 緊急地震速報を利用する上で実現してほしいこと

今後、緊急地震速報を利用する上で、最も実現して欲しいことを質問したところ、WEB 一般と WEB 高度では、「どんな時、どんな場所でも緊急地震速報を受けることができるようなくみづくり」と回答した人が最も多かった (WEB 一般 42%、WEB 高度 40%)。これに対し、質問紙調査では、「緊急地震速報の震度の精度を上げること」と答えた人が 39%と最も多く、次いで、「緊急地震速報の猶予時間の精度を上げること」と回答した人が 34%となっており、「どんな時、どんな場所でも緊急地震速報を受けることができるようなくみづくり」と答えた人は14%にとどまった。

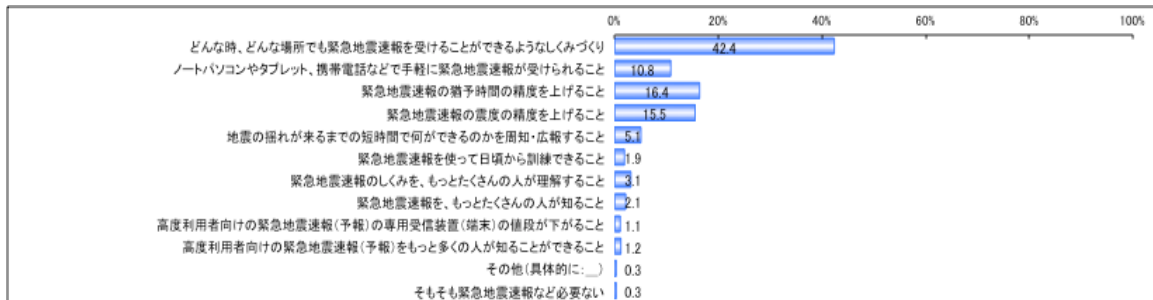


図-58 緊急地震速報を利用する上で実現してほしいこと (WEB 一般)

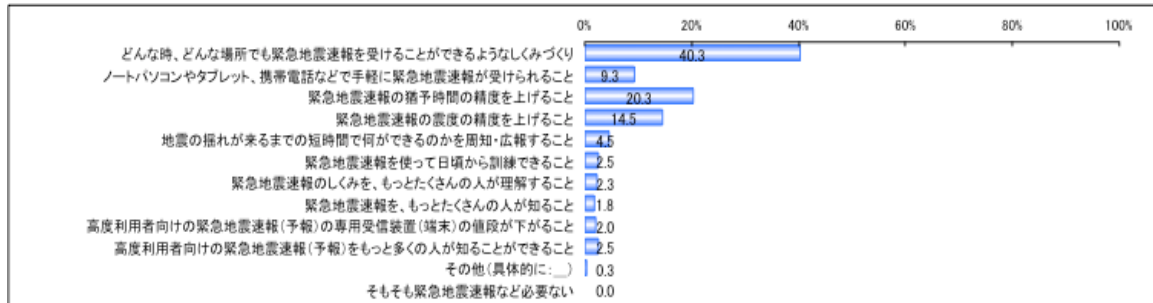


図-59 緊急地震速報を利用する上で実現してほしいこと (WEB 高度)

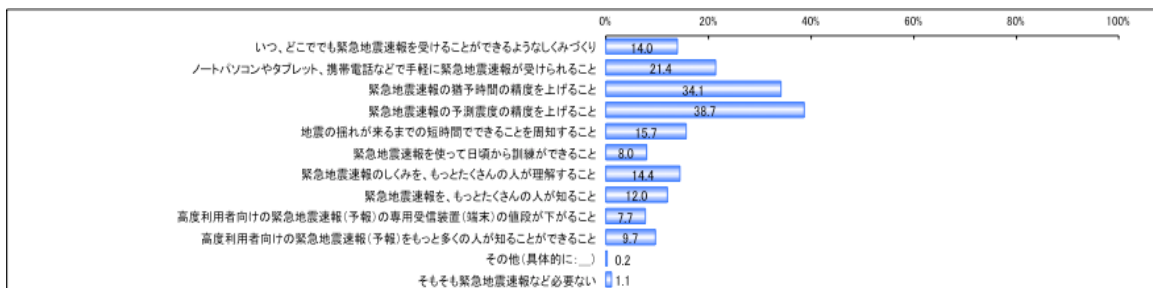


図-60 緊急地震速報を利用する上で実現してほしいこと (質問紙調査)

表-27 緊急地震速報を利用する上で、最も実現して欲しいこと

全体	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
どんな時、どんな場所でも緊急地震速報を受けられるようになるしくみづくり	678	42.4	161	40.3	114	14.0
ノートパソコンやタブレット、携帯電話などで手軽に緊急地震速報が受けられること	173	10.8	37	9.3	175	21.4
緊急地震速報の猶予時間の精度を上げること	262	16.4	81	20.3	279	34.1
緊急地震速報の震度の精度を上げること	248	15.5	58	14.5	316	38.7
地震の揺れが来るまでの短時間で何ができるのかを周知・広報すること	81	5.1	18	4.5	128	15.7
緊急地震速報を使って日頃から訓練できること	30	1.9	10	2.5	65	8.0
緊急地震速報のしくみを、もっとたくさんの人が理解すること	50	3.1	9	2.3	118	14.4
緊急地震速報を、もっとたくさんの人が知ること	34	2.1	7	1.8	98	12.0
高度利用者向けの緊急地震速報（予報）の専用受信装置（端末）の値段が下がること	17	1.1	8	2.0	63	7.7
高度利用者向けの緊急地震速報（予報）をもっと多くの人を知ることができること	19	1.2	10	2.5	79	9.7
その他	4	0.3	1	0.3	2	0.2
そもそも緊急地震速報など必要ない	4	0.3	0	0.0	9	1.1

イ 全国的な避難訓練について (WEB 一般 Q22、WEB 高度 Q31、質問紙調査 Q20)

緊急地震速報のしくみを多くの人に知ってもらうために、架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練を行うことについて質問したところ、「必要なことだと思う」と答えた人は、WEB 一般で35%、WEB 高度で43%、質問紙調査で24%であった。また、「必要だと思うが混乱がないよう実施方法を検討すべき」と答えた人は、WEB 一般が53%、WEB 高度が49%、質問紙調査が56%であった。「必要だと思う」「必要だと思う」「混乱がないよう実施方法を検討すべき」と回答した人の合計は、WEB 一般が87%、WEB 高度が92%、質問紙調査が80%となり避難訓練の実施を肯定的にとらえている人が多数を占める。

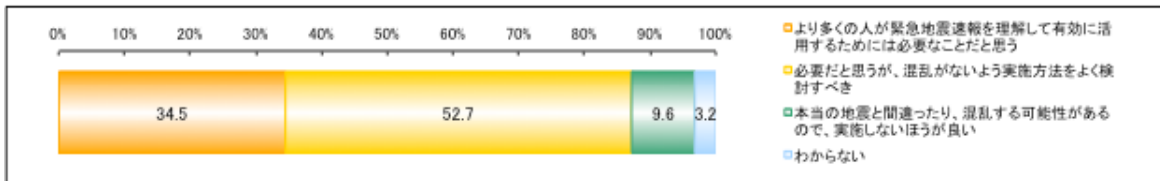


図-61 全国一斉訓練に対する考え (WEB 一般)

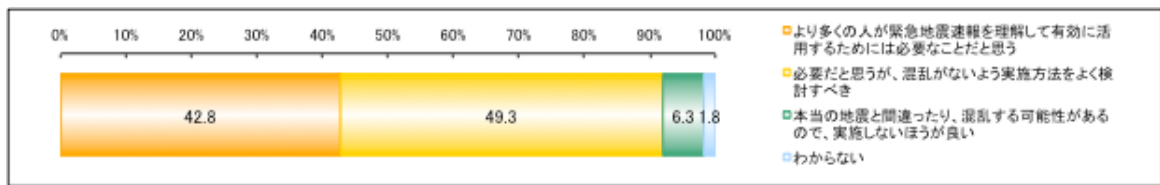


図-62 全国一斉訓練に対する考え (WEB 高度)

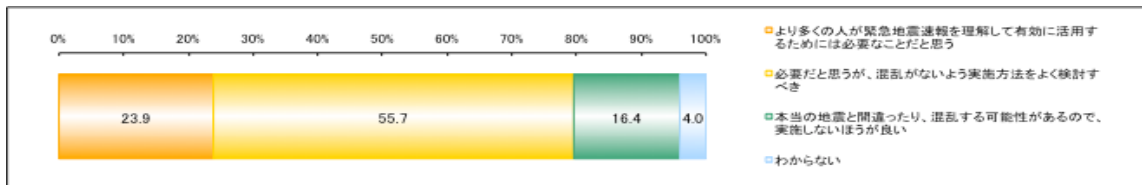


図-63 全国一斉訓練に対する考え (質問紙調査)

表-28 緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練を行うことについて

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
より多くの人が緊急地震速報を理解して有効に活用するためには必要なことだと思う	552	34.5	171	42.8	195	23.9
必要だと思うが、混乱がないよう実施方法をよく検討すべき	843	52.7	197	49.3	455	55.7
本当の地震と間違ったり、混乱する可能性があるため、実施しないほうが良い	154	9.6	25	6.3	134	16.4
わからない	51	3.2	7	1.8	33	4.0

ウ 基準震度についてどう思うか（WEB 一般 Q23、WEB 高度 Q32、質問紙調査 Q21）

「現在の緊急地震速報の発表基準震度についてどう思うか」について質問したところ、各利用者とも、「現在のままでよい」と回答した人が多かった（WEB 一般67%、WEB 高度59%、質問紙調査74%）。「発表基準を下げて、弱い揺れでもわかるようにしたほうが良い」と回答した人は、WEB 一般で16%、質問紙調査で10%であったのに対し、WEB 高度では27%とWEB 一般や質問紙調査よりもやや回答者が多かった。

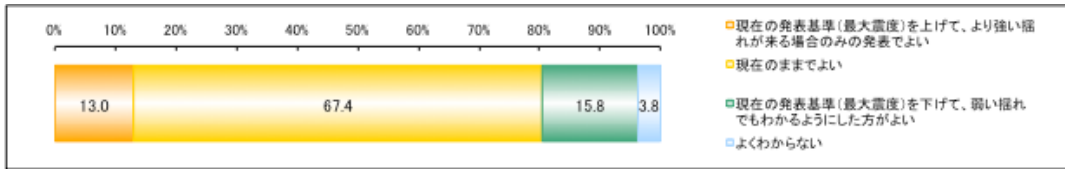


図-64 基準震度について（WEB 一般）

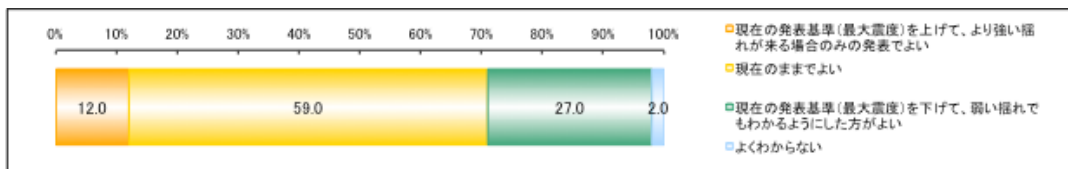


図-65 基準震度について（WEB 高度）

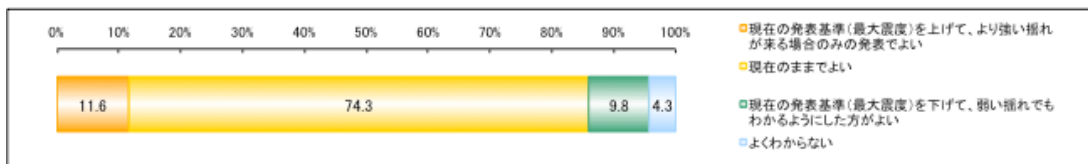


図-66 基準震度について（質問紙調査）

表-29 緊急地震速報の発表基準震度について

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n=1600	%	n=400	%	n=817	%
現在の発表基準（最大震度）を上げて、より強い揺れが来る場合のみの発表でよい	208	13.0	48	12.0	95	11.6
現在のままでよい	1079	67.4	236	59.0	607	74.3
現在の発表基準（最大震度）を下げて、弱い揺れでもわかるようにした方がよい	253	15.8	108	27.0	80	9.8
よくわからない	60	3.8	8	2.0	35	4.3

エ 長周期震動の予報について (WEB 一般 Q25、WEB 高度 Q34、質問紙調査 Q22)

長周期震動について知っているかを質問したところ、WEB 一般で75%、WEB 高度で78%、質問紙調査で66%の人が、「知っている」と回答した。緊急地震速報の中で、予想震度等以外にこの長周期の震動の予報を行うことについて質問したところ、「役に立つので実施したほうが良い」と回答した人と「どちらかといえば役に立つと思う」と回答した人の合計は、WEB 一般で83%、WEB 高度で89%、質問紙調査で78%となり、多くの人は長周期震動の予報実施に対して肯定的であった。

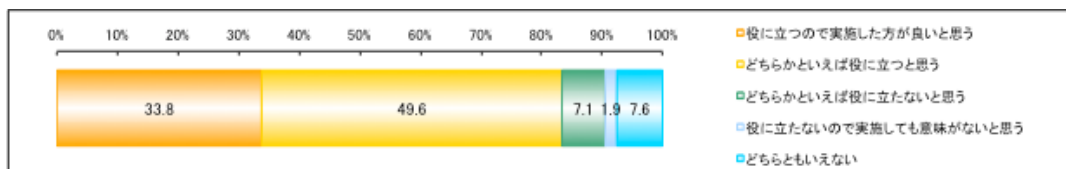


図-67 長周期震動の予報について (WEB 一般)

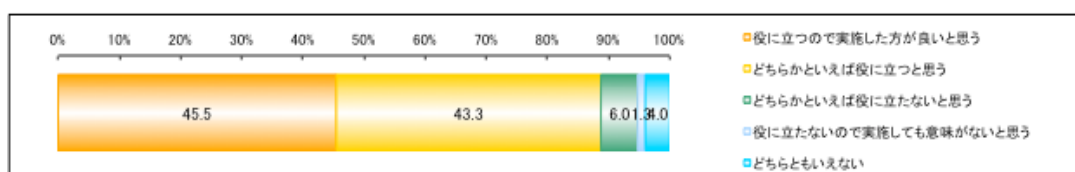


図-68 長周期震動の予報について (WEB 高度)

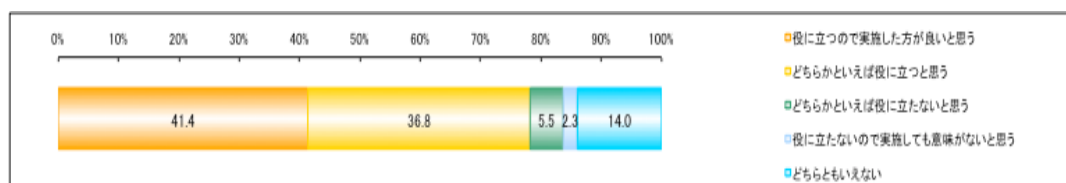


図-69 長周期震動の予報について (質問紙調査)

表-30 長周期震動の予報を行うことについて

	WEB 一般		WEB 高度		質問紙調査	
	n	%	n	%	n	%
全体	1600		400		817	
役に立つので実施した方が良いと思う	541	33.8	182	45.5	338	41.4
どちらかといえば役に立つと思う	793	49.6	173	43.3	301	36.8
どちらかといえば役に立たないと思う	114	7.1	24	6.0	45	5.5
役に立たないので実施しても意味がないと思う	31	1.9	5	1.3	19	2.3
どちらともいえない	121	7.6	16	4.0	114	14.0

4) アンケート対象者の属性について

アンケート対象者の職業については、「会社員」が各利用者とも最も多く、業種は「製造業やサービス業」の人が多かった。

家族構成は、各利用者とも「親と子」が最も多く、次いで、「夫婦のみ」の人が多い。同居人数は、各利用者とも「2人」が最も多く、「3人、4人」と答えた人がこれに次いで多くなっている。

質問紙調査では、同居人数が「7人以上」の人が78人と多く、WEB一般の26人、WEB高度の8人を大幅に上回っている。WEB一般、WEB高度の回答者の居住地は、「東京都」が最も多く、「神奈川県」がこれに次いで多い。

年齢は、WEB一般が「40代」が最も多いのに対し、WEB高度では「30代」の回答者が最も多かった。WEB一般、WEB高度の性別については、いずれも「男性」が6割以上で「女性」よりも多い結果となった。